

平成 27 (2015) 年度

「授業評価アンケート」報告書

平成 28 (2016) 年 7 月

学習院大学

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会

# はじめに

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員長  
眞野 泰

本報告書は、平成 27 (2015) 年度実施の「学生による授業評価アンケート」の集計結果とその分析を取り纏めたものである。

本学では、授業改善の一助として「学生による授業評価アンケート」を年 2 回実施しており、平成 27 年度はこのアンケートを全学的に実施するようになって 10 年目に当たった。近年は、教職員と学生の協力のもと、アンケートの実施率が 100% に近い数値で推移しており、非常に良好であると言える。

授業評価アンケートの個別データは慎重に取り扱い、授業改善に役立てていただけるよう、各授業科目の担当教員にフィードバックしている。

さらに、授業評価アンケートの結果を活用し、教育の改善に向けて、全学的に次のような取り組みを行っている。

第 1 に、平成 22 (2010) 年度より、授業評価アンケートの結果を受けて、各部門がどのような授業改善を行ったのか、具体的な取り組み・工夫の例を集め、「『授業評価アンケート』報告書」の第 3 章「授業への取り組み例」に掲載している。これにより、個々の教員の創意工夫を大学全体で共有する。

第 2 に、同じく平成 22 年度より、各部門において授業評価結果について意見交換を行う機会を設けるため、FD をテーマにする懇談会を毎年開催している。

第 3 に、平成 27 年度より、毎年度の第 1 学期中に、学生によって高く評価された授業を学内の教職員が見学・聴講する「授業見学・聴講」と、その授業の担当教員による授業方法や授業改善のための創意工夫についての講演及び参加者による意見交換からなる「FD 研究会」を実施している。これにより、教職員同士が良い授業とは何かについて議論し、また授業方法や創意工夫についての情報を共有する場ができた。さらに平成 28 (2016) 年度から、「授業見学・聴講」に学生の参加を呼びかけ、学生からの意見も集めることで、全学一体となつての授業改善を目指している。

今後は、授業評価アンケートに自由記述欄を設けることや、個別のアンケート結果を学生に公開することなど、アンケートのあり方についても見直す必要があるだろう。また、「学生による授業評価アンケート」のことばかりでなく、教員が様々な形、様々な次元で FD に関わることのできる制度と環境の整備に向けて、本学の FD 活動の見直しを続けていきたい。

平成 28 (2016) 年 7 月

## 目 次

はじめに

第1章 授業評価アンケート実施の概要	1
I. 実施の経緯	2
II. 実施の方法	3
III. 実施に関わる全体的な状況と評価	5
IV. 今後の授業評価、FD活動に向けて	12
第2章 各部門の分析・評価	13
「授業評価アンケート」結果の経年比較（全学的な傾向について）	15
I. 法学部	17
II. 経済学部	23
III. 文学部	31
IV. 理学部	40
V. 計算機センター	46
VI. 外国語教育研究センター	52
VII. スポーツ・健康科学センター	61
VIII. 基礎教養科目運営委員会	68
IX. 教職課程	76
X. 学芸員課程委員会	81
第3章 授業への取り組み例	87
第4章 資料集（質問項目別基礎データクロス表）	104
ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員一覧	134

# 第 1 章

## 授業評価アンケート実施の概要

## I. 実施の経緯

ファカルティ・ディベロップメント（以下FD）が本学において意識されるようになったのは、平成 15（2003）年 8 月の各学部・センターの有志の教員 14 名からなる「FD勉強会」の組織からである。そこでは、FDの定義についての確認、FDに関する他大学の状況説明等があり、これらにつき意見交換がなされた。また、学部・学科、センターにおけるFDへの取り組み状況が紹介、説明され、また、経済学部、法学部・法学科、スポーツ健康科学センター及び外国語教育研究センターが実施（あるいは予定）していた、学生による授業評価アンケートについての報告もあった。その後「FD勉強会」は「FD研究プロジェクト」と名称を変え、FDをめぐる様々な事項について意見交換がなされ、とりわけ授業評価アンケートやFDを推進していくための組織について集中的に討議された。その結果、「ファカルティ・ディベロップメント準備委員会」を経て、学長補佐を委員長とする「学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会」（以下、「FD推進委員会」）が発足、平成 16（2004）年 7 月、第 1 回の委員会が開催された。委員会規程によれば、本学におけるFDとは「授業に関する技量及び教育効果を高めるための組織的かつ継続的な取り組みを行うこと等を通して教育の内容及び方法の改善を図ること」であるとされ、委員会では、そのために全学の取り組むべき活動として、学生による授業評価アンケートの実施を緊急かつ最優先に議論することとなった。授業評価の主たる目的は個々の授業の改善にあるが、同時に様々なFD活動への情報提供という意味をも持ち、また学生や社会に対する説明責任を果たすための活動としても位置付けられている。

その後、FD推進委員会で、アンケートの質問形式と質問項目、アンケート対象科目、実施スケジュールと方法等について集中的に議論を進め、その結果を「授業評価アンケートの実施に関するガイドライン」として纏めた。一方、授業評価アンケートの結果は個々の授業担当者に関する個人情報であると考えられることから、「学習院個人情報保護規程」の趣旨を踏まえた「授業評価アンケートにおける個人情報の取扱いに関するガイドライン」が纏められた。これら二つのガイドラインにそって、教務部（現学生センター教務課）の協力のもとに実務に関する細部の調整が行われ、平成 18（2006）年度、全学にわたる授業評価アンケートが初めて実施された。

## II. 実施の方法

第1学期は7月、第2学期は12月の所定の期間中（各2週間）に、無記名のアンケートにより実施した。実施にあたっては、学生センター教務課により実施本部が設置され、各教員が授業前に実施本部でアンケート票一式を受け取り、アンケート終了後、回収用の封筒に封入された記入済みアンケート票その他を実施本部に提出することになっている。

アンケート実施対象科目は以下のとおりであり、学部学生が履修することのできるほぼ全ての科目が該当する。

第1学期： 第1学期科目及び通年科目のうち学期単位で担当者が変わる科目

第2学期： 第2学期科目及び通年科目

注1.集中講義については、通常の期間ではなく開講期間中に実施。

2.大学院・専門職大学院の科目は対象外だが、学部・大学院共通の科目は実施。

3.総履修者数が5名以下の科目は対象外。

4.回答者数が5名以下の科目は、その回答データを担当教員個人へフィードバックしない。このデータは保存するが、各種集計データには含めない。

なお、集計結果分析に資するため、アンケート実施上の授業形態として、授業科目を「講義」「演習」「語学」に分類した。それぞれの授業開設部門の持つ授業形態は下表のとおりである。

部門	形態	
法学部	講義	演習
経済学部	講義	演習
文学部	講義	演習
理学部	講義	演習
計算機センター	講義	
外国語教育研究センター	語学	
スポーツ・健康科学センター	演習	
基礎教養科目運営委員会	講義	演習
教職課程	講義	演習
学芸員課程委員会	講義	演習

質問項目については、5段階の評価方式とし、学生全員が回答すべき基本的な11項目の他、授業形態等によって追加的な項目を加えた。自由記述方式の回答を求める質問についても検討されたが、全学の授業評価には馴染まないこと等から、採用しないこととした。

実際に使用されたアンケート票のイメージを次ページに掲載する。



## 平成27(2015)年度 学習院大学 授業評価アンケート

このアンケートは、学習院大学の授業を改善し、さらに充実させることを目的に行われます。  
回答の内容があなたの成績評価に影響することは一切ありません。率直かつ責任を持った回答をお願いします。 学習院大学

**1** この授業の「時間割コード」「授業形態」とあなたの所属する「学科コード」「学年」「性別」を記入・マークしてください。 【注意事項】

良いマーク

悪いマーク

うすい はみ出し

**時間割コード**

①	①	①	①	①
②	②	②	②	②
③	③	③	③	③
④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨

**授業形態**

講義: ①

演習: ②

語学: ③

**学科コード**

①	①	①
②	②	②
③	③	③
④	④	④
⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨
A	A	A
B	B	B
C	C	C
D	D	D

**学年**

年

①
②
③
④

**性別**

男: ①

女: ②

必要事項を記入の上、マーク欄に正しくマークしてください。

記入・マークには、必ず鉛筆・シャープペンシルを使用してください。

誤りは消しゴムで完全に消してください。

指定以外のところには書き込まないでください。

記入ミス・マークミスがあった場合、その回答は無効となります。

このアンケート用紙を折り曲げたり汚したりしないでください。

所属する「学科コード」とは、本学が付与している学籍番号  
□□-□□□-□□□ にある □ の3桁の数字です。  
(例) 15-011-999の場合「011」  
15-095-999の場合「095」

本学の学籍番号が付与されていない学生(f-Campus生・大学院交流学生)は、  
学科コードを「000」、学年を「0」と記入・マークしてください。

**2** 以下の質問項目について、回答を回答欄にマークしてください。

【回答の基準】 5:強くそう思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない

● 1～11は「全員」回答してください。

	回答欄					
1 私のこの授業への出席率は ⑤: 90%以上 ④: (90%未満)80%以上 ③: (80%未満)70%以上 ②: (70%未満)50%以上 ①: 50%未満	⑤	④	③	②	①	
2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	⑤	④	③	②	①	
3 この授業のレベルは適切である	⑤	④	③	②	①	
3-2 「① 全くそう思わない」「② あまりそう思わない」を選んだ人は、 授業のレベルについて、どのように感じましたか ⑤: 難しすぎる ④: 易しすぎる	⑤	④				
4 この授業を進める速さは適切である	⑤	④	③	②	①	
4-2 「① 全くそう思わない」「② あまりそう思わない」を選んだ人は、 授業を進める速さについて、どのように感じましたか ⑤: 速すぎる ④: 遅すぎる	⑤	④				
5 教員は熱意を持って授業を行っている	⑤	④	③	②	①	
6 教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	⑤	④	③	②	①	
7 教員は理解しやすい授業を行っている	⑤	④	③	②	①	
8 教員の話し方 (スピード、聞き取りやすさ) は適切である	⑤	④	③	②	①	
8-2 「① 全くそう思わない」「② あまりそう思わない」を選んだ人は、 教員の話し方 (スピード、聞き取りやすさ) について、どのように感じましたか ⑤: 速すぎる ④: 遅すぎる ③: その他/聞き取りにくい	⑤	④	③			
9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	⑤	④	③	②	①	
10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人は「0」をマークしてください)	⑤	④	③	②	①	0
11 総合的に見てこの授業は高く評価できる	⑤	④	③	②	①	-

K10222B 90kg うら面につづきます。

### Ⅲ. 実施に関わる全体的な状況と評価

上述の通り、授業評価アンケートは、総履修者数5名以下という例外を除けば、学部生が履修可能なほぼ全科目を対象科目として行われたことになる。対象科目数 2,252、実施科目数 2,227、実施率 98.89%となり、実施率としては非常に高い数値となった。これに対して学生の回答率（＝回答者数／総履修者数）は 55.51%に留まった。回答率が毎年 50%前後となってしまう主要な原因は、学年はじめの履修登録者数を総履修者数としているためである。法学部・経済学部の講義科目では、相当数の学生が履修を中断したり、期末試験を棄権したりするが、その総数を事前に把握するのは困難である。そのため、履修登録者数の多い授業ほど、回答率は低くなる傾向がある。

初回（平成 18（2006）年度）のアンケート実施後、いくつかの問題点が発見された。まず、アンケート実施上の授業形態についての確認が完全ではなく、また実施段階での変更等もあり多少の混乱が生じた。総履修者数5名以下の科目について、アンケートの信頼性への疑問や教員へのフィードバックに対する様々な懸念が改めて指摘された。これらの問題は第2回（平成 19（2007）年度）以降改善された。また、質問項目のうち、「Q3 授業のレベル」、「Q4 授業を進める速さ」を問う項目について、最良の評価が3となる質問形式が5段階評価にそぐわず、結果集計の際にもデータに重みを付ける等多少複雑な処理が必要であった。この問題については、平成 20（2008）年度実施時から他の質問項目同様に最良の評価が5になるように質問形式を変更している。

平成 28（2016）年3月、教員へのフィードバックとして、個々の授業についてのアンケート結果を担当教員に送付した。同年5月には速報版を Web ページに公開し、授業開設部門別、授業形態別に、各設問（主な 11 設問＋ $\alpha$ ）に対する平均・標準偏差の表、及びそれらをグラフ化した「基礎集計結果」を掲載した。また、「実施概要」及び「授業満足度にみる集計結果」もあわせて公開した。また、これらに加え、部門別、形態別、学年別、総履修者数別の集計をとった「基礎データクロス表」、及びアンケートの問に対する相関係数を部門別・形態別に纏めた「相関係数表」を作成した。さらに、「授業への取り組み例」も、情報を追加・更新する形で今年度も作成した。

「相関係数表」は「基礎集計結果」とともに第2章の各部門の頁末に、「授業への取り組み例」は第3章に、「基礎データクロス表」は第4章に掲載する。また、前回に引き続き、経年変化比較表（5年間）を部門別・形態別に作成し、第2章の各部門の頁末に掲載する。次章における各部門の分析・評価の概要はこれらのデータをもとに行われたものである。以下に Web ページに公開された「実施概要」及び「授業満足度にみる集計結果」を転記する。

## 1. 実施概要

第10回目の実施となった平成27(2015)年度のアンケートについては、第1学期は7月2日から7月15日まで、第2学期は12月9日から12月22日のそれぞれ2週間に、学部生が履修することのできるほぼ全科目を対象として行われた。具体的には、対象科目数2,252、実施科目数2,227、実施率は98.89%(前年度比+0.86%)となり、実施率は前年度より微増となっている。また、実施科目における学生の回答率(=集計対象科目回答者数/集計対象科目総履修者数)は55.51%(前年度比+1.00%)であり、平成22(2010)年度から5年連続で回答率が上がっている。(平成22年度比+5.43%)

部門別・形態別の実施率・回答率を以下の図表1に示す。

図表1 アンケート実施率及び実施科目の回答率

部門別		実施率			集計対象科目数	回答率		
		対象科目数	実施科目数	実施率		集計対象科目総履修者数	集計対象科目回答者数	回答率
計七	講義	90	89	98.89%	82	4,654	3,487	74.92%
	合計	90	89	98.89%	82	4,654	3,487	74.92%
外七	語学	524	522	99.62%	497	12,663	9,955	78.61%
	合計	524	522	99.62%	497	12,663	9,955	78.61%
スポ健	演習	105	105	100.00%	96	2,027	1,506	74.30%
	合計	105	105	100.00%	96	2,027	1,506	74.30%
基礎教養	講義	93	92	98.92%	91	10,667	5,866	54.99%
	演習	1	1	100.00%	1	63	30	47.62%
	合計	94	93	98.94%	92	10,730	5,896	54.95%
法学部	講義	155	155	100.00%	150	25,753	9,295	36.09%
	演習	106	104	98.11%	101	2,269	1,787	78.76%
	合計	261	259	99.23%	251	28,022	11,082	39.55%
経済学部	講義	156	153	98.08%	143	23,286	8,050	34.57%
	演習	113	111	98.23%	101	1,835	1,518	82.72%
	合計	269	264	98.14%	244	25,121	9,568	38.09%
文学部	講義	226	224	99.12%	216	12,654	8,481	67.02%
	演習	379	375	98.94%	355	9,212	7,035	76.37%
	合計	605	599	99.01%	571	21,866	15,516	70.96%
理学部	講義	140	134	95.71%	127	7,994	4,494	56.22%
	演習	46	45	97.83%	43	2,479	1,667	67.24%
	合計	186	179	96.24%	170	10,473	6,161	58.83%
教職課程	講義	37	37	100.00%	35	2,014	1,405	69.76%
	演習	52	51	98.08%	49	1,990	1,560	78.39%
	合計	89	88	98.88%	84	4,004	2,965	74.05%
学芸員	講義	20	20	100.00%	20	916	733	80.02%
	演習	9	9	100.00%	7	87	53	60.92%
	合計	29	29	100.00%	27	1,003	786	78.36%
形態別	講義計	917	904	98.58%	864	87,938	41,811	47.55%
	演習計	811	801	98.77%	753	19,962	15,156	75.92%
	語学計	524	522	99.62%	497	12,663	9,955	78.61%
全科目		2,252	2,227	98.89%	2,114	120,563	66,922	55.51%

注1 総履修者数が5名以下の科目はアンケート実施対象外

注2 総履修者数が6名以上の科目でも、当日の回答者が5名以下の科目は含まれていない。

【図表1で使用している用語の定義】

「部門別」: 学部やセンターといった授業の開設部門の単位で、10 の部門に纏めている。「計算機センター」「外国語教育研究センター」「スポーツ・健康科学センター」については、それぞれ「計セ」「外セ」「スポ健」という略称を用いている。なお、学部生が履修できる大学院科目については、それぞれ対応する学部を開設部門として集計している。

「形態別」: アンケート実施上の授業形態で、「講義」「演習」「語学」の3種類。

「実施率」: 実施対象となった全科目に対する実施科目数の集計結果。

「回答率」: 実際にアンケートを実施した全科目の総履修者数に対する集計結果。

※平成 27 年度報告書より以下の点を変更しております。

- ①「対象科目数」=「実施対象となっていた科目数」
- ②「集計対象科目数」=「実施対象となっていた科目数」-「アンケートを実施したが、回答者数が5名以下であったため、集計対象外となった科目数」  
\*従来の「対象科目数」に該当する。
- ③「回答者数」「総履修者数」の表記をそれぞれ、「集計対象科目回答者数」「集計対象科目総履修者数」に変更。

次に、アンケートを実施した科目のうち、それぞれの総履修者数を少ない方から多い方へと 10 段階にランク分けし、さらに「形態別」に分類した状況を纏めたものが図表2である。前年度とほぼ同様の傾向となっている。

図表2 形態別・総履修者数ランク

			総履修者数ランク					
			25名以下	26～50名	51～100名	101～150名	151～200名	201～250名
形態別	講義	科目数	136	177	292	87	44	36
		%	15.74%	20.49%	33.80%	10.07%	5.09%	4.17%
	演習	科目数	468	223	58	3	1	0
		%	62.15%	29.61%	7.70%	0.40%	0.13%	0.00%
	語学	科目数	249	245	3	0	0	0
		%	50.10%	49.30%	0.60%	0.00%	0.00%	0.00%
合計		科目数	853	645	353	90	45	36
		%	40.35%	30.51%	16.70%	4.26%	2.13%	1.70%

			総履修者数ランク				合計
			251～300名	301～350名	351～400名	401名以上	
形態別	講義	科目数	31	33	9	19	864
		%	3.59%	3.82%	1.04%	2.20%	100.00%
	演習	科目数	0	0	0	0	753
		%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
	語学	科目数	0	0	0	0	497
		%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
合計		科目数	31	33	9	19	2,114
		%	1.47%	1.56%	0.43%	0.90%	100.00%

回答者の種別については図表3のとおりである。回答者の約 96%が本学の学部生であること、また、学部生に限ると、1年生の回答者数が最も多く、学年が進むにしたがって回答者数が減少していることも前年度と同様の傾向である。

図表3 回答者の種別

	1年	2年	3年	4年	他大生他	無回答	合計
学部生	27,948	18,335	12,284	4,013	31	1,367	63,978
大学院生(博士前期課程)	348	107	13	22	3	9	502
大学院生(博士後期課程)	14	9	15	0	1	2	41
科目等履修生(学部)	45	62	57	16	23	17	220
科目等履修生(大学院)	1	0	0	0	6	2	9
他大学生(大学院生含む)	8	7	3	4	59	6	87
不明	676	461	278	140	39	491	2,085
合計	29,040	18,981	12,650	4,195	162	1,894	66,922

※一部、学生種別と学年との関係としてふさわしくないものもありますが、そのまま掲載しています。

## 2. 部門別・形態別の平均値・標準偏差

アンケート結果を「部門別」「形態別」に分類し、各設問（主な 11 設問+ $\alpha$ ）に対する回答の平均値・標準偏差の表、および平均値をグラフ化したものが次のとおりである。

### 別紙 質問項目別単純集計表(部門別・形態別 17 種類)【別紙参照】

※例えば、「語学」科目であるにもかかわらず、「スポ健」科目に対する項目について回答されたといった、指定項目以外の回答については無効とし、それらを除外して集計している。

## 3. 授業満足度にみる集計結果

今回のアンケート結果については、全回答を単純に集計する「回答者ベース」と、科目単位で集計した「科目ベース」の2種類の集計を行っている。これは、「回答者ベース」による集計結果だけで分析すると、履修者数の多い科目の影響を強く受けてしまうことがあるためである。

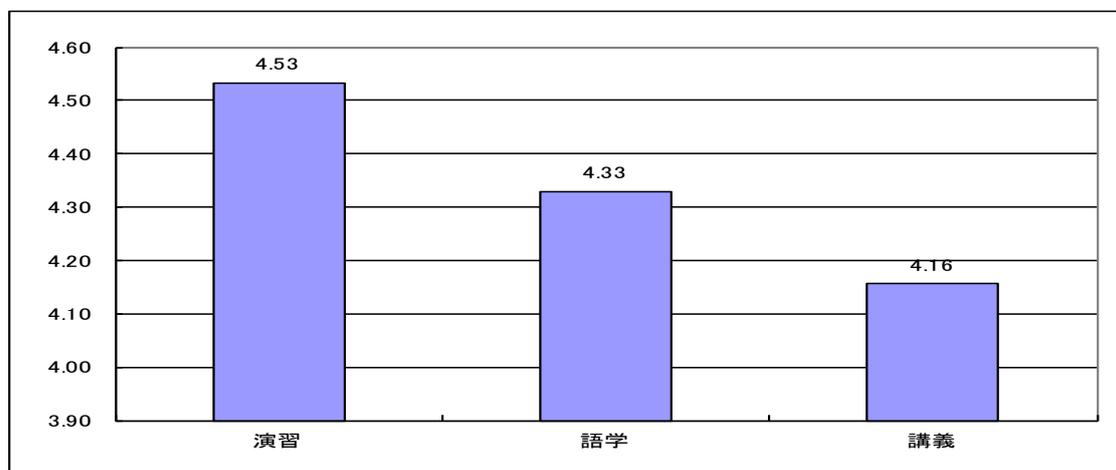
以下では、質問項目 11 の「総合的に見てこの授業は高く評価できる」という質問に対する回答結果に注目し、授業に対する満足度を「形態別」、「総履修者数ランク別」、質問項目 1 の回答による「出席率別」、「学部生の学年別」（以下、「学年別」）、という4つの視点から分析している。

### ・「形態別」による集計結果

「講義」「演習」「語学」という3種類の形態別に集計した結果が図表4である。前年度の結果と比較すると、「演習」(+0.05 ポイント)、「語学」(+0.04 ポイント)、「講義」(+0.06 ポイント) いずれも前年度とほぼ同じ数値であった。比較的少人数で教員と学生の距離が近く、学生の授業への参加度が高いと思われる「演習」に対する満足度に比べると、発表・

グループワークなど学生の授業への直接参加が少ないと思われる「講義」、初習外国語の授業を含む「語学」に対する満足度がやや低いことが分かる。

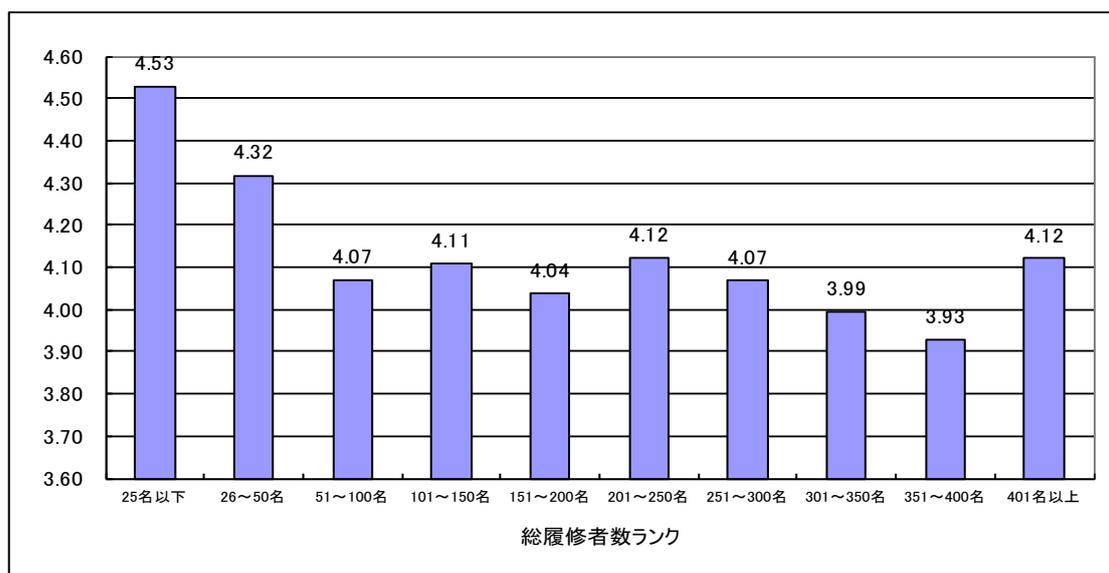
図表4 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果(科目ベース)



・「総履修者数ランク別」による集計結果

「形態別」の集計結果にも関係するが、授業の規模によって満足度に差があることも考えられる。このため、アンケート実施科目の総履修者数を10のランクに分けた上で集計した結果が図表5である。全体としては、前年度同様、総履修者数が少ない科目の方が満足度が高い傾向にあるが、履修者数が100名を超える科目についても、平均して4.00前後の数値となっており、高い満足度が示されている。

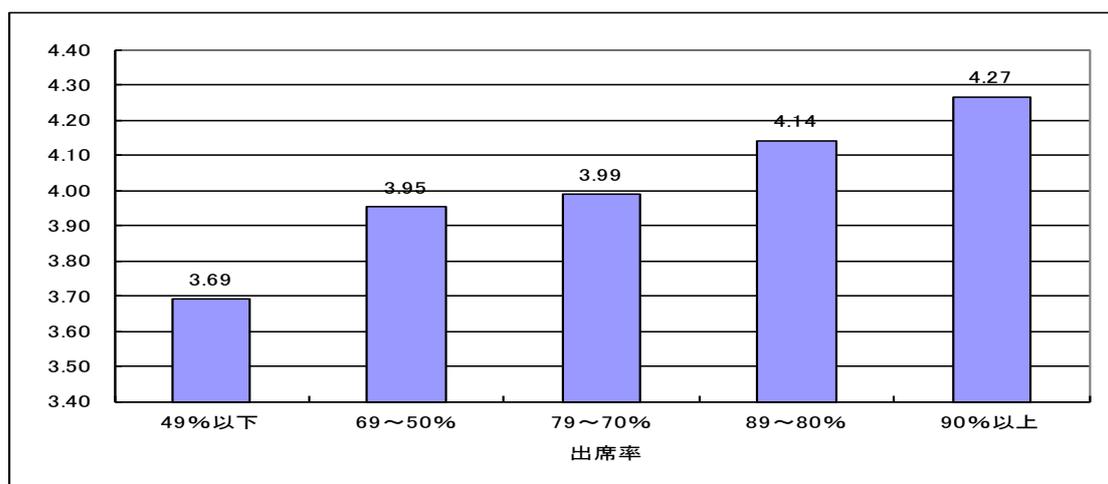
図表5 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「総履修者数ランク別」集計結果(科目ベース)



・「出席率別」による集計結果

授業への満足度は、出席率とどのような関係にあるのか。その集計結果が図表6である。前年度と比較すると、「49%以下」(+0.27ポイント)、「69~50%」(+0.22ポイント)、「79~70%」(+0.1ポイント)、「89~80%」(+0.05ポイント)、「90%以上」(+0.05ポイント)であった。「出席率が高い授業は、授業に対する満足度も高い」と言えるだろう。

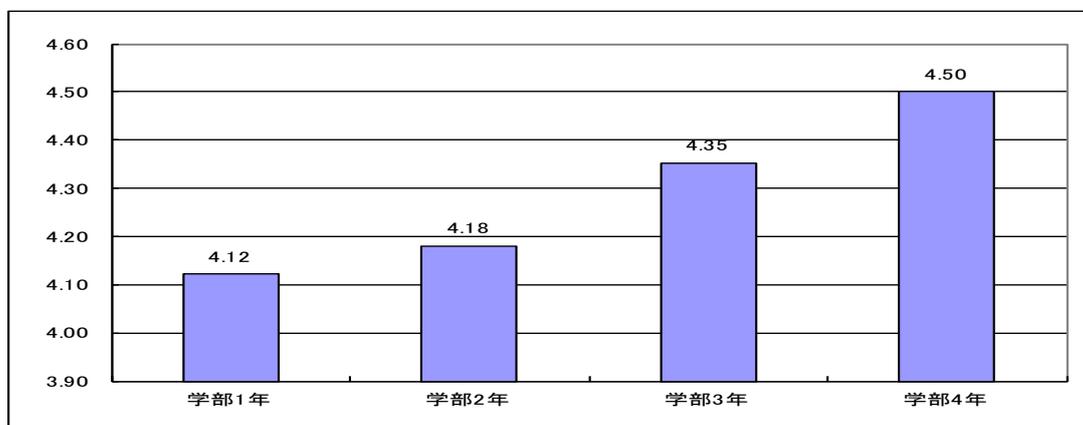
図表6 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」と「1 出席率」の集計結果(回答者ベース)



・「学年別」による集計結果

学年による満足度の差はあるのか。これを確認するために、学部生に限定して「学年別」の分析を行った結果が図表7である。前年度と比較すると、「学部1年」(+0.09ポイント)、「学部2年」(+0.01ポイント)、「学部3年」(+0.07ポイント)、「学部4年」(+0.08ポイント)となった。前年同様、学年が進むにつれて満足度が高くなっていく様子が見える。

図表7 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「学年別」集計結果(回答者ベース)



#### 4. シラバスと受講科目選択との関係性

シラバスについては、平成 27 年度より「1. 学習目標（授業の目的・ねらい）」、「2. 授業方法」、「3. 授業内容」、「4. 成績評価の方法・基準」を入力必須項目として設定し、成績評価の方法・基準を多元的に明示できるように、評価対象項目の複数選択、評価配分のパーセンテージ表記を行っている。

そのうち「3. 授業内容」について、平成 27 年度より設けた授業評価アンケートの質問項目 10「この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している」に対して、約 2 人に 1 人は合致していると評価していることから、シラバスが授業の内容等について確認・把握するための参考となっていると推測できる。

その一方で、約 3 人に 1 人の割合でシラバスを読まずに受講している学生がおり、必修科目として指定されている授業ほどその傾向が強い。シラバスは、冊子体での配付とともに、本学ホームページ上でも公開して学生に周知しているが、今後も継続して学生にシラバスを読むように促していくことが必要である。

#### 5. その他

平成 27 年度の授業評価アンケートより、「この授業のレベルは適切である」、「この授業を進める速さは適切である」及び「教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」の設問項目にそれぞれ、「難しすぎる・易すぎる」、「速すぎる・遅すぎる」及び「速すぎる・遅すぎる・その他／聞き取りにくい」をサブクエスチョンとして追加し、受講している学生の反応を正確に把握する取り組みを進めている。

## IV. 今後の授業評価、FD活動に向けて

平成 27 年度は、授業評価アンケートを実施して 10 年目に当たるが、当該年度も無事にアンケートが実施され、報告書の作成に至ったことにつき、関係各位のご尽力、ご協力に対し、ここに衷心より感謝の意を表するものである。

これまでの授業評価アンケート実施にあたり、FD推進委員会では実施主体の組織化、関係各部の協力体制づくり、さらには教員と学生に対する啓蒙活動等多くの活動に取り組んできた。こうした基礎作業を着実にやってきたため、今回の授業評価アンケートは大きな混乱もなく整然と実施することができたと言えよう。

このように、授業評価アンケートが順調に実施されている一方、FD活動全体としては、将来的な課題もまた無視することはできない。これまで、FD推進委員会の主要な活動が、授業評価アンケートの実施に傾いていたことは否めない。授業評価アンケートは、授業の基礎的な条件を満たしているかどうかを検討するには重要な資料であるが、この授業評価アンケートだけでは捉えきれない、各教員の工夫も多数あると考えられる。このため、できる限り各教員の授業での工夫を共有化するために実施している「授業への取り組み例の収集・整理」を今年度も引き続き報告書に掲載することにした。また、平成 27 年度より、「授業評価アンケート」の結果を活用した全学的な取組みとして、学生によって高く評価された授業を学内の教職員が見学・聴講する「授業見学・聴講」と、その授業を担当する教員による講演と参加者の意見交換からなる「FD研究会」を実施している。平成 28 年度からは、「授業見学・聴講」の参加対象に学生も含めることで、学生からの意見をFD活動に反映させることを試みている。

現在、授業評価は教員にも学生にも確実に定着しつつある。その真の意義は、個々の教員の努力により具体的な授業改善に結びついてはじめて理解されるものである。個人の努力を大学全体で共有化でき、より良い授業作りのための改善が継続的に行われるシステムを構築することや、授業評価アンケートの結果についての学生へのフィードバックの検討等がFD活動の次の課題である。既存の「学生による授業評価アンケート」を活用したFD活動のみならず、新たな取り組みについても検討していきたい。

## 第2章

### 各部門の分析・評価

この章では、各種集計結果に基づき行われた授業開設各部門の分析・評価の概要を掲載する。

分析に使用する主なデータとして、各質問項目に対する回答の平均・標準偏差を部門別・形態別に纏めた「基礎集計表」、「相関係数表」及び「経年変化比較表」（ともに各部門の頁末に掲載）がある。「相関係数表」は、質問項目に対する回答の方向性の強弱を見ることができるもので、相関係数の絶対値が1に近いほど強い正負の相関を示し、0に近いほど相関が弱いことを示す。また、部門別、形態別、学年別、総履修者数別に集計された「基礎データクロス表」（第4章に掲載）がある。

なお、本文中、各質問項目を Q1、Q2、…、Q29 として引用する（第1章 アンケート票参照）。

※例えば、「語学」科目であるにもかかわらず、「スポ健」科目に対する項目について回答されたといった、指定項目以外の回答については無効とし、それらを除外して集計している。

## 「授業評価アンケート」結果の経年比較（全学的な傾向について）

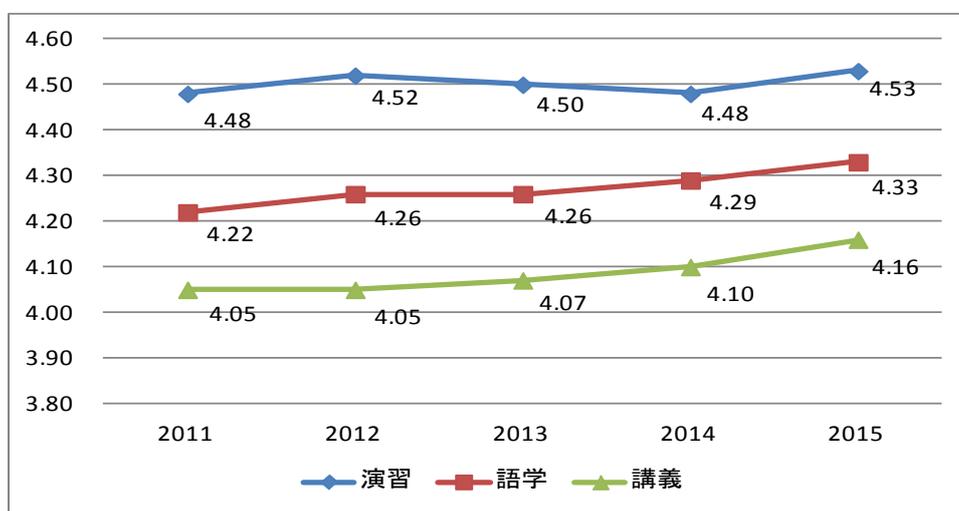
授業評価アンケートについて、科目ベースの部門別・形態別に「経年変化比較表」を作成し、過去5年間の数値の変化を確認した。

全学的な傾向として、「Q1 私はこの授業によく出席している」については、部門・形態によって多少の差はあるものの、昨年を引き続き全体的に高い数値を示している。「Q2 私は授業に意欲的に取り組んでいる」、「Q5 授業に対する教員の熱意が感じられる」、「Q9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」については、いずれも高い数値で推移しており、学生と教員との信頼関係が良好な状態であり、学生の主体的な学びが確立されていることが推定できる。

図表4-2「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果（科目ベース）からは、「演習」、「語学」、「講義」とも高い数値を保持しており、3つの形態の中で数値が低い傾向にある「講義」においても、平成26年度（2014年度）から0.06ポイント数値が上昇していることが分かる。

今後さらに学生満足度を高めていくためには、FD活動の抜本的な改善策の検討や、これまでと違う視点・角度から授業改善を検討していくことが必要になるであろう。

図表4-2 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果（科目ベース）  
（過去5年）



【部門別・形態別比較】(対象期間：平成29年度～平成27年度)

※比較対象範囲は、「全員回答」である調査番号1～11とする。

	平成23(2011)年度						平成24(2012)年度						平成25(2013)年度						平成26(2014)年度						平成27(2015)年度							
	実施率	回答率	回答者へス			科目へス			実施率	回答率	回答者へス			科目へス			実施率	回答率	回答者へス			科目へス			実施率	回答率	回答者へス			科目へス		
			平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差			平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差			平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差			平均点	標準偏差	平均点	標準偏差		
計七	100.00%	73.71%	3.74	1.117	3.80	0.550	3.81	0.536	98.91%	75.14%	3.86	1.075	3.88	0.485	76.78%	3.85	1.056	3.86	0.473	97.62%	76.40%	3.96	1.088	3.97	0.539							
外七	98.97%	78.40%	4.18	0.909	4.20	0.457	4.23	0.403	100.00%	78.32%	4.22	0.879	4.23	0.401	78.68%	4.24	0.881	4.26	0.408	100.00%	79.79%	4.30	0.842	4.31	0.387							
入不備	100.00%	71.38%	4.50	0.766	4.55	0.345	4.57	0.311	100.00%	75.83%	4.55	0.722	4.59	0.311	76.52%	4.52	0.737	4.55	0.319	98.97%	77.07%	4.56	0.727	4.60	0.311							
基礎科兼	100.00%	44.72%	4.06	0.930	4.09	0.405	4.10	0.397	100.00%	48.84%	4.12	0.912	4.13	0.411	50.14%	4.09	0.908	4.12	0.422	97.85%	55.13%	4.23	0.887	4.23	0.387							
深習	100.00%	54.65%	3.78	1.059	3.78	-	3.89	1.012	100.00%	42.19%	3.89	1.012	3.89	-	57.41%	4.01	0.982	4.01	-	100.00%	47.62%	4.19	0.876	4.19	-							
計	100.00%	44.79%	4.06	0.931	4.09	0.407	4.10	0.397	100.00%	48.80%	4.11	0.912	4.13	0.410	50.17%	4.09	0.909	4.11	0.420	97.87%	55.09%	4.23	0.887	4.22	0.386							
法学部	99.33%	31.31%	3.94	1.019	3.98	0.482	4.03	0.413	99.28%	31.17%	3.96	1.002	4.04	0.482	35.54%	3.98	0.989	4.05	0.498	100.00%	38.20%	4.03	0.982	4.09	0.399							
深習	100.00%	71.08%	4.38	0.852	4.50	0.469	4.50	0.379	100.00%	71.32%	4.48	0.757	4.51	0.352	75.27%	4.38	0.839	4.45	0.385	98.06%	80.06%	4.43	0.851	4.53	0.380							
計	99.86%	34.21%	4.01	1.008	4.19	0.524	4.23	0.480	99.58%	34.44%	4.05	0.985	4.24	0.473	38.82%	4.04	0.979	4.20	0.480	99.21%	39.70%	4.09	0.956	4.27	0.440							
経済学部	96.73%	32.99%	3.96	1.049	4.12	0.505	4.09	0.488	99.26%	30.88%	3.97	1.036	4.02	0.485	33.52%	3.97	1.030	4.06	0.489	97.95%	34.57%	4.07	0.996	4.15	0.482							
深習	98.52%	81.4%	4.56	0.708	4.56	0.382	4.57	0.358	98.38%	82.77%	4.57	0.694	4.56	0.380	86.46%	4.56	0.710	4.55	0.389	97.12%	87.19%	4.60	0.686	4.60	0.380							
計	96.64%	36.75%	4.06	1.024	4.31	0.489	4.29	0.488	97.96%	34.34%	4.07	1.012	4.26	0.509	37.35%	4.07	1.007	4.27	0.503	97.60%	38.23%	4.15	0.973	4.34	0.478							
文学部	98.26%	60.80%	4.08	0.925	4.15	0.413	4.15	0.450	99.45%	62.44%	4.09	0.932	4.19	0.427	65.06%	4.14	0.911	4.21	0.481	97.30%	67.36%	4.19	0.872	4.25	0.410							
深習	98.48%	77.88%	4.34	0.814	4.37	0.378	4.40	0.388	98.80%	76.45%	4.38	0.800	4.38	0.379	76.37%	4.38	0.796	4.39	0.384	96.73%	79.14%	4.43	0.757	4.46	0.349							
計	98.38%	67.32%	4.20	0.887	4.29	0.402	4.29	0.415	99.03%	67.97%	4.21	0.886	4.31	0.407	69.76%	4.24	0.888	4.32	0.398	96.94%	72.23%	4.30	0.830	4.38	0.387							
理学部	97.81%	54.53%	3.82	1.080	3.89	0.547	3.91	0.556	100.00%	59.12%	3.93	1.049	3.94	0.517	56.91%	3.98	1.017	4.02	0.482	96.21%	56.53%	4.04	0.993	4.04	0.481							
深習	97.62%	64.75%	4.02	1.002	3.98	0.470	4.05	0.452	97.87%	72.82%	4.24	0.919	4.20	0.455	79.53%	4.16	0.966	4.10	0.512	95.56%	70.82%	4.30	0.855	4.25	0.373							
計	97.77%	56.70%	3.87	1.065	3.91	0.531	3.96	0.540	99.43%	62.21%	4.01	1.025	4.01	0.513	59.73%	4.03	1.007	4.04	0.490	96.05%	60.12%	4.11	0.985	4.09	0.465							
教職課程	100.00%	65.88%	4.13	0.913	4.19	0.380	4.21	0.349	100.00%	62.55%	4.16	0.924	4.27	0.406	69.31%	4.10	0.934	4.22	0.410	100.00%	70.32%	4.12	0.915	4.19	0.351							
深習	100.00%	80.56%	4.42	0.821	4.44	0.349	4.51	0.309	98.15%	84.09%	4.40	0.846	4.42	0.346	100.00%	84.26%	4.31	0.919	4.43	0.375	100.00%	79.07%	4.30	0.881	4.38	0.395						
計	100.00%	72.91%	4.28	0.877	4.35	0.382	4.40	0.354	98.88%	73.58%	4.30	0.888	4.36	0.378	76.30%	4.21	0.932	4.34	0.404	100.00%	74.67%	4.22	0.897	4.30	0.389							
学芸員	100.00%	70.31%	4.15	0.906	4.17	0.416	4.12	0.341	100.00%	74.21%	4.18	0.828	4.21	0.306	100.00%	77.60%	4.20	0.815	4.21	0.290	100.00%	80.02%	4.25	0.757	4.25	0.270						
深習	100.00%	82.76%	4.59	0.679	4.57	0.355	4.62	0.277	100.00%	84.25%	4.71	0.585	4.69	0.309	100.00%	83.04%	4.67	0.604	4.67	0.283	100.00%	79.10%	4.57	0.639	4.57	0.290						
計	100.00%	72.47%	4.24	0.883	4.38	0.431	4.30	0.395	100.00%	78.18%	4.25	0.818	4.39	0.382	100.00%	78.50%	4.28	0.803	4.41	0.380	100.00%	79.86%	4.27	0.754	4.34	0.308						
合計	98.66%	51.82%	4.09	0.976	4.21	0.482	4.24	0.464	99.32%	52.71%	4.13	0.952	4.24	0.457	54.51%	4.13	0.942	4.25	0.449	98.23%	56.09%	4.21	0.911	4.30	0.430							

# I. 法 学 部

## 1. 集計データから分かること

法学部の平成 27 (2015) 年度のアンケート結果には、過去 4 年間の傾向から大きな変化は見られなかった。総合的な満足度 (Q11) の平均値は、講義科目が 4.05 / 4.14 (スラッシュの前後はそれぞれ、学生回答単純平均、部門別形態別平均。以下同じ)、演習科目が 4.47 / 4.61 であり、平成 26 (2014) 年度ないしそれ以前と比べて、ほとんど変化がない。個別の項目についても、授業のレベルの適切さ (Q3-1) の平均値は講義科目が 3.90 / 3.92、演習科目が 4.20 / 4.31、授業の進度の適切さ (Q4-1) の平均値は講義科目が 3.97 / 4.03、演習科目が 4.31 / 4.43、教員の熱意 (Q5) の平均値は講義科目が 4.25 / 4.31、演習科目が 4.56 / 4.65、理解しやすさ (Q7) の平均値は講義科目が 3.99 / 4.05、演習科目が 4.42 / 4.56、そして教員の話し方の適切さ (Q8-1) の平均値は講義科目が 4.01 / 4.08、演習科目が 4.45 / 4.59 であり、過去数年と大きくは変わらない。いずれも標準偏差の大きさを考えれば、過去の値との違いは誤差の範囲内であるが、講義科目について僅かではあるが増加傾向にある項目が少なくなく、教員の努力の表れであれば望ましい傾向である。

平成 27 年度から授業レベルの適切さ (Q3-1)、授業進度の適切さ (Q4-1)、教員の話し方の適切さ (Q8-1) に対する不満の理由も調査対象となっている。いずれの項目も不満のパーセンテージは低い。前 2 者については、学生の学力や理解力が様々であるので、学生に不満が生じるのはある程度までは避けがたい。平成 28 (2016) 年度からナンバリングの導入によって授業レベルの表示がなされるようになれば、教員と学生の授業レベルに関する認識のギャップは多少解消されるかもしれない。教員の話し方に関する不満の理由として聞き取りにくさ等が多い点については、教員の努力によって解消できるところが少なくないだろう。

「どちらともいえない (3)」という回答が肯定的評価と否定的評価の中間値を示し、これを平均値が大きく上回るほど肯定的な評価が多かったと考えるならば、すべての項目で平均値が安定的に 3 を大きく上回っていることは評価できるであろう。また、全体的な傾向として演習科目の方がおしなべて評価が高いことは、演習形態 (かつ、法学部の場合は講義との比較においてかなり少人数の授業) の方が、教員が授業の質を高めやすいだけでなく、学生の満足度が増す可能性があることを示唆している。法学部の多くの講義形態の授業では出欠を取らないことや、総履修者数に対するアンケート回答率 (講義 36.20%、演習 80.06%) の差を考えれば、そもそも講義形態の授業のアンケート結果には履修者全体平均より意欲的で授業を肯定的に評価している学生が過剰代表されている可能性が高いので、演習と講義に対する評価の差は実際にはさらに大きいと考えられる。法学部では演習への参加が義務化されていないため、演習を履修する者としらない者との間で授業をめぐる満足度に大きな差が生じている可能性がある。

次に、質問項目相互間の相関関係から読み取れることを考察する。一目瞭然なのは、講義科目、演習科目ともに、学生が授業によく出席していること（Q1）やシラバスが受講に役立つこと（Q10）が、およそすべての質問項目と非常に低い相関しかもたないことである。ただし、前者（Q1）については、講義科目の場合、よく出席している学生しかそもそもアンケートに答えていないという選択バイアスが推測されるし、出席が重視される演習には多くの学生がよく出席しているであろうから回答者のなかでバラツキが少ないことも推測される。シラバスについては、最初の授業選択においてはある程度参考になったとしても、その後履修を継続するか、授業をどう受け止めるかにはあまり影響していない様子が見える。

それ以外では、授業レベル（Q3-1）、授業を進める速さ（Q4-1）、教員の熱意（Q5）、教室内環境（Q6）、授業の理解しやすさ（Q7）、教員の話し方（Q8-1）、知的好奇心への刺激（Q9）などが相互に、また総合的評価（Q11）とも一貫して高い相関を見せている。質問間の繋がりを考えればこれはある意味当然のことであるが、学生が授業に意欲的に取り組んでいること（Q2）とその他の質問項目の相関が比較的弱い点は興味深い。質問項目は意欲的態度が予習や復習を含むものであることを示唆しており、データは多くの学生が必ずしも予習・復習を要求されるような重厚な授業内容を高く評価していないことも想像させる。（こういった点は、現行の授業アンケートに基づいて授業の質を多面的に評価することの限界を示すものであろう。）

なお、講義における板書やスライド（Q12）、教材（Q13）の適切さは、他の質問項目との相関において必ずしも一貫した高い数値を見せていないが、総合評価（Q11）とは高い相関がある。授業速度など様々な授業中の条件が不利に働いている学生も、こうした視覚的補助や活字媒体と組み合わせることで授業をよりよく理解している様子が想像される。

## 2. 今後の授業改善に向けて

学生の満足度を高めていくためには、授業の手法として、理解しやすさ、適切なレベル・進度・話し方などを改善していくことが重要であり、学生が理解する上で補助となる板書・スライド・教材も軽視できないことは当然だが、知的好奇心を刺激されることが授業への高い総合評価に繋がっているという授業の内容面に関するデータも、教員は今後の取り組みにおいて重視すべきであろう。

また、演習の方が学生の満足度が高いという一般的なパターンから考えれば、演習を履修したいと思う学生がみな履修できる仕組みになっているか、学生が求めるような演習が十分に提供されているかなど、検証する必要もありそうである。同時に、演習が充実した学習経験に繋がる貴重な場であることをより多くの学生に伝え、積極的な履修を促す工夫も必要ではないかと思われる。

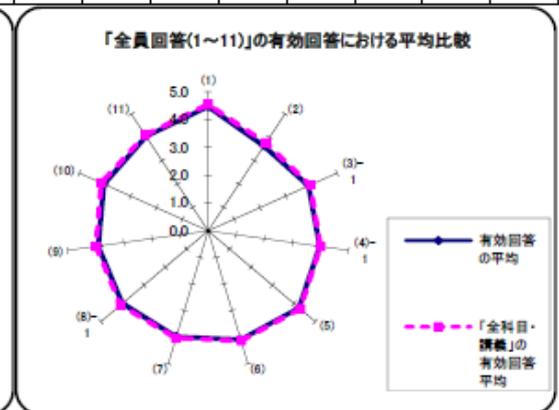
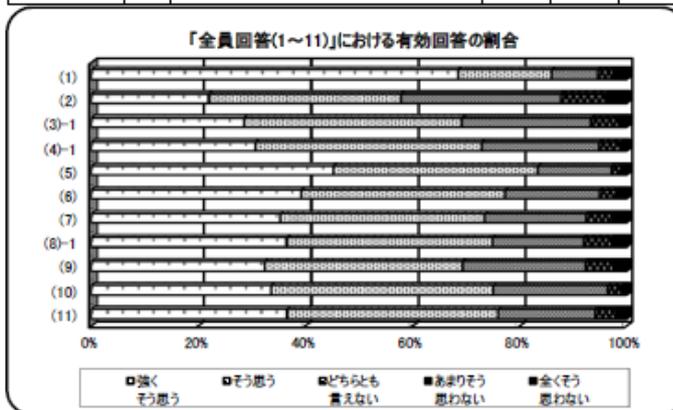
学習院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 法学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	9,295	25,679	36.20%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					無回答	計	科目ベース			
			5	4	3	2	1			学生回答 単回集計 平均	学生回答 単回集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 書えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	6,353	1,818	795	278	225	28	9,295	4.47	0.944	4.42	0.307
			68.35%	17.39%	8.55%	2.99%	2.42%	0.30%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	2,029	3,316	2,782	772	357	59	9,295	3.84	1.034	3.89	0.358
			21.83%	35.88%	29.71%	8.31%	3.84%	0.83%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	2,601	3,712	2,199	470	138	177	9,295	3.90	0.925	3.92	0.360
			27.98%	39.94%	23.88%	5.08%	1.48%	1.90%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	488	81	-	-	-	39	606	-	-	-	-
			80.20%	13.37%	-	-	-	6.44%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	2,820	3,881	2,006	371	103	114	9,295	3.97	0.888	4.03	0.328
			30.34%	41.75%	21.58%	3.99%	1.11%	1.23%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	297	130	-	-	-	47	474	-	-	-	-
		62.68%	27.43%	-	-	-	9.92%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4,189	3,531	1,278	180	95	44	9,295	4.25	0.831	4.31	0.304	
		45.07%	37.99%	13.73%	1.72%	1.02%	0.47%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	3,606	3,505	1,818	304	183	99	9,295	4.10	0.922	4.20	0.318	
		38.80%	37.71%	17.41%	3.27%	1.75%	1.07%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	3,283	3,525	1,752	482	228	65	9,295	3.99	0.983	4.05	0.428	
		35.10%	37.92%	18.85%	4.97%	2.45%	0.70%	100.00%					
(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	3,350	3,521	1,574	497	237	116	9,295	4.01	0.993	4.08	0.448	
		36.04%	37.88%	16.93%	5.35%	2.55%	1.25%	100.00%					
(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	239	30	401	-	-	64	734	-	-	-	-	
		32.58%	4.09%	54.83%	-	-	8.72%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	2,979	3,414	2,115	480	223	84	9,295	3.92	0.986	4.03	0.369	
		32.05%	36.73%	22.75%	5.18%	2.40%	0.90%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを讀まなかった人 ⇒ 29.70%)	1,993	2,457	1,275	154	55	600	9,295	4.04	0.858	4.09	0.288	
		21.44%	26.43%	13.72%	1.68%	0.59%	6.48%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3,371	3,630	1,888	380	187	79	9,295	4.05	0.934	4.14	0.364	
		36.27%	39.05%	17.95%	4.09%	1.80%	0.85%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	2,722	3,134	1,922	611	256	650	9,295	3.88	1.033	3.93	0.429
			29.28%	33.72%	20.68%	6.57%	2.75%	6.99%	100.00%				
(13)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	2,984	3,338	1,770	384	178	681	9,295	3.99	0.951	4.08	0.358	
		31.89%	35.91%	19.04%	3.92%	1.92%	7.33%	100.00%					



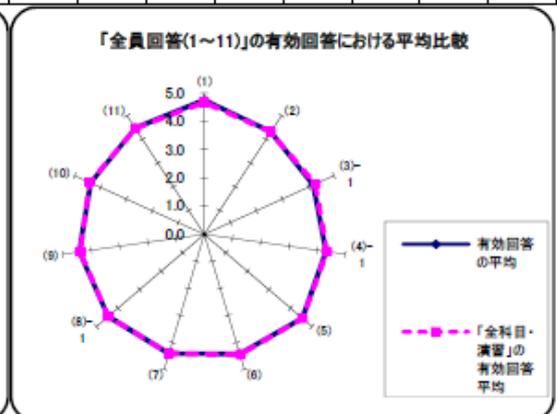
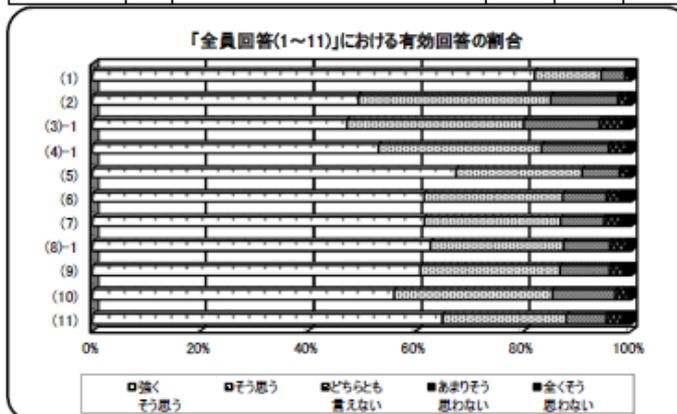
学 習 院 大 学 平 成 27 ( 2 0 1 5 ) 年 度 授 業 評 価 アンケート 集 計 結 果

部門名 法学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,787	2,232	80.06%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					計	学生回答 集計平均	学生回答 集計標準偏差	科目ベース		
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				無回答	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	1,465	219	78	18	6	3	1,787	4.75	0.608	4.70	0.281
			81.98%	12.26%	4.36%	0.90%	0.34%	0.17%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	879	633	224	31	12	8	1,787	4.31	0.808	4.37	0.288
			49.19%	35.42%	12.53%	1.73%	0.67%	0.45%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	833	579	248	81	24	22	1,787	4.20	0.938	4.31	0.411
			46.61%	32.40%	13.88%	4.53%	1.34%	1.23%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	92	7	-	-	-	6	105	-	-	-	-
			87.62%	6.67%	-	-	-	5.71%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	938	535	220	60	14	20	1,787	4.31	0.874	4.43	0.358
			52.49%	29.94%	12.31%	3.36%	0.78%	1.12%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	30	36	-	-	-	8	74	-	-	-	-
40.54%			48.65%	-	-	-	10.81%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	1,201	417	125	26	11	7	1,787	4.56	0.741	4.65	0.297	
		67.21%	23.34%	6.99%	1.45%	0.62%	0.39%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	1,091	459	143	46	36	12	1,787	4.42	0.897	4.57	0.355	
		61.05%	25.69%	8.00%	2.57%	2.01%	0.67%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	1,092	451	142	58	32	12	1,787	4.42	0.903	4.56	0.370	
		61.11%	25.24%	7.95%	3.25%	1.79%	0.67%	100.00%					
(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	1,109	438	151	53	17	19	1,787	4.45	0.845	4.59	0.355	
		62.06%	24.51%	8.45%	2.97%	0.95%	1.06%	100.00%					
(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	13	2	53	-	-	2	70	-	-	-	-	
		18.57%	2.86%	75.71%	-	-	2.86%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	1,077	481	163	45	26	15	1,787	4.42	0.870	4.56	0.333	
		60.27%	25.80%	9.12%	2.52%	1.45%	0.84%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 23.89%)	687	382	144	28	8	131	1,787	4.38	0.827	4.46	0.343	
		38.44%	20.28%	8.06%	1.57%	0.45%	7.33%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,154	411	130	54	29	9	1,787	4.47	0.879	4.61	0.359	
		64.58%	23.00%	7.27%	3.02%	1.62%	0.50%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	994	425	141	44	20	163	1,787	4.43	0.854	4.54	0.357
			55.62%	23.78%	7.89%	2.46%	1.12%	9.12%	100.00%				
(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	922	458	172	31	33	171	1,787	4.36	0.897	4.49	0.373	
		51.59%	25.63%	9.63%	1.73%	1.85%	9.57%	100.00%					



相関係数表 部門名 法学部  
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1													
Q2	.384(**)												
Q3	.157(**)	<b>.494(**)</b>											
Q4	.121(**)	<b>.431(**)</b>	<b>.684(**)</b>	1									
Q5	.134(**)	.397(**)	<b>.498(**)</b>	<b>.539(**)</b>	1								
Q6	.121(**)	.391(**)	<b>.478(**)</b>	<b>.525(**)</b>	<b>.679(**)</b>	1							
Q7	.100(**)	<b>.443(**)</b>	<b>.636(**)</b>	<b>.642(**)</b>	<b>.656(**)</b>	<b>.668(**)</b>	1						
Q8	.081(**)	.386(**)	<b>.541(**)</b>	<b>.634(**)</b>	<b>.585(**)</b>	<b>.580(**)</b>	<b>.728(**)</b>	1					
Q9	.150(**)	<b>.503(**)</b>	<b>.574(**)</b>	<b>.548(**)</b>	<b>.583(**)</b>	<b>.551(**)</b>	<b>.660(**)</b>	<b>.573(**)</b>	1				
Q10	.076(**)	.261(**)	.237(**)	.235(**)	.202(**)	.226(**)	.239(**)	.211(**)	.274(**)	1			
Q11	.129(**)	<b>.478(**)</b>	<b>.632(**)</b>	<b>.628(**)</b>	<b>.682(**)</b>	<b>.658(**)</b>	<b>.780(**)</b>	<b>.675(**)</b>	<b>.732(**)</b>	.271(**)	1		
Q12	.102(**)	<b>.402(**)</b>	<b>.514(**)</b>	<b>.556(**)</b>	<b>.525(**)</b>	<b>.527(**)</b>	<b>.630(**)</b>	<b>.560(**)</b>	<b>.546(**)</b>	.240(**)	<b>.634(**)</b>	1	
Q13	.108(**)	.390(**)	<b>.544(**)</b>	<b>.553(**)</b>	<b>.545(**)</b>	<b>.526(**)</b>	<b>.625(**)</b>	<b>.537(**)</b>	<b>.548(**)</b>	.247(**)	<b>.639(**)</b>	<b>.723(**)</b>	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 法学部  
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1													
Q2	.256(**)												
Q3	.110(**)	<b>.511(**)</b>											
Q4	.047(*)	<b>.446(**)</b>	<b>.656(**)</b>	1									
Q5	.047(*)	<b>.482(**)</b>	<b>.522(**)</b>	<b>.617(**)</b>	1								
Q6	.016	<b>.440(**)</b>	<b>.511(**)</b>	<b>.652(**)</b>	<b>.752(**)</b>	1							
Q7	-0.004	<b>.443(**)</b>	<b>.615(**)</b>	<b>.701(**)</b>	<b>.735(**)</b>	<b>.813(**)</b>	1						
Q8	.001	<b>.425(**)</b>	<b>.535(**)</b>	<b>.646(**)</b>	<b>.678(**)</b>	<b>.719(**)</b>	<b>.763(**)</b>	1					
Q9	.014	<b>.492(**)</b>	<b>.544(**)</b>	<b>.591(**)</b>	<b>.650(**)</b>	<b>.684(**)</b>	<b>.731(**)</b>	<b>.646(**)</b>	1				
Q10	.028	.188(**)	.227(**)	.237(**)	.225(**)	.253(**)	.261(**)	.217(**)	.299(**)	1			
Q11	.016	<b>.482(**)</b>	<b>.613(**)</b>	<b>.683(**)</b>	<b>.736(**)</b>	<b>.773(**)</b>	<b>.831(**)</b>	<b>.725(**)</b>	<b>.786(**)</b>	.274(**)	1		
Q14	.004	.393(**)	<b>.476(**)</b>	<b>.562(**)</b>	<b>.645(**)</b>	<b>.694(**)</b>	<b>.686(**)</b>	<b>.610(**)</b>	<b>.617(**)</b>	.233(**)	<b>.694(**)</b>	1	
Q15	-0.005	<b>.410(**)</b>	<b>.505(**)</b>	<b>.584(**)</b>	<b>.650(**)</b>	<b>.690(**)</b>	<b>.727(**)</b>	<b>.652(**)</b>	<b>.644(**)</b>	.243(**)	<b>.714(**)</b>	<b>.741(**)</b>	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は (⑤90%以上、④80%以上、③70%、②450%以上、①50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルは適切である
- Q 4 この授業を進める速さは適切である
- Q 5 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 6 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方 (スピード、聞き取りやすさ) は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している  
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材 (教科書、配布資料等) の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

学習院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 法学部  
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2014年度				2013年度				2012年度				2011年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.47	0.944	4.42	0.307	4.45	0.941	4.41	0.303	4.46	0.945	4.43	0.298	4.41	0.998	4.38	0.284	4.54	0.893	4.51	0.278
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.64	1.034	3.69	0.358	3.62	1.005	3.68	0.405	3.61	1.004	3.67	0.386	3.52	1.032	3.64	0.370	3.56	1.035	3.61	0.451
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	3.90	0.925	3.92	0.360	3.89	0.952	3.93	0.408	3.87	0.969	3.91	0.441	3.82	0.956	3.90	0.344	3.83	0.986	3.82	0.444
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	3.97	0.888	4.03	0.328	3.91	0.963	3.98	0.391	3.89	0.987	3.98	0.417	3.82	1.009	3.94	0.364	3.84	1.010	3.89	0.451
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.25	0.831	4.31	0.304	4.14	0.892	4.23	0.366	4.14	0.899	4.22	0.366	4.16	0.891	4.24	0.336	4.14	0.899	4.19	0.397
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.10	0.922	4.20	0.318	4.04	0.953	4.17	0.366	4.03	0.956	4.15	0.367	4.00	0.972	4.15	0.371	4.00	0.973	4.11	0.390
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	3.99	0.983	4.05	0.428	3.93	1.025	4.03	0.488	3.92	1.042	4.00	0.500	3.89	1.015	4.02	0.428	3.89	1.056	3.91	0.537
	(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.01	0.993	4.08	0.448	3.94	1.019	4.05	0.449	3.92	1.049	4.03	0.465	3.90	1.040	4.02	0.443	3.86	1.076	3.91	0.518
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3.92	0.986	4.03	0.369	3.93	1.005	4.06	0.415	3.93	0.993	4.04	0.399	3.94	0.990	4.07	0.352	3.90	1.007	3.95	0.429
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.04	0.858	4.09	0.286	3.82	0.963	3.91	0.343	3.75	0.993	3.83	0.388	3.77	0.966	3.86	0.310	3.73	0.995	3.77	0.379
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.05	0.934	4.14	0.364	4.02	0.934	4.11	0.429	3.99	0.944	4.08	0.444	3.97	0.926	4.08	0.372	3.99	0.953	4.01	0.476
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.86	1.033	3.93	0.429	3.80	1.060	3.91	0.463	3.75	1.115	3.88	0.510	3.66	1.112	3.79	0.436	3.70	1.135	3.76	0.558
	(13)	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	3.99	0.951	4.06	0.358	3.93	0.994	4.04	0.394	3.92	1.007	4.03	0.406	3.87	1.003	4.01	0.385	3.91	1.000	3.98	0.415

部門名 法学部  
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2014年度				2013年度				2012年度				2011年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.75	0.608	4.70	0.281	4.73	0.609	4.71	0.236	4.70	0.646	4.65	0.306	4.70	0.653	4.67	0.288	4.76	0.592	4.73	0.216
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.31	0.808	4.37	0.288	4.21	0.840	4.30	0.349	4.31	0.811	4.35	0.343	4.31	0.774	4.35	0.299	4.21	0.845	4.33	0.382
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	4.20	0.938	4.31	0.411	4.19	0.898	4.25	0.421	4.30	0.823	4.34	0.346	4.35	0.788	4.36	0.358	4.18	0.929	4.31	0.426
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.31	0.874	4.43	0.358	4.30	0.843	4.36	0.380	4.42	0.770	4.46	0.344	4.41	0.765	4.42	0.349	4.30	0.866	4.42	0.400
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.56	0.741	4.65	0.297	4.45	0.790	4.52	0.331	4.57	0.668	4.60	0.286	4.55	0.702	4.57	0.346	4.46	0.807	4.60	0.365
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.42	0.897	4.57	0.355	4.39	0.811	4.49	0.327	4.51	0.714	4.55	0.298	4.51	0.723	4.55	0.318	4.38	0.880	4.51	0.398
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.42	0.903	4.56	0.370	4.38	0.860	4.47	0.410	4.51	0.751	4.56	0.351	4.51	0.740	4.55	0.381	4.40	0.847	4.54	0.383
	(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.45	0.845	4.59	0.355	4.44	0.817	4.52	0.369	4.56	0.695	4.60	0.289	4.50	0.759	4.54	0.381	4.42	0.816	4.55	0.383
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.42	0.870	4.56	0.333	4.39	0.858	4.50	0.380	4.53	0.744	4.60	0.350	4.53	0.735	4.57	0.356	4.40	0.858	4.56	0.382
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.38	0.827	4.46	0.343	4.20	0.928	4.26	0.398	4.25	0.903	4.27	0.376	4.29	0.868	4.27	0.489	4.17	0.947	4.22	0.465
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.47	0.879	4.61	0.359	4.43	0.821	4.53	0.376	4.57	0.685	4.61	0.295	4.56	0.696	4.58	0.352	4.45	0.807	4.59	0.375
「演習」 「語学」 のみ	(12)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.43	0.854	4.54	0.357	4.42	0.802	4.50	0.333	4.51	0.770	4.52	0.408	4.46	0.829	4.53	0.387	4.38	0.860	4.47	0.423
	(13)	教員は参加者が課題に取り組みの助けを くれた	4.36	0.897	4.49	0.373	4.34	0.887	4.44	0.401	4.46	0.796	4.48	0.388	4.44	0.810	4.48	0.371	4.34	0.863	4.44	0.420

## Ⅱ. 経済学部

### 1. 集計データから分かること

#### A. 講義

経済学部の講義に関する授業評価アンケートの過去5年間の経年変化を、次の表を用いて検討してみよう。なお、この表の各セルで示されている値は各年度の質問項目に関する「(回答者ベースの) 平均値」であり、「回答者ベース」とは学生回答者の単純集計である。また、Q1以外の質問に関する評価は「5:強くそう思う、4:そう思う、3:どちらとも言えない、2:あまりそう思わない、1:全くそう思わない」である。

＜経済学部（講義）授業評価アンケートの平均値（回答者ベース）＞							
回答対象	番号	質問内容	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度
「全員」 回答	Q1	私のこの授業への出席率は、5:90%以上、4:80%以上、3:70%以上、2:50%以上、1:50%未満	4.47	4.43	4.47	4.46	4.45
	Q2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	3.74	3.63	3.64	3.65	3.65
	Q3	この授業のレベルは適切である	3.89	3.84	3.83	3.85	3.82
	Q4	この授業を進める速さは適切である	3.96	3.88	3.86	3.88	3.84
	Q5	教員は熱意を持って授業を行っている	4.29	4.16	4.16	4.17	4.17
	Q6	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.15	4.06	4.04	4.04	4.00
	Q7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.02	3.94	3.93	3.96	3.92
	Q8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.11	4.02	4.02	4.04	3.97
	Q9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.89	3.86	3.83	3.86	3.88
	Q10	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	4.21	3.84	3.84	3.85	3.82
	Q11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.08	3.99	3.98	4.01	3.99
「講義」 「語学」 のみ	Q12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.09	3.97	3.95	3.96	3.89
	Q13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.09	3.98	3.99	4.00	3.96
「経済」 のみ	Q20	私は授業に遅刻したことがない	3.69	3.55	3.66	3.58	3.62

この表から読み取れる特徴として以下の点を指摘することができる。

- 1) 全ての質問項目に関して、平成 27 (2015) 年度の「平均値」は過去5年間で最高の値になっている。

- 2) 講義の総合的な評価を問う Q11 の平成 27 年度「平均値」は平成 26 (2014) 年度以前の 4 年間の「平均値」の単純平均よりも 0.09 上昇しており、全体として授業に対する評価が高まっている。
- 3) 平成 27 年度の「平均値」が平成 26 年度以前の 4 年間の「平均値」の単純平均よりも 0.1 以上上昇している質問項目は、Q5、Q6、Q8、Q10、Q12、Q13 と 6 項目である。中でも、シラバスと授業内容が合致しているかを問う Q10 に関しては、平成 27 年度の「平均値」が過去 4 年間の「平均値」の単純平均と比較して、0.37 と大幅に上昇している。

次に、相関係数を用いて質問項目間の「平均値」がどのように相関しているかを、次の表を用いて検討しよう。

＜相関係数（講義）2015年度＞														
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q20
Q1	1													
Q2	0.43	1												
Q3	0.16	0.49	1											
Q4	0.13	0.42	0.75	1										
Q5	0.17	0.40	0.53	0.53	1									
Q6	0.14	0.40	0.54	0.57	0.70	1								
Q7	0.10	0.43	0.68	0.69	0.68	0.71	1							
Q8	0.12	0.39	0.60	0.66	0.64	0.66	0.79	1						
Q9	0.15	0.50	0.63	0.59	0.58	0.58	0.66	0.60	1					
Q10	0.08	0.28	0.31	0.30	0.27	0.29	0.31	0.29	0.35	1				
Q11	0.15	0.48	0.70	0.68	0.70	0.70	0.81	0.74	0.74	0.34	1			
Q12	0.12	0.39	0.56	0.57	0.59	0.59	0.69	0.64	0.57	0.29	0.69	1		
Q13	0.13	0.40	0.59	0.58	0.61	0.60	0.69	0.63	0.59	0.31	0.71	0.80	1	
Q20	0.42	0.35	0.17	0.12	0.14	0.12	0.12	0.12	0.13	0.11	0.15	0.12	0.14	1

この表の各セルで示されている値は各年度の対応する質問に関する「(回答者ベースの)平均値」の相関係数である。そして、この表から読み取れる「平均値」の相関係数の高い(0.75 以上)の質問項目の組は以下のとおりである。

- 1) Q3 (授業レベルの適切さ) と Q4 (速さの適切さ)
- 2) Q7 (理解しやすさ) と Q8 (話し方の適切さ)
- 3) Q7 (理解しやすさ) と Q11 (総合評価)
- 4) Q12 (板書) と Q13 (教材内容の適切さ)

これらの相関関係の大きい質問項目の組に関しては、平成 26 (2014) 年度の結果とほぼ同様の結果が得られている。

## B. 演習

経済学部演習に関する授業評価アンケートの過去 5 年間の経年変化を、次の表を用い

て検討してみよう。

回答対象	番号	質問内容	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度
「全員」 回答	Q1	私のこの授業への出席率は、5:90%以上、4:80%以上、3:70%以上、2:50%以上、1:50%未満	4.86	4.81	4.84	4.84	4.80
	Q2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	4.50	4.46	4.50	4.52	4.48
	Q3	この授業のレベルは適切である	4.44	4.45	4.45	4.46	4.41
	Q4	この授業を進める速さは適切である	4.49	4.48	4.50	4.51	4.49
	Q5	教員は熱意を持って授業を行っている	4.69	4.61	4.60	4.63	4.62
	Q6	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.61	4.59	4.59	4.62	4.60
	Q7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.58	4.57	4.57	4.59	4.57
	Q8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.65	4.61	4.63	4.61	4.60
	Q9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.55	4.56	4.57	4.58	4.58
	Q10	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	4.58	4.33	4.32	4.29	4.32
	Q11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.63	4.60	4.60	4.63	4.62
「講義」 「語学」 のみ	Q12	板書の仕方やすライド提示の仕方は適切である	4.57	4.57	4.55	4.58	4.53
	Q13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.56	4.55	4.54	4.56	4.54
「経済」 のみ	Q20	私は授業に遅刻したことがない	4.14	4.11	4.18	4.09	4.10

この表の各セルで示されている値は各年度の質問項目に関する「(回答者ベースの) 平均値」である。そして、この表から読み取れる特徴として以下の点を指摘することができる。

- 1) 全ての質問項目に関して、演習の「平均値」が講義の「平均値」より（少なくとも 0.3 以上）高くなっている。
- 2) シラバスと授業内容が合致しているかを問う Q10 に関しては、平成 27 年度の「平均値」が平成 26 年度以前の過去 4 年間の「平均値」の単純平均と比較して、0.26 と大幅に上昇している。
- 3) その他の質問項目に関して、平成 27 年度の「平均値」と平成 26 年度以前の 4 年間の「平均値」の単純平均の差は 0.07 以下であり、その変化は大きくない。

次に、相関係数を用いて質問項目間の「平均値」がどのように相関しているかを、次の表を用いて検討しよう。

＜相関係数（演習）2015年度＞														
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q20
Q1	1													
Q2	<b>0.32</b>	1												
Q3	0.10	<b>0.49</b>	1											
Q4	0.08	<b>0.44</b>	<b>0.66</b>	1										
Q5	0.14	<b>0.40</b>	<b>0.49</b>	<b>0.55</b>	1									
Q6	0.10	0.44	<b>0.56</b>	<b>0.61</b>	<b>0.68</b>	1								
Q7	0.08	<b>0.41</b>	<b>0.61</b>	<b>0.63</b>	<b>0.64</b>	<b>0.76</b>	1							
Q8	0.11	0.40	<b>0.57</b>	<b>0.59</b>	<b>0.60</b>	<b>0.66</b>	<b>0.71</b>	1						
Q9	0.10	<b>0.48</b>	<b>0.53</b>	<b>0.49</b>	<b>0.54</b>	<b>0.61</b>	<b>0.63</b>	<b>0.57</b>	1					
Q10	0.06	0.19	0.23	0.20	0.22	0.22	0.24	0.22	0.25	1				
Q11	0.12	<b>0.48</b>	<b>0.62</b>	<b>0.61</b>	<b>0.65</b>	<b>0.70</b>	<b>0.74</b>	<b>0.68</b>	<b>0.72</b>	0.28	1			
Q12	0.12	0.37	<b>0.43</b>	<b>0.47</b>	<b>0.54</b>	<b>0.58</b>	<b>0.54</b>	<b>0.48</b>	<b>0.53</b>	0.16	<b>0.60</b>	1		
Q13	0.09	<b>0.39</b>	<b>0.48</b>	<b>0.51</b>	<b>0.54</b>	<b>0.64</b>	<b>0.61</b>	<b>0.53</b>	<b>0.61</b>	0.19	<b>0.66</b>	<b>0.71</b>	1	
Q20	<b>0.32</b>	0.27	0.18	0.14	0.13	0.10	0.11	0.11	0.16	0.16	0.16	0.07	0.07	1

この表の各セルで示されている値は各年度の対応する質問に関する「(回答者ベースの) 平均値」の相関係数である。そして、この表から読み取れる「平均値」の相関係数の高い(0.7以上)の質問項目の組は以下のとおりである。

- 5) Q6 (授業環境への配慮) と Q7 (理解しやすさ)
- 6) Q6 (授業環境への配慮) と Q11 (総合評価)
- 7) Q7 (理解しやすさ) と Q8 (話し方の適切さ)
- 8) Q7 (理解しやすさ) と Q11 (総合評価)
- 9) Q9 (知的好奇心刺激の程度) と Q11 (総合評価)
- 10) Q12 (板書) と Q13 (教材内容の適切さ)

これらの相関関係の高い質問項目の組に関しては、平成 26 の結果とほぼ同様の結果が得られている。

## 2. 今後の授業改善に向けて

経済学部での授業改善に向け、学部の専任教員に対して、評価が高い授業の見学会または全学のFD研究会を学部内で通知し出席を促している。

学習院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 集計結果

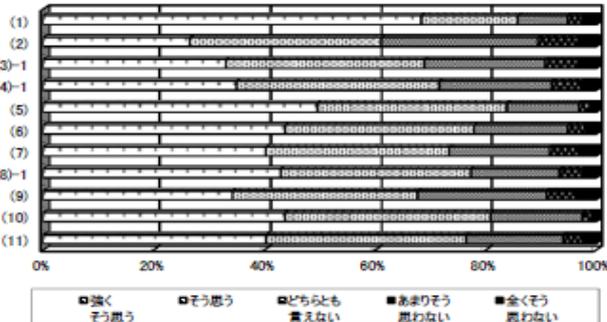
部門名 経済学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	8,050	23,285	34.57%

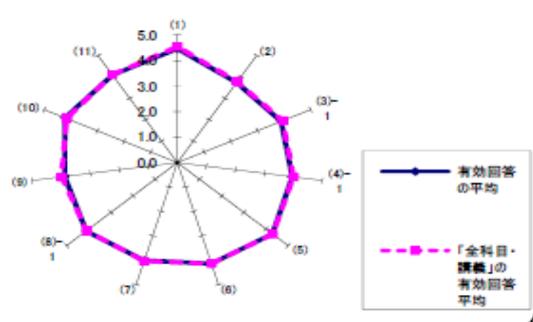
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 書えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単回集計 平均	学生回答 単回集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	5,491	1,398	722	237	185	17	8,050	4.47	0.939	4.43	0.332
			68.21%	17.37%	8.97%	2.94%	2.30%	0.21%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	2,122	2,759	2,287	588	284	50	8,050	3.74	1.034	3.80	0.431
			26.38%	34.27%	28.16%	7.30%	3.28%	0.62%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	2,601	2,841	1,724	468	283	153	8,050	3.89	1.036	3.97	0.473
			32.31%	35.29%	21.42%	5.81%	3.27%	1.90%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	845	48	-	-	-	40	731	-	-	-	-
			88.24%	6.29%	-	-	-	5.47%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	2,780	2,915	1,623	432	205	95	8,050	3.96	1.001	4.06	0.425
			34.53%	36.21%	20.16%	5.37%	2.55%	1.18%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	489	96	-	-	-	52	637	-	-	-	-
		76.77%	15.07%	-	-	-	8.16%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	3,970	2,741	1,050	151	98	40	8,050	4.29	0.853	4.35	0.375	
		49.32%	34.05%	13.04%	1.88%	1.22%	0.50%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	3,486	2,735	1,346	278	139	68	8,050	4.15	0.938	4.26	0.384	
		43.30%	33.98%	16.72%	3.43%	1.73%	0.84%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	3,213	2,853	1,446	433	245	80	8,050	4.02	1.037	4.12	0.517	
		39.91%	32.96%	17.98%	5.38%	3.04%	0.75%	100.00%					
(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	3,400	2,735	1,274	339	185	117	8,050	4.11	0.978	4.21	0.451	
		42.24%	33.98%	15.83%	4.21%	2.30%	1.45%	100.00%					
(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	145	25	316	-	-	38	524	-	-	-	-	
		27.67%	4.77%	60.31%	-	-	7.25%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	2,728	2,869	1,881	431	288	73	8,050	3.89	1.051	4.03	0.499	
		33.89%	33.16%	23.12%	5.35%	3.58%	0.91%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 27.32%)	2,318	1,977	886	81	50	539	8,050	4.21	0.839	4.25	0.309	
		28.80%	24.56%	11.01%	1.01%	0.62%	6.70%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3,212	2,881	1,397	290	191	79	8,050	4.08	0.966	4.19	0.481	
		39.90%	35.79%	17.35%	3.80%	2.37%	0.98%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3,196	2,528	1,141	401	203	583	8,050	4.09	1.016	4.17	0.481
			39.70%	31.38%	14.17%	4.98%	2.52%	7.24%	100.00%				
(13)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	3,098	2,553	1,298	282	188	631	8,050	4.09	0.982	4.18	0.430	
		38.48%	31.71%	16.12%	3.50%	2.34%	7.84%	100.00%					
経済学部共通・ 経営学科	(20)	私は授業に遅刻したことがない	2,152	1,193	834	604	590	2,677	8,050	3.69	1.378	3.63	0.482
			26.73%	14.82%	10.38%	7.50%	7.33%	33.25%	100.00%				
(21)	高校で履修した数学科目 4:数Ⅰ-数Ⅱ-数Ⅲ 3:数Ⅰ-数Ⅱ 2:数Ⅰのみと該当なし	0	663	3,912	501	252	2,722	8,050	-	-	-	-	
		0.00%	8.24%	48.60%	6.22%	3.13%	33.81%	100.00%					

「全員回答(1~11)」における有効回答の割合



「全員回答(1~11)」の有効回答における平均比較



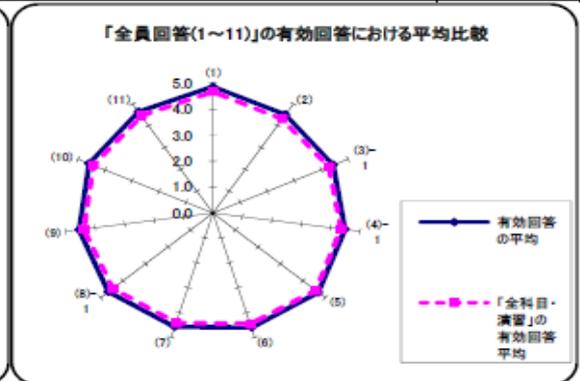
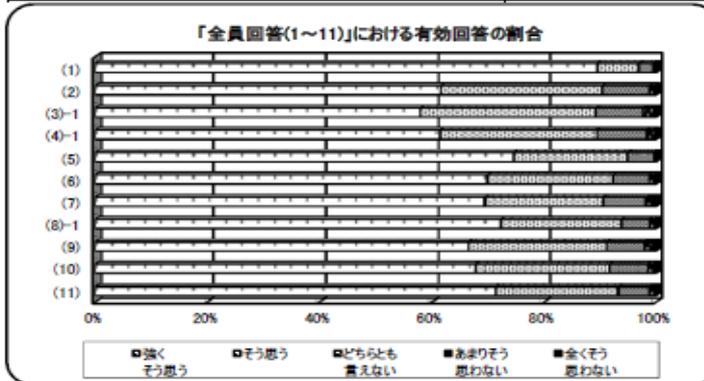
学習院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 経済学部

形態名 演習

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,518	1,741	87.19%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く 思う	4 そう思う	3 どちらとも 書えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単科集計 平均	学生回答 単科集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	1,357 89.39%	114 7.51%	38 2.50%	6 0.40%	2 0.13%	1 0.07%	1,518 100.00%	4.86	0.460	4.82	0.231
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	930 61.26%	436 28.72%	127 8.37%	17 1.12%	2 0.13%	6 0.40%	1,518 100.00%	4.50	0.708	4.50	0.328
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	669 57.25%	469 30.90%	129 8.50%	29 1.91%	5 0.33%	17 1.12%	1,518 100.00%	4.44	0.758	4.45	0.378
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	29 85.29%	3 8.82%	-	-	-	2 5.88%	34 100.00%	-	-	-	-
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	918 60.47%	416 27.54%	134 8.83%	21 1.38%	4 0.26%	23 1.52%	1,518 100.00%	4.49	0.739	4.50	0.349
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	8 32.00%	14 56.00%	-	-	-	3 12.00%	25 100.00%	-	-	-	-
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	1,129 74.37%	306 20.29%	72 4.74%	5 0.33%	1 0.07%	3 0.20%	1,518 100.00%	4.69	0.561	4.70	0.284
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	1,050 69.17%	339 22.33%	95 6.26%	15 0.99%	5 0.33%	14 0.92%	1,518 100.00%	4.61	0.662	4.62	0.346
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	1,052 69.30%	320 21.08%	116 7.64%	18 1.19%	9 0.59%	3 0.20%	1,518 100.00%	4.58	0.735	4.58	0.424
	(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	1,089 71.74%	323 21.28%	76 5.01%	15 0.99%	3 0.20%	12 0.79%	1,518 100.00%	4.65	0.643	4.65	0.339
	(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	2 11.11%	2 11.11%	14 77.78%	-	-	0 0.00%	18 100.00%	-	-	-	-
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	1,000 65.88%	371 24.44%	102 6.72%	21 1.38%	10 0.66%	14 0.92%	1,518 100.00%	4.55	0.740	4.58	0.392	
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを讀まなかった人 ⇒ 21.87%)	722 47.56%	255 16.80%	72 4.74%	11 0.72%	5 0.33%	121 7.97%	1,518 100.00%	4.58	0.706	4.59	0.344	
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,077 70.95%	330 21.74%	83 5.47%	16 1.05%	3 0.20%	9 0.59%	1,518 100.00%	4.63	0.656	4.65	0.363	
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	942 62.06%	330 21.74%	105 6.92%	12 0.79%	6 0.40%	123 8.10%	1,518 100.00%	4.57	0.707	4.58	0.367
	(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	943 62.12%	312 20.55%	116 7.64%	15 0.99%	4 0.26%	128 8.43%	1,518 100.00%	4.56	0.716	4.57	0.405
経済学部共通・ 経営学科	(20)	私は授業に遅刻したことがない	550 36.23%	127 8.37%	98 6.46%	60 3.95%	68 4.48%	615 40.51%	1,518 100.00%	4.14	1.282	4.03	0.723
	(21)	高校で履修した数学科目 4:数Ⅰ-数Ⅱ-数Ⅲ 3:数Ⅰ-数Ⅱ 2:数Ⅰのみ 1:該当な し	0 0.00%	104 6.85%	654 43.08%	81 5.34%	38 2.50%	641 42.23%	1,518 100.00%	-	-	-	-



相関係数表 部門名 経済学部  
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q20	Q21
Q1	1														
Q2	.426(**)	1													
Q3	.156(**)	.490(**)	1												
Q4	.125(**)	.420(**)	.751(**)	1											
Q5	.174(**)	.400(**)	.527(**)	.533(**)	1										
Q6	.143(**)	.395(**)	.536(**)	.566(**)	.697(**)	1									
Q7	.104(**)	.434(**)	.684(**)	.692(**)	.682(**)	.706(**)	1								
Q8	.117(**)	.393(**)	.603(**)	.661(**)	.642(**)	.661(**)	.786(**)	1							
Q9	.145(**)	.495(**)	.628(**)	.587(**)	.581(**)	.578(**)	.682(**)	.601(**)	1						
Q10	.082(**)	.277(**)	.310(**)	.304(**)	.270(**)	.292(**)	.311(**)	.291(**)	.350(**)	1					
Q11	.150(**)	.484(**)	.698(**)	.683(**)	.699(**)	.695(**)	.812(**)	.736(**)	.735(**)	.343(**)	1				
Q12	.123(**)	.385(**)	.558(**)	.569(**)	.593(**)	.590(**)	.691(**)	.642(**)	.566(**)	.289(**)	.690(**)	1			
Q13	.130(**)	.400(**)	.581(**)	.577(**)	.609(**)	.599(**)	.667(**)	.634(**)	.589(**)	.309(**)	.706(**)	.799(**)	1		
Q20	.419(**)	.345(**)	.168(**)	.124(**)	.137(**)	.117(**)	.121(**)	.118(**)	.130(**)	.114(**)	.146(**)	.121(**)	.136(**)	1	
Q21	-.009	-.014	0.009	0	-.006	-.013	0.006	0.001	0.011	-.008	0.005	-.017	0.008	0.001	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

「上記の表において、Q20・Q21は、開設部門が「経済学部共通」「経済学科」「経営学科」の科目の場合のみ回答する設問であることから、それ以外の設問と回答者数が異なっています。」

相関係数表 部門名 経済学部  
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q13	Q14	Q20	Q21
Q1	1														
Q2	.320(**)	1													
Q3	.101(**)	.491(**)	1												
Q4	.082(**)	.443(**)	.658(**)	1											
Q5	.135(**)	.396(**)	.488(**)	.554(**)	1										
Q6	.103(**)	.438(**)	.558(**)	.605(**)	.677(**)	1									
Q7	.079(**)	.412(**)	.612(**)	.629(**)	.643(**)	.757(**)	1								
Q8	.107(**)	.399(**)	.574(**)	.591(**)	.602(**)	.660(**)	.714(**)	1							
Q9	.104(**)	.475(**)	.529(**)	.488(**)	.543(**)	.614(**)	.625(**)	.573(**)	1						
Q10	.061(*)	.192(**)	.230(**)	.199(**)	.222(**)	.218(**)	.240(**)	.216(**)	.253(**)	1					
Q11	.119(**)	.483(**)	.623(**)	.611(**)	.645(**)	.701(**)	.736(**)	.675(**)	.724(**)	.277(**)	1				
Q12	.115(**)	.367(**)	.425(**)	.469(**)	.538(**)	.579(**)	.535(**)	.478(**)	.528(**)	.164(**)	.598(**)	1			
Q13	.087(**)	.391(**)	.475(**)	.509(**)	.537(**)	.636(**)	.614(**)	.526(**)	.606(**)	.190(**)	.662(**)	.707(**)	1		
Q20	.322(**)	.295(**)	.184(**)	.144(**)	.129(**)	.104(**)	.113(**)	.112(**)	.157(**)	.157(**)	.164(**)	.068(*)	.074(*)	1	
Q21	.074(*)	0.013	0.022	-.029	-.022	-.037	-.017	0.012	0.018	-.002	-.026	-.035	0.017	0.037	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

「上記の表において、Q20・Q21は、開設部門が「経済学部共通」「経済学科」「経営学科」の科目の場合のみ回答する設問であることから、それ以外の設問と回答者数が異なっています。」

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は (⑤90%以上、④80%以上、③70%、④50%以上、⑤50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルは適切である
- Q 4 この授業を進める速さは適切である
- Q 5 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 6 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している  
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【開設部門が「経済学部共通」「経済学科」「経営学科」の場合のみ回答】

- Q 20 私は授業に遅刻したことがない
- Q 21 高校で履修した数学科目 (④数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ、③数Ⅰ・数Ⅱ、②数Ⅰのみ、①その他)

学習院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 経済学部  
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2014年度				2013年度				2012年度				2011年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.47	0.939	4.43	0.332	4.43	0.965	4.44	0.294	4.47	0.940	4.44	0.322	4.46	0.939	4.46	0.336	4.45	0.954	4.46	0.306
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.74	1.034	3.80	0.431	3.63	1.048	3.72	0.466	3.64	1.043	3.70	0.418	3.65	1.059	3.75	0.493	3.65	1.040	3.81	0.489
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	3.89	1.036	3.97	0.473	3.84	1.026	3.92	0.461	3.83	1.047	3.88	0.489	3.85	1.040	3.95	0.462	3.82	1.039	3.98	0.505
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	3.96	1.001	4.06	0.425	3.88	1.027	3.99	0.452	3.88	1.045	3.95	0.473	3.88	1.053	4.03	0.454	3.84	1.084	4.03	0.503
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.29	0.853	4.35	0.375	4.16	0.934	4.22	0.448	4.16	0.942	4.19	0.434	4.17	0.952	4.25	0.456	4.17	0.936	4.30	0.420
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.15	0.938	4.26	0.384	4.06	0.972	4.18	0.434	4.04	0.977	4.11	0.395	4.04	0.997	4.19	0.415	4.00	1.008	4.21	0.441
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.02	1.037	4.12	0.517	3.94	1.066	4.03	0.554	3.93	1.071	3.98	0.541	3.96	1.076	4.08	0.520	3.92	1.088	4.12	0.562
	(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.11	0.978	4.21	0.451	4.02	1.013	4.11	0.492	4.02	1.003	4.07	0.447	4.04	1.021	4.15	0.446	3.97	1.046	4.16	0.503
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3.89	1.051	4.03	0.499	3.86	1.074	4.01	0.509	3.83	1.090	3.93	0.517	3.86	1.096	4.00	0.539	3.88	1.096	4.09	0.538
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.21	0.839	4.25	0.309	3.84	0.989	3.91	0.367	3.84	0.990	3.88	0.376	3.85	1.018	3.93	0.370	3.82	0.997	3.95	0.433
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.08	0.966	4.19	0.481	3.99	0.982	4.08	0.489	3.98	0.994	4.04	0.492	4.01	1.008	4.13	0.498	3.99	1.009	4.18	0.506
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.09	1.016	4.17	0.481	3.97	1.047	4.07	0.495	3.95	1.055	3.98	0.499	3.96	1.064	4.05	0.463	3.89	1.082	4.06	0.522
	(13)	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	4.09	0.982	4.18	0.430	3.98	0.994	4.05	0.442	3.99	1.001	4.03	0.442	4.00	1.006	4.09	0.413	3.96	1.011	4.11	0.476
「経済」 のみ	(20)	私は授業に遅刻したことがない	3.69	1.378	3.63	0.482	3.55	1.399	3.53	0.488	3.66	1.390	3.66	0.506	3.58	1.409	3.56	0.523	3.62	1.396	3.59	0.500
	(21)	高校で履修した数学科目 との教養科目との関係は	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

部門名 経済学部  
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2014年度				2013年度				2012年度				2011年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.86	0.480	4.82	0.231	4.81	0.537	4.75	0.359	4.84	0.489	4.79	0.300	4.84	0.466	4.80	0.303	4.80	0.556	4.75	0.317
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.50	0.708	4.50	0.328	4.46	0.712	4.45	0.333	4.50	0.690	4.49	0.258	4.52	0.674	4.49	0.322	4.48	0.709	4.48	0.306
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	4.44	0.759	4.45	0.378	4.45	0.751	4.43	0.374	4.45	0.740	4.44	0.360	4.46	0.713	4.45	0.337	4.41	0.777	4.42	0.388
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.49	0.739	4.50	0.349	4.48	0.749	4.48	0.346	4.50	0.720	4.50	0.351	4.51	0.699	4.51	0.309	4.49	0.715	4.49	0.317
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.69	0.581	4.70	0.284	4.61	0.673	4.61	0.339	4.60	0.656	4.60	0.341	4.63	0.643	4.63	0.337	4.62	0.651	4.63	0.311
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.61	0.682	4.62	0.346	4.59	0.658	4.60	0.283	4.59	0.672	4.59	0.317	4.62	0.652	4.62	0.296	4.60	0.648	4.60	0.280
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.58	0.735	4.58	0.424	4.57	0.710	4.57	0.390	4.57	0.703	4.57	0.362	4.59	0.685	4.59	0.352	4.57	0.719	4.58	0.366
	(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.65	0.643	4.65	0.339	4.61	0.679	4.61	0.345	4.63	0.642	4.63	0.314	4.61	0.681	4.62	0.320	4.60	0.701	4.62	0.352
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.55	0.740	4.58	0.392	4.56	0.713	4.57	0.343	4.57	0.691	4.59	0.340	4.58	0.693	4.57	0.331	4.58	0.695	4.59	0.325
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.58	0.706	4.59	0.344	4.33	0.848	4.35	0.408	4.32	0.873	4.31	0.443	4.29	0.898	4.30	0.439	4.32	0.869	4.33	0.470
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.63	0.656	4.65	0.363	4.60	0.689	4.60	0.373	4.60	0.652	4.60	0.343	4.63	0.646	4.62	0.359	4.62	0.656	4.63	0.339
「演習」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.57	0.707	4.58	0.387	4.57	0.726	4.57	0.392	4.55	0.710	4.54	0.390	4.58	0.692	4.56	0.391	4.53	0.747	4.54	0.379
	(13)	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	4.56	0.716	4.57	0.405	4.55	0.740	4.57	0.380	4.54	0.708	4.56	0.339	4.56	0.725	4.55	0.397	4.54	0.734	4.57	0.360
「経済」 のみ	(20)	私は授業に遅刻したことがない	4.14	1.282	4.03	0.723	4.11	1.256	4.04	0.663	4.18	1.242	4.13	0.562	4.09	1.267	4.00	0.643	4.10	1.281	4.00	0.661
	(21)	高校で履修した数学科目 との教養科目との関係は	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### III. 文学部

#### 1. 集計データから分かること

##### (1) 実施率と回答率について

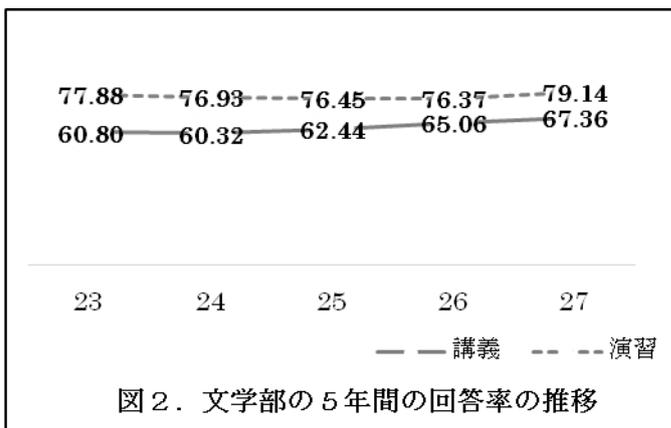
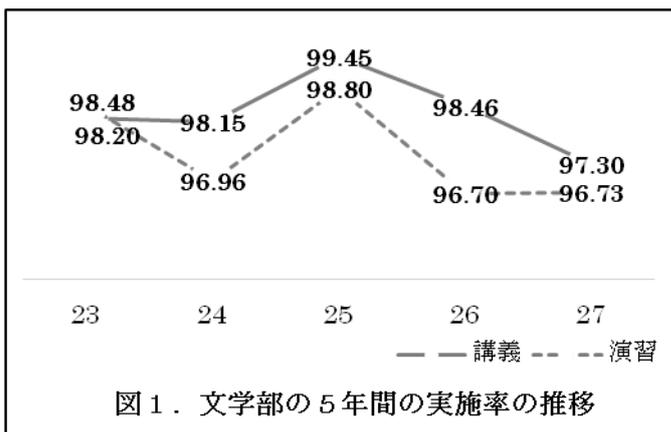


図1と2は過去5年間に於ける文学部の実施率と回答率の推移を示している。

実施率については講義科目・演習科目の両方において95%を上回る値を示しており、問題なく実施されていると言えるだろう。しかし、平成27年度については、過去2年間（平成26年度、平成25年度）と比較すると、やや低い実施率となっており、今後はさらに工夫してより高い実施率を目指すことが望まれる。また、決して低い値ではないが、講義科目と比較すると演習科目の実施率が低い点については、今後改善の余地があると言えよう。

回答率については、過去5年間に僅かずつではあるが値が上昇している。ここで興味深い点は、回答率については実施率とは反対に、演習科目の回答率が講義科目の回答率を常に上回っていることである。受講者の数や教員と学生との親密度等が関与していることが

うかがえるが、今後は講義科目の回答率を演習科目の回答率に近づけ、できれば80%に近い回答率が得られるようになると、さらに信頼性のあるデータが得られるであろう。

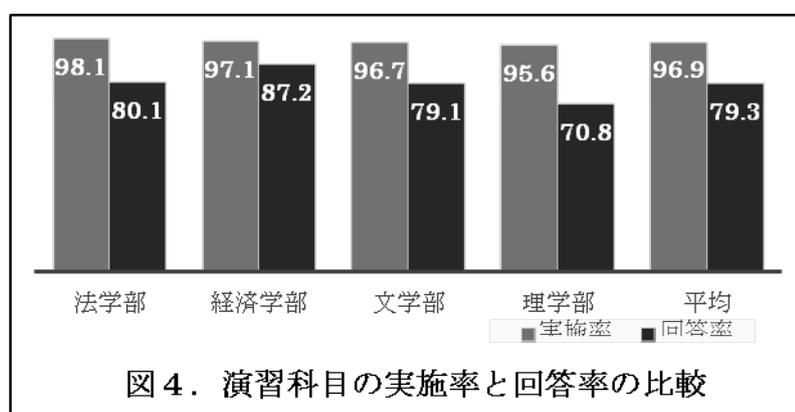
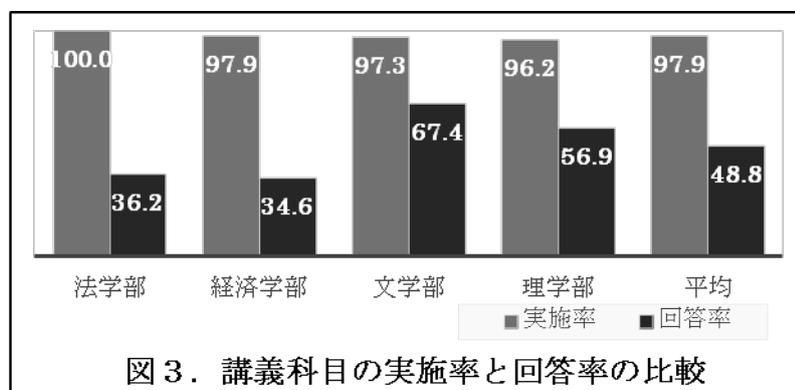


図3と4は、文学部の実施率と回答率を他の学部と比較したものである。

講義科目については、全ての学部が極めて高い実施率を示しているが、回答率については学部間に差が見られ、文学部は他の学部と比較して回答率が最も高い。

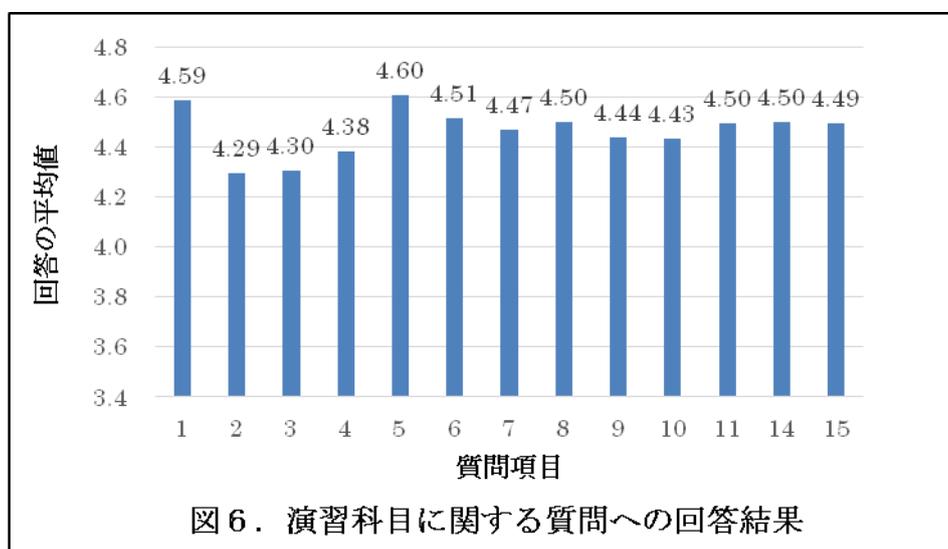
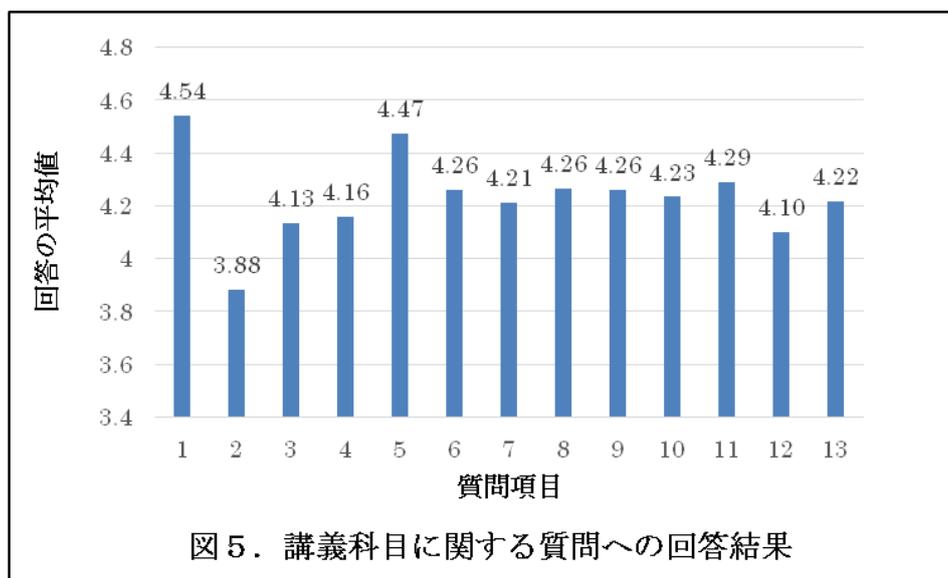
一方、演習科目については、講義科目と同様に高い実施率を示しており、回答率についても、全ての学部が同様に講義科目よりも高い回答率を示している。文学部の回答率については、(講義科目とは異なり)他の学部よりも高い回答率を示しておらず、この点は今後の改善点として捉えることができるであろう。

## (2) 回答結果について

図5と6は、各質問への回答の平均値を示している。各質問項目は下記の15の項目を問うている。

1. 学生の出席率
2. 学生の意欲的取り組み度
3. 授業の難易度

4. 授業の進度の適正度
5. 教員の熱意
6. 学習環境への配慮
7. 授業の分かりやすさ
8. 教師の話し方の適切度
9. 知的好奇心の喚起
10. シラバスとの整合性
11. 総合的評価
12. 板書・スライドの提示法
13. 教材の適正度
14. 発言・議論の活性化の促進
15. 課題解決への支援

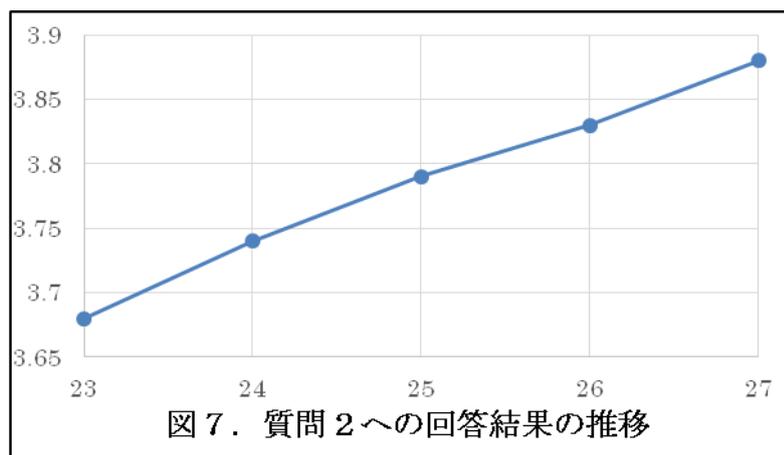


講義科目に関する質問に対する回答結果から言えることは、ほとんどの質問に対して4.0を超える回答結果が得られていることから、学生は文学部の講義科目に高い満足度を感じていることが分かる。

しかし、さらに結果の内容を詳しく見ると、Q1（学生の出席率）とQ5（教員の熱意）に対する回答が高い値を示しているのに対して、Q2（学生の意欲的取り組み度）が目立って低い値を示している点に気が付く。これらの結果を単純に解釈することは危険だが、1つの傾向として、文学部の学生は、講義科目について「教員の熱意を感じ、授業に出席はしているが、あまり意欲的には取り組んでいない」可能性がある。

一方、演習科目については、講義科目と同様に、他の回答と比較するとQ1とQ5に対する回答が若干高い値を示しており、Q2に対する回答が低い値を示しているが、講義科目と比較すると、その差はそれほど顕著ではない。

では、講義科目に関するQ2（学生の意欲的取り組み度）への回答結果は、これまでどのような推移で変化してきたのだろうか。図7はQ2への回答結果の5年間の推移を示している。



この結果だけで単純に結論づけることはできないが、講義科目への学生の意欲的取り組み度は、過去5年間で僅かずつではあるが上昇していることが分かる。これは、学生が意欲的に講義科目に取り組めるように、教員（と学生）が努力してきた結果と受け止めることができるだろう。これからも、これまでの努力を継続すれば、この質問2に関するスコアが4.0以上になる可能性がないとは言えないだろう。

## 2. 集計結果を踏まえた上での「今後の課題」について

上記のとおり、今回の学生のアンケート調査の結果を踏まえた場合の今後の課題については、次のことが言えるだろう。

(1) 実施率について

平成 27 年度においても高い実施率で行われたが、今後も同様に高い実施率を保てるように努力する必要がある。

(2) 回答率について

講義科目については、他学部と比較すると高い回答率を示しているが、さらに工夫を重ね、できれば 70% 台の回答率が得られるように努力する必要がある。演習科目については、他学部と比較するとやや低い回答率であったため、今後は 80% 台の回答率が得られるように努力する必要がある。

(3) 結果から得られた示唆について

今回の結果（及び過去 5 年間の結果）から、文学部の授業については、概ね適切に行われており、学生も高い満足度を得ていることが分かったが、学生の積極的取り組み度についての Q2 への回答結果は、他と比較すると必ずしも望ましいものではないことが分かった。過去 5 年間の推移を見る限り、教員と学生の努力によって徐々に改善されてはきているものの、今後も引き続き、他の質問項目と同レベルの 4.0 以上のスコアが得られるようになることを目指した努力を継続する必要がある。

終わりに

平成 27 年度の文学部の F D 委員会では、これまでに行われていなかった試みとして、講師の方に依頼して大学における授業のあり方に関する研究会を実施し、さらに F D 委員会内においても研究会を重ねてきた。今後もこうした活動を地道に続けることによって、今回のアンケート結果から得られた 3 つの課題を達成できるよう努力したいと考えている。

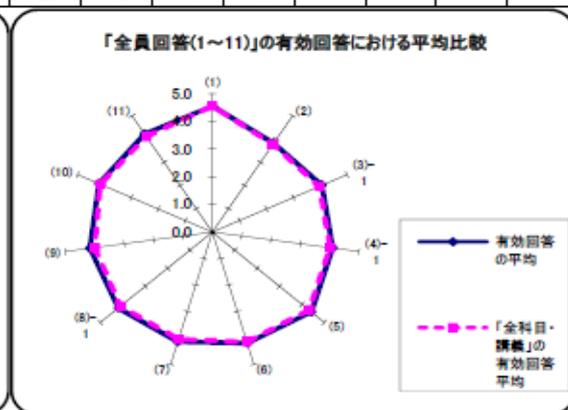
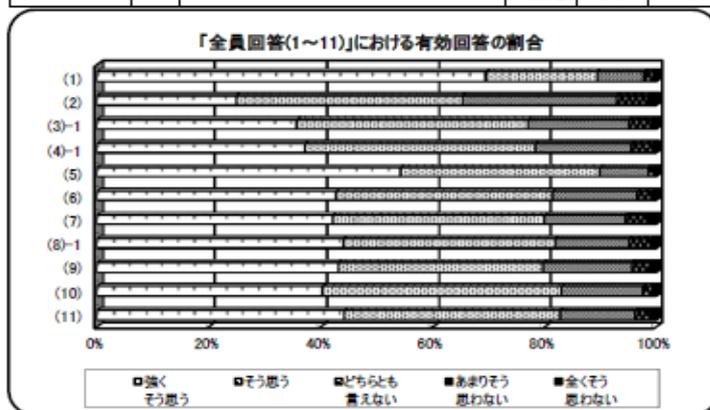
学芸院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 文学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	8,481	12,591	67.36%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 書えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単回集計 平均	学生回答 単回集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	5,884	1,688	716	136	44	13	8,481	4.56	0.758	4.54	0.296
			69.38%	19.90%	8.44%	1.60%	0.52%	0.15%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	2,104	3,405	2,340	469	127	36	8,481	3.82	0.922	3.88	0.397
			24.81%	40.15%	27.59%	5.53%	1.50%	0.42%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	2,979	3,448	1,502	344	67	143	8,481	4.07	0.877	4.13	0.376
			35.13%	40.63%	17.71%	4.06%	0.79%	1.89%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	359	21	-	-	-	31	411	-	-	-	-
			87.35%	5.11%	-	-	-	7.54%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	3,120	3,480	1,442	318	56	65	8,481	4.10	0.862	4.16	0.382
			36.79%	41.03%	17.00%	3.75%	0.66%	0.77%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	243	105	-	-	-	26	374	-	-	-	-
		64.97%	28.07%	-	-	-	6.95%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4,585	3,007	733	90	34	32	8,481	4.42	0.728	4.47	0.293	
		54.06%	35.46%	8.64%	1.06%	0.40%	0.38%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	3,594	3,267	1,275	219	69	57	8,481	4.20	0.848	4.26	0.361	
		42.38%	38.52%	15.03%	2.58%	0.81%	0.67%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	3,551	3,199	1,226	342	125	38	8,481	4.15	0.916	4.21	0.442	
		41.87%	37.72%	14.46%	4.03%	1.47%	0.45%	100.00%					
(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	3,695	3,184	1,099	333	77	93	8,481	4.20	0.879	4.26	0.414	
		43.57%	37.54%	12.96%	3.93%	0.91%	1.10%	100.00%					
(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	135	16	227	-	-	32	410	-	-	-	-	
		32.93%	3.90%	55.37%	-	-	7.80%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3,633	3,082	1,342	278	93	53	8,481	4.17	0.890	4.26	0.403	
		42.84%	36.34%	15.82%	3.28%	1.10%	0.62%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 34.96%)	2,041	2,163	740	77	40	455	8,481	4.20	0.800	4.23	0.335	
		24.07%	25.50%	8.73%	0.91%	0.47%	5.36%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3,729	3,267	1,123	236	87	39	8,481	4.22	0.855	4.29	0.409	
		43.97%	38.52%	13.24%	2.78%	1.03%	0.46%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3,047	3,128	1,454	408	105	341	8,481	4.06	0.931	4.10	0.411
			35.93%	36.86%	17.14%	4.81%	1.24%	4.02%	100.00%				
(13)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	3,369	3,173	1,245	218	74	402	8,481	4.18	0.854	4.22	0.382	
		39.72%	37.41%	14.68%	2.57%	0.87%	4.74%	100.00%					



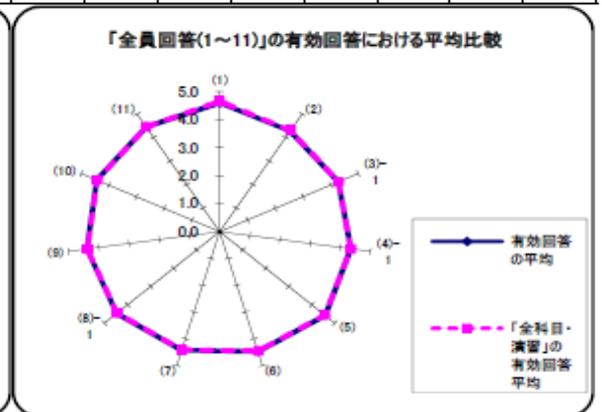
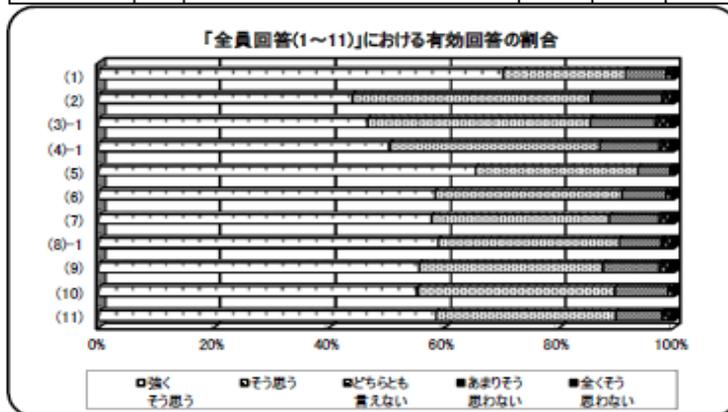
学習院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 文学部

形態名 演習

	合計	総履修者数	回収率
回収数	7,035	8,889	79.14%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単科集計 平均	学生回答 単科集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 書えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4,937	1,500	495	85	16	2	7,035	4.60	0.693	4.59	0.289
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3,092	2,910	873	117	26	17	7,035	4.27	0.769	4.29	0.301
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	3,234	2,695	789	175	49	93	7,035	4.28	0.816	4.30	0.369
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	173	38	-	-	-	13	224	-	-	-	-
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	3,518	2,553	724	134	42	64	7,035	4.34	0.788	4.38	0.341
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	92	64	-	-	-	20	178	-	-	-	-
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4,591	1,983	397	36	14	14	7,035	4.58	0.641	4.60	0.276
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4,074	2,267	530	71	32	61	7,035	4.47	0.719	4.51	0.315
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4,049	2,163	615	124	54	30	7,035	4.43	0.787	4.47	0.405
	(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	4,107	2,189	518	115	31	75	7,035	4.47	0.742	4.50	0.354
	(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	54	3	68	-	-	21	148	-	-	-	-
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3,886	2,245	684	125	52	43	7,035	4.40	0.795	4.44	0.361	
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを讀まなかった人 ⇒ 34.67%)	2,287	1,419	380	36	12	448	7,035	4.44	0.719	4.43	0.300	
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4,102	2,180	570	98	45	40	7,035	4.46	0.757	4.50	0.365	
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	3,888	2,113	592	84	40	318	7,035	4.45	0.755	4.50	0.352
	(15)	教員は参加者が課題に取り組みの助けを くれた	3,896	2,057	599	107	33	341	7,035	4.45	0.762	4.49	0.340



相関係数表 部門名 文学部  
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.326(**)	1											
Q3	.125(**)	.501(**)	1										
Q4	.084(**)	.412(**)	.713(**)	1									
Q5	.102(**)	.384(**)	.511(**)	.534(**)	1								
Q6	.088(**)	.424(**)	.498(**)	.538(**)	.649(**)	1							
Q7	.053(**)	.434(**)	.685(**)	.670(**)	.643(**)	.678(**)	1						
Q8	.046(**)	.358(**)	.585(**)	.650(**)	.561(**)	.600(**)	.742(**)	1					
Q9	.096(**)	.504(**)	.586(**)	.539(**)	.580(**)	.564(**)	.667(**)	.558(**)	1				
Q10	0.009	.215(**)	.228(**)	.225(**)	.203(**)	.232(**)	.248(**)	.220(**)	.277(**)	1			
Q11	.084(**)	.479(**)	.669(**)	.642(**)	.674(**)	.659(**)	.791(**)	.672(**)	.756(**)	.293(**)	1		
Q12	.072(**)	.393(**)	.534(**)	.567(**)	.526(**)	.571(**)	.635(**)	.582(**)	.538(**)	.224(**)	.631(**)	1	
Q13	.097(**)	.396(**)	.560(**)	.569(**)	.540(**)	.564(**)	.645(**)	.578(**)	.555(**)	.230(**)	.648(**)	.739(**)	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 文学部  
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.374(**)	1											
Q3	.146(**)	.500(**)	1										
Q4	.106(**)	.439(**)	.695(**)	1									
Q5	.105(**)	.386(**)	.518(**)	.572(**)	1								
Q6	.086(**)	.411(**)	.514(**)	.582(**)	.707(**)	1							
Q7	.073(**)	.396(**)	.618(**)	.646(**)	.694(**)	.733(**)	1						
Q8	.100(**)	.370(**)	.565(**)	.616(**)	.620(**)	.652(**)	.763(**)	1					
Q9	.086(**)	.418(**)	.560(**)	.548(**)	.602(**)	.579(**)	.655(**)	.586(**)	1				
Q10	0.006	.178(**)	.164(**)	.189(**)	.197(**)	.206(**)	.210(**)	.201(**)	.264(**)	1			
Q11	.083(**)	.437(**)	.639(**)	.657(**)	.689(**)	.699(**)	.780(**)	.700(**)	.746(**)	.254(**)	1		
Q14	.076(**)	.375(**)	.481(**)	.517(**)	.581(**)	.603(**)	.613(**)	.560(**)	.551(**)	.196(**)	.632(**)	1	
Q15	.069(**)	.397(**)	.514(**)	.535(**)	.609(**)	.619(**)	.667(**)	.592(**)	.582(**)	.199(**)	.673(**)	.745(**)	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は (⑤90%以上、④80%以上、③70%、④50%以上、⑤50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルは適切である
- Q 4 この授業を進める速さは適切である
- Q 5 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 6 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方 (スピード、聞き取りやすさ) は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している  
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材 (教科書、配布資料等) の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

学習院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 文学部  
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2014年度				2013年度				2012年度				2011年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.56	0.758	4.54	0.296	4.53	0.781	4.53	0.311	4.54	0.767	4.53	0.275	4.48	0.799	4.45	0.268	4.51	0.811	4.45	0.258
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.82	0.922	3.88	0.397	3.72	0.978	3.83	0.444	3.69	0.982	3.79	0.418	3.65	0.965	3.74	0.405	3.63	0.962	3.68	0.369
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	4.07	0.877	4.13	0.376	4.03	0.899	4.11	0.386	4.00	0.900	4.10	0.368	3.97	0.917	4.04	0.395	3.98	0.901	4.04	0.359
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.10	0.862	4.16	0.382	4.09	0.883	4.16	0.383	4.05	0.902	4.16	0.355	4.01	0.931	4.10	0.427	4.03	0.897	4.12	0.347
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.42	0.728	4.47	0.293	4.34	0.790	4.40	0.333	4.28	0.836	4.38	0.345	4.27	0.847	4.36	0.374	4.31	0.822	4.38	0.354
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.20	0.846	4.26	0.361	4.13	0.884	4.21	0.382	4.10	0.884	4.22	0.352	4.10	0.896	4.20	0.364	4.11	0.878	4.21	0.331
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.15	0.916	4.21	0.442	4.13	0.949	4.21	0.464	4.06	0.965	4.18	0.439	4.02	1.003	4.14	0.499	4.07	0.957	4.17	0.413
	(8)-1	教員の話し方スピード、聞き取りやすさは 適切である	4.20	0.879	4.26	0.414	4.18	0.908	4.26	0.422	4.10	0.963	4.25	0.443	4.09	0.966	4.21	0.468	4.11	0.935	4.22	0.400
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.17	0.890	4.26	0.403	4.16	0.934	4.24	0.430	4.10	0.960	4.22	0.421	4.07	0.976	4.20	0.439	4.11	0.930	4.21	0.374
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.20	0.800	4.23	0.335	3.97	0.891	4.01	0.327	3.90	0.923	3.97	0.354	3.88	0.947	3.92	0.384	3.88	0.930	3.94	0.342
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.22	0.855	4.29	0.409	4.17	0.878	4.24	0.434	4.12	0.906	4.24	0.414	4.08	0.924	4.19	0.459	4.13	0.877	4.21	0.382
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.06	0.931	4.10	0.411	4.03	0.966	4.10	0.450	3.97	0.989	4.05	0.437	3.92	1.022	4.00	0.506	3.96	0.991	4.05	0.434
	(13)	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	4.18	0.854	4.22	0.382	4.16	0.886	4.22	0.400	4.11	0.911	4.19	0.394	4.06	0.955	4.16	0.467	4.11	0.891	4.18	0.362

部門名 文学部  
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2014年度				2013年度				2012年度				2011年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.60	0.693	4.59	0.289	4.59	0.660	4.57	0.277	4.59	0.690	4.56	0.285	4.57	0.712	4.56	0.310	4.61	0.679	4.59	0.274
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.27	0.769	4.29	0.301	4.20	0.802	4.22	0.309	4.20	0.802	4.23	0.310	4.18	0.799	4.22	0.334	4.15	0.826	4.17	0.321
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	4.28	0.816	4.30	0.369	4.24	0.821	4.26	0.346	4.24	0.833	4.26	0.375	4.24	0.840	4.27	0.347	4.21	0.845	4.23	0.356
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.34	0.788	4.38	0.341	4.29	0.813	4.32	0.348	4.28	0.820	4.32	0.364	4.32	0.807	4.35	0.345	4.26	0.840	4.29	0.369
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.58	0.641	4.60	0.276	4.48	0.721	4.51	0.326	4.48	0.727	4.50	0.339	4.51	0.705	4.54	0.325	4.48	0.723	4.51	0.323
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.47	0.719	4.51	0.315	4.39	0.771	4.42	0.315	4.40	0.757	4.42	0.306	4.40	0.766	4.44	0.317	4.37	0.793	4.40	0.318
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.43	0.787	4.47	0.405	4.37	0.826	4.40	0.399	4.36	0.831	4.40	0.431	4.39	0.811	4.44	0.371	4.36	0.814	4.41	0.394
	(8)-1	教員の話し方スピード、聞き取りやすさは 適切である	4.47	0.742	4.50	0.354	4.41	0.790	4.45	0.361	4.41	0.781	4.44	0.384	4.43	0.776	4.47	0.342	4.40	0.805	4.44	0.375
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.40	0.795	4.44	0.361	4.35	0.832	4.39	0.370	4.37	0.828	4.40	0.401	4.35	0.856	4.40	0.385	4.32	0.849	4.36	0.373
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.44	0.719	4.43	0.300	4.18	0.845	4.18	0.380	4.18	0.864	4.18	0.398	4.20	0.892	4.21	0.396	4.12	0.885	4.12	0.383
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.46	0.757	4.50	0.365	4.40	0.773	4.44	0.361	4.39	0.787	4.42	0.400	4.42	0.774	4.46	0.372	4.39	0.777	4.43	0.361
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.45	0.755	4.50	0.352	4.39	0.792	4.43	0.365	4.37	0.792	4.41	0.385	4.39	0.810	4.45	0.369	4.38	0.795	4.42	0.362
	(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.45	0.762	4.49	0.340	4.38	0.812	4.42	0.369	4.37	0.801	4.41	0.368	4.42	0.797	4.47	0.335	4.39	0.801	4.43	0.370

## IV. 理 学 部

### 1. 集計データから分かること

講義科目について、実施率、回答率ともに前年度（平成 26 年度）並みであり、それぞれ 90%台後半、50%台後半であった。回答率は全学的に見て高いとも低いとも言えないが、期待される数字よりは低いと言わざるを得ないであろう。Q1 の出席率は良好であり、ほぼ 95%の学生が出席率 80%と答えている。この傾向は過去 5 年間ほぼ変わらず、同程度の平均値（回答者ベース、科目ベースともに約 4.7）を得ている。このことから、出席率は引き続き良好ではあるが、少数のいわゆる「落ちこぼれ」への対処が十分でないことも示唆している。Q2 の授業への取り組みに関しては、回答者ベース、科目ベースともに平均値 3.85 であり、ほぼ前年度並みと言える。しかし、ここ 5 年間の経年変化を見ると、前年度までは微増ではあるものの確実に増加してきた数値が、ここに来て頭打ちになった感がある。Q3 の授業のレベルに関する設問では、約 62%の学生が、適切である（「強くそう思う」、「そう思う」と答えている。この数値自体は平成 26 年度より高いが、平均値は平成 26 年度とほぼ変わらない。また他学部・他部門と比べても低い数値となっており、学問の性質の違いもあるが、改善の余地があると思われる。また、レベルが適切でないと感じた学生（約 13%）のうち 95%以上が、「難しすぎる」と答えているが、これは予想されたものである。Q4 の授業を進める速さについては、約 65%の学生が、適切である（「強くそう思う」、「そう思う」と答えているが、これも Q3 と同様、他学部・他部門に比べ低い数値である。適切でないと答えた学生は 10%程度であるが、そのうち約 93%が「速すぎる」と感じている。Q5 の教員の授業に対する熱意については、回答者ベース、科目ベースともに平均値 4.28 であり、これは他学部・他部門に比べても遜色のない数値である。また、5 年前のそれぞれの平均値 4.04、4.11 から着実に数値を上げている。授業評価アンケートの成果のひとつと言えるかもしれない。Q6 の授業環境についての設問に対しても、回答者ベース、科目ベースの平均値がそれぞれ 4.14、4.15 となっており、毎年増加傾向にある。これも授業評価アンケートの実施そのものが授業環境に良い影響を与えている可能性がある。Q7 「教員は理解しやすい授業を行っている」かについての設問に対しては、前問と同様に平均値は毎年増加傾向にあるが、数値自体は決して高くはなく、さらに改善が必要であろう。Q8 の教員の話し方に関しても、回答状況には同様の傾向が見られる。講義の進め方のスピードとともに考慮すべき点は多々あると思われる。Q9 の知的好奇心の刺激については、平均値が回答者ベース、科目ベースでそれぞれ 3.90、3.94 という数値を得ている。他学部・他部門に比べ低いのが気になるところではあるが、それでも微増とはいえ、ここ 5 年間増加している。Q10 に関して、半分以上の学生が、シラバスを読まなかったと答えているが、これは必修科目の割合が多い理学部特有の現象かもしれない。しかし、読んだ学生のうち、約 4 分の 3 がシラバスと授業内容が合致していると答えている。このことがシラバスの適切

性を直接に示しているわけではないが、シラバスが授業運営に一定の役割を果たしていることは確かであろう。Q12、Q13の板書の仕方、教材の適切性についても、平成26年度とほぼ変わらず、どちらも70%以上の学生が適切である（「強くそう思う」、「そう思う」と答えている。平均値は、回答者ベース、科目ベースそれぞれ、約3.9、4.0であり他学部・他部門と比べ高いとは言えない。Q11の総合評価では、平均値は、回答者ベース、科目ベースともに3.99であり、ここ数年ほとんど変化がない。しかし細かく見ると、72.87%の学生が高く評価できる（「強くそう思う」、「そう思う」と答えており、平成26年度、平成25年度の約65%、69%に比べ上昇している。

次に、演習科目については、平成26年度は80%弱だった実施率が、95%以上と上昇したにもかかわらず、回答率は約70%と変化がなかった。学生の出席状況は良好であり、96%以上の学生が出席率80%と答えている。Q2からQ10の各設問に対する回答の平均値は、平成26年度に比べ、回答者ベースでは全てが増加、科目ベースでもほとんどが増加している。特に、Q5〔教員は熱意をもって授業を行っている〕か、Q7〔教員は理解しやすい授業を行っている〕か、を問う設問に対しては、それぞれ回答者ベースで4.19→4.38、3.99→4.21と大きく増加している。またQ10のシラバスの適切性についても3.97→4.35と大きな増加をみせており、演習と講義との連携が適正であることを示している。この他、Q14、Q15の学生の積極的な参加に関する設問に対しても、平均値の増加が見られ、これらと併せて、Q11総合評価の平均値増加の裏付けとなっていると考えられる。

## 2. 今後の授業改善に向けて

上述のように、講義科目の学生による評価は概ね平成26年度から変化していない。最近の学生の勉学に対する傾向を考え合わせれば、数値の減少が見られないことが逆に評価に値するのではないかと、いう見方もできる。一方、演習科目については平均値の上昇が見られることから、学生は教員とのコミュニケーションの中から学習意欲を刺激しているとの傾向が垣間見える。もともと少人数教育が実現している理学部では、教員と学生との距離が近く、教員は学生の思いを受け止めやすい環境にある。セミナーや演習、実験などで学生との直接的な交渉を通して、学生1人ひとりにこまめに対応する体制は創設当初から変わっていない。これらの古き良き教育方針に対して、さらに最近の学生気質に合わせた方法が必要であろう。例えば、講義科目でも一方的な講義ではなく双方向のコミュニケーションの導入することも一案である。また、SA、TAによるサポートの充実は、いわゆる「落ちこぼれ」対策に有益と思われる。これらを含めた授業改善においては、アンケートによる評価が頭打ちとみられたQ7、Q8の設問にある「理解しやすい授業」、「知的好奇心の発揚」に力点を置くべきである。その実現のために、教員が、今後も学生とのコミュニケーションを軽視せず、また、教員同士だけでなく教員と学生との意見交換、意思疎通の重要性を認識することが大切であろう。

学習院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 集計結果

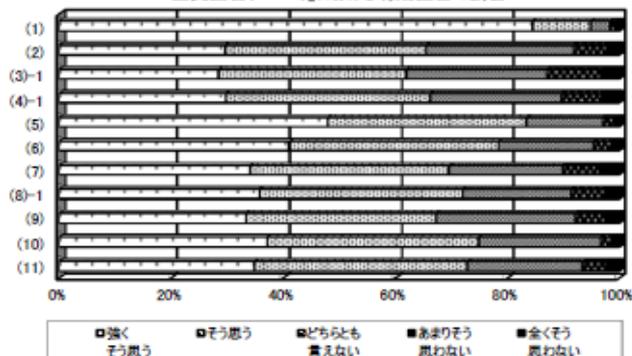
部門名 理学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	4,494	7,894	56.93%

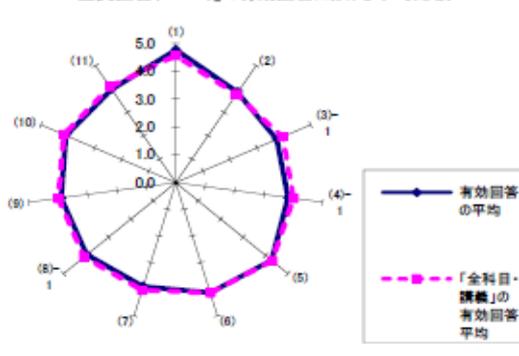
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 書えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 率別集計 平均	学生回答 率別集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	3,785	467	158	41	31	12	4,494	4.77	0.821	4.72	0.228
			84.22%	10.39%	3.52%	0.91%	0.69%	0.27%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,328	1,604	1,183	273	91	17	4,494				
			29.51%	35.69%	26.32%	6.07%	2.02%	0.38%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	1,261	1,489	1,118	433	140	53	4,494				
			28.06%	33.13%	24.68%	9.64%	3.12%	1.18%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:思しすぎる	533	27	-	-	-	13	573				
			93.02%	4.71%	-	-	-	2.27%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	1,328	1,627	1,046	326	137	30	4,494				
			29.55%	36.20%	23.28%	7.25%	3.05%	0.67%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	417	31	-	-	-	15	463				
		90.06%	6.70%	-	-	-	3.24%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	2,142	1,591	611	93	38	19	4,494					
		47.66%	35.40%	13.60%	2.07%	0.85%	0.42%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	1,825	1,665	754	146	58	46	4,494					
		40.61%	37.05%	16.78%	3.25%	1.29%	1.02%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	1,518	1,580	908	297	155	36	4,494					
		33.78%	35.16%	20.20%	6.61%	3.45%	0.80%	100.00%					
(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	1,589	1,609	862	273	108	53	4,494					
		35.36%	35.80%	19.18%	6.07%	2.40%	1.18%	100.00%					
(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	140	7	214	-	-	20	381					
		36.75%	1.84%	56.17%	-	-	5.25%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	1,483	1,513	1,110	236	112	40	4,494					
		33.00%	33.67%	24.70%	5.25%	2.49%	0.89%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 49.82%)	775	792	458	41	28	161	4,494					
		17.25%	17.62%	10.19%	0.91%	0.62%	3.58%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,553	1,694	917	191	101	38	4,494					
		34.56%	37.69%	20.40%	4.25%	2.25%	0.85%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やすライド提示の仕方は適切である	1,508	1,541	780	294	133	238	4,494	3.94	1.045	3.93	0.506
			33.56%	34.29%	17.36%	6.54%	2.96%	5.30%	100.00%				
	(13)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	1,534	1,511	922	167	98	262	4,494	4.00	0.973	4.00	0.433
			34.13%	33.62%	20.52%	3.72%	2.18%	5.83%	100.00%				

「全員回答(1~11)」における有効回答の割合



「全員回答(1~11)」の有効回答における平均比較



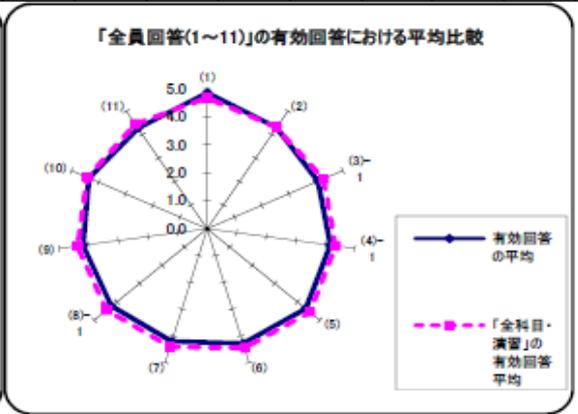
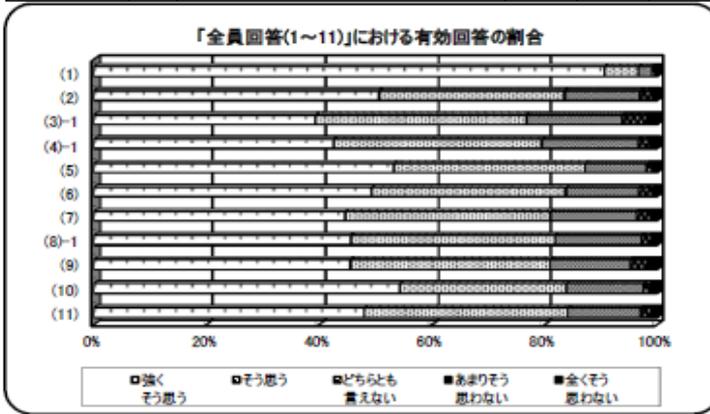
学習院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 理学部

形態名 演習

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,667	2,354	70.82%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単回集計 平均	学生回答 単回集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く 思う	そう 思う	どちらとも 書えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	1,507	100	39	10	6	5	1,667	4.86	0.497	4.81	0.206
			90.40%	6.00%	2.34%	0.60%	0.36%	0.30%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	839	548	223	36	14	7	1,667	4.30	0.843	4.22	0.335
			50.33%	32.87%	13.38%	2.16%	0.84%	0.42%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	646	616	279	77	26	23	1,667	4.08	0.941	4.00	0.357
			38.75%	36.95%	16.74%	4.62%	1.56%	1.38%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	94	5	-	-	-	4	103	-	-	-	-
			91.26%	4.85%	-	-	-	3.88%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	704	613	285	34	21	10	1,667	4.17	0.874	4.12	0.316
			42.23%	36.77%	17.10%	2.04%	1.26%	0.60%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	35	13	-	-	-	7	55	-	-	-	-
		63.64%	23.64%	-	-	-	12.73%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	882	584	181	19	12	9	1,667	4.38	0.781	4.33	0.282	
		52.91%	33.83%	10.86%	1.14%	0.72%	0.54%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	813	589	214	39	15	17	1,667	4.29	0.846	4.22	0.342	
		48.77%	34.13%	12.84%	2.34%	0.90%	1.02%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	739	604	254	44	18	10	1,667	4.21	0.865	4.16	0.340	
		44.33%	36.23%	15.24%	2.64%	0.96%	0.60%	100.00%					
(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	752	599	254	30	15	17	1,667	4.24	0.841	4.21	0.332	
		45.11%	35.93%	15.24%	1.80%	0.90%	1.02%	100.00%					
(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	6	2	32	-	-	5	45	-	-	-	-	
		13.33%	4.44%	71.11%	-	-	11.11%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	753	586	236	52	27	13	1,667	4.20	0.912	4.12	0.348	
		45.17%	35.15%	14.16%	3.12%	1.62%	0.78%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 44.09%)	457	249	116	10	10	90	1,667	4.35	0.846	4.29	0.302	
		27.41%	14.94%	6.96%	0.60%	0.60%	5.40%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	793	598	218	29	18	11	1,667	4.28	0.837	4.22	0.327	
		47.57%	35.87%	13.08%	1.74%	1.08%	0.66%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	682	544	284	30	17	110	1,667	4.18	0.873	4.17	0.304
			40.91%	32.63%	17.04%	1.80%	1.02%	6.60%	100.00%				
(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	815	517	187	18	18	112	1,667	4.35	0.822	4.31	0.295	
		48.89%	31.01%	11.22%	1.08%	1.08%	6.72%	100.00%					



相関係数表 部門名 理学部  
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.267(**)	1											
Q3	.099(**)	<b>.523(**)</b>	1										
Q4	.090(**)	<b>.432(**)</b>	<b>.701(**)</b>	1									
Q5	.097(**)	.382(**)	<b>.481(**)</b>	<b>.522(**)</b>	1								
Q6	.085(**)	<b>.408(**)</b>	<b>.486(**)</b>	<b>.530(**)</b>	<b>.694(**)</b>	1							
Q7	.068(**)	<b>.453(**)</b>	<b>.670(**)</b>	<b>.674(**)</b>	<b>.652(**)</b>	<b>.670(**)</b>	1						
Q8	.055(**)	.363(**)	<b>.553(**)</b>	<b>.656(**)</b>	<b>.591(**)</b>	<b>.596(**)</b>	<b>.719(**)</b>	1					
Q9	.123(**)	<b>.507(**)</b>	<b>.601(**)</b>	<b>.568(**)</b>	<b>.578(**)</b>	<b>.576(**)</b>	<b>.658(**)</b>	<b>.552(**)</b>	1				
Q10	.036(*)	.221(**)	.187(**)	.206(**)	.167(**)	.180(**)	.203(**)	.174(**)	.251(**)	1			
Q11	.106(**)	<b>.501(**)</b>	<b>.688(**)</b>	<b>.691(**)</b>	<b>.683(**)</b>	<b>.672(**)</b>	<b>.813(**)</b>	<b>.888(**)</b>	<b>.730(**)</b>	<b>.243(**)</b>	1		
Q12	.108(**)	.397(**)	<b>.534(**)</b>	<b>.607(**)</b>	<b>.586(**)</b>	<b>.574(**)</b>	<b>.698(**)</b>	<b>.611(**)</b>	<b>.550(**)</b>	<b>.205(**)</b>	<b>.701(**)</b>	1	
Q13	.102(**)	.391(**)	<b>.532(**)</b>	<b>.578(**)</b>	<b>.543(**)</b>	<b>.555(**)</b>	<b>.653(**)</b>	<b>.569(**)</b>	<b>.551(**)</b>	<b>.209(**)</b>	<b>.671(**)</b>	<b>.740(**)</b>	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 理学部  
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.373(**)	1											
Q3	.137(**)	<b>.513(**)</b>	1										
Q4	.177(**)	<b>.489(**)</b>	<b>.665(**)</b>	1									
Q5	.138(**)	<b>.452(**)</b>	<b>.504(**)</b>	<b>.550(**)</b>	1								
Q6	.170(**)	<b>.477(**)</b>	<b>.465(**)</b>	<b>.560(**)</b>	<b>.735(**)</b>	1							
Q7	.122(**)	<b>.433(**)</b>	<b>.577(**)</b>	<b>.602(**)</b>	<b>.662(**)</b>	<b>.668(**)</b>	1						
Q8	.106(**)	<b>.416(**)</b>	<b>.503(**)</b>	<b>.600(**)</b>	<b>.603(**)</b>	<b>.641(**)</b>	<b>.729(**)</b>	1					
Q9	.144(**)	<b>.473(**)</b>	<b>.569(**)</b>	<b>.531(**)</b>	<b>.564(**)</b>	<b>.546(**)</b>	<b>.605(**)</b>	<b>.537(**)</b>	1				
Q10	.029	.204(**)	.225(**)	.236(**)	.229(**)	.251(**)	.228(**)	.216(**)	.283(**)	1			
Q11	.173(**)	<b>.490(**)</b>	<b>.615(**)</b>	<b>.647(**)</b>	<b>.684(**)</b>	<b>.670(**)</b>	<b>.727(**)</b>	<b>.640(**)</b>	<b>.700(**)</b>	<b>.280(**)</b>	1		
Q14	.088(**)	.361(**)	<b>.421(**)</b>	<b>.495(**)</b>	<b>.534(**)</b>	<b>.552(**)</b>	<b>.568(**)</b>	<b>.554(**)</b>	<b>.493(**)</b>	<b>.209(**)</b>	<b>.562(**)</b>	1	
Q15	.103(**)	.360(**)	<b>.447(**)</b>	<b>.505(**)</b>	<b>.556(**)</b>	<b>.578(**)</b>	<b>.612(**)</b>	<b>.558(**)</b>	<b>.519(**)</b>	.194(**)	<b>.612(**)</b>	<b>.717(**)</b>	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は (⑤90%以上、④80%以上、③70%、②450%以上、①50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルは適切である
- Q 4 この授業を進める速さは適切である
- Q 5 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 6 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している  
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

学習院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 理学部  
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2014年度				2013年度				2012年度				2011年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.77	0.621	4.72	0.228	4.74	0.647	4.71	0.214	4.73	0.666	4.72	0.195	4.73	0.673	4.69	0.251	4.73	0.666	4.69	0.222
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.85	0.982	3.85	0.405	3.84	0.977	3.89	0.337	3.77	0.993	3.77	0.320	3.70	0.990	3.70	0.352	3.64	1.027	3.65	0.385
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	3.74	1.069	3.74	0.484	3.74	1.061	3.77	0.476	3.67	1.077	3.67	0.444	3.60	1.080	3.63	0.523	3.54	1.103	3.62	0.508
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	3.83	1.034	3.83	0.443	3.82	1.038	3.85	0.444	3.75	1.080	3.75	0.489	3.67	1.077	3.72	0.543	3.60	1.107	3.72	0.503
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.28	0.836	4.28	0.355	4.17	0.895	4.23	0.359	4.12	0.955	4.13	0.411	4.09	0.933	4.13	0.408	4.04	0.960	4.11	0.425
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.14	0.900	4.15	0.329	4.02	0.955	4.07	0.351	3.97	0.981	4.00	0.373	3.90	0.993	3.96	0.430	3.86	1.011	3.95	0.429
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	3.90	1.055	3.90	0.486	3.83	1.082	3.87	0.490	3.79	1.101	3.80	0.520	3.72	1.126	3.78	0.611	3.64	1.139	3.73	0.576
	(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3.97	1.008	3.97	0.448	3.90	1.058	3.95	0.511	3.87	1.086	3.89	0.537	3.81	1.105	3.87	0.576	3.76	1.106	3.86	0.551
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3.90	1.006	3.94	0.427	3.86	1.038	3.94	0.417	3.83	1.057	3.86	0.454	3.77	1.057	3.84	0.479	3.70	1.087	3.79	0.474
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.07	0.885	4.06	0.356	3.87	1.005	3.91	0.370	3.75	1.033	3.73	0.414	3.74	0.982	3.76	0.444	3.67	1.020	3.71	0.395
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.99	0.964	3.99	0.441	3.96	0.964	4.01	0.438	3.89	1.006	3.91	0.474	3.81	1.017	3.87	0.521	3.78	1.028	3.86	0.502
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.94	1.045	3.93	0.506	3.93	1.043	3.95	0.461	3.84	1.102	3.83	0.542	3.79	1.103	3.83	0.570	3.76	1.101	3.84	0.525
	(13)	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	4.00	0.973	4.00	0.433	3.99	0.968	4.01	0.400	3.91	1.024	3.91	0.442	3.84	1.006	3.87	0.439	3.81	1.039	3.86	0.446

部門名 理学部  
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2014年度				2013年度				2012年度				2011年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.86	0.497	4.81	0.206	4.87	0.476	4.82	0.207	4.85	0.546	4.81	0.251	4.83	0.538	4.78	0.234	4.73	0.752	4.66	0.416
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.30	0.843	4.22	0.335	4.24	0.873	4.16	0.369	4.29	0.862	4.23	0.384	4.20	0.882	4.13	0.406	4.07	0.964	4.03	0.463
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	4.08	0.941	4.00	0.357	4.00	0.973	3.92	0.446	4.08	0.946	4.05	0.410	3.98	0.948	3.92	0.371	3.84	1.014	3.83	0.400
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.17	0.874	4.12	0.316	4.04	0.963	3.97	0.451	4.12	0.910	4.08	0.420	4.03	0.924	3.99	0.385	3.84	1.003	3.81	0.398
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.38	0.781	4.33	0.282	4.19	0.942	4.12	0.504	4.27	0.853	4.25	0.336	4.21	0.868	4.18	0.358	4.06	0.966	4.01	0.368
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.29	0.846	4.22	0.342	4.12	0.974	4.05	0.459	4.17	0.953	4.12	0.439	4.08	0.951	4.02	0.440	3.95	1.021	3.91	0.408
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.21	0.865	4.16	0.340	3.99	1.023	3.93	0.559	4.13	0.950	4.11	0.418	4.06	0.934	4.02	0.425	3.88	1.014	3.82	0.420
	(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.24	0.841	4.21	0.332	4.07	0.978	4.02	0.493	4.19	0.893	4.16	0.378	4.08	0.907	4.05	0.401	3.95	0.960	3.92	0.345
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.20	0.912	4.12	0.348	4.08	0.988	4.01	0.466	4.16	0.978	4.10	0.467	4.08	0.955	4.02	0.443	3.94	1.025	3.90	0.471
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.35	0.846	4.29	0.302	3.97	1.058	3.96	0.461	4.01	1.035	3.94	0.444	3.95	0.965	3.91	0.362	3.83	0.968	3.82	0.362
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.28	0.837	4.22	0.327	4.10	0.972	4.03	0.541	4.20	0.906	4.16	0.454	4.13	0.895	4.08	0.408	3.99	0.978	3.95	0.425
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.18	0.873	4.17	0.304	4.04	0.978	4.01	0.471	4.11	0.951	4.10	0.384	4.07	0.923	4.07	0.362	3.87	1.006	3.86	0.431
	(15)	教員は参加者が課題に取り組みの助けを くれた	4.35	0.822	4.31	0.295	4.21	0.942	4.15	0.515	4.28	0.862	4.27	0.345	4.27	0.832	4.25	0.302	4.08	0.967	4.05	0.432

## V. 計算機センター

計算機センターで開講している科目には次のような特徴がある。授業形態は講義のみである。しかし座学だけではない。学生1人ひとりに1台のコンピューター端末を割当て、操作しながら実際に体験し学ぶ実習を講義の中に取り入れている。この特徴を踏まえて、授業評価アンケートの設問 Q1 から Q13 の集計結果について、平成 23 年度～平成 27 年度の過去 5 年間の経年変化を分析し今後の改善点について検討する。その際、以下の点を考慮することは、非常に重要である：学内の実習室等にある計算機センターが管理するコンピューターを卒業するまで利用できる権利を得るためには「初等情報処理 1」の単位修得が必要である。そこで、ほとんどの学科において選択科目ではあるものの、学生にとって実質的に必修科目に近い。そのため、コマ数も履修者数も多く、複数の教員が担当している。

### 1. 集計データから分かること（単年度データ及び過去 5 ヶ年経年変化比較表）

#### Q1 出席率：

計算機センターの部門別平均 4.71(標準偏差 0.229)は、大学全体の講義の平均 4.54(標準偏差 0.303)と比べ大きく、標準偏差も小さい。この結果は、過去 4 年間と同様である。計算機センターで開講している講義科目は、学生全体の出席率が高い。一方、高い出席率(Q1)が、学習意欲(Q2)に反映されているわけではない。過去 4 年間、さらに遡ってもこの傾向は大きく変化していない。その理由は次のように説明できる。計算機センター開講授業のうち約 75%を占める「初等情報処理 1」の単位修得は、計算機センターのコンピューターを卒業まで利用するための条件となっている。従って、必修の科目と変わらぬ態度で授業を受ける学生が多いためと考えられる。

#### Q2 意欲的か：

計算機センターの部門別平均 3.99(標準偏差 0.346)は、大学全体の講義の平均 3.82(標準偏差 0.392)よりも大きい。学生は意欲をもって授業に臨んでいると思われる。総合評価(Q11)は大学全体の講義の平均より低い。学生の学習意欲に十分に答える授業内容になっていない可能性が考えられる。

#### Q3 授業レベルの適切さ・Q4 授業の速さの適切さ：

授業レベル(Q3)の評価については、計算機センターの部門別平均 3.74(標準偏差 0.561)は、大学全体の講義の平均 3.97(標準偏差 0.446)より小さい。同様に授業の速さ(Q4)の評価においても計算機センターの部門別平均 3.73(標準偏差 0.530)は、大学全体の講義の平均 4.04(標準偏差 0.417)より小さい。学生とのコミュニケーションをとって、改善が必要であ

ろう。一方、平成 26 年度は初めて標準偏差が大学全体と比較して小さくなったが、平成 27 年度の標準偏差は大学全体より大きくなり、元の傾向に戻った。標準偏差が大きいことの意味を推測すると、学科別に割り当てられたクラスの中でコンピューターの習熟度には大きな差があること、同じ科目でも教員間でのレベル設定に差があることが考えられる。今後、初等情報処理のように複数の教員で担当している科目については、教員間でより一層の授業内容のすり合わせを行っていく必要があるだろう。

#### Q5 教員の熱意・Q6 教員の授業環境保全：

計算機センターの部門平均は、それぞれ 4.01(標準偏差 0.487)と 4.03(標準偏差 0.434)であり、大学全体の講義 4.34 及び 4.20 の平均より小さい。

#### Q7 理解しやすい・Q8 教員の話し方・Q11 総合評価：

計算機センターの部門平均は、それぞれ 3.83(標準偏差 0.610)、3.96(標準偏差 0.488)と 3.89(標準偏差 0.545)であり、大学全体の講義 4.09、4.15 及び 4.16 の平均より小さい。Q7、Q8、Q11 の評価には比較的強い相関があり、授業の分かりやすさは、学生の主体性がそもそも前提になっており、授業が理解できた学生にとっては、授業の評価が高いという至極当然のことを表しているにすぎない可能性はある。計算機センターの部門別平均は、過去 5 年の結果と同様に大学全体よりも評価が低い。

#### Q10 シラバスと授業内容：

計算機センターの部門別平均 4.13 は大学平均 4.17 よりやや小さい。1 年生の計算機センター開講授業「初等情報処理」の時間割は、あらかじめ学科ごとに割り振られているために、シラバスを参考に選択する余地がないため評価が低いのであろう。

#### Q12 板書・スライドの提示、Q13 教材（教科書、配布資料等）の内容：

計算機センターの部門平均は、それぞれ 4.01(標準偏差 0.473)と 4.05(標準偏差 0.433)であり、大学全体の講義の平均 4.29 と 4.36 より小さい。

## 2. 今後の授業改善に向けて

例年の傾向であるが、概して学生の授業への評価が大学全体よりも低い。ただし、計算機センター開講科目の特色として、次の 2 点に留意しなくてはならない。

- 1) 計算機センターで開講している講義科目のほとんど（約 75%）は、コンピューターの基本操作等の情報リテラシー教育を行う「初等情報処理」であり、その受講生の大部分は 1 年生である。1 人 1 台のコンピューター端末を操作する半分実習の講義科目が特徴である。そこでは 80 名程度の規模のクラスも少なくない。一般的な傾向として、総履修者数が多くなるほど、授業の総合評価は低くなる。また学年が低

いほど、授業の総合評価は低くなる。実際にコンピューターを操作しながら授業を進める半分実習の講義形態であることから、授業に一度ついていけなくなると、その後、授業内容が分からないままに、ただ受身的に授業に出席するという状態に陥りやすい。

- 2) 初等情報処理の1学期開講科目である「初等情報処理1」においては、この単位を修得した学生に限り、卒業まで継続してコンピューターを利用できる権利を与えている。すなわち在学中に継続して大学でコンピューターを利用したい学生の大部分は、「初等情報処理1」の単位を修得する必要がある。この自動車の運転免許のような制度が、学生をただ義務的に「初等情報処理1」の授業に出席させる状態にしている可能性もある。

今後、義務的に出席している学生が、より一層学習意欲や好奇心を感じられるように授業を改善していく必要がある。新入生のコンピューター操作のスキルには、大きな個人差がある。学習意欲はあるにも関わらず(Q2)、学生の好奇心を十分に満たせていない状況(Q9)も読み取れる。これは、授業がコンピューター操作の訓練の場として受け止められており、他の講義科目と同様に予習・復習を前提とした科目であるという認識が薄いことも一因であろう。コンピューターの操作に終始せず、その背後にある原理や、受講学生の属する学科の学問領域との関連性についても触れ、学生の知的好奇心を満たすことができる充実した内容にしていくことが一層望まれる。

学生のコンピューターへの習熟度は、入学時に既に大きな開きがあり、全ての学生に満足のいくレベルの授業を行うことは一層難しくなりつつある。今後は、学生の学習意欲を高めるために、能力別クラス編成の導入などの柔軟な情報処理教育体制も視野に入れて、授業の改善を進める必要がある。

「初等情報処理1, 2」はクラスが多く、多数の教員が担当している。設問 Q3、Q4、Q7は、他の設問と比較して標準偏差の値が大きく、学生に理解しやすい授業をしているクラスとそうでないクラスの差が大きいのであろう。このような状況を鑑み、共通のシラバスのもとで多数の教員が授業をする科目については、特に教員間で授業改善のための工夫を共有し、学生の声を反映させるための仕組みをつくることが望まれる。

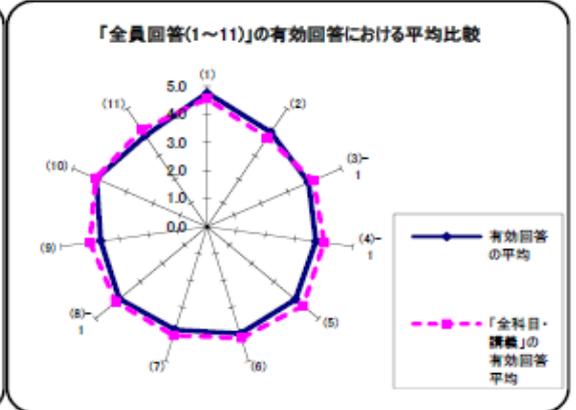
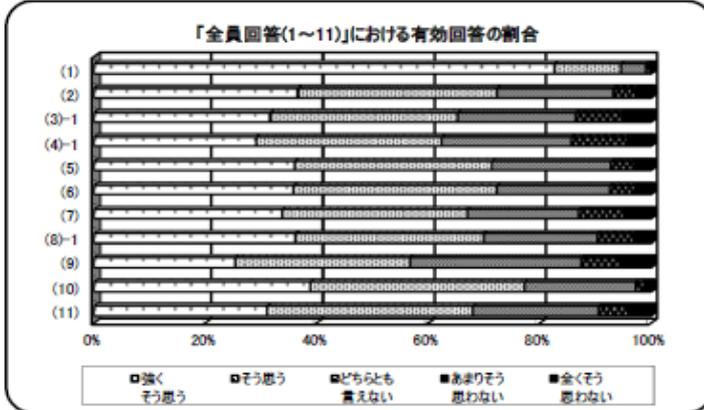
学芸院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 計算機センター

形態名 講義

	合計	総履修者数	回収率
回収数	3,487	4,564	76.40%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 書えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単科集計 平均	学生回答 単科集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	2,875	413	156	25	8	10	3,487	4.76	0.585	4.71	0.229
			82.45%	11.84%	4.47%	0.72%	0.23%	0.29%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,267	1,238	724	142	91	25	3,487	4.00	0.988	3.99	0.346
			36.33%	35.50%	20.76%	4.07%	2.61%	0.72%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	1,082	1,147	725	291	173	69	3,487	3.78	1.130	3.74	0.561
			31.03%	32.89%	20.79%	8.35%	4.96%	1.98%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	391	58	-	-	-	15	464	-	-	-	-
			84.27%	12.50%	-	-	-	3.23%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	1,004	1,146	801	351	145	40	3,487	3.73	1.112	3.73	0.530
			28.79%	32.86%	22.97%	10.07%	4.16%	1.15%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	417	65	-	-	-	14	496	-	-	-	-
84.07%			13.10%	-	-	-	2.82%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	1,251	1,222	744	145	103	22	3,487	3.97	1.005	4.01	0.487	
		35.88%	35.04%	21.34%	4.16%	2.95%	0.63%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	1,240	1,262	702	158	97	28	3,487	3.98	0.998	4.03	0.434	
		35.56%	36.19%	20.13%	4.53%	2.78%	0.80%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	1,171	1,152	694	282	168	20	3,487	3.83	1.127	3.83	0.610	
		33.58%	33.04%	19.90%	8.09%	4.82%	0.57%	100.00%					
(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	1,247	1,162	703	229	105	41	3,487	3.93	1.050	3.96	0.488	
		35.76%	33.32%	20.16%	6.57%	3.01%	1.18%	100.00%					
(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	170	14	133	-	-	17	334	-	-	-	-	
		50.90%	4.19%	39.82%	-	-	5.09%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	676	1,083	1,064	233	199	30	3,487	3.64	1.104	3.71	0.459	
		25.18%	31.08%	30.51%	6.68%	5.71%	0.86%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 42.13%)	730	724	376	27	24	137	3,487	4.12	0.864	4.13	0.353	
		20.93%	20.76%	10.78%	0.77%	0.69%	3.93%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,078	1,277	781	189	138	24	3,487	3.86	1.046	3.89	0.545	
		30.91%	36.62%	22.40%	5.42%	3.96%	0.69%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	1,232	1,176	642	142	70	225	3,487	4.03	0.970	4.01	0.473
			35.33%	33.73%	18.41%	4.07%	2.01%	6.45%	100.00%				
(13)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	1,253	1,197	620	97	74	246	3,487	4.07	0.948	4.05	0.433	
		35.93%	34.33%	17.78%	2.78%	2.12%	7.05%	100.00%					



相関係数表 部門名 計算機センター  
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.257(**)	1											
Q3	.110(**)	<b>.477(**)</b>	1										
Q4	.089(**)	.386(**)	<b>.758(**)</b>	1									
Q5	.079(**)	.382(**)	<b>.508(**)</b>	<b>.546(**)</b>	1								
Q6	.078(**)	<b>.415(**)</b>	<b>.525(**)</b>	<b>.543(**)</b>	<b>.738(**)</b>	1							
Q7	.063(**)	<b>.406(**)</b>	<b>.680(**)</b>	<b>.674(**)</b>	<b>.699(**)</b>	<b>.727(**)</b>	1						
Q8	.075(**)	.361(**)	<b>.579(**)</b>	<b>.659(**)</b>	<b>.619(**)</b>	<b>.648(**)</b>	<b>.768(**)</b>	1					
Q9	.060(**)	<b>.483(**)</b>	<b>.562(**)</b>	<b>.529(**)</b>	<b>.572(**)</b>	<b>.603(**)</b>	<b>.634(**)</b>	<b>.565(**)</b>	1				
Q10	0.009	.239(**)	.233(**)	.252(**)	.234(**)	.247(**)	.258(**)	.221(**)	.330(**)	1			
Q11	.094(**)	<b>.462(**)</b>	<b>.671(**)</b>	<b>.650(**)</b>	<b>.700(**)</b>	<b>.709(**)</b>	<b>.795(**)</b>	<b>.711(**)</b>	<b>.723(**)</b>	.320(**)	1		
Q12	.087(**)	.366(**)	<b>.549(**)</b>	<b>.544(**)</b>	<b>.593(**)</b>	<b>.627(**)</b>	<b>.688(**)</b>	<b>.638(**)</b>	<b>.560(**)</b>	.248(**)	<b>.679(**)</b>	1	
Q13	.074(**)	.376(**)	<b>.547(**)</b>	<b>.519(**)</b>	<b>.563(**)</b>	<b>.598(**)</b>	<b>.663(**)</b>	<b>.602(**)</b>	<b>.555(**)</b>	.247(**)	<b>.660(**)</b>	<b>.776(**)</b>	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は (⑤90%以上、④80%以上、③70%、④50%以上、⑤50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルは適切である
- Q 4 この授業を進める速さは適切である
- Q 5 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 6 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方 (スピード、聞き取りやすさ) は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している  
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材 (教科書、配布資料等) の内容は適切である

学習院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 計算機センター  
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2014年度				2013年度				2012年度				2011年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.76	0.585	4.71	0.229	4.75	0.602	4.69	0.247	4.73	0.628	4.69	0.188	4.76	0.595	4.71	0.220	4.77	0.577	4.69	0.282
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.00	0.988	3.99	0.346	3.88	0.967	3.86	0.316	3.86	1.001	3.85	0.279	3.82	1.031	3.82	0.312	3.79	1.008	3.82	0.344
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	3.78	1.130	3.74	0.561	3.73	1.059	3.70	0.403	3.72	1.116	3.72	0.479	3.63	1.154	3.64	0.556	3.56	1.157	3.60	0.543
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	3.73	1.112	3.73	0.530	3.62	1.117	3.62	0.390	3.66	1.136	3.67	0.467	3.58	1.162	3.60	0.516	3.47	1.178	3.56	0.550
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	3.97	1.005	4.01	0.487	3.77	1.005	3.82	0.387	3.81	1.028	3.86	0.434	3.74	1.051	3.78	0.387	3.73	1.043	3.81	0.441
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	3.98	0.998	4.03	0.434	3.91	0.981	3.96	0.346	3.94	0.979	3.97	0.353	3.83	1.035	3.88	0.379	3.76	1.052	3.84	0.434
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	3.83	1.127	3.83	0.610	3.74	1.107	3.75	0.447	3.78	1.121	3.79	0.528	3.63	1.162	3.68	0.590	3.61	1.163	3.69	0.552
	(8)-1	教員の話し方スピード、聞き取りやすさは 適切である	3.93	1.050	3.96	0.488	3.81	1.056	3.85	0.408	3.86	1.069	3.88	0.442	3.74	1.109	3.79	0.436	3.70	1.126	3.80	0.497
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3.64	1.104	3.71	0.459	3.60	1.089	3.66	0.337	3.59	1.109	3.67	0.421	3.55	1.143	3.61	0.448	3.50	1.119	3.61	0.426
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.12	0.864	4.13	0.353	3.65	1.027	3.65	0.373	3.71	1.027	3.72	0.340	3.61	1.053	3.64	0.395	3.53	1.056	3.57	0.384
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.86	1.046	3.89	0.545	3.75	1.023	3.79	0.408	3.76	1.056	3.80	0.480	3.68	1.065	3.72	0.491	3.64	1.062	3.73	0.471
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.03	0.970	4.01	0.473	3.94	1.000	3.94	0.387	3.99	0.983	3.99	0.400	3.83	1.063	3.86	0.441	3.77	1.052	3.84	0.444
	(13)	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	4.07	0.948	4.05	0.433	3.97	0.958	3.97	0.359	4.01	0.957	4.01	0.363	3.91	1.022	3.92	0.431	3.83	1.017	3.88	0.444

## VI. 外国語教育研究センター

### 1. 集計データから分かること

外国語教育研究センターの授業評価アンケート実施率は、平成26年度は99.39%であったが、平成27年度は対象とする497科目において99.62%となった（2科目が未実施）。また、平成27年度の回答率は前年度比0.07ポイント上昇の78.61%であり、この5年間はほぼ78%以上の数値で推移している。12,000人を超える総履修者で他学部・課程の演習科目並みの回答率を得ているのは、語学科目の授業の規模が小さなこととの関連が考えられる。

### ◎アンケート項目別分析

前年度と比べ、科目ベースでQ10の数値が前年度より0.25ポイント高くなっているのが些か目立つが、他のアンケート項目は前年度の数値に比べ、0.01～0.09ポイントの範囲での上昇を示す結果となっており、大きな変化は見られない。以下、各項目に関して分析結果を示す。

#### Q1「私のこの授業への出席率は」

この項目の科目ベースの数値は4.56となっており、過去の授業評価アンケートと同様に4.5を上回る高い数値となっている。これは、語学が必修科目となっていることだけでなく、3分の2以上出席しなくてはならないという規定が学生に広く認識され、授業において教員による出席確認も十分に行われているためであると思われる。また、40人以下という比較的少人数で授業が実施されていることも学生の高い出席率に結びついていると思われる。ちなみに、平成27年度は249科目（50.10%）が履修者25名以下のクラスで、245科目（49.30%）が履修者26～50名のクラス、平成26年度は234科目（49.80%）が履修者25名以下のクラスで、245科目（50.20%）が履修者26～50名のクラスであった。

#### Q2「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」

この項目は、これまで授業評価アンケートが実施された過去9回と比べて最も高い数値となっている。科目ベースで、平成26年度の4.08も、それまでのアンケートで最も高い数値であったが、平成27年度には、4.12とさらなる上昇を示している。また、平成27年度は79.2%の学生が意欲的に取り組んでいると回答し、この数値は平成26年度より2.26ポイント高くなっている。「強くそう思う」という回答も前年度を2.78上回っているが、今後も学生が意欲的に授業に取り組めるような工夫がさらに教員に求められるだろう。課題や小テスト等により、学生自身が授業に意欲的に取り組んでいることを自覚できる環境づくりもその手段のひとつとなると考えられる。

Q3-1「この授業のレベルは適切である」

Q3-2「授業のレベルについて、どのように感じましたか」

Q3-1に関しても過去5年間で最も高い数値となっている。「適切である」と回答している学生の割合も、前年度から約1.8ポイント上昇し、80.81%となっており、開講されている授業レベルは概ね適切なものであると言える。否定的な学生の割合は前年度に比べ0.64ポイント減少しているが、今後も継続して注視していく必要があるだろう。

Q3-2に関しては平成27年度から追加された項目である。授業のレベルに関して「難しすぎる」という回答は68.69%、「易しすぎる」は27.7%、無回答は5.96%であった。

Q4-1「この授業を進める速さは適切である」

Q4-2「この授業を進める速さについて、どのように感じましたか」

この項目もこれまでで最も高い数値となっている。肯定的な回答をする学生の割合が81.96%に達しており、否定的な回答も4.06%となっていることから、概ね適切な速さで授業が進められていると考えることができる。「どちらとも言えない」という回答は、数値が前年度よりも1.61ポイント低くなっている。

Q5「教員は熱意を持って授業を行っている」

この項目の科目ベースの平均は4.49と、前年度を0.1ポイント、過去最高であった平成24年度を1.1ポイント上回っており、肯定的な回答は90.4%と前年より数値が上昇している。他方で、否定的な回答は1.42%に留まっており、前年度同様に熱意をもって授業を行っている教員が多いと学生に認められていると考えてよいだろう。

Q6「教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している」

この項目も、これまで授業評価が実施された中で最も高い平均ベースの値となっている。肯定的な回答は86.33%と前年度よりも高い数値となっている。否定的な回答は僅かながら上昇している。また、「どちらとも言えない」という回答は1.18ポイントほど減少し10.59%となっている。前年度と比較し、より多くの授業において教室がよりふさわしい状態に保たれていると考えてよいだろう。

Q7「教員は理解しやすい授業を行っている」

この項目の科目ベースの平均は4.32であり、この数値は前年度を0.01ポイント、過去最高の数値であった平成24年度も0.04ポイント上回っている。肯定的な回答が84.55%と前年度より0.34ポイント増加し、否定的な回答は3.83%と前年度より0.12%減少していることから見て、授業の改善が進みつつあるとあってよいであろう。ただし、「どちらとも言えない」という回答が11.32%となっていることは、さらなる工夫の余地があるとも言える。

**Q8 「教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」**

この項目は科目ベース平均が4.36となっており、前年（平成26年）度を0.04上回っている。また、肯定的な回答が85.13%で前年度より0.74ポイントの増加、否定的な回答は3.37%と前年度より0.22ポイントの減少を示している。この項目については、平成25年度が平成24年度に比較して評価が若干低下していたが、ここ数年にわたって見ると数値の変化は大きくなく、教員は概ね適切な話し方をしていると考えてよいだろう。ただ、平成26年度よりも数値は低くなっているものの、「どちらとも言えない」という回答も10.47%あることを考えると、教員が話し方を改善すべき余地はまだ残されていると思われる。

例年、Q8とQ7の相関係数の値は高くなっていることから、理解しやすい授業と教員の適切な話し方は関連性が高いことが分かる。これは、教員の話し方の工夫により学生の理解度が上がることを意味しており、教員がさらに適切な話し方をすることが求められるであろう。

**Q9 「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」**

この項目は、科目ベース平均が4.10で、前年度と変化なく過去最高の数値を維持している。肯定的な回答が0.62ポイント増加し、否定的な回答が0.34ポイント減少したことを見ても、大きな変化とは言えないものの、若干の改善傾向が見られると言えよう。ただ、「どちらとも言えない」の数値が約20%になる点は、今後なお工夫の余地が残されていることを示している。初修言語の場合には、基礎的な発音練習や会話練習、文法練習に多くの時間が割かれることが多く、知的好奇心が刺激される段階まではなかなか達し難いことも影響していると思われる。そのような状況の中で、学生の知的好奇心を刺激し、新しいものの見方に触れる機会をつくるためには、言語が使用されている国の様子や文化的特徴を示している映画やビデオ、写真等を活用していくことがひとつの手段となるであろう。ビジュアルな情報を用いることにより、学生自身が訪れたことがない文化圏であっても、学生の興味、関心を高めることが可能となり、実際に訪れるきっかけになることもあると思われるからである。

**Q10 「この授業はシラバスに示されていた授業内容と合致している」**

この項目は平成22年度から新たに追加された項目であるため、それ以降のデータとのみ比較することが可能である。平成27年度の科目ベース平均は、前年度を0.25ポイント上回る4.31となっており、他の項目に比べて上昇幅が大きい。これまでもこの項目は年々数値が高くなってきたことから見ても、教員・学生の双方においてシラバスを活用する傾向が強まってきていると言えるだろう。ただし、この項目が教員に関する評価項目の中では相対的に低い値となっていることも前年度同様であり、また、自分が履修しているクラスのシラバスを読まなかった学生が40%に上る。その原因は、語学科目の場合、履修する科目があらかじめ決められている学科も多いことや、初修言語の場合には、基礎的な会話表現や

文法を学ぶということが分かっているために、シラバスを確認しない学生が多いこと、等が考えられる。一方、中級以上の科目で履修すべきクラスが指定されていない場合には、シラバスの内容によって履修科目を決定する学生が多いため、今後も履修科目選択の際に役立つシラバス作成が求められるであろう。

#### Q11 「総合的に見てこの授業は高く評価できる」

この項目は、科目ベースの平均が4.33と前年度より数値が0.04高くなっている。また、肯定的な回答が約85%、否定的な回答が約3.5%と、平成26年度より数値が若干改善されている。以上の数値からみても、概ね学生は授業を高く評価していると言える。この項目と最も相関関係が高いのは、Q7「教員は理解しやすい授業を行っている」の.787、次いでQ8「教員の話し方は適切である」の.711、Q9「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」の.700、Q5「授業に対する教員の熱意が感じられる」の.686となっている。つまり、総合的に評価が高い授業とは、教員の熱意が感じられ、かつ話し方が適切で理解しやすく、知的好奇心が刺激される授業であることが分かる。このような授業を提供できるようにするには、熱意のある教員をさらに支援する体制を確立する必要があろう。

#### Q12 「板書の仕方やスライドの提示の仕方は適切である」

科目ベースの平均点は4.25となっており、前年度より0.06高くなっている。これは、過去5年間で最も高い値である。肯定的な回答が全体の79.52%に達してはいるものの、「どちらとも言えない」との回答が14%以上に上ることから、まだ改善の余地があると思われる。授業における教員の一層の努力と工夫とともに、使用しやすい機器を始めとするハード面での授業環境の改善もさらに求められるであろう。

#### Q13 「教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である」

科目ベースの平均点は4.33となっており、この値は過去5年間で最も高い数値である。肯定的な回答も82.97%と前年度よりも高くなっており、概ね学生の要望や期待を満たすことはできていると思われる。なお「どちらとも言えない」との回答も10.86%あり、僅かながら前年度より減少しているが、この数値をさらに低くするためには教員の事前準備を含むさらなる努力が求められるであろう。

#### Q14 「教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心掛けていた」

科目ベースの平均点は4.32であり、前年度よりも0.04高い数値となっている。肯定的な回答も約79%と前年度よりも若干高くなっており、授業において学生の発言や議論する場が確保されていると考えることができる。ただし、「どちらとも言えない」との回答は約12.69%と前年度よりも僅かに減少はしているが、大きな変化は見られない。初修言語の場

合はドリル的な練習が多いことから、学生が活発に発言や議論を行っているとは感じ取りにくい可能性もあると考えられる。その一方で、学生が発言する機会が欠乏している可能性もあることから、今後も数値の変動を確認していく必要があるだろう。

#### Q15 「教員は参加者が課題に取り組むのを助けた」

この項目の科目ベース平均点は4.32となっており、前年度より0.03高い数値となっている。肯定的な回答は78.9%に達しており、否定的な回答は3.11%と前年より高くなっているものの、教員の多くが学生の学習をしっかり支援していることが分かる。この数値をさらに高いものにするためには、例文の暗唱、音読、プレゼンテーションやレポート等、語学の授業ならではの特徴をいかした課題を用いていくことが求められるであろう。

#### Q16 「1回1回の授業のねらいが明確である」

この項目の科目ベース平均点は4.25となっており、これまでで最も高い数値となっている。肯定的な回答も76.41%と平成26年度よりも数値が高くなっている。また、否定的な回答は3.64%と前年度より0.23%減少していることから、平成26年度より僅かながら学生に授業のねらいを明確に受け取らせることができたクラスが増加したと考えることができる。ただし、無回答は約6%とあり、今後も注視していく必要があるだろう。講読の授業の場合、1年を通した授業全体としてのねらい・目標は明確であっても、1回1回の授業のねらい・目標は意識されないことも多いと思われる。教員側が意識的にねらい・目標を明確に示し、学生に伝えていくことも必要となるであろう。

#### Q17 「教員は授業時間を有効に活用している」

科目ベースの平均点が4.32と前年度よりも0.05高く、過去5年間で最も高い値となっている。肯定的な回答も79.26%と前年度よりも僅かに数値が高くなっているため、概ね授業時間は有効に活用されていると言えるであろう。ただし、無回答が6.26%と比較的高い数値を示しており、教員がさらに努力を重ねていく必要があるであろう。

### 2. 今後の授業改善に向けて

外国語教育研究センターが提供している語学の授業に関しては、学生からの評価が全般的に肯定的であると考えてよいと思われる。高い数値を示すアンケート項目が大半を占めてはいるが、まだ改善の余地がある項目も見受けられる。従って、今後も継続して授業をより良いものにしていくための教員の努力と環境の整備が求められるだろう。学生のモチベーションを強化するためには、学部学科の履修規定を見直し、必修単位となる語学科目を増やす等の方策が考えられる。

授業をより良いものにしていくためには、カリキュラムの見直しや、さらなる少人数教育の強化といった大きなものから、指導法の工夫やテキストの選択等の比較的小さな改善

まで、様々なレベルの手段がある。中でも、学生の語学力を伸ばしていくためには、さらなる少人数教育の徹底が特に重要である。

また、英語に関しては習熟度別クラス編成が必要となってくるであろう。本学では全ての1年生が入学時に TOEIC を受験しており、入学時の英語習熟度にかかなりの開きが見られるようになっていることが分かる。この TOEIC のスコアを活用すれば各学部における習熟度別クラス編成を行うことが可能である。

習熟度別クラス編成は、平成 27 年度より法学部法学科で導入され、現在、法学部と理学部の全学科で導入されているが、その結果、担当教員からは授業が行いやすくなったという感想があがっている。学生側から見ても適切な授業レベルを保証するものとして受け入れられているかどうかを確認する必要があるが、全学的に習熟度別クラス編成が行われることで、全学的な教育効果の向上が望めることにもなるだろう。

また、現在の授業評価アンケートはすべてマークシート回答となっており、数値による分析のみが行われている。学生が具体的に何を外国語の授業に求めているのかを確認するためにも、今後、記述式項目を取り入れ、学生が具体的に意見を述べる機会を提供する必要もあるのではないかと思われる。

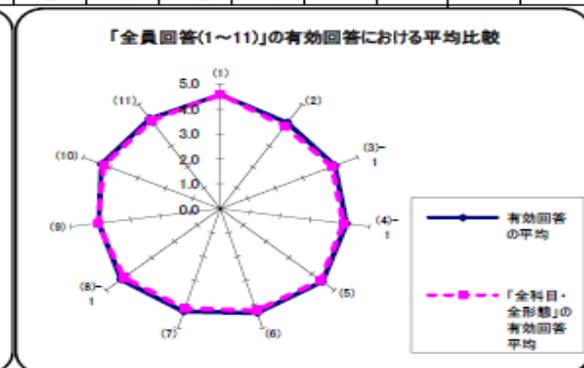
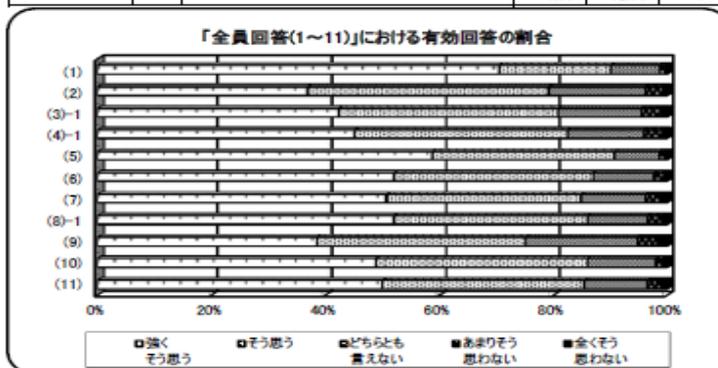
学習院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 外国語教育研究センター

形態名 語学

	合計	総履修者数	回収率
回収数	9,955	12,477	79.79%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 書えない	2 あまり 思わない	1 全く 思わない	無 回答	計	学生回答 単科集計 平均	学生回答 単科集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	7,000	1,956	851	118	19	11	9,955	4.59	0.712	4.58	0.271
			70.32%	19.65%	8.55%	1.19%	0.19%	0.11%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3,844	4,199	1,879	304	77	52	9,955				
			38.60%	42.18%	18.87%	3.05%	0.77%	0.52%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	4,144	3,782	1,438	343	101	147	9,955				
			41.63%	37.99%	14.45%	3.45%	1.01%	1.48%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:思しすぎる	305	123	--	--	--	16	444				
			68.69%	27.70%	--	--	--	3.60%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4,458	3,701	1,324	309	94	69	9,955				
			44.78%	37.18%	13.30%	3.10%	0.94%	0.69%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:速すぎる	253	128	--	--	--	24	403				
		62.78%	31.27%	--	--	--	5.96%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	5,829	3,171	780	98	44	33	9,955					
		58.55%	31.85%	7.84%	0.98%	0.44%	0.33%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	5,129	3,485	1,054	183	63	81	9,955					
		51.52%	34.81%	10.59%	1.84%	0.63%	0.81%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	5,027	3,390	1,127	255	126	30	9,955					
		50.50%	34.05%	11.32%	2.58%	1.27%	0.30%	100.00%					
(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	5,115	3,380	1,042	240	96	102	9,955					
		51.38%	33.75%	10.47%	2.41%	0.96%	1.02%	100.00%					
(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:速すぎる 3:その他/聞き取りにくい	140	15	165	--	--	16	336					
		41.67%	4.48%	49.11%	--	--	4.78%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3,808	3,625	1,950	356	160	58	9,955					
		38.23%	36.41%	19.59%	3.58%	1.61%	0.58%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 41.18%)	2,607	1,985	645	82	41	518	9,955					
		26.19%	19.94%	6.48%	0.82%	0.41%	5.20%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4,959	3,511	1,102	235	113	35	9,955					
		49.81%	35.27%	11.07%	2.36%	1.14%	0.35%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4,346	3,570	1,427	220	82	310	9,955				
			43.66%	35.86%	14.33%	2.21%	0.82%	3.11%	100.00%				
(13)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	4,722	3,538	1,081	190	77	347	9,955					
		47.43%	35.54%	10.86%	1.91%	0.77%	3.49%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4,706	3,149	1,263	224	95	518	9,955				
			47.27%	31.63%	12.69%	2.25%	0.95%	5.20%	100.00%				
(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4,638	3,264	1,200	214	96	543	9,955					
		46.59%	32.79%	12.05%	2.15%	0.96%	5.45%	100.00%					
「語学」 のみ	(16)	1回1回の授業のねらいが明確である	4,283	3,324	1,387	268	95	598	9,955				
			43.02%	33.39%	13.93%	2.69%	0.95%	6.01%	100.00%				
(17)	教員は授業時間を有効に活用している	4,637	3,253	1,112	239	91	623	9,955					
		46.58%	32.68%	11.17%	2.40%	0.91%	6.26%	100.00%					



相関係数表 部門名 外国語教育研究センター  
形態名 語学

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16	Q17
Q1	1																
Q2	.367(**)	1															
Q3	.140(**)	.491(**)	1														
Q4	.113(**)	.423(**)	.721(**)	1													
Q5	.098(**)	.376(**)	.521(**)	.567(**)	1												
Q6	.085(**)	.389(**)	.538(**)	.588(**)	.723(**)	1											
Q7	.079(**)	.399(**)	.624(**)	.667(**)	.690(**)	.741(**)	1										
Q8	.071(**)	.343(**)	.578(**)	.650(**)	.620(**)	.669(**)	.784(**)	1									
Q9	.072(**)	.467(**)	.543(**)	.544(**)	.564(**)	.597(**)	.637(**)	.582(**)	1								
Q10	.004	.217(**)	.208(**)	.201(**)	.177(**)	.188(**)	.204(**)	.199(**)	.261(**)	1							
Q11	.090(**)	.492(**)	.652(**)	.670(**)	.686(**)	.704(**)	.787(**)	.711(**)	.700(**)	.247(**)	1						
Q12	.089(**)	.389(**)	.545(**)	.586(**)	.595(**)	.628(**)	.682(**)	.638(**)	.580(**)	.215(**)	.672(**)	1					
Q13	.088(**)	.391(**)	.589(**)	.594(**)	.587(**)	.605(**)	.674(**)	.621(**)	.575(**)	.210(**)	.672(**)	.788(**)	1				
Q14	.094(**)	.374(**)	.492(**)	.521(**)	.581(**)	.615(**)	.606(**)	.584(**)	.583(**)	.172(**)	.624(**)	.625(**)	.614(**)	1			
Q15	.080(**)	.383(**)	.534(**)	.570(**)	.611(**)	.643(**)	.678(**)	.623(**)	.601(**)	.204(**)	.690(**)	.685(**)	.649(**)	.755(**)	1		
Q16	.085(**)	.403(**)	.538(**)	.573(**)	.595(**)	.622(**)	.665(**)	.610(**)	.615(**)	.233(**)	.683(**)	.672(**)	.652(**)	.641(**)	.699(**)	1	
Q17	.085(**)	.371(**)	.525(**)	.597(**)	.617(**)	.680(**)	.677(**)	.628(**)	.593(**)	.213(**)	.702(**)	.672(**)	.662(**)	.645(**)	.684(**)	.760(**)	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

### 【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は (⑤90%以上、④80%以上、③70%、④50%以上、⑤50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルは適切である
- Q 4 この授業を進める速さは適切である
- Q 5 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 6 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している  
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

### 【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

### 【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

### 【授業形態が「語学」の場合のみ回答】

- Q 16 1回1回の授業のねらいが明確である
- Q 17 教員は授業時間を有効に活用している

## 学習院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 外国語教育研究センター  
形態名 語学

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2014年度				2013年度				2012年度				2011年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.59	0.712	4.56	0.271	4.58	0.709	4.57	0.243	4.58	0.709	4.55	0.236	4.57	0.708	4.56	0.237	4.61	0.695	4.59	0.236
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	4.11	0.847	4.12	0.309	4.05	0.867	4.08	0.330	4.05	0.868	4.06	0.323	4.02	0.868	4.04	0.326	3.99	0.902	4.01	0.341
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	4.18	0.878	4.18	0.373	4.13	0.880	4.15	0.401	4.11	0.891	4.12	0.378	4.09	0.905	4.11	0.348	4.06	0.925	4.08	0.394
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.23	0.863	4.24	0.377	4.17	0.877	4.20	0.405	4.16	0.884	4.18	0.376	4.15	0.887	4.17	0.371	4.11	0.920	4.14	0.406
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.48	0.721	4.49	0.316	4.37	0.776	4.39	0.356	4.35	0.798	4.37	0.357	4.36	0.803	4.38	0.362	4.32	0.833	4.35	0.403
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.36	0.787	4.38	0.328	4.31	0.795	4.34	0.326	4.29	0.816	4.32	0.322	4.27	0.820	4.30	0.328	4.25	0.843	4.29	0.369
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.30	0.863	4.32	0.423	4.28	0.864	4.31	0.422	4.25	0.896	4.27	0.426	4.25	0.891	4.28	0.423	4.21	0.922	4.24	0.454
	(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.34	0.835	4.36	0.380	4.29	0.843	4.32	0.389	4.28	0.879	4.29	0.388	4.27	0.870	4.31	0.386	4.22	0.895	4.25	0.410
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.07	0.931	4.10	0.402	4.06	0.948	4.10	0.430	4.03	0.961	4.07	0.411	4.02	0.969	4.07	0.414	3.98	0.990	4.02	0.445
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	4.32	0.788	4.31	0.357	4.04	0.922	4.06	0.427	3.98	0.961	3.99	0.407	3.96	0.958	3.96	0.409	3.91	0.982	3.90	0.436
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.31	0.845	4.33	0.412	4.27	0.843	4.29	0.416	4.23	0.864	4.26	0.407	4.23	0.863	4.26	0.401	4.19	0.894	4.22	0.446
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.23	0.844	4.25	0.376	4.17	0.860	4.19	0.396	4.14	0.882	4.16	0.384	4.11	0.892	4.14	0.390	4.07	0.921	4.10	0.424
	(13)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.32	0.810	4.33	0.352	4.24	0.832	4.26	0.367	4.21	0.863	4.23	0.363	4.19	0.865	4.22	0.368	4.14	0.899	4.17	0.392
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	4.29	0.858	4.32	0.411	4.25	0.872	4.28	0.430	4.22	0.891	4.25	0.400	4.20	0.892	4.23	0.408	4.16	0.912	4.20	0.433
	(15)	教員は参加者が課題に取り組みの助けた	4.29	0.848	4.32	0.401	4.27	0.850	4.29	0.416	4.22	0.872	4.25	0.395	4.20	0.881	4.23	0.402	4.17	0.896	4.21	0.416
「語学」 のみ	(16)	1回1回の授業のねらいが明確である	4.22	0.873	4.25	0.397	4.17	0.896	4.20	0.419	4.15	0.911	4.17	0.389	4.13	0.913	4.16	0.417	4.10	0.929	4.13	0.417
	(17)	教員は授業時間を有効に活用している	4.30	0.847	4.32	0.383	4.25	0.869	4.27	0.409	4.24	0.872	4.26	0.370	4.20	0.889	4.23	0.397	4.17	0.908	4.20	0.407

## Ⅶ. スポーツ・健康科学センター

平成27年度のスポーツ・健康科学科目における授業評価アンケートの実施率は98.97%、回答率は77.07%であった。

Q1「私のこの授業への出席率は」については、平均値4.42ポイントであり、出席率80%以上と回答した学生は84.65%であった。他部門の出席率と比較すると、90%以上と回答した学生は61.06%でやや低めの値となっている。これは、必修科目であるスポーツ・健康科学Ⅰ・Ⅱと選択科目であるスポーツ・健康科学Ⅲが纏まった形で集計されていることも要因であると考えられる。文学部・理学部1年生及び理学部2年生が主体となるⅠとⅡは、出席率は比較的高いが、全学対象の選択科目であるⅢの履修者は、3・4年生が比較的多く履修しており、就職活動等で欠席がちになることなどが、影響しているものと考えられる。科目の性質を考慮した集計も必要であると考えられる。

Q2「私は、この授業に意欲的に取り組んでいる」については、平均値4.44ポイントであった。88.14%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答しているが、「どちらともいえない」が9.86%という点にも着目すべきである。必修科目として履修している学生の中には、単位のためにしかたなく受講している者もいることが予想されるが、そのような学生にとっても必要な知識の習得とともに、充実感や達成感を持ってもらい意欲的に授業に参加してもらえるような工夫が必要であると考えられる。

Q3「この授業レベルは適切である」については、平均値4.48ポイントであった。89.73%の学生が、「強くそう思う」「そう思う」と回答しているが、「どちらともいえない」が7.99%、「あまりそう思わない」1.61%も注目すべき点であると思われる。履修する学生は経験者から初心者まで、また、体力レベルの高い者から低いものまで幅が広い。実技という特性から、非常に難しいことではあるが、いずれの学生に対しても適切なレベルで授業を展開できるような技量を身に付けることが教員には求められるのではないかと思われる。

Q4「この授業を進める速さは適切である」については、平均値4.55ポイントと高い評価を受けている。学生の反応や技術の習得具合、各授業に対するリアクションペーパー等の内容から授業ごとに進度を調整していると思われる。今後も、適切な進度となるよう努めたい。

Q5「教員は熱意を持って授業を行っている」については、平均値4.72ポイントと高い評価を受けている。96.07%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答している。今後も熱意を持って授業に臨めるようにしていきたい。

Q6「教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している」については、平均値4.66ポイントと高い評価を受けている。94.45%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答している。また、「どちらとも言えない」と回答した学生4.88%存在しており、引き続き学習にふさわしい状況を保てるよう努めていきたい。

Q7「教員は理解しやすい授業を行っている」については、平均値 4.62 ポイントと高い評価を受けている。94.45%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答している。実技科目の特性上、視覚的に課題の情報を捉えることによって、学習が進められることが多いと思われるが、言語による教示や適切な資料の配付など、理解しやすい授業となるよう努めていきたい。

Q8「教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」については、平均値 4.68 ポイントと高い評価を受けている。94.98%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答している。グラウンドや体育館、テニスコートといった教場が広く声が届きづらい状況ではあるが、集合のさせ方や話し方に工夫をし、適切な話し方となるよう努めていきたい。

Q9「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」については、平均値 4.35 ポイントと他の項目に比べてやや低めの回答であった。実技種目の特性上、実際の活動に主眼が置かれがちであるが、科学的なトレーニング方法の紹介や、効果的な技能習得方法の提示（様々な練習ドリルの紹介）、スポーツ種目にまつわる歴史やルールの解説など、学生に興味や関心を持たせることも必要であると思われる。教員自身の技量の向上や知識の獲得のために、情報の収集や研修会への参加を積極的に行っていかなければならない。

Q10「この授業はシラバスに示されていた授業内容と合致している」については、平均値 4.57 ポイントであった。シラバスを読まなかったと回答した学生が、46.00%いた。シラバスの記載方法については、工夫を凝らしてきているが、より情報が伝わりやすくすることやシラバスを見てもらえるような工夫も必要であると思われる。

Q11「総合的に見てこの授業は高く評価できる」については、平均値 4.62 ポイントであった。「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生の合計は 93.00%であり、かなり高い評価を受けていると考えられる。今回の評価に甘んじることなく更なる改善に向けて努力していかなければならない。

Q22「運動量は」については、平均値 4.51 ポイントであった。92.19%の学生が「十分」「おおむね十分」と回答している。また、「どちらとも言えない」と回答した学生が 5.06%いる。経験者、初心者、体力のある者ない者ともに十分な運動量を確保できるような授業となるよう努めたい。

Q23「体力・健康状態が改善された」については、平均値は 4.22 ポイントと他の項目と比較してやや低い評価となった。「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生の合計が 79.43%と他の項目に比較してやや低い数値となった。週間頻度 2～3 回の運動実践が体力向上に必要であるとされていることから、週 1 回の授業のみでの効果は小さいと思われる。履修することによって、授業外での自発的な運動実践に結びつくよう指導できるよう努めたい。

Q24「運動技術が向上した」については、平均値 4.26 ポイントであった。「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生の合計が 80.97%であった。「どちらとも言えない」と回答し

た学生が 15.93%おり、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせると 19.03%となる。初心者レベルから向上しなかったのか、それともある程度のレベルから向上しなかったのかは、不明である。一斉指導では様々なレベルの学生に対応することは困難ではあるが、より多くの学生の技術が向上するよう努めていきたい。

Q25「履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた」については、平均値 4.42 ポイントであった。「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生の合計が 88.19%であった。

Q26「身体・運動に対する関心が高まった」については、平均値 4.31 ポイントであった。「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生の合計が 82.12%であった。Q9とも関連することであるが、教員自身の技量の向上や知識の獲得のために、情報の収集や研修会への参加を積極的に行っていかなければならない。

Q27「自分の身体の健康・体力の再認識ができた」については、平均値 4.47 ポイントであった。例年、1学期中に受講者全員を対象として体力テストを実施している。その結果のフィードバックの方法をさらに向上させることによって、この項目に対する認識がさらに深まるものと期待できる。

Q28「自分の生活習慣を見直す機会となった」については、平均値 4.29 ポイントとやや低めの数値であった。学生の時期は一般的に健康に対して無関心なこともあり、授業そのものが本学学生のライフスタイルに及ぼす影響は小さいかもしれないが、授業で運動や栄養・休養の重要性については言及し、健康的な生活習慣が身に付くよう指導していきたい。

Q29「施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた」については、平均値 4.60 ポイントと比較的高い評価となった。施設については、グラウンドの人工芝化など比較的好条件の中で授業が行われていると考えられるが、雨天時の体育館更衣室から卓球場への移動や、テニスコートにおける暑熱環境下への対策など改善していくべき点もあると考えられる。用具についても、受講者数、破損、劣化具合を考慮して適宜整備していきたい。

#### 学年別

Q22～Q29 の質問項目について、強くそう思うと回答した割合は、学年が高くなるにつれて高くなる傾向が見られた。学部1年生では 50%前後、学部4年生では 80%前後が強くそう思うと回答している。これは、1年生は文・理学部の必修選択として受講している学生が多く、授業内容が基礎体力作りや基本的な技術練習からスタートした内容が多く、上級生は選択科目として受講した者が多く、試合形式の内容が多く実施されていることなどが影響していると思われる。また、本アンケートに対する姿勢として、低学年ほど真剣に回答しており、上級生になるほど項目を熟読せず「⑤」を機械的にマークして提出しているような様子も感じられ、実施に際して、真剣に取り組ませるような配慮も必要ではないかと思われる。

#### 相関係数

Q1・Q2については、他の設問と相関係数 0.6 以上の項目はなかった。Q3 から Q9 に関しては、相互に相関係数 0.5 以上が認められ、0.7 以上の項目もあった。Q10 は、シラバスに関する項目であるが、こちらはどの設問とも相関係数 0.3 未満であった。

Q11 総合的に見てこの授業は高く評価できるについては、Q3～Q9 との間で相関係数が 0.6 以上であった。Q23～Q27 の間でも相関係数 0.6 以上の項目が見られた。

全体的に見ると、Q1、Q2 は学生自身の授業に対する姿勢、Q10 はシラバスに関する項目、Q22 は運動量である。これらの設問は、他の設問との相関が比較的低いと考えられる。

「全員」回答項目と「スポ健」のみ回答項目で特に相関係数の高かったものは、Q9「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」と Q26「身体・運動に対する関心が高まった」、Q11「総合的に見てこの授業は高く評価できる」と Q29「施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた」であった。

#### 経年変化

過去 5 年間の経年変化をみると、実施率はほぼ 100%で推移している。回答率については、平成 23 年度 71.38%から、平成 27 年度 77.07%へと僅かながら上昇傾向となっている。回答者ベース、科目ベース平均点双方の平均点は、いずれも 4.50 付近の値を示しており、大幅な変化は認められない。

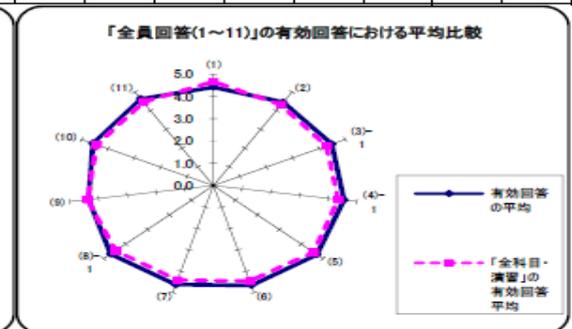
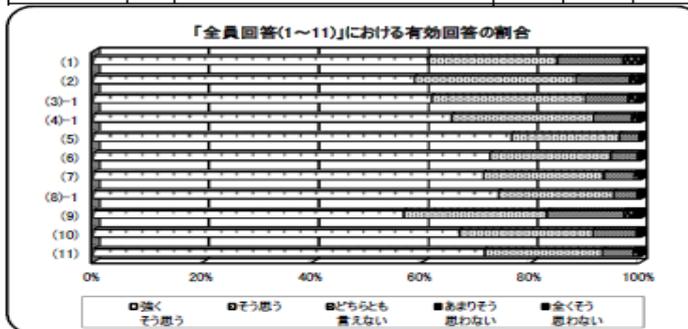
学芸院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 スポーツ・健康科学センター

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,506	1,954	77.07%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 率前集計 平均	学生回答 率前集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 真えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	919	355	183	45	3	1	1,506	4.42	0.631	4.41	0.334
			61.02%	23.57%	12.15%	2.99%	0.20%	0.07%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	880	443	148	21	9	5	1,506	4.44	0.775	4.52	0.314
			58.43%	29.42%	9.83%	1.39%	0.60%	0.33%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	919	417	119	24	10	17	1,506	4.48	0.768	4.54	0.292
			61.02%	27.69%	7.90%	1.59%	0.66%	1.13%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5: 難しすぎる 4: 易しすぎる	25	9	-	-	-	0	34	-	-	-	-
			73.53%	26.47%	-	-	-	0.00%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	979	390	106	17	7	7	1,506	4.55	0.717	4.60	0.263
			65.01%	25.90%	7.04%	1.13%	0.46%	0.46%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 適すぎる	8	13	-	-	-	3	24	-	-	-	-
		33.33%	54.17%	-	-	-	12.50%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	1,148	297	53	3	3	4	1,506	4.72	0.556	4.74	0.199	
		76.10%	19.72%	3.52%	0.20%	0.20%	0.27%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	1,084	330	73	2	8	9	1,506	4.66	0.629	4.70	0.239	
		71.96%	21.91%	4.85%	0.13%	0.53%	0.60%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	1,069	332	82	12	8	3	1,506	4.62	0.675	4.67	0.282	
		70.98%	22.05%	5.44%	0.80%	0.53%	0.20%	100.00%					
(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	1,108	314	63	6	8	11	1,506	4.68	0.613	4.72	0.235	
		73.44%	20.85%	4.18%	0.40%	0.40%	0.73%	100.00%					
(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 適すぎる 3: その他/聞き取りにくい	2	0	8	-	-	2	12	-	-	-	-	
		16.67%	0.00%	66.67%	-	-	16.67%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	848	394	210	28	19	7	1,506	4.35	0.879	4.45	0.385	
		56.31%	26.16%	13.94%	1.86%	1.26%	0.46%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 43.09%)	509	186	60	3	4	95	1,506	4.57	0.700	4.62	0.327	
		33.80%	12.35%	3.98%	0.20%	0.27%	6.31%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,071	324	83	13	9	6	1,506	4.62	0.685	4.68	0.306	
		71.12%	21.51%	5.51%	0.86%	0.60%	0.40%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	529	273	174	17	12	501	1,506	4.28	0.892	4.39	0.432
			35.13%	18.13%	11.55%	1.13%	0.80%	33.27%	100.00%				
(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	609	256	121	9	7	502	1,506	4.45	0.791	4.53	0.372	
		40.44%	17.13%	8.03%	0.60%	0.46%	33.33%	100.00%					
スポーツ・ 健康科学科目	(22)	運動量は 5: 十分 4: おおむね十分 3: どちらとも真えない 2: やや不足 1: 不十分	863	412	70	32	6	123	1,506	4.51	0.736	4.56	0.266
			57.30%	27.36%	4.65%	2.12%	0.40%	8.17%	100.00%				
	(23)	体力・健康状態が改善された	853	448	237	33	15	120	1,506	4.22	0.887	4.31	0.422
			43.36%	29.75%	15.74%	2.19%	1.00%	7.97%	100.00%				
	(24)	運動技術が向上した	885	438	221	28	15	119	1,506	4.26	0.874	4.36	0.406
			45.48%	29.08%	14.67%	1.86%	1.00%	7.90%	100.00%				
	(25)	履修したスポーツ種目等について 新しい知識が得られた	801	423	132	16	16	118	1,506	4.42	0.802	4.47	0.325
			53.19%	28.09%	8.76%	1.06%	1.06%	7.84%	100.00%				
	(26)	身体や運動に対する関心が高まった	739	400	205	26	17	119	1,506	4.31	0.877	4.40	0.396
		49.07%	26.56%	13.61%	1.73%	1.13%	7.90%	100.00%					
(27)	自分の身体の健康、体力の再確認ができた	825	419	117	18	8	119	1,506	4.47	0.752	4.53	0.320	
		54.78%	27.82%	7.77%	1.20%	0.53%	7.90%	100.00%					
(28)	自分の生活習慣を見直す機会となった	714	420	202	34	16	120	1,506	4.29	0.884	4.37	0.403	
		47.41%	27.89%	13.41%	2.26%	1.06%	7.97%	100.00%					
(29)	施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた	946	354	70	10	7	119	1,506	4.60	0.667	4.66	0.256	
		62.82%	23.51%	4.65%	0.66%	0.46%	7.90%	100.00%					



相関係数表 部門名 スポーツ・健康科学センター  
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15	Q22	Q23	Q24	Q25	Q26	Q27	Q28	Q29	
Q1																						
Q2	.363(**)																					
Q3	.130(**)	.525(**)																				
Q4	.093(**)	.478(**)	.715(**)																			
Q5	.108(**)	.393(**)	.470(**)	.593(**)																		
Q6	.100(**)	.468(**)	.546(**)	.607(**)	.718(**)																	
Q7	.064(**)	.425(**)	.586(**)	.638(**)	.683(**)	.780(**)																
Q8	.082(**)	.416(**)	.546(**)	.653(**)	.676(**)	.748(**)	.793(**)															
Q9	.108(**)	.518(**)	.550(**)	.561(**)	.493(**)	.598(**)	.597(**)	.589(**)														
Q10	.062(**)	.208(**)	.197(**)	.186(**)	.136(**)	.196(**)	.216(**)	.183(**)	.292(**)													
Q11	.097(**)	.488(**)	.635(**)	.670(**)	.651(**)	.751(**)	.798(**)	.762(**)	.694(**)	.222(**)												
Q14	.080(**)	.441(**)	.470(**)	.517(**)	.515(**)	.551(**)	.582(**)	.573(**)	.648(**)	.254(**)	.594(**)											
Q15	0.05	.442(**)	.491(**)	.551(**)	.593(**)	.654(**)	.661(**)	.626(**)	.627(**)	.258(**)	.662(**)	.737(**)										
Q22	0.051	.265(**)	.310(**)	.309(**)	.276(**)	.326(**)	.301(**)	.300(**)	.333(**)	.174(**)	.362(**)	.318(**)	.295(**)									
Q23	.096(**)	.434(**)	.428(**)	.454(**)	.347(**)	.432(**)	.472(**)	.491(**)	.562(**)	.287(**)	.477(**)	.534(**)	.518(**)	.524(**)								
Q24	.092(**)	.440(**)	.470(**)	.450(**)	.392(**)	.459(**)	.481(**)	.455(**)	.585(**)	.237(**)	.501(**)	.526(**)	.509(**)	.484(**)	.737(**)							
Q25	.078(**)	.375(**)	.422(**)	.458(**)	.493(**)	.505(**)	.535(**)	.510(**)	.580(**)	.263(**)	.531(**)	.459(**)	.541(**)	.419(**)	.500(**)	.843(**)						
Q26	.082(**)	.457(**)	.509(**)	.511(**)	.453(**)	.517(**)	.585(**)	.520(**)	.655(**)	.271(**)	.594(**)	.571(**)	.561(**)	.422(**)	.690(**)	.686(**)	.672(**)					
Q27	.063(**)	.400(**)	.483(**)	.521(**)	.493(**)	.543(**)	.571(**)	.531(**)	.545(**)	.233(**)	.598(**)	.515(**)	.558(**)	.461(**)	.638(**)	.598(**)	.622(**)	.739(**)				
Q28	0.033	.365(**)	.441(**)	.477(**)	.391(**)	.450(**)	.525(**)	.489(**)	.544(**)	.293(**)	.513(**)	.534(**)	.531(**)	.392(**)	.691(**)	.601(**)	.584(**)	.719(**)	.734(**)			
Q29	.056(**)	.357(**)	.420(**)	.511(**)	.469(**)	.565(**)	.577(**)	.570(**)	.489(**)	.215(**)	.614(**)	.500(**)	.581(**)	.413(**)	.523(**)	.520(**)	.594(**)	.557(**)	.618(**)	.570(**)		

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。  
\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は (⑤90%以上、④80%以上、③70%、②45%以上、①50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルは適切である
- Q 4 この授業を進める速さは適切である
- Q 5 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 6 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している  
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【開設部門が「スポーツ・健康科学センター」の場合のみ回答】

- Q 22 運動量は (⑤十分、④おおむね十分、③どちらとも言えない、②やや不足、①不十分)
- Q 23 体力・健康状態が改善された
- Q 24 運動技術が向上した
- Q 25 履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた
- Q 26 身体や運動に対する関心が高まった
- Q 27 自分の身体の健康、体力の再確認ができた
- Q 28 自分の生活習慣を見直す機会となった
- Q 29 施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた

学習院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 スポーツ・健康科学センター  
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2014年度				2013年度				2012年度				2011年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:00%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.42	0.831	4.41	0.334	4.43	0.844	4.42	0.304	4.49	0.784	4.49	0.264	4.43	0.841	4.43	0.358	4.46	0.823	4.46	0.282
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.44	0.775	4.52	0.314	4.43	0.752	4.47	0.289	4.45	0.788	4.52	0.282	4.44	0.772	4.48	0.299	4.44	0.785	4.50	0.302
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	4.48	0.766	4.54	0.292	4.49	0.766	4.52	0.305	4.49	0.771	4.54	0.296	4.46	0.789	4.51	0.289	4.44	0.806	4.49	0.387
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.55	0.717	4.60	0.263	4.54	0.697	4.58	0.287	4.56	0.698	4.62	0.254	4.53	0.723	4.59	0.270	4.51	0.737	4.56	0.336
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.72	0.556	4.74	0.199	4.67	0.599	4.69	0.219	4.70	0.554	4.74	0.196	4.65	0.620	4.70	0.212	4.62	0.639	4.66	0.270
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.66	0.629	4.70	0.239	4.58	0.673	4.61	0.259	4.60	0.647	4.64	0.246	4.58	0.685	4.63	0.253	4.54	0.744	4.59	0.324
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.62	0.675	4.67	0.282	4.57	0.685	4.60	0.315	4.62	0.646	4.65	0.261	4.58	0.684	4.64	0.270	4.55	0.705	4.60	0.317
	(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.68	0.613	4.72	0.235	4.62	0.644	4.65	0.260	4.65	0.615	4.68	0.236	4.61	0.673	4.67	0.261	4.58	0.697	4.63	0.305
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.35	0.879	4.45	0.385	4.39	0.830	4.44	0.353	4.39	0.845	4.48	0.400	4.42	0.822	4.50	0.349	4.37	0.878	4.46	0.407
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.57	0.700	4.62	0.327	4.28	0.890	4.32	0.384	4.36	0.855	4.39	0.430	4.40	0.841	4.41	0.375	4.33	0.887	4.37	0.398
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.62	0.685	4.68	0.306	4.61	0.652	4.65	0.289	4.62	0.657	4.67	0.288	4.61	0.647	4.66	0.287	4.59	0.684	4.64	0.334
「演習」 「話す」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.28	0.892	4.39	0.432	4.27	0.884	4.31	0.427	4.27	0.890	4.35	0.455	4.30	0.883	4.36	0.414	4.25	0.921	4.36	0.453
	(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.45	0.791	4.53	0.372	4.41	0.810	4.44	0.414	4.46	0.773	4.52	0.390	4.46	0.767	4.51	0.387	4.43	0.808	4.54	0.387
「スポーツ」 のみ	(22)	運動量は 5:十分 4:比較的十分 3:どちらでもない 2:やや不足 1:不十分	4.51	0.736	4.56	0.266	4.47	0.738	4.51	0.291	4.51	0.732	4.56	0.271	4.49	0.729	4.56	0.312	4.47	0.790	4.53	0.321
	(23)	体力・健康状態が改善された	4.22	0.887	4.31	0.422	4.24	0.817	4.30	0.374	4.28	0.842	4.37	0.404	4.26	0.866	4.35	0.398	4.24	0.871	4.34	0.400
	(24)	運動技術が向上した	4.26	0.874	4.36	0.406	4.26	0.841	4.33	0.385	4.30	0.854	4.38	0.383	4.29	0.868	4.38	0.394	4.26	0.874	4.35	0.400
	(25)	履修したスポーツ科目等について新しい知識が 得られた	4.42	0.802	4.47	0.325	4.40	0.794	4.43	0.337	4.44	0.775	4.50	0.300	4.43	0.798	4.49	0.331	4.38	0.831	4.43	0.371
	(26)	身体や運動に対する関心が高まった	4.31	0.877	4.40	0.398	4.36	0.794	4.42	0.330	4.34	0.845	4.43	0.390	4.35	0.830	4.43	0.376	4.34	0.845	4.42	0.401
	(27)	自分の身体の健康、体力の再確認ができた	4.47	0.752	4.53	0.320	4.48	0.703	4.52	0.311	4.47	0.727	4.53	0.313	4.46	0.730	4.52	0.300	4.44	0.773	4.51	0.340
	(28)	自分の生活習慣を見直す機会となった	4.29	0.884	4.37	0.403	4.32	0.834	4.36	0.348	4.31	0.890	4.39	0.383	4.27	0.901	4.35	0.368	4.30	0.893	4.37	0.389
	(29)	施設・用具も含め授業の準備は 十分なされていた	4.60	0.667	4.66	0.256	4.60	0.651	4.61	0.273	4.62	0.621	4.67	0.255	4.59	0.661	4.65	0.257	4.58	0.680	4.63	0.309

## VIII. 基礎教養科目運営委員会

本章では、「総合基礎科目」のうち、外国語科目・スポーツ・健康科学科目・情報科目を除く、「基礎教養科目」について分析する。

### A) 集計データから分かること

平成 27 年度の「基礎教養科目」開設科目数は 94 科目、内訳として講義形態が 93 科目、演習形態が 1 科目であった。アンケート実施率は講義形態が 98.2%で 1 科目のみ未実施、演習形態は 100%であった。総履修者数は、10,730 名であるが、このうちアンケート回答者数は 5,896 名に留まり、回答率は 54.95%という結果となった。前年度の回答率が 50.14%であったことからみると、回答率は約 5 ポイント向上したものの、依然として半数に留まる。「基礎教養科目」の回答率 54.95%という値は全科目平均の 55.51%を若干下回っているが、講義科目のみの平均値 47.55%よりは 7.40 ポイント上回っており、上向き傾向にあると評価できよう。

年 度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
回答率	42.57%	38.67%	41.72%	44.79%	50.12%	48.80%	50.14%	54.95%

以下、質問内容別に分析するが、前述のとおり、基礎教養科目は演習形態の科目が 1 科目のみであるため、記載する数値は、すべて講義形態のものを引用する。

### Q1 私はこの授業によく出席している

出席率 80%以上と回答した学生の合計は 5,105 名であり、回答者の 87.13%となった。アンケート回答者は必然的によく出席している学生であろうから、出席状況は高い数値になるはずであり、これはどの開設部門にも共通の傾向である。その中での 87%という値は講義形態の全体平均 (88.84%) より若干低く、基礎教養科目の授業への取組意欲は、専門科目に比べて、僅かではあるが低い傾向にあることは否めない。

### Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる

学生の授業への意欲度については、肯定を意味する「強くそう思う」「そう思う」という回答の合計比率 (以下、「肯定の割合」と略す) が 62.41%となり、前年度の 55.39%からは大幅に向上した。この値は、講義形態全体としての肯定の割合である 62.93%と比較してもほぼ同値であり、この学生の意欲および Q1 の授業出席状況から、カリキュラムにおける「基礎教養科目」の位置付け等を考察する必要があるだろう。

### Q3 この授業のレベルは適切である

授業のレベルの適切度について、肯定の割合は 80.24%であり、平成 26 年度の 75.61%より 5 ポイント程度と大きく向上する結果になった。また、大学全体の講義形態の平均

71.71%と比べても 10 ポイント近く高い結果となり、授業内容に対する満足度が高いことを示す結果となった。

#### **Q4 この授業を進める速さは適切である**

授業を進める速さの適切度についても、大学全体の平均（74.14%）を上回り、肯定の割合は 83.21%となった。平成 26 年度が 78.79%であったことから、この点でも満足度が上がったことがわかり、Q3 との相関関係からも明らかなように、教員による取り組みが奏功していると言えよう。

#### **Q5 授業に対する教員の熱意が感じられる**

授業に対する教員の熱意については、回答者の半数以上、率にして 56.29%の学生が「強くそう思う」と回答しており、平成 26 年度は 47.36%であったことから、飛躍的に向上したと評価できよう。肯定の割合で見ると、実に 89.73%（平成 26 年度 84.27%）であり、これは、大学全体の結果（84.95%）より高い評価となっており、基礎教養科目を担当する教員の熱意が学生に十分に伝わっていると言えよう。

#### **Q6 教員は教室が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている**

教室が学習にふさわしい状態に保たれているかについては、講義科目全体の平均（78.84%）を上回り、肯定の割合は 82.47%であった。前年度より 6 ポイント以上も肯定の割合が高くなっている理由については、教員側の配慮が奏功しているのか、学生の受け止め方に変化が生じたのか、判断するのは難しい。

#### **Q7 教員は理解しやすい授業を行っている**

授業の理解しやすさについては、講義科目全体の平均 75.51%（平成 26 年度 77.24%）を上回り、肯定の割合は 83.54%（平成 26 年度 78.11%）であった。平成 26 年度も、全体平均よりは高い値を示しており、傾向に大きな変化はない。学年別の回答結果からは 1 年生においても 76.56%が肯定していることがわかり、基礎教養科目の授業は履修学生の理解のしやすさに配慮がなされていると判断することができよう。

#### **Q8 教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である**

教員の話し方についても、講義科目全体の平均（77.75%）を上回り、肯定の割合は 85%であった。

#### **Q9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした**

知的好奇心の刺激についても、講義科目全体の平均 72.18%を上回り、肯定の割合は 82.38%であった。

#### **Q10 この授業は、シラバスはに示されていた授業内容と合致している**

肯定の割合は 52.58%（平成 26 年度 47.88%、平成 25 年度 46.56%）であり、講義科目全体の 50.41%（平成 26 年度 45.04%、平成 25 年度 41.78%）よりは上回ったが、平成 26 年度同様に設問中、肯定の割合としては最も低い数値を示した。一方で、シラバスを読まなかったという学生は 37.14%（2,059 名）に上り、講義概要を把握しないまま履修をしている実態がわかり、この点は今後の課題と言えよう。この傾向は大学全体でも同様であり、

全体平均で 37.70%が「読まなかった」と回答している。シラバスにおいて、学習の到達目標や準備学習の目安を記載し、学修成果をあげることが期待されていることから、新入生への履修指導やシラバスの活用方法を丁寧に周知することの必要性が強く認識された。

#### **Q11 総合的に見てこの授業は高く評価できる**

授業への総合的評価についての肯定の割合は 84.68%と、相当に高い結果を得た。平成 26 年度が、78.81%であったことから、大きな伸びとなった。

#### **Q12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である**

板書の仕方やスライド提示の仕方については、肯定の割合の回答が 80.51%であり、平成 26 年度の 72.89%を約 8%上回った。講義科目全体の平均 (74.16%) から上回る結果となり、各授業担当者の授業改善の結果と見てとれよう。

#### **Q13 教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である**

教材の内容の適切度についての肯定の割合は、過年度の下降傾向（平成 23 年度 76.11%→平成 24 年度 73.6%→平成 25 年度 72.81%）から一転、平成 26 年度は 77.3%と回復し、平成 27 年度は 82.9%となり、教材の適切性について確認された。

#### **Q18 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった**

本設問は基礎教養科目に特化した項目であり、肯定の割合は 87.67%であった。肯定の割合を学年別に見ると、4 年生が 91.43%で最も高かったが、1～3 年生においても 87%前後であり、履修者全体を通して全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものと捉えられているようである。

#### **Q19 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった**

この設問については、回答者が極端に減り、2,000 名を切る結果となった。これは、他の設問回答者の半数である。判断の難しい設問であり、学生はどう評価したらいいのかかわからず、回答しなかったのではないかと推察される。

### **■学年別の分析**

今回のアンケート結果からは、例年同様、多くの設問において、学年進行に比例して、評価が高くなる傾向にあることが読み取れる。この理由については、アンケート結果のみで即断することはできないが、高学年になるにつれて必修科目や選択必修科目の履修登録数が減少してくるため、結果的に時間割に余裕が生じ、学生は自らの意思で学びたい科目を履修している、すなわち高学年で回答している学生は非常に高い興味を持って履修しているということが影響しているものと思われる。

### **B) 今後の課題**

今回の授業評価アンケートは 10 回目の実施となったが、例年になく、全設問において肯定の割合が例年以上に高い結果となった。これまでのアンケート結果を踏まえた各担当教員の授業内容に対する改善の努力結果が表れたと考えられ、各授業担当者に感謝したい。

強いて課題をあげるとすると、半数程度に留まる回答率であろう。この点については、平成 28 年度より GPA の導入に伴う「棄権」の廃止等成績評価に関する諸制度の改正に伴い、学生が授業にどのように取り組んでいくか、その動向も点検しながら対策を検討していきたい。

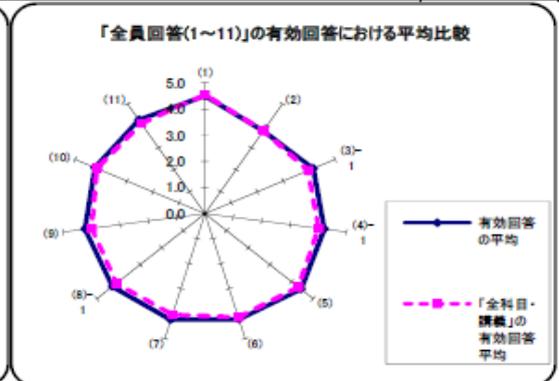
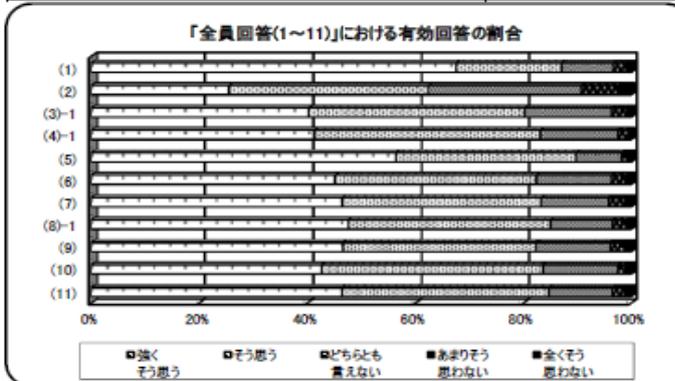
✿ 学習院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 基礎教養

	合計	総履修者数	回収率
回収数	5,866	10,640	55.13%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単科集計 平均	学生回答 単科集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 書えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	3,959	1,146	564	131	59	7	5,866	4.50	0.835	4.47	0.262
			67.49%	19.54%	9.61%	2.23%	1.01%	0.12%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,492	2,152	1,855	404	136	27	5,866	3.76	0.965	3.76	0.368
			25.43%	36.89%	28.21%	6.89%	2.32%	0.46%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	2,327	2,312	935	165	43	84	5,866	4.16	0.848	4.13	0.343
			39.67%	39.41%	15.94%	2.81%	0.73%	1.43%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:適しすぎる	168	20	-	-	-	20	208	-	-	-	-
			80.77%	9.62%	-	-	-	9.62%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	2,400	2,445	837	112	29	43	5,866	4.22	0.795	4.20	0.257
			40.91%	41.68%	14.27%	1.91%	0.49%	0.73%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	70	51	-	-	-	20	141	-	-	-	-
		49.65%	36.17%	-	-	-	14.18%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	3,288	1,953	500	61	39	25	5,866	4.44	0.748	4.43	0.315	
		56.05%	33.29%	8.52%	1.04%	0.66%	0.43%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	2,625	2,170	809	155	55	52	5,866	4.23	0.854	4.24	0.321	
		44.75%	36.99%	13.79%	2.64%	0.94%	0.89%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	2,710	2,159	730	173	70	24	5,866	4.24	0.869	4.25	0.368	
		46.20%	36.81%	12.44%	2.95%	1.19%	0.41%	100.00%					
(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	2,753	2,171	671	146	52	73	5,866	4.28	0.833	4.29	0.344	
		46.93%	37.01%	11.44%	2.49%	0.89%	1.24%	100.00%					
(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	50	17	114	-	-	17	198	-	-	-	-	
		25.25%	8.59%	57.58%	-	-	8.59%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	2,715	2,093	803	155	70	30	5,866	4.24	0.872	4.23	0.319	
		46.28%	35.68%	13.69%	2.64%	1.19%	0.51%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを讀まなかった人 ⇒ 35.10%)	1,484	1,431	489	44	37	322	5,866	4.23	0.813	4.22	0.278	
		25.30%	24.39%	8.34%	0.75%	0.63%	5.49%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	2,700	2,235	692	130	71	38	5,866	4.26	0.844	4.26	0.351	
		46.03%	38.10%	11.80%	2.22%	1.21%	0.65%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	2,376	2,086	825	189	66	324	5,866	4.18	0.869	4.18	0.368
			40.50%	35.56%	14.06%	3.22%	1.13%	5.52%	100.00%				
(13)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	2,440	2,121	769	114	58	364	5,866	4.23	0.841	4.24	0.351	
		41.60%	36.16%	13.11%	1.94%	0.99%	6.21%	100.00%					
基礎教養科目 運営委員会	(18)	授業は全学共通の総合基礎科目として ふさわしいものだった	1,941	1,391	361	69	39	2,065	5,866	4.35	0.806	4.30	0.415
			33.09%	23.71%	6.15%	1.18%	0.66%	35.20%	100.00%				
(19)	授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるもの だった(複数講師による授業の場合のみ回答)	896	728	256	40	21	3,925	5,866	4.26	0.842	4.25	0.519	
		15.27%	12.41%	4.36%	0.68%	0.36%	66.91%	100.00%					



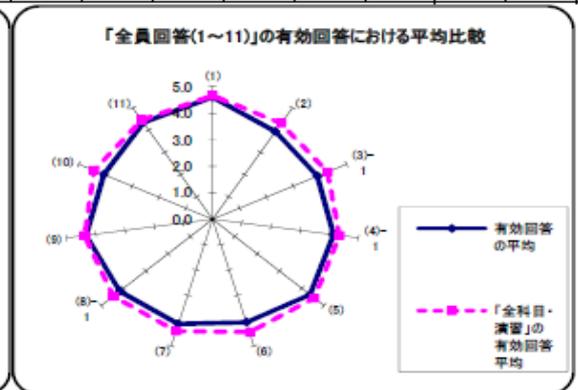
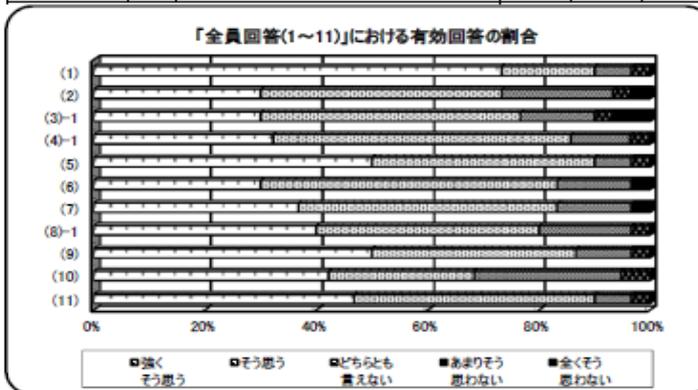
学習院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 基礎教養

	合計	総履修者数	回収率
回収数	30	63	47.62%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース					
			5 強く 思う	4 そう思う	3 どちらとも 書えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 集計平均	学生回答 集計標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	22	5	2	1	0	0	30	4.60	0.770	4.60	-	
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	9	13	6	1	1	0	30	3.93	0.960	3.93	-	
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	9	14	4	1	2	0	30	3.90	1.094	3.90	-	
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	3	0	-	-	-	0	3	-	-	-	-	
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	9	15	3	1	0	2	30	4.14	0.756	4.14	-	
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	0	0	-	-	-	1	1	-	-	-	-	
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	15	12	2	1	0	0	30	4.37	0.765	4.37	-	
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	9	16	4	0	1	0	30	4.07	0.868	4.07	-	
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	11	14	4	0	1	0	30	4.13	0.900	4.13	-	
	(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	12	12	5	1	0	0	30	4.17	0.834	4.17	-	
	(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	0	0	0	-	-	1	1	-	-	-	-	
「演習」 「語学」 のみ	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	15	11	3	1	0	0	30	4.33	0.802	4.33	-	
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを眺まなかった人 ⇒ 26.67%)	8	5	5	1	0	3	30	4.05	0.970	4.05	-	
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	14	13	2	1	0	0	30	4.33	0.758	4.33	-	
	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	5	11	9	1	1	3	30	3.67	0.961	3.67	-	
	(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	9	11	7	0	0	3	30	4.07	0.781	4.07	-	
	基礎教養科目 運営委員会	(18)	授業は全学共通の総合基礎科目として ふさわしいものだった	0	0	1	0	0	29	30	3.00	-	3.00	-
		(19)	授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるもの だった(複数講師による授業の場合のみ回答)	0	0	1	0	0	29	30	3.00	-	3.00	-



相関係数表 部門名 基礎教養  
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q18	Q19
Q1	1														
Q2	.361(**)	1													
Q3	.183(**)	.542(**)	1												
Q4	.152(**)	.452(**)	.721(**)	1											
Q5	.165(**)	.401(**)	.527(**)	.559(**)	1										
Q6	.136(**)	.435(**)	.530(**)	.570(**)	.654(**)	1									
Q7	.123(**)	.470(**)	.672(**)	.648(**)	.648(**)	.701(**)	1								
Q8	.126(**)	.421(**)	.595(**)	.665(**)	.631(**)	.641(**)	.783(**)	1							
Q9	.149(**)	.505(**)	.586(**)	.544(**)	.544(**)	.532(**)	.629(**)	.568(**)	1						
Q10	.084(**)	.258(**)	.215(**)	.194(**)	.169(**)	.187(**)	.184(**)	.181(**)	.236(**)	1					
Q11	.163(**)	.520(**)	.676(**)	.680(**)	.670(**)	.669(**)	.777(**)	.709(**)	.712(**)	.243(**)	1				
Q12	.115(**)	.423(**)	.519(**)	.566(**)	.554(**)	.583(**)	.635(**)	.610(**)	.517(**)	.197(**)	.633(**)	1			
Q13	.134(**)	.432(**)	.559(**)	.589(**)	.571(**)	.602(**)	.662(**)	.617(**)	.549(**)	.205(**)	.661(**)	.756(**)	1		
Q18	.131(**)	.403(**)	.623(**)	.591(**)	.575(**)	.558(**)	.682(**)	.597(**)	.585(**)	.189(**)	.706(**)	.594(**)	.638(**)	1	
Q19	.124(**)	.441(**)	.594(**)	.600(**)	.609(**)	.599(**)	.663(**)	.627(**)	.573(**)	.214(**)	.699(**)	.653(**)	.697(**)	.777(**)	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 基礎教養  
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15	Q18	Q19
Q1	1														
Q2	.603(**)	1													
Q3	.442(**)	.798(**)	1												
Q4	0.23	.519(**)	.712(**)	1											
Q5	0.082	.402(**)	.581(**)	.627(**)	1										
Q6	0.093	.451(**)	.479(**)	.612(**)	.793(**)	1									
Q7	0.03	.480(**)	.575(**)	.739(**)	.728(**)	.871(**)	1								
Q8	0.161	.394(**)	.510(**)	.735(**)	.658(**)	.746(**)	.843(**)	1							
Q9	0.223	.424(**)	.432(**)	.521(**)	.524(**)	.759(**)	.701(**)	.636(**)	1						
Q10	0.286	0.317	0.139	-0.04	0.008	0.192	0.088	-0.009	0.07	1					
Q11	-0.177	.495(**)	.624(**)	.776(**)	.793(**)	.751(**)	.792(**)	.836(**)	.719(**)	0.004	1				
Q14	-0.3	-0.185	-0.042	0.224	0.375	0.201	0.344	0.308	-0.097	-0.042	0.276	1			
Q15	-0.007	-0.101	0	0.127	.470(**)	0.275	0.251	0.243	0.233	-0.16	0.333	.649(**)	1		
Q18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
Q19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

### 【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は(⑤90%以上、④80%以上、③70%、②40%以上、①50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルは適切である
- Q 4 この授業を進める速さは適切である
- Q 5 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 6 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している  
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

### 【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

### 【開設部門が「基礎教養科目運営委員会」の場合のみ回答】

- Q 18 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった
- Q 19 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった(複数講師による授業の場合のみ)

学習院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 基礎教養  
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2014年度				2013年度				2012年度				2011年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.50	0.835	4.47	0.262	4.47	0.862	4.47	0.221	4.50	0.840	4.50	0.274	4.46	0.871	4.43	0.246	4.53	0.866	4.49	0.301
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.76	0.985	3.76	0.368	3.61	0.983	3.68	0.380	3.62	0.993	3.65	0.381	3.58	0.993	3.61	0.356	3.57	1.005	3.60	0.374
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	4.16	0.848	4.13	0.343	4.05	0.850	4.04	0.389	4.07	0.870	4.06	0.391	4.01	0.882	3.99	0.344	3.99	0.876	3.99	0.334
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.22	0.795	4.20	0.257	4.11	0.846	4.10	0.399	4.13	0.849	4.15	0.333	4.07	0.889	4.10	0.327	4.02	0.875	4.05	0.322
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.44	0.748	4.43	0.315	4.28	0.812	4.32	0.377	4.29	0.811	4.31	0.321	4.32	0.823	4.31	0.322	4.26	0.831	4.29	0.355
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.23	0.854	4.24	0.321	4.07	0.889	4.11	0.368	4.10	0.903	4.15	0.304	4.08	0.920	4.11	0.320	4.07	0.893	4.11	0.334
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.24	0.869	4.25	0.386	4.12	0.897	4.13	0.438	4.13	0.908	4.13	0.440	4.11	0.937	4.10	0.420	4.07	0.937	4.10	0.410
	(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.28	0.833	4.29	0.344	4.14	0.881	4.15	0.420	4.18	0.875	4.20	0.360	4.15	0.919	4.18	0.397	4.10	0.913	4.14	0.361
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.24	0.872	4.23	0.319	4.12	0.910	4.17	0.362	4.15	0.921	4.18	0.348	4.16	0.908	4.20	0.286	4.11	0.908	4.17	0.295
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.23	0.813	4.22	0.278	3.86	0.931	3.89	0.296	3.89	0.915	3.90	0.329	3.84	0.947	3.86	0.264	3.79	0.942	3.84	0.270
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.26	0.844	4.26	0.351	4.12	0.866	4.15	0.404	4.15	0.866	4.17	0.396	4.14	0.879	4.15	0.366	4.12	0.860	4.14	0.340
「講義」 「語学」 のみ	(14)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.18	0.889	4.18	0.386	4.00	0.943	4.05	0.457	4.06	0.939	4.09	0.413	3.95	1.011	4.01	0.424	3.85	1.017	3.93	0.434
	(15)	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	4.23	0.841	4.24	0.351	4.09	0.869	4.13	0.393	4.14	0.877	4.17	0.364	4.10	0.894	4.11	0.362	4.06	0.878	4.11	0.315
「基礎教養」 のみ	(18)	授業は全学共通の総合基礎科目として ふさわしいものだった	4.35	0.806	4.30	0.415	4.27	0.845	4.23	0.484	4.34	0.791	4.26	0.428	4.31	0.817	4.26	0.424	4.29	0.811	4.31	0.390
	(19)	授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるもの だった(複数講師による授業の場合のみ回答)	4.26	0.842	4.25	0.519	4.08	0.900	4.19	0.509	4.20	0.858	4.23	0.526	4.12	0.920	4.20	0.465	4.05	0.932	4.19	0.538

部門名 基礎教養  
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2014年度				2013年度				2012年度				2011年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.60	0.770	4.60	-	4.42	0.992	4.42	-	4.33	0.920	4.33	-	4.58	0.690	4.58	-	4.70	0.720	4.70	-
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.93	0.980	3.93	-	3.48	1.208	3.48	-	3.22	1.155	3.22	-	3.33	0.905	3.33	-	3.23	1.005	3.23	-
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	3.90	1.094	3.90	-	3.77	0.956	3.77	-	3.70	0.993	3.70	-	3.62	0.960	3.62	-	3.53	0.997	3.53	-
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.14	0.756	4.14	-	4.19	0.873	4.19	-	4.00	0.877	4.00	-	3.93	0.873	3.93	-	3.60	0.993	3.60	-
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.37	0.765	4.37	-	4.19	0.873	4.19	-	3.96	0.980	3.96	-	4.23	0.774	4.23	-	4.23	0.758	4.23	-
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.07	0.868	4.07	-	3.97	0.912	3.97	-	3.85	1.223	3.85	-	4.02	0.866	4.02	-	3.89	1.026	3.89	-
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.13	0.900	4.13	-	3.97	1.048	3.97	-	3.92	0.954	3.92	-	3.76	1.048	3.76	-	3.55	1.138	3.55	-
	(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.17	0.834	4.17	-	4.13	0.806	4.13	-	4.08	0.891	4.08	-	3.80	1.036	3.80	-	3.74	0.988	3.74	-
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.33	0.802	4.33	-	4.03	0.983	4.03	-	3.96	1.038	3.96	-	4.02	0.902	4.02	-	3.70	1.121	3.70	-
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.05	0.970	4.05	-	3.70	1.031	3.70	-	4.00	0.837	4.00	-	3.58	1.032	3.58	-	3.68	1.020	3.68	-
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.33	0.758	4.33	-	4.16	0.860	4.16	-	3.85	0.967	3.85	-	3.87	0.815	3.87	-	3.63	1.123	3.63	-
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	3.67	0.961	3.67	-	3.71	1.042	3.71	-	3.35	1.229	3.35	-	2.87	0.842	2.87	-	2.91	1.213	2.91	-
	(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.07	0.781	4.07	-	3.96	0.999	3.96	-	3.63	1.135	3.63	-	3.82	0.984	3.82	-	3.70	1.102	3.70	-
「基礎教養」 のみ	(18)	授業は全学共通の総合基礎科目として ふさわしいものだった	3.00	-	3.00	-	4.19	0.834	4.19	-	4.25	0.775	4.25	-	4.09	1.040	4.09	-	4.00	1.062	4.00	-
	(19)	授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるもの だった(複数講師による授業の場合のみ回答)	3.00	-	3.00	-	5.00	0.000	5.00	-	4.25	0.754	4.25	-	4.29	0.756	4.29	-	4.33	0.866	4.33	-

## IX. 教職課程

### 1. 集計データから分かること

平成 27 年度の教職課程のアンケートは、対象科目数 89、実施科目数 85、実施率は 99.89%（前年度比-0.01%）であり、非常に高い数値であった。学生の回答率も 74.05%（前年度比-1.25%）であり、例年通りの高い数値であった。総履修者数は、「講義」2,014 名、「演習」1,990 名、合計 4,004 名であり、前年度よりも増加の傾向となっている。教職課程は資格課程であることから、その組織の大きさに比して学生数が多い。中高教職課程を主たる担当とする専任教員が 4 名に対して、学部学生・大学院学生を通じて全学で 1,000 名程度（1つの学部分に相当する程度）履修しているの、平均すると教員 1 人あたり 250 名の学生の指導をしていることになる。この点について、より効果的な授業やきめ細かい学生指導を行うのであれば、課程認定の最低教員数ではなく、それ以上の教員の配置が必要不可欠である。

授業評価アンケート上は、教職課程開設の授業は、形態上、「講義」・「演習」に区分しているものの、実際の運用については、その区別はない。すなわち、「講義」においても演習形態を、「演習」においても講義形態を部分的に採用しているのである。これは、教師にとって重要な資質能力を養成するためには、教職課程全般にわたって主体的な学びが重要であるという判断をしているからであり、だから科目形態に捉われない授業を展開しているのである。（なお、教職課程開設の授業において「演習」と題する科目が設置されてはいるが、これは、教育職員免許法に定められた科目だからである。）各設問に対する回答の平均値・標準偏差については、全科目の有効回答・平均とほぼ同じである。各質問に対する回答を見ると、その多くが「強くそう思う」・「そう思う」に集中していることを考えれば、高い数値であると見ることができる。

その上で、「総履修者数ランク別」による集計結果と「出席率別」による集計結果に着目してみることにしたい。

「総履修者数ランク別」による集計結果については、全体としては、前年度同様、総履修者数が少ない科目の方が満足度の高い傾向にあり、特に、50名以下のクラス・サイズが望ましいことが分かる。教職課程の講義科目が120名のクラス・サイズを基本として、演習科目が60名のクラス・サイズを基本として、教科教育法の科目が30名のクラス・サイズを基本として、それぞれ授業コマ数が換算されていることからすれば、Q11の「総合的に見てこの授業は高く評価できる」という質問に対する回答結果の数値を上げるためには、講義科目・演習科目のクラス・サイズの基本を50名以下にまでしていく必要があり、次年度以降の増コマを行うことは必要不可欠である。

「出席率別」による集計結果については、全体としては、平成 26 年度同様、出席率は高い。これは、資格取得のために出席することは基本であるという指導をしており、欠席に

対しては厳しく対応していることが影響していると思われる。

また、「この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している」かどうかを問う設問に対しては、5人に2人程度の割合でシラバスを読まずに受講していることが分かった。教職課程の場合は、履修すべき科目が教育職員免許法によって定められており、また、科目ごとにできるだけ同一の担当者が授業を行うことや、複数の場合にも教えるべき内容を同じにするよう心掛けていることから、実際の学生の授業選択に際しては、自学科の必修・選択必修科目などを選んだ後に教職の科目を履修する、という時間割の都合が大きく左右することにならざるを得ない。そのため、シラバスを読まない傾向にあるのではないかと思われる。しかし、シラバスは、「教職課程がどのような教員を養成しようとしているのか」を示す手がかりとなっていることから、学生にはシラバスを熟読するよう、引き続き指導していく必要がある。

## 2. 今後の授業改善に向けて

教職課程では、授業評価は「総括的評価」ではなく「形成的評価」として受け止めているので、今後も教員・職員が学部学生・大学院学生・科目等履修生と一緒にあって、よりよい授業をつくっていくために努力する、という方針を採用していく。

文学部教育学科の開設（平成25年度）に伴って、中高教職課程のあり方は大きく変貌している。また、教育学科においては、小学校教員養成に取り組んでいることから、本学における教員養成の全体像についても、その形がつかれつつある。このようなことから、今後の授業改善は、教職課程の主たる課題として位置付けられていることを再度確認しておきたい。

平成27年度には、学部学生を対象として、教職課程履修の動機・期待や不安、教育実習と介護体験、教職への適性認知と採用への準備、教職イメージと教職観、教職課程運営の改善などについてアンケート調査を行った。これは、教職課程の授業や指導、運営を指して初めて実証的に取り組んだものである。このような仕方でのFD（ファカルティ・ディベロップメント）もあるわけであり、現在、どのように深めるかの議論をしているところである。

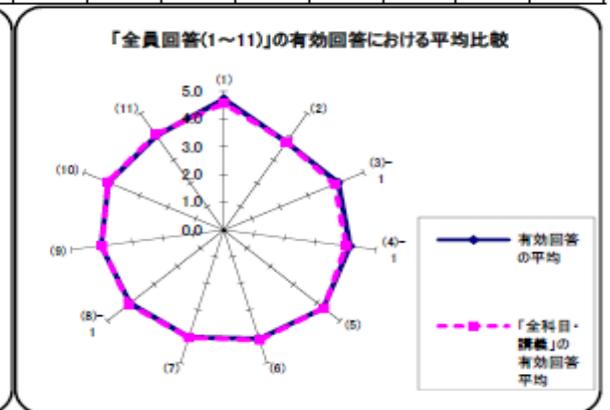
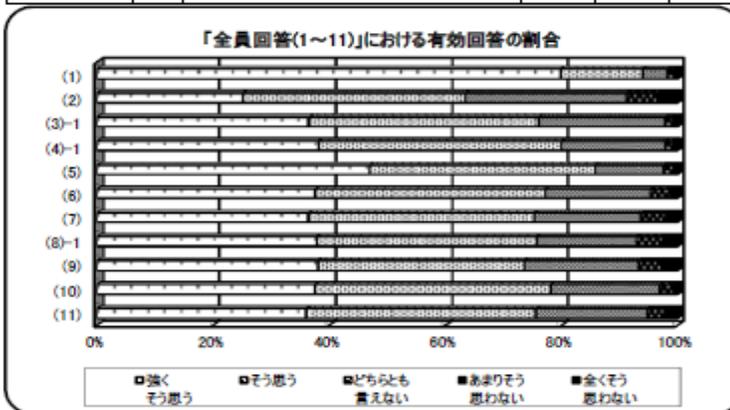
総じて、教職課程という学部でも学科でもない全学的な資格課程の組織においては、チーム・プレイによる教職課程の運営のあり方が、個々の授業にも直結している。また、その組織のあり方は分かりにくさをもっている。そのことから、全般的な記述を行うことにしたのをお許しいただきたい。

学習院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 教職課程  
形態名 講義

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,405	1,998	70.32%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単回集計 平均	学生回答 単回集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 書えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	1,121	199	81	15	9	0	1,405	4.71	0.658	4.70	0.163
			79.79%	14.16%	4.34%	1.07%	0.64%	0.00%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	352	537	389	76	47	4	1,405	3.76	0.997	3.80	0.298
			25.05%	38.22%	27.69%	5.41%	3.35%	0.28%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	505	549	303	19	10	19	1,405	4.10	0.833	4.13	0.292
			35.94%	39.07%	21.57%	1.35%	0.71%	1.35%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	20	6	-	-	-	3	29	-	-	-	-
			68.97%	20.69%	-	-	-	10.34%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	531	584	251	19	10	10	1,405	4.15	0.811	4.19	0.278
			37.79%	41.57%	17.86%	1.35%	0.71%	0.71%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	10	15	-	-	-	4	29	-	-	-	-
		34.48%	51.72%	-	-	-	13.79%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	656	545	188	22	11	5	1,405	4.30	0.796	4.38	0.228	
		46.69%	38.79%	11.81%	1.57%	0.78%	0.36%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	523	554	252	49	17	10	1,405	4.09	0.894	4.16	0.242	
		37.22%	39.43%	17.94%	3.49%	1.21%	0.71%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	508	542	257	62	27	9	1,405	4.03	0.948	4.14	0.343	
		36.16%	38.58%	18.29%	4.41%	1.92%	0.64%	100.00%					
(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	526	529	240	84	34	12	1,405	4.04	0.976	4.13	0.357	
		37.44%	37.65%	17.08%	4.56%	2.42%	0.85%	100.00%					
(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	9	9	72	-	-	8	98	-	-	-	-	
		9.18%	9.18%	73.47%	-	-	8.16%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	532	499	276	54	39	5	1,405	4.02	0.991	4.12	0.333	
		37.86%	35.52%	19.64%	3.84%	2.78%	0.36%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 40.57%)	285	310	143	17	6	74	1,405	4.12	0.842	4.15	0.200	
		20.28%	22.06%	10.18%	1.21%	0.43%	5.27%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	504	552	268	44	30	7	1,405	4.04	0.933	4.15	0.352	
		35.87%	39.29%	19.07%	3.13%	2.14%	0.50%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	476	477	277	96	37	42	1,405	3.92	1.036	4.02	0.478
			33.88%	33.95%	19.72%	6.83%	2.63%	2.99%	100.00%				
(13)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	526	519	264	28	19	49	1,405	4.11	0.883	4.19	0.306	
		37.44%	36.94%	18.79%	1.99%	1.35%	3.49%	100.00%					



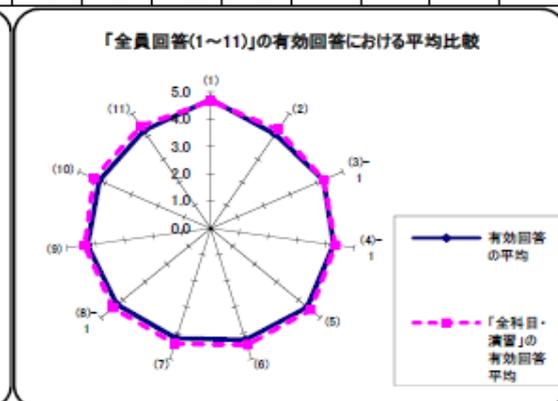
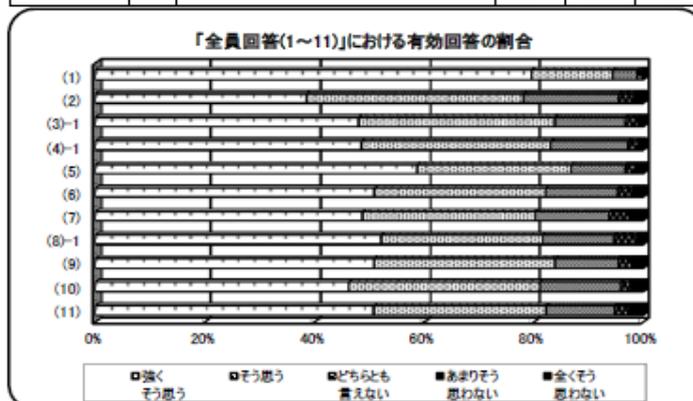
🌸 学習院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 教職課程

形態名 演習

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,560	1,973	79.07%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 書えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単科集計 平均	学生回答 単科集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	1,241	232	70	13	4	0	1,560	4.73	0.608	4.73	0.179
			79.55%	14.87%	4.49%	0.83%	0.26%	0.00%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	800	618	270	45	25	2	1,560	4.11	0.899	4.21	0.347
			38.46%	39.62%	17.31%	2.88%	1.60%	0.13%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	738	552	198	35	15	22	1,560	4.28	0.844	4.35	0.341
			47.31%	35.38%	12.69%	2.24%	0.96%	1.41%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	32	13	-	-	-	5	50	-	-	-	-
			64.00%	26.00%	-	-	-	10.00%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	749	535	219	28	13	16	1,560	4.28	0.834	4.35	0.354
			48.01%	34.29%	14.04%	1.79%	0.83%	1.03%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	20	14	-	-	-	7	41	-	-	-	-
		48.78%	34.15%	-	-	-	17.07%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	915	439	154	28	22	2	1,560	4.41	0.847	4.47	0.387	
		58.65%	28.14%	9.87%	1.79%	1.41%	0.13%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	786	486	203	44	28	13	1,560	4.27	0.920	4.37	0.403	
		50.38%	31.15%	13.01%	2.82%	1.79%	0.83%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	757	490	209	60	38	6	1,560	4.20	0.978	4.28	0.468	
		48.53%	31.41%	13.40%	3.85%	2.44%	0.38%	100.00%					
(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	807	458	201	65	18	11	1,560	4.27	0.922	4.39	0.438	
		51.73%	29.36%	12.88%	4.17%	1.15%	0.71%	100.00%					
(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	9	4	70	-	-	0	83	-	-	-	-	
		10.84%	4.82%	84.34%	-	-	0.00%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	787	514	180	40	30	9	1,560	4.28	0.907	4.32	0.347	
		50.45%	32.95%	11.54%	2.56%	1.92%	0.58%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 39.68%)	388	293	124	17	17	104	1,560	4.21	0.911	4.29	0.381	
		24.74%	18.78%	7.95%	1.09%	1.09%	6.67%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	785	489	193	43	38	12	1,560	4.25	0.949	4.34	0.425	
		50.32%	31.35%	12.37%	2.76%	2.44%	0.77%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	667	465	180	36	28	184	1,560	4.24	0.920	4.31	0.398
			42.76%	29.81%	11.54%	2.31%	1.79%	11.79%	100.00%				
(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	593	437	242	63	39	186	1,560	4.08	1.020	4.19	0.512	
		38.01%	28.01%	15.51%	4.04%	2.50%	11.92%	100.00%					



相関係数表 部門名 教職課程  
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.258(**)	1											
Q3	.199(**)	.510(**)	1										
Q4	.150(**)	.442(**)	.780(**)	1									
Q5	.140(**)	.353(**)	.555(**)	.813(**)	1								
Q6	.115(**)	.398(**)	.554(**)	.584(**)	.676(**)	1							
Q7	.133(**)	.404(**)	.631(**)	.600(**)	.648(**)	.718(**)	1						
Q8	.081(**)	.318(**)	.515(**)	.581(**)	.597(**)	.608(**)	.677(**)	1					
Q9	.148(**)	.456(**)	.574(**)	.542(**)	.577(**)	.586(**)	.649(**)	.532(**)	1				
Q10	.075(**)	.259(**)	.189(**)	.213(**)	.191(**)	.191(**)	.209(**)	.190(**)	.265(**)	1			
Q11	.174(**)	.463(**)	.668(**)	.638(**)	.676(**)	.698(**)	.779(**)	.654(**)	.735(**)	.283(**)	1		
Q12	.126(**)	.329(**)	.493(**)	.496(**)	.488(**)	.534(**)	.616(**)	.530(**)	.476(**)	.241(**)	.624(**)	1	
Q13	.132(**)	.359(**)	.523(**)	.559(**)	.531(**)	.537(**)	.612(**)	.553(**)	.518(**)	.265(**)	.626(**)	.702(**)	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 教職課程  
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.325(**)	1											
Q3	.177(**)	.512(**)	1										
Q4	.125(**)	.429(**)	.700(**)	1									
Q5	.149(**)	.416(**)	.588(**)	.823(**)	1								
Q6	.142(**)	.421(**)	.581(**)	.630(**)	.731(**)	1							
Q7	.125(**)	.408(**)	.674(**)	.680(**)	.716(**)	.748(**)	1						
Q8	.157(**)	.441(**)	.578(**)	.644(**)	.651(**)	.705(**)	.755(**)	1					
Q9	.157(**)	.473(**)	.600(**)	.572(**)	.660(**)	.611(**)	.670(**)	.586(**)	1				
Q10	.099(**)	.218(**)	.188(**)	.230(**)	.232(**)	.225(**)	.234(**)	.199(**)	.234(**)	1			
Q11	.147(**)	.467(**)	.664(**)	.667(**)	.755(**)	.732(**)	.806(**)	.725(**)	.779(**)	.268(**)	1		
Q14	.120(**)	.414(**)	.516(**)	.562(**)	.590(**)	.616(**)	.612(**)	.575(**)	.589(**)	.199(**)	.662(**)	1	
Q15	.085(**)	.443(**)	.552(**)	.585(**)	.649(**)	.679(**)	.703(**)	.670(**)	.615(**)	.248(**)	.754(**)	.721(**)	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は (⑤90%以上、④80%以上、③70%、②45%以上、①50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルは適切である
- Q 4 この授業を進める速さは適切である
- Q 5 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 6 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方 (スピード、聞き取りやすさ) は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している  
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材 (教科書、配布資料等) の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

## X. 学芸員課程委員会

### 1. 集計データから分かること

学芸員資格取得の中心は、4年次に履修が割り当てられている「博物館実習」（通年の演習形態授業）であるが、この授業に対する学生の評価は、全体として高いものとなっている。回答率は79.1%で、平成26年度の83.04%から減少したが、80%近くの高い水準は維持しており、学生の出席率、学習意欲は極めて高いと考えられる。Q1「私のこの授業の出席率は」では80%以上の割合が86.79%と高水準は維持しているが、90%以上が62.26%と前年度に比してやや低下した。Q2「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」の項目の「5.強くそう思う」「4.そう思う」の割合は83.12%と高水準となっている。ただし、Q2の「5.強くそう思う」の割合が相対的に低いのは、「まじめに授業に取り組んでいる者ほど、自己に対する評価が厳しいということは専門科目の演習にも見られる傾向を反映していると思われる。授業のレベルと進行の速度の適切さを問うQ3・Q4、またQ5「授業に対する教員の熱意が感じられる」に対する「5.強くそう思う」「4.そう思う」の割合も、それぞれ94.34%・98.11%・96.13%となっており、Q6以下の項目に対しても、Q10以外は「5.強くそう思う」が65%～75%程度、「4.そう思う」との合計が95%以上を占め、高い評価を得ていることが分かる。

総体としての評価を問うQ11「総合的に見てこの授業は高く評価できる」で5年間の経年変化を見ると、平成23年度から回答の単純平均で、4.73・4.76・4.84・4.74・4.70、部門別・形態別平均で、4.72・4.75・4.82・4.74・4.71と微減となった。ただし、すでに極めて高い値域での変化であり、この問いに対する「5.強くそう思う」「4.そう思う」の合計が98.12%と大部分の学生から高く評価されていることから、全体としては現在のレベルを維持する段階に入りつつあると考えられる。

このような評価は、資格取得のため卒業に必要な単位を超えて自発的に選択するという学生の側の意識と、優れた後進を育てたいと考える授業担当者（多くが美術館・博物館・資料館等の現場で活躍する学芸員である）の側の意欲とがうまく噛み合っている結果である。そうした両者の意識がうまく噛み合うという状況は、単に個々の授業の内容、進め方の良し悪しというだけではなく、カリキュラムの設定、非常勤講師の選任に関しての十分な検討、実習に必要な設備や備品の充実、学生に対して行われる徹底したガイダンス、事務室窓口での決め細やかな指導・アドバイスを、授業以前の、あるいは授業を取り巻く環境の整備によるところが極めて大きいと考えられる。

言い換えるならば、FDにとって重要なのは、個々の教員の意識の問題だけではなく、教員が自らの理想とする授業を展開できる状況や枠組、学生が自ら積極的に参加したいと考えるような授業を用意できる状況や枠組を構築していくということであり、そのような全体としてのFDの仕組みが学芸員資格取得関係の履修システムの中に組み込まれている

ということである。こうした環境は今後とも維持していきたいと考えている。

文部科学省による博物館法施行規則の改正により、平成24年4月から学芸員資格取得に関するカリキュラムが変更された。本学では以前より博物館関係の授業は充実しており、さほど大幅な変更は生じなかったが、文科省からの各科目で網羅すべき内容が細かく指定され、それに沿って授業内容が組み立てられたので、受講者は必要な知識や技術をより系統立てて理解しやすくなったと考えられる。その一方で、設定科目は以前よりも細分化されて、専門性が強くなり、各科目の内容設定と分かりやすい説明に工夫を要することとなった。この点については、Q10「この授業は、シラバスに示された授業内容と合致している」の数値が高くないということとも関連して、今後とも課題となるだろう。

## 2. 今後の授業改善に向けて

毎年学年初めに行われる、非常勤講師との意見交換会において情報を交換し、また授業の改善等についても話題としている。学芸員課程は、とりわけ4年生の実習クラス（演習）が資格取得の総仕上げとして重要なものとなってくるので、学生の意見も充分聞いた上で、実習環境の整備を常に心掛けている。さらに出席率を上げるように努めるとともに、館園実習終了後も年度末まできちんと授業に対応させるようにしたい。また、学生の意見、希望等は常時、学芸員課程事務室において聴き取り、必要な場合に担当教員に伝えるようにしている。近年の博物館実習では、文部科学省から出された「博物館実習ガイドライン」で推奨される学生教育への大学博物館（史料館）の活用（所蔵資料や展覧会、収蔵庫等施設の授業への活用）を進めているが、これをさらに推進したいと考えている。

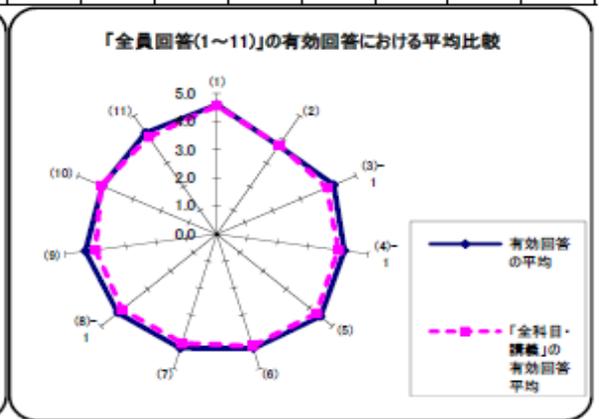
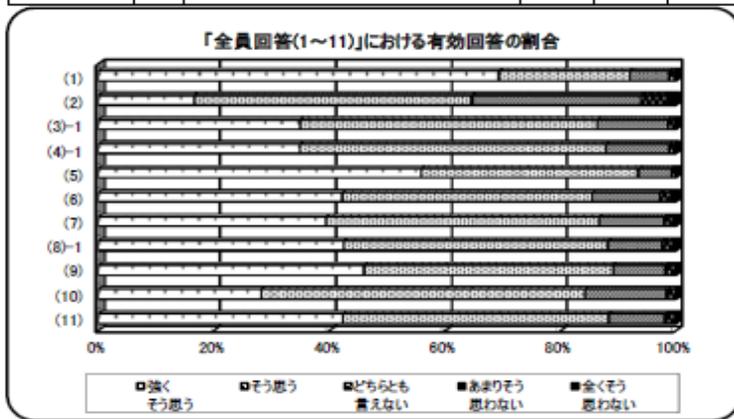
学習院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 学芸員

形態名 講義

	合計	総履修者数	回収率
回収数	733	916	80.02%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 書えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単科集計 平均	学生回答 単科集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	508	167	49	9	0	0	733	4.60	0.669	4.52	0.220
			69.30%	22.78%	6.68%	1.23%	0.00%	0.00%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	122	351	214	38	9	1	733	3.74	0.836	3.80	0.263
			16.64%	47.89%	29.20%	4.91%	1.23%	0.14%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	253	372	88	10	1	9	733	4.20	0.708	4.18	0.186
			34.52%	50.75%	12.01%	1.36%	0.14%	1.23%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	11	0	-	-	-	0	11	-	-	-	-
			100.00%	0.00%	-	-	-	0.00%	100.00%				
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	254	386	79	8	1	5	733	4.21	0.684	4.21	0.183
			34.65%	52.66%	10.78%	1.09%	0.14%	0.68%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	6	2	-	-	-	1	9	-	-	-	-
		66.67%	22.22%	-	-	-	11.11%	100.00%					
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	408	276	42	4	2	1	733	4.48	0.658	4.49	0.205	
		55.66%	37.65%	5.73%	0.55%	0.27%	0.14%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	307	316	86	15	5	4	733	4.24	0.791	4.22	0.193	
		41.88%	43.11%	11.73%	2.05%	0.68%	0.55%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	288	346	82	11	4	2	733	4.24	0.749	4.23	0.218	
		39.29%	47.20%	11.19%	1.50%	0.55%	0.27%	100.00%					
(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	310	335	69	14	3	2	733	4.28	0.745	4.30	0.208	
		42.29%	45.70%	9.41%	1.91%	0.41%	0.27%	100.00%					
(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	2	4	10	-	-	1	17	-	-	-	-	
		11.76%	23.53%	58.82%	-	-	5.88%	100.00%					
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	338	316	67	11	2	1	733	4.33	0.726	4.38	0.142	
		45.84%	43.11%	9.14%	1.50%	0.27%	0.14%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを讀まなかった人 ⇒ 25.92%)	142	283	72	8	0	38	733	4.11	0.690	4.12	0.194	
		19.37%	38.61%	9.82%	1.09%	0.00%	5.18%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	308	337	71	12	2	3	733	4.28	0.728	4.29	0.180	
		42.02%	45.98%	9.69%	1.64%	0.27%	0.41%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(12)	板書の仕方やすライド提示の仕方は適切である	253	337	99	23	5	16	733	4.13	0.816	4.14	0.242
			34.52%	45.98%	13.51%	3.14%	0.68%	2.18%	100.00%				
	(13)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	257	336	98	17	4	21	733	4.16	0.788	4.19	0.224
		35.06%	45.84%	13.37%	2.32%	0.55%	2.86%	100.00%					



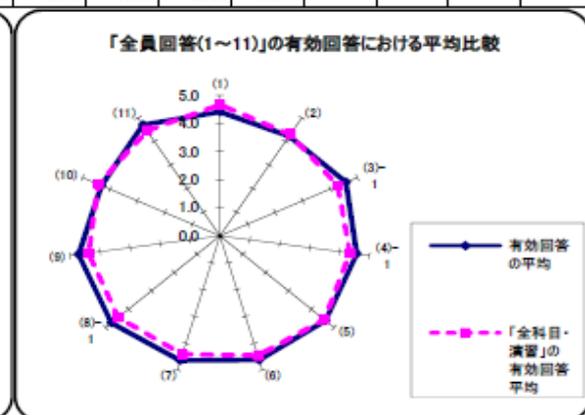
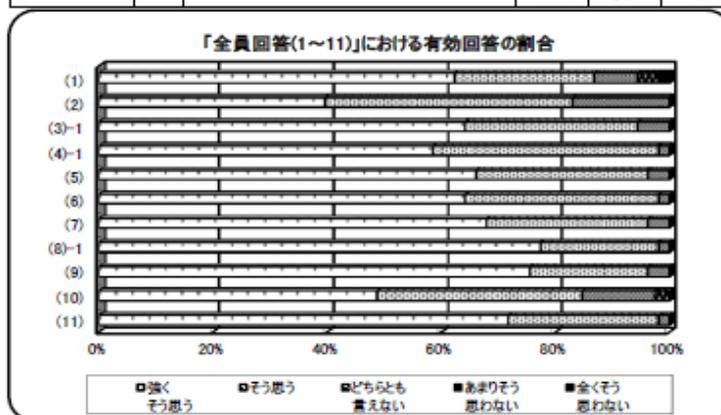
学芸院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 学芸員

形態名 演習

	合計	総履修者数	回収率
回収数	53	67	79.10%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単回集計 平均	学生回答 単回集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 書えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	33	13	4	2	1	0	53	4.42	0.929	4.43	0.452
			62.28%	24.53%	7.55%	3.77%	1.89%	0.00%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	21	23	9	0	0	0	53	4.23	0.724	4.21	0.153
			39.62%	43.40%	16.98%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	34	16	3	0	0	0	53	4.58	0.602	4.60	0.214
			64.15%	30.19%	5.66%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
	(3)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	0	0	-	-	-	0	0	-	-	-	-
			#DIV/0!	#DIV/0!	-	-	-	#DIV/0!	-	-	-	-	-
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	31	21	1	0	0	0	53	4.57	0.537	4.56	0.179
			58.49%	39.62%	1.89%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
	(4)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	0	0	-	-	-	0	0	-	-	-	-
		#DIV/0!	#DIV/0!	-	-	-	#DIV/0!	-	-	-	-	-	
(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	35	16	2	0	0	0	53	4.62	0.562	4.62	0.135	
		66.04%	30.19%	3.77%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%					
(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	34	18	1	0	0	0	53	4.62	0.527	4.63	0.185	
		64.15%	33.98%	1.89%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%					
(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	36	15	2	0	0	0	53	4.64	0.558	4.63	0.256	
		67.92%	28.30%	3.77%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%					
(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切で ある	41	11	1	0	0	0	53	4.75	0.477	4.76	0.205	
		77.36%	20.75%	1.89%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%					
(8)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	0	0	0	-	-	0	0	-	-	-	-	
		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	-	-	#DIV/0!	-	-	-	-	-	
(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	40	11	2	0	0	0	53	4.72	0.533	4.73	0.249	
		75.47%	20.75%	3.77%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%					
(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 18.87%)	19	14	5	1	0	4	53	4.31	0.800	4.32	0.377	
		35.85%	26.42%	9.43%	1.89%	0.00%	7.55%	100.00%					
(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	38	14	1	0	0	0	53	4.70	0.503	4.71	0.211	
		71.70%	26.42%	1.89%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	32	15	3	0	0	3	53	4.58	0.609	4.59	0.288
			60.38%	28.30%	5.66%	0.00%	0.00%	5.66%	100.00%				
	(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	32	15	3	0	0	3	53	4.58	0.609	4.59	0.177
		60.38%	28.30%	5.66%	0.00%	0.00%	5.66%	100.00%					



相関係数表 部門名 学芸員  
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.278(**)	1											
Q3	.133(**)	<b>.407(**)</b>	1										
Q4	.086(*)	<b>.401(**)</b>	<b>.702(**)</b>	1									
Q5	.107(**)	.326(**)	<b>.479(**)</b>	<b>.432(**)</b>	1								
Q6	.009	.337(**)	<b>.502(**)</b>	<b>.472(**)</b>	<b>.532(**)</b>	1							
Q7	.023	.374(**)	<b>.588(**)</b>	<b>.604(**)</b>	<b>.568(**)</b>	<b>.638(**)</b>	1						
Q8	.056	.375(**)	<b>.503(**)</b>	<b>.532(**)</b>	<b>.500(**)</b>	<b>.502(**)</b>	<b>.673(**)</b>	1					
Q9	.068	.398(**)	<b>.456(**)</b>	<b>.470(**)</b>	<b>.508(**)</b>	<b>.437(**)</b>	<b>.547(**)</b>	<b>.443(**)</b>	1				
Q10	.028	.256(**)	.113(**)	.097(*)	.080(*)	.108(**)	.083(*)	0.035	.157(**)	1			
Q11	.094(*)	<b>.422(**)</b>	<b>.630(**)</b>	<b>.637(**)</b>	<b>.605(**)</b>	<b>.595(**)</b>	<b>.740(**)</b>	<b>.611(**)</b>	<b>.660(**)</b>	.151(**)	1		
Q12	.026	.326(**)	<b>.478(**)</b>	<b>.549(**)</b>	<b>.426(**)</b>	<b>.492(**)</b>	<b>.542(**)</b>	<b>.463(**)</b>	<b>.411(**)</b>	.109(**)	<b>.534(**)</b>	1	
Q13	-.017	.330(**)	<b>.447(**)</b>	<b>.497(**)</b>	<b>.419(**)</b>	<b>.476(**)</b>	<b>.516(**)</b>	<b>.474(**)</b>	<b>.417(**)</b>	.164(**)	<b>.525(**)</b>	<b>.650(**)</b>	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 学芸員  
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.315(*)	1											
Q3	.0142	<b>.572(**)</b>	1										
Q4	-.017	<b>.455(**)</b>	<b>.562(**)</b>	1									
Q5	.0232	<b>.686(**)</b>	<b>.664(**)</b>	<b>.593(**)</b>	1								
Q6	.09	<b>.581(**)</b>	<b>.708(**)</b>	<b>.565(**)</b>	<b>.743(**)</b>	1							
Q7	.07	<b>.443(**)</b>	<b>.579(**)</b>	<b>.690(**)</b>	<b>.602(**)</b>	<b>.708(**)</b>	1						
Q8	.0104	.331(*)	<b>.509(**)</b>	<b>.552(**)</b>	<b>.581(**)</b>	<b>.696(**)</b>	<b>.748(**)</b>	1					
Q9	.0099	.319(*)	<b>.586(**)</b>	<b>.436(**)</b>	<b>.535(**)</b>	<b>.640(**)</b>	<b>.558(**)</b>	<b>.630(**)</b>	1				
Q10	.016	.0228	.0173	.0961	.0131	.0111	.0182	.0087	.0074	1			
Q11	.015	<b>.560(**)</b>	<b>.784(**)</b>	<b>.573(**)</b>	<b>.813(**)</b>	<b>.867(**)</b>	<b>.634(**)</b>	<b>.647(**)</b>	<b>.751(**)</b>	.088	1		
Q14	-.0142	.312(*)	<b>.615(**)</b>	<b>.543(**)</b>	<b>.533(**)</b>	<b>.633(**)</b>	<b>.592(**)</b>	<b>.588(**)</b>	<b>.597(**)</b>	.082	<b>.710(**)</b>	1	
Q15	.07	.360(*)	.285(*)	.357(*)	<b>.651(**)</b>	<b>.633(**)</b>	<b>.474(**)</b>	<b>.588(**)</b>	<b>.536(**)</b>	.0171	<b>.643(**)</b>	<b>.670(**)</b>	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

### 【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は(⑤90%以上、④80%以上、③70%、④50%以上、⑤50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルは適切である
- Q 4 この授業を進める速さは適切である
- Q 5 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 6 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している  
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

### 【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

### 【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

学習院大学 平成27(2015)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 学芸員  
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2014年度				2013年度				2012年度				2011年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.60	0.669	4.52	0.220	4.69	0.655	4.67	0.156	4.68	0.600	4.66	0.157	4.66	0.652	4.62	0.195	4.65	0.687	4.61	0.162
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.74	0.836	3.80	0.263	3.72	0.903	3.74	0.226	3.69	0.928	3.77	0.304	3.59	0.856	3.62	0.219	3.66	0.928	3.70	0.378
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	4.20	0.708	4.18	0.186	4.15	0.744	4.17	0.178	4.13	0.782	4.16	0.229	4.06	0.781	4.09	0.270	4.07	0.894	4.02	0.426
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.21	0.684	4.21	0.183	4.15	0.787	4.16	0.136	4.16	0.748	4.17	0.167	4.09	0.797	4.13	0.199	4.13	0.860	4.13	0.291
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.48	0.656	4.49	0.205	4.35	0.751	4.35	0.163	4.37	0.737	4.38	0.174	4.24	0.809	4.29	0.263	4.36	0.785	4.45	0.328
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.24	0.791	4.22	0.193	4.16	0.834	4.19	0.183	4.17	0.817	4.20	0.181	4.11	0.821	4.16	0.191	4.17	0.859	4.23	0.267
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.24	0.749	4.23	0.218	4.20	0.798	4.23	0.204	4.17	0.839	4.22	0.256	4.05	0.893	4.09	0.292	4.17	0.916	4.16	0.406
	(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.28	0.745	4.30	0.206	4.25	0.751	4.27	0.156	4.27	0.762	4.28	0.143	4.12	0.866	4.16	0.289	4.24	0.887	4.23	0.403
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.33	0.726	4.38	0.142	4.29	0.745	4.29	0.139	4.21	0.840	4.25	0.181	4.16	0.842	4.19	0.244	4.15	0.933	4.22	0.379
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.11	0.690	4.12	0.194	3.91	0.835	3.92	0.174	3.86	0.841	3.89	0.177	3.78	0.913	3.83	0.205	3.84	0.943	3.83	0.326
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.28	0.728	4.29	0.180	4.26	0.785	4.26	0.162	4.18	0.801	4.21	0.152	4.06	0.834	4.09	0.256	4.15	0.912	4.22	0.388
「講義」 「語学」 のみ	(12)	振書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.13	0.816	4.14	0.242	4.09	0.862	4.13	0.282	4.06	0.894	4.10	0.356	3.96	0.941	3.97	0.268	4.15	0.919	4.23	0.302
	(13)	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	4.16	0.788	4.19	0.224	4.13	0.792	4.14	0.241	4.09	0.834	4.12	0.228	3.93	0.932	4.00	0.315	4.18	0.894	4.25	0.319

部門名 学芸員  
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2014年度				2013年度				2012年度				2011年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.42	0.929	4.43	0.452	4.74	0.553	4.73	0.234	4.63	0.619	4.60	0.317	4.57	0.666	4.56	0.308	4.56	0.623	4.56	0.258
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.23	0.724	4.21	0.153	4.46	0.650	4.46	0.191	4.30	0.712	4.27	0.285	4.27	0.700	4.26	0.289	4.22	0.777	4.20	0.315
	(3)-1	この授業のレベルは適切である	4.58	0.602	4.60	0.214	4.66	0.619	4.66	0.203	4.73	0.559	4.71	0.296	4.60	0.624	4.59	0.239	4.61	0.627	4.60	0.248
	(4)-1	この授業を進める速さは適切である	4.57	0.537	4.56	0.179	4.65	0.655	4.65	0.227	4.72	0.533	4.70	0.242	4.66	0.547	4.66	0.118	4.63	0.600	4.62	0.205
	(5)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.62	0.562	4.62	0.135	4.84	0.383	4.84	0.130	4.85	0.385	4.84	0.160	4.78	0.415	4.78	0.099	4.74	0.591	4.72	0.330
	(6)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.62	0.527	4.63	0.185	4.70	0.534	4.70	0.180	4.72	0.608	4.70	0.259	4.66	0.524	4.67	0.128	4.69	0.583	4.68	0.260
	(7)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.64	0.558	4.63	0.256	4.70	0.606	4.70	0.264	4.80	0.461	4.77	0.245	4.73	0.496	4.74	0.178	4.74	0.576	4.73	0.319
	(8)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.75	0.477	4.76	0.205	4.68	0.658	4.68	0.328	4.85	0.377	4.83	0.183	4.75	0.514	4.75	0.126	4.64	0.696	4.63	0.288
	(9)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.72	0.533	4.73	0.249	4.80	0.497	4.80	0.200	4.89	0.344	4.88	0.111	4.78	0.472	4.77	0.232	4.72	0.623	4.70	0.319
	(10)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.31	0.800	4.32	0.377	4.38	0.737	4.38	0.306	4.42	0.772	4.36	0.321	4.18	0.806	4.23	0.255	4.07	0.845	4.06	0.320
	(11)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.70	0.503	4.71	0.211	4.74	0.585	4.74	0.242	4.84	0.408	4.82	0.214	4.76	0.460	4.75	0.192	4.73	0.582	4.72	0.297
「演習」 「語学」 のみ	(14)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.58	0.609	4.59	0.288	4.60	0.695	4.60	0.324	4.73	0.580	4.71	0.328	4.70	0.548	4.72	0.256	4.46	0.736	4.43	0.441
	(15)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.58	0.609	4.59	0.177	4.70	0.576	4.70	0.229	4.81	0.433	4.80	0.195	4.77	0.487	4.79	0.126	4.62	0.630	4.62	0.288

## 第3章

### 授業への取り組み例

## I. 法学部

- 学生が提出したレポートについて改良したルーブリック（学習到達度を示す評価基準を観点と尺度からなる表として示したもの）により客観的基準で評価するとともに、そのいくつかをプロジェクターで投影しながら添削し、改善点を学生が具体的に把握できるよう工夫している。
- 3～4年次生向けの特設演習を利用し、英語による国際取引法の授業を行った。受講した学生の英語能力に合わせ、日本語による補足説明をも交えたが、まずは英語で問題の所在を説明し、英語で回答させた上で、それに対してさらに英語でコメントを加えるということを半年間、継続した。
- 1年分のレジュメを4月最初の授業で100頁程度の冊子体の形で一括配付している（前年度末以降に出た重要判例等のみ授業時に配付）。受講者が多いため、毎回の授業の際にレジュメを印刷して配付する手間と時間のロスを無くすこと及び、1年間に学ぶ内容のうち今この部分をお話しているのかを受講者に分かりやすくする（迷子にならないようにする）ことが目的である。しかし、履修登録者に比して出席者がかなり少ないようで、レジュメだけもらって安心して学生が授業に出なくなるというデメリットもあるかもしれないと感じている。
- ①毎回レジュメは事前にG-Portに掲載している。そのうえで、2～3回に1回、事前に復習問題を次回レジュメの冒頭に掲げておき、次回の授業の初めに解説を加えている。  
②学生に、学年末試験の範囲をより明確に理解してもらうため、必要に応じてこのテーマは試験に出すと宣言している。  
③数回に1回程度だが、簡単な設例に対して学生にいきなり質問し（挙手は毎年なし）、よい回答をしてくれた学生には、授業後教卓の付近に来てもらい、学籍番号・氏名を書いてもらう。学年末試験の際、加点するためである。第1回の授業の際にその旨説明をしている。これまでに3名の学生がよい回答をしてくれた。  
質問内容は法的知識を問うよりは、常識を問うものが多い。  
例：デパートXのショーウィンドウに展示している洋服を売ってくれと客Yに言われた場合、在庫を切らしているときにはXは売却を拒むのが普通だろうが、その展示品そのものを売ってくれと言われた場合、どういう理屈・根拠でそのYの主張を退けるべきか（回答例：ほこりや日光による退色で展示品が劣化している可能性があり、そういうものをXが売却した場合、Xの評判を落としかねないから）。

- 講義科目について、①到達目標のイメージを持ってもらうため、初回に、期末試験と同形式の問題について、30分弱かけて解答を書いてもらった。②A5の紙を配付して、自由に記述して毎回授業終了時に提出してもらっている。例年は、重要と思われるコメントや質問に、翌週の授業の冒頭で触れていた。平成27年度は、冒頭で触れなかったものについても、各人の提出した用紙にコメントして返却している。
- 比較的受講人数の多い講義科目において、効率的かつ効果的に学生を指名して（あてて）回答してもらうための工夫をしている。具体的には、事前に、「第3回の授業では学籍番号の下一桁が「3」の学生を指名する」「第4回の授業では…」というように告知しておき、当日は該当する学生の中から指名している。これにより学生も心づもりができるし、教員としてもまんべんなく学生を指名することができる。
- 演習科目で、条文1つひとつを学生に読んでもらい、質疑応答の形でその意味や他の条文との関係などを確認し、さらにそうした条文を設けた意図を推測してもらった。法律を制定するのは制度を設けるためであり、それを条文にいわば分解して規定している。法律を理解するという事は、分解された条文からその法律が設けようとする制度がどのようなものであるかを再現することである。30条程度でできている小さな仕組み（公判前整理手続）をさらに3つ程度に分け、それぞれについて条文から仕組みを再現する作業をグループ学習という形で学生に行ってもらった。

## II. 経済学部

- 学生の意欲的な取り組み（Q2）の向上、及び授業レベル（Q3）の調整を目的として、毎回の授業においてA5版のコメント・シートを配付し、授業内容に関する質問・意見・感想を書かせている。コメントの分量や内容に基づき3段階で評価し学年末に授業評価に加算するとともに、次回の授業冒頭において質問や意見のいくつかを取り上げ補足説明を行っている。コメント・シートを使用するようになってから、学生の授業に取り組む姿勢がより能動的になったと考える。
- 学生の意欲的な取り組み（Q2）を高めるために、各回の授業の最初には、必ず前回授業の復習を行っている。学生には復習を課しているが、講義は積み重ねで進んでいくため、前回内容から今回の授業内容への連続を意識させることによって、学生の理解が深まり、意欲的に取り組めるように心がけている。また、大教室の講義でも、授業中に学生に質問を投げかけ、何人にも答えてもらうようにしている。これにより、ただ一方的に教員が話しているのを聞くのではなく、自ら考えたり、疑問を持ったりす

るような工夫を行っている。

- 出席管理カードを全員に毎回配り、発言者は裏面に発言した内容を書いてもらうようにして、それに対して加点するよう学期冒頭でアナウンスしたところ、発言の頻度が上がり、また学生の意図や追加的な疑問等を事後的に把握しやすくなって、次の授業でのフォローアップがやりやすくなった。講義形式の場合、参加者の氏名を覚えることは難しく、かといって氏名を確認して発言を記録すると授業の流れを阻害することになるが、学生自ら記録するインセンティブを明示し、彼らに書き出してもらうことで流れを悪くせず、思考を外部化し明確化する助けになっていると考えられる。
- 授業での討論を活性化するために、討論の対象となる教材を前の授業で配付し、そして学生各自の論点を次回授業前日までに電子メールにて提出させている。授業当日は提出された論点を1つの資料として纏めて授業の始めに配付する。学生全員の論点を記述式で共有することにより予習を徹底させるとともに討論を深めて活性化できると分かり、今後他の授業でも導入する予定である。
- 学生の知的好奇心を刺激し（Q9）、学生の授業への意欲的な取り組み（Q2）を促すために、授業で扱うテーマに関連する問題の現状を視覚的に理解することが重要であると考え、授業の中でその現状を取材した動画を活用している。また、学生が授業の内容に関する疑問点などを解消するとともに、質問とその質問に対する回答を他の学生が聞くことで、学生全体の授業内容に関する理解度を高めるために、講義の最後の20分程度を質問時間に行っている。
- 学生の知的好奇心を刺激し（Q9）、学生の授業への意欲的な取り組み（Q2）を促すために、Eラーニング用の教材の充実を進めている。例えば、数学的な概念に関する理解を促すためにグラフをアニメーション化した動画を活用している。また、授業で学んだ内容をその後で効率的に復習する環境を整備するために、練習問題や講義ノートなどの情報をネット上に纏めたWebClassを整備している。
- 演習における学生の知的好奇心を刺激し（Q9）、学生の授業への意欲的な取り組み（Q2）を促すために、対外的なコンテストなどへの投稿を目的にグループ研究を行い、目標をもって一定期間内に成果を纏める、という学習を行っている。なお、参加しているコンテストは「日本経済新聞学生対抗円ダービー」と「日銀グランプリ〜キャンパスからの提言」であり、いくつかの賞を受賞することで、他の学生の学習意欲を高めることにも貢献している。

### Ⅲ. 文学部

#### 【哲学科】

本学科は哲学思想系と美学美術史系の2つの系から成る複合学科であり、前者は文献の読解、後者は作品の解釈と、授業の方向性は異なるものの、両系ともに、基礎力の充実、豊かな思考と柔軟な応用力の涵養、卒業論文の作成を重視する教育方針は同一である。

平成27年度のアンケートを集計した結果、文学部において指摘された改善点は、おおまかに以下の3点である。

- (i) シラバス活用に向けての指導及びシラバスの内容の充実
- (ii) 教員の熱意を伝え、学生の知的好奇心を刺激するための創意工夫
- (iii) 学生の基礎能力の多様化に対応するためのきめ細やかなケアの拡充

これらについて哲学科では、それぞれ改善策を立て、実行している。

まず、文学部が他の学部 비해問題を抱えているのは、学生たちにシラバスが有効に活用されていないという点である。哲学科においても、各教員の研究分野が明確に分かれており、学生たちにそれが周知されているため、シラバスを読まずに履修を決めてしまう学生も少なくないようである。

今年度より、シラバスの書き方は全学を挙げて改められ、教員にはより多くの情報を盛り込むことが求められるようになった。そこで、哲学科でも、ガイダンスや履修相談の際にはその点について学生に伝えるよう心掛けた。シラバスを読むよう指導を行う場は限られているが、4月初めのガイダンスでの周知は効果的なタイミングである。また、履修相談を受けた際には、学生と一緒にシラバスを開き、その有用性を実感してもらえるよう配慮した。

また、実際に授業を運営していると、学生との対話やリアクションペーパーでのやり取りを通して、当初に予定していた以上に内容が広がりを見せることもしばしばである。これは教員の熱意や、学生の興味関心に応えたいという思いからであるが、それによって、シラバス作成時に予定していた内容と齟齬が生じてしまう事態は避けられない。そういった場合に教員は、授業の充実はもちろんのこと、学期途中で再構成し直したシラバスを提示することによって、学生にとってシラバスがより有用なものとなるよう努めている。

また、平成28年度よりシラバスにてオフィスアワーを公表することが義務付けられたが、これにより、より細やかなケアを行うための環境が整ったと考えられる。例年、初年次教育としては、教員と大学院生によるジュニアセミナーを開催し、参考文献の探し方や、授業において必要となるプレゼンテーション技術や配付資料の作り方、さらにレポートの書き方などを指導している。これは必要に応じて年に数回行われるが、学生の基礎能力が多様化している近年では、学生に個別に対応することが求められる場面も増えてきた。従って、教員は本学の特色である〈少人数教育〉をいかし、学生たちの状況につぶさに目を配り、必要に応じて個別の面談などを積極的に行って、各々の状況を把握した上で指導を進

めている。この取り組みは、学生の基礎能力に応じた指導ができるだけでなく、学生の興味関心に応じた授業を組み立てる手がかりともなっている。

さらに、今回オフィスアワーが一括してシラバスに掲載されたことによって、学生から教員にアプローチする機会が得やすくなり、一層手厚いフォローが実現することが期待される。また、昨年より取り組んでいる課題として、出席状況に問題のある学生への対応もあるが、これはそういった学生への働きかけにも同様に有用であると考えられる。

以上のように、哲学科では、学生の様々なニーズに応えるべく、アンケートの結果に真摯に向き合い、細やかな対応をもって改善に励んでいる。しかしながら、どれも短期間で成果が上がるような性質の取り組みではないため、今後もアンケートの結果を参考にしつつ、長期的に継続していきたい所存である。

## 【史学科】

### 1. 学生の学習達成度の検証と授業への反映

本学科では、卒業論文の提出を最大目標として、1年次の基礎演習から2、3年次の演習、4年次の卒業論文指導の演習を4年間の全カリキュラムの軸として編成している。特に近年、卒業論文の提出を負担に感ずる学生が出てきているので、各年次の学習の到達目標をこなすことができるように特に指導に力を入れている。基礎演習では専門性よりも幅広く歴史学の基礎を論文や史料の講読を通して学ばせ、2年次からの演習では、2年間にわたって初めて専門性を重んじた研究の基礎を学ばせている。4年次の演習では卒業論文の取り組みの進行にあわせて、中間報告、最終報告を途中の目標に組み込み、論文執筆の具体的な指導を行っている。学生個々の履修状況は、年度の複数の段階の学科会議で状況を検討している。問題を抱えている学生に対しては、指導教員をはじめ、主任・教務委員・助教が、場合によっては学生相談室とも連携し、また学生の保証人とも連絡を取りながら指導を進めるように態勢をとっている。

### 2. 授業への取り組み例（1）

本年度より、2年次以上を対象として「校外実習 史跡・名勝を歩く」を開設し、毎週土曜日に1コマ開講している。都内に残る近世・近代の史跡・名勝を事前に調査・研究したうえで、次の週に現地を探訪する。ガイドブックなどでなく、根拠のある歴史資料や絵図類を正確に理解し、現地を訪れ、現況を理解し解釈を加える。想像力を働かせて景観を分析する能力と、プレゼンテーションの力もつける。史学科では既に基礎演習の課外授業として不規則に校外実習を行うことがあったが、今回正規のコマとして開講した。足と目による実習は、受講学生にとって大きな刺激を得るものであろう。

### 3. 授業への取り組み例（2）

「歴史文献講読入門」は2年次以上を対象として開講し、3年目となる。外国史分野を

選んだ学生にとって、外国語の歴史研究文献や外国語史料を読みこなす学力の養成は重要である。西洋史分野を選択する学生がほぼ履修しており、卒業論文の執筆に大きな力となる。西洋史の個々の演習に加えてより高い基礎学力を養成する科目である。特に英語の学力は東洋史分野にとっても必要である。

#### 4. 授業への取り組み例（3）

1年次を対象とする毎年5月の「研修旅行」は、史跡の実地調査を通じて、主体的な学習姿勢を獲得させる体験学習を意図している。本年度は栃木県安中、磯部方面に出向き、古代の古墳、古碑から中近世の古城、近代の養蚕業までの史跡を丹念に見学した。1年次に3クラスに別れて受講させる必修の「基礎演習」と対応しており、史学科の全教員が指導し、全学生が参加する。各グループ班には大学院生のTAがつき、学術的な調査に際して参照すべき基本文献の検索要領、現地で確認すべき事項と関連する地図、図版の用意など、基本的な要領を体得させるよう指導する。将来の日本史専攻を希望する学生だけでなく、外国史専攻の学生にとっても基礎的な作業を習得する場となる。

#### 5. 授業への取り組み例（4）

1年次を対象とする「基礎演習」A、Bは史学科3分野の教員が日本史分野、外国史分野に分かれて担当する。各分野の文献や研究論文を読み、報告、議論させる。学生がいかに積極的にプレゼンテーションをし、全体で活発な議論ができるのか、各担当者は工夫をこらしている。学生1人だけが準備し担当すると、概して担当者だけが意見を出すことになってしまうが、たとえば3人グループで複数の発表者を立てることによって、議論の活発化を促すことになる。1年次の学生にとってみれば、大学に入学し、高校と異なる演習形式の授業に最初に接する場となるので、当初はとまどいも見られるが、上記の「研修旅行」とも連動し、少しずつ変化が見られるようになる。各クラスに配された大学院生のTAも教員との間に入って大きな役割を担っている。

#### 【日本語日本文学科】

授業形態によっても異なるが、授業評価アンケートでは、Q2 学生の意欲的取り組み度、Q3 授業の難易度、Q7 授業の分かりやすさ、Q9 知的好奇心の喚起、Q11 総合的評価の結果を特に授業改善に役立てている。なかでも、Q11 の数値が前年より低い場合は、その要因を検討し次年度の授業の展開を工夫するなどの改善に努めている。

このときに役立つのが毎回の授業に対するコメントシートである。授業内容に対する学生の理解度や質問・疑問、また要望を具体的に把握し授業改善に繋げることができるため、多くの教員が何らかの形で実施している。

日本語日本文学科は、日本語日本文学系と日本語教育系との2つの系からなる学科であり、それぞれ授業のやり方も若干異なる。以下系ごとに授業改善に向けての取り組み例を

記述する。

## 1. 日本語日本文学系

- (1) 古典文学：物語としての古典の世界をより身近に感じることができるよう、古典文学の舞台となった場所の訪問をゼミ旅行として実施している。
- (2) 近代文学：抽象度の高い論理的な文章や漢語が多用される難解な文章、さらには感情の機微を読み解くことを若干苦手と感じる学生が多いようである。そのため、映像資料や図解を適切に用いることで、授業自体のレベルを維持しつつ、視覚に訴えることで学生に分かりやすくする工夫を行っている。

また学生が文学者と彼らの生きた時代を身近に感じることができるよう、大学周辺の雑司ヶ谷や文京区界隈の近代文学に関わる建造物や墓地などの「文学散歩」を毎年実施している。

## 2. 日本語教育系

- (1) 日本語学：若い人に人気のある書物を分析対象にしたり、フィールドワークを取り入れたりすることで方法論や結果の記述について実践的に学び、学生が興味をもって取り組めるような工夫を重ねている。
- (2) 日本語教育：

地域との連携による各種の日本語教育活動や大学内の日本語研修への積極的参加を促し、日本語を母語としない人々/児童に対する日本語指導に触れる機会を提供し、学びと実践を繋ぐ工夫をしている。

外国語教育研究センターと連携し、学内の留学生に対する学生アシスタント（SA）制度を活用して、日本語と文化についての気づきを促し、学びと指導に結びつける試みを継続的に行っている。

海外での日本語教育研修事業としては、恒例となった日本語教育海外研修旅行を毎年実施し教育実践を授業と関連づけて行っている。さらに、文学部と国際交流基金が連携して行っている海外日本語教育インターンシップ（米国、タイ、豪州）に毎年学生を派遣し、教育実習と国際理解教育の推進を図っている。

## 【英語英米文化学科】

### 1. ルーブリックの導入

最近の教育界では授業計画だけでなく、授業計画に則った評価基準をどのように設けているかを、授業前に明示的に示すことが重要だと考えられている。しかし、本学部の授業計画には、授業計画表と評価に関する簡単な情報（評価項目、配点等）が示されているだけで、明確な評価基準が示されていない。このことは、授業計画と評価の関連に透明性をもたせるという意味では改善の余地がある。過去2年度の学生による授業評価の結果から

も分かるように、一部の学生は授業計画に関心を持っておらず、授業計画をほとんど読まずに受講する学生すら存在する。そして、そうした望ましくない傾向が見られる原因の1つには「授業計画と評価の関連に関する不透明性」がある可能性があると言えるだろう。

そこで、英語英米文化学科では、授業計画と評価の関連性に透明性をもたせる目的で、ルーブリックを用い始めた。ルーブリックを取り入れている科目は、多くの非常勤講師が担当する「アカデミック・ライティング」「アカデミック・プレゼンテーション」と夏季に英国で実施する「海外語学文化研修」<sup>(注1)</sup>の3科目である。これらの科目の担当者は平成27年度中にメール上の会議と対面式会議を行い、全担当教員の合意の上で、それぞれのルーブリックを作成した。各授業では、第1回目の授業においてルーブリックを示し、どのようなことが、どこまでできるようになると、どのような評価が得られるかを示した。

まだ試験的導入段階のため、どのような成果が出るかについては今後の経過を見る必要があるが、平成28年度の学生による授業評価の結果などを参考にしつつ、継続的に改善を加えていきたいと考えている。

(注1) 海外語学文化研修を担当する専任教員は事前事後授業を実施し、研修先の責任者との協議を重ねた上で、授業内容、宿泊方法、成績評価等を含む研修全般の質的確保を行っている。

## 2. 講義における双方向性の追求

従来の日本の大学における講義科目の場合には、一方通行的に教員の話す内容を学生が聞き取るという形式が最も一般的な授業方法であった。しかし、そうした一方通行型の講義の場合には、学生が主体的に授業に取り組む姿勢が欠如してしまう可能性があり、自発的な学習の場を提供する機会が少なくなるという欠点がある。過去2年度の学生の授業評価の質問2への回答結果からも明らかなように、文学部の学生の「(講義科目における)意欲的取り組み度」については、必ずしも高いとは言えない。

そこで、英語英米文化学科の教員の中には、そうした講義形式の授業のもつ欠点を補う目的で「講義における(教員と学生の)双方向性」を追求している教員がいる。具体的には、例えば毎回の講義終了時に「コメント・質問カード」を提出させ、それらの中から興味深いものや発展性のあるものを選択して、次回以降の授業の中で取り扱うといった方法を採用している。

そのような形で自分の質問や見解を取り上げてもらった学生は、自分の書いた内容が認められたことを嬉しく思い、次の学習への意欲を増し、受講態度がさらに真剣になる。このような双方向的な活動を取り入れた講義を受けた学生は、一方的に授業を聞くだけではなく、自ら進んで主体的に学習しようという意欲をもつ可能性が高く、懸案の「(講義科目における)意欲的取り組み度」を向上させることにも貢献するであろう。

また、そうした双方向性については、年度を越えた形で取り入れることもできる。英語英米文化学科のある教員は、授業で前年度の同じ授業を受講した学生が書いた「1年間の

授業の中での思索方法の変化や授業内容に関する感想」の一部を紹介し、そうした学生の視点から見た見解や知見を出発点とした授業目標を設定している。このような形で（教員によるトップダウン式の目標設定ではなく）学生によるボトムアップ式の目標設定を行うことによって、学生の主体的な学びを促進しようとしている。

### 3. 反転授業によるアクティブ・ラーニングの試み

平成 26 年度及び平成 27 年度の学生による授業評価で、他の回答結果と比較して低い数値を示しているのが「学生の意欲的取り組み度」である点については、上記の 2 でも触れたことであるが、英語英米文化学科の教員の中には、学生の意欲的取り組みを促進する目的で「反転授業」を用いたアクティブ・ラーニングに取り組んでいる教員もいる。具体的には、授業前に閲覧すべき課題としてインターネット上のテキストや動画を与え、授業で学ぶべきコンテンツを事前に理解させ、授業ではその内容に関する質疑応答、プレゼンテーション、ディスカッション等を行っている。こうした方法論は反転授業と呼ばれるものであるが、学生達の反応は非常によく、積極的・主体的に授業の内容の理解に努めており、批判的思考力と創造的思考力も向上している。

まだ試験的な試みの域を出ていない段階のため、明確な成果を示すことはできていないが、こうした新しい試みの成果を公にすることなどを含めて、今後も努力を積み重ねて行きたいと考えている。

## 【ドイツ語圏文化学科】

### 1. 基礎教育の充実

ドイツ語圏文化学科では、学生が自らの興味に応じて 3 年次から 3 つのコース（言語・情報コース、文学・文化コース、現代地域事情コース）の内のいずれかを選択し、専門の勉強を始める。1・2 年次は、3 つのコースに進む前の段階として、基礎的なドイツ語力をつけるカリキュラムが組まれている。また、1 年次は、1 年間かけて現代地域事情コース入門ゼミナールが必修となっており、授業での発表の仕方、文献検索の仕方、レポート作成の指導を行っている。続いて 2 年次は、より細かい指導ができるようにクラスを 2 つに割り、1 学期完結の形で言語・情報コース入門ゼミナールと文学・文化コース入門ゼミナールが必修となっている。このように 2 年間に渡る 3 つの入門ゼミを受講することで、文化学、言語学、文学の基礎知識を得ることができ、3 年次に専門コースを選択する際に役立つように設計されている。1 年次、2 年次の入門ゼミを通して、学生は研究倫理の遵守の重要性を繰り返し学び、レポート作成や卒論・卒研を作成する上での基本的姿勢を身につける。

### 2. 大学図書館ガイダンスの活用

毎年 5 月に、1 年生、3 年生、そして卒業論文を執筆する 4 年生を対象にしたガイダン

スを図書館に依頼している。学生には、学年ごとの到達目標を勘案し、学科教員と図書館職員の間で打ち合わせをした上で有意義なガイダンスを行ってもらっている。3年次からの専門的な授業や、卒業論文、卒業研究の準備に、基本的な文献を見つけ出し、実際の文献を入手することは基本的な知的技術である。

### 3. 卒業論文、卒業研究の指導

卒業論文指導は、3年次の7月に行われる第1回ガイダンスから始まる。続いて11月に行われる第2回のガイダンスでは、具体的テーマの絞り込みに関する相談が行われる。4年次初めには、これらの結果を受けて卒業論文準備レポートの提出を課し、その審査を経てから指導教員の決定が行われ、学生は指導教員の面接指導等を受けながら卒業論文を執筆することになる。卒業研究は、自分が所属するコースゼミの内容に関連したテーマを学生が考え、コースゼミの教員と相談しながらテーマを決定し、指導教員の面接指導等を受けながら書き上げられる。卒業論文も卒業研究も、それぞれ年度ごとの執筆要綱が学科ホームページからダウンロードできるようになっており、その要綱に沿って論文を書くことが求められている。

### 4. リアクション・ペーパーの活用

演習科目、入門ゼミナール、講義科目などでは、毎回の授業でリアクション・ペーパーを活用した授業が行われている。リアクション・ペーパーには、授業内容に関する疑問や質問、さらには自分の意見が記入され、その結果を次回の授業で取り上げて説明することで、授業時間の中で収まりきらなかった教員と学生の相互理解を高める工夫がなされている。リアクション・ペーパーの内容から、授業内容に対する理解度や要望も把握することができる。全学一斉に行われる「学生による授業評価」だけでは把握しきれない1回1回の授業に関するリアクションを知ることができ、授業改善に繋げることができるという意味で、リアクション・ペーパーを用いる方法は、現在では欠くことができない存在になっている。

### 5. アクティブ・ラーニングの実践

アクティブ・ラーニングの考え方や方法がコース・ゼミナールや演習科目に導入されている。学生の積極的な参加を促すグループ・ワーク形式を授業に取り入れることによって、特定の課題についてグループ単位でディスカッションを行い、課題発見力、発信力、問題解決力の養成を目指している。

## 【フランス語圏文化学科】

### 1. コース制と単位読み替え

フランス語圏文化学科では、学生の多様な関心に応えるため、平成19年度から「言語・

翻訳」、「文学・思想」、「舞台・映像」及び「広域文化」という4コース制を敷いており、3年次に進学する際、希望のコースを選択することとしている。従来はコースによって履修可能なゼミナールに制限があったが、学生の興味の広がりや要望に対応するため、前年度よりこの縛りを緩め、より広い選択肢の中からゼミナールを希望できるようにした。

## 2. 卒業論文、卒業翻訳、卒業演習に関する指導方針

卒業のための最終段階として、フランス語圏文化学科では卒業論文、卒業翻訳、卒業演習という3つの選択肢が与えられている。この選択肢については、ゼミナール担当者が個別に相談に応じ、指導をしているが、加えて3年次の学生全員に「3年次レポート」を課し、学生の適性や関心をきめ細かく把握した上で指導ができるように努めている。

また卒業論文については、学生の便宜を図りつつ、質の高い論文執筆に専念してもらうため、前年度より従来の両面コピーを廃止するなど形式を簡略化し、フォーマットのテンプレートをあらかじめ用意するなどの配慮をした。さらに卒業ガイダンスやゼミナールでのアナウンスにおいて、今まで以上に提出締め切りなど事務手続き上の重要事項を周知徹底するよう取り決めた。

## 3. 1年次学生へのガイダンス

大学生活に慣れてきた時期にクラス間の交流を深め、様々な疑問や不安に対応するため、一昨年度から5月半ばに学年全体を対象としたオリエンテーションを開催し、軽食を取りながら和やかな雰囲気の中、教員と学生が語らう機会を提供している。今年度からは補佐として大学院生のほかに学部3年次・4年次生も数名出席させ、上級生にさまざまな質問を投げかける場を持つこともできた。

## 4. 2年次学生のフランス語能力強化

中級文法と読解力の強化を目指し、平成22年度より、学科教員と外国語教育研究センター教員とが共同で作成した学習院大学独自の教科書「フランス語文法」「フランス語解釈」を使用しており、学生の反応を見ながら内容のさらなる改善を図っている。

### 【心理学科】

#### 1. シラバスを活用するためのガイダンスの充実

授業評価アンケートが示す問題の1つは、シラバスが必ずしも十分に活用されていないことである。この問題を解決するために、心理学科では、新学期のガイダンスの際に、履修を計画している授業のシラバスを事前によく読むよう指導している。このような指導は一定の効果を挙げているが、一方で、ガイダンスの場での注意喚起だけは、実際に学生が自主的にシラバスを開くところまで結びついていないのか、疑問が残るところでもある。来年度以降は、さらにシラバスの活用を促すために、ガイダンスの際に学生にシラバスを開

かせ、その場でシラバスを読んで検討する時間を設けたり、各授業の初回にシラバスについても説明するようにするなどの改善を考えている。

## 2. 1年次演習における導入教育の実施

授業評価アンケートが示す2つめの問題は、学生の基礎学力にばらつきが大きくなり、こちらが想定している授業のレベルについていけない学生が増えつつあることである。そこで心理学科では、1年次の必修科目である「心理学演習Ⅰ」において、少人数による演習形式の授業に入る前の数回の授業を導入教育に充て、英語の論文を読んで理解するために必要となる基礎的な知識を伝えている。これによって、高校までは経験していない、英語論文を読んで討論するという演習形式の授業へとスムーズに移行することをサポートしている。

## 3. 演習・実験演習におけるアクティブ・ラーニングの実践

演習や実験演習の授業では、学生の積極的な授業参加や討論を促すために、アクティブ・ラーニングの考え方を取り入れた授業を実践している。具体的には、事前に課題論文やレジュメを読んできて、授業の場では小グループに分かれてのディスカッションを行っている。ディスカッションも、教員が主導するのではなく、できる限り学生自身が主体的かつ積極的に行うように促している。

## 4. 思考や知的好奇心を刺激するための資料の提示

いくつかの講義科目では、学生の思考や知的好奇心を刺激するために、図や資料などをプロジェクターで提示している。提示した資料は、印刷して配付したり、G・Port にアップロードしたりして、復習に役立つように配慮している。資料は毎年更新し新しい情報を追加することで、学生の知的好奇心を刺激するように努めている。

### 【教育学科】

教育学科は、学科の教育目標として、①「教育及び社会に関する幅広い知見と教育に関する専門的な技能を獲得させ、発達の多様な可能性を探求・研究すること」、②「次代を担う人々の成長を促進し、共生社会を形成・創造するための資質・能力を持った人材を育成すること」を掲げている。

この教育目標の達成を目指して、学科の専門科目では、以下のような3つの特徴を有した授業を展開してきている。

## 1. 体験型学習の重視

学科必修科目である「自然体験実習」や「社会体験実習」では自然体験や社会体験によるフィールド体験型授業を展開し、学科選択必修科目である「ボランティア学習論」「環境

教育論」での理論的な学習を踏まえ、積極的に初等中等学校の実践現場に参加していき、学校参加体験やモノづくり体験など本物の実践と体験を学習する機会を多く設けている。

## 2. コミュニケーション能力の育成

小学校教員の養成を主たる目的としていることから、発信・提言型（学習者主体型）教育の指導のための力量形成を目指し、学科選択必修科目である「発信技法（言語表現、身体表現、情報）」を設置し、児童・生徒とその保護者、あるいは地域社会の住民の多様化に対応して、多文化共生社会を支える双方向のコミュニケーション能力の育成を図っている。

## 3. 多文化共生社会の教育

日本が提唱し、ユネスコが世界的に取り組み推進している持続可能な開発のための教育活動と多様性への対応を目指した「ESD: Education for Sustainable Development（持続発展教育）」を基盤とした環境教育・国際理解教育・ボランティア学習を重視するとともに、様々な人々が共に生きる地域社会のための学校教育を担う知識と資質・能力の育成を図っている。

平成27年度は学科開設3年目であるため卒業研究や進路等の展開は今後の課題であるが、学科会議においては常に議題の中に「学生の状況」を取り上げ、さまざまな問題を抱える学生1人ひとりの状況を、教員間で確認するとともに情報共有を図り、対応を協議してきている。また、年度末には、1年間の学科運営に関する総括会議を行い、新年度に向けての方針について検討を行った。

# IV. 理学部

- 毎年5月に、学科ごとに新入生と教員との懇談会を行い、そこで出された新入生の感想・意見などについて各学科の教室会議で検討し、問題点があれば教授会で審議する。また、必要に応じて、外国語教育研究センターなどの他部門にも報告し、授業改善を要請することもある。
- 物理学科では、非常勤講師も含めた教員間のメーリングリストを用い、授業内容や進度の細かい情報交換を行っている。これは、科目間の繋がりが強く、1つの科目で完結しないという理系科目特有の事情による、開講科目の連携の必要性から行われているが、現状ではかなりうまく機能している。他学科でも、学科内の教員は教室会議の場などで頻繁に授業の情報交換をしている。
- 微分積分学の授業において、成績に関与することを公言した上での小テストを頻繁に

行った。学生のレベル把握が深まり、それに応じた適切な指導が可能となったほか、学生にとっては、テスト前だけでなく日常の学習を心がけるように見受けられた。

- 代数学の授業において、授業中に解説する定義や定理・命題などを簡単に纏めたものを予習・復習用にホームページにアップした。その際、学生の自主的な学習を促すため、証明や詳しい解説をあえて書かないように心がけた。
- 試験結果について、学生が自らの理解度を正確に把握できるよう、得点分布を度数分布表によって視覚化したものと共に学生にフィードバックした。

## V. 計算機センター

- 初等情報処理1・2は、全学の1年生を対象とした授業である。原則として、学科ごとのクラス編成にして授業を開講している。そこでは、情報に関連する規則や法律と情報を利用する際のモラルやマナーなど、情報倫理教育を授業の大きな柱の1つとして取り上げている。そこでは道徳教育だけでなく、インターネットなどを利用するに当たり自分に降りかかる危険を見極め回避する方法や基礎技術の習得も目指している。
- コンピューターの利用方法は各学科の教育目的に依存し、また学生の興味の対象は各学科で大きく異なっている。そのため、情報倫理教育を除き、各学科に応じた目標設定や題材を選ぶことによって、目的意識をもって学べるように配慮している。
- 一般に情報処理の授業では、学生間のスキルや知識の差が大きい。PC操作に慣れていない学生にとっては、授業についていくのが困難である反面、既にスキルのある学生には退屈な授業になりがちである。また、授業の進行に影響を与えることを気にして質問を控え、ますます授業についていけなくなる学生もいる。このような状況を改善するために、すぐに学生の疑問や要望を反映できるように、匿名で書き込みができるWebの簡易チャットを設置し、教室前面のスクリーンに投影し、学生の声を確認しながら授業を進めることにしている。また、実際のコンピューターを操作する時間では学生同士で教え合うことを積極的に奨励している。
- 比較的少人数のクラスでは、学生の顔と名前を把握し、1人ひとりの学生とのやりとりから、PCのスキルレベルや理解状況を把握して授業を進めている。

## VI. 外国語教育研究センター

- 日本語以外の外国語科目で、ネイティブスピーカーおよび長期留学経験者のティーチングアシスタントを使い、学生の実践的な演習の機会を増やした。

## VII. スポーツ・健康科学センター

- 実技授業全般において、前年の受講者数を参考に、開講時間、開講種目、各時限の開講コマ数などをできるだけ学生の要望に応えられるように調整している。
- 実技（本学のスポーツ・健康科学Ⅰ、Ⅱ（必修）、Ⅲa（選択）、Ⅲb（野外集中））においては、運動学習理論に基づき指導法の変化をつけ、年次ごとに経験とデータを積み重ねて、指導法に反映させている。
- スポーツ・健康科学Ⅰ（バレーボール）の授業において、極端に体力レベルの劣るクラスがあったため、教材（5号球→4号球→軽量ボール）を工夫して、体力レベルに応じた授業内容に変更して進めている。
- 体力トレーニングの授業において、作成した資料を配付している。しかし、紙媒体での資料を携行した状態ではトレーニングしづらいことや、身体の方法について文章や口頭説明では伝わりづらい部分もある。そこで、トレーニングルームに設置されたモニターに映像、画像を提示し、トレーニング動作修得が効率的に進むよう工夫している。
- スポーツ・健康科学Ⅰ（文・理必修）では、共通のテキストとノートを作成し、授業内で実施したトレーニング内容や練習内容、体調、感想等を記録させている。授業終了後に提出し、学生の授業に対するリアクションを授業中の観察に加えて文章で見ることにより、自身の実施した内容が質、量ともに適切であったかを把握し、次回の授業において生かすようにしている。
- バレーボール、バドミントンの授業において、バランスボール、バランスディスク、ストレッチポールを用いている。授業の前半にこれらの器具を用いて、トレーニングを行い、主とする球技の動作に役立てるとともに、バランス能力、筋力、柔軟性の向上に役立てている。また、運動の苦手な学生も、これらの器具を使用することによって、自分の身体への関心が高まっていると思われる。

## IX. 教職課程

- 文学部教育学科の設置（平成 25 年度）に伴って、平成 27 年度に教育学科開設科目が増加したため、教職課程開設科目に関する授業担当者の変更を行った。そのため、教育理論と教育実践を統合した中学校・高等学校の教員養成の内容についても、さらに充実した教師教育として取り組まれることとなった。それらの具体化については、学生たちが主体的に授業に参加することを前提とした各授業担当者の講義・演習・実験・実習などに反映されており、学生には大変好評である。なお、教職課程では教員免許の取得にあたって、授業を履修して単位の修得を必要とするものと、教員免許の取得のための単位外の基礎要件があるが、後者の学生援助については、教員による指導と同時に、職員による支援も大変重要な役割を担っていることを付記しておきたい。

## X. 学芸員課程

- 毎年学年はじめに行われる、非常勤講師との意見交換会において、情報を交換し、また授業の改善等についても話題としている。とりわけ 4 年生の実習クラス（演習）が資格取得の総仕上げとして重要なものとなってくるので、学生の意見も充分聞いた上で、実習環境の整備を常に心がけている。
- 学生の意見、希望等は常時、学芸員課程事務室において聴き取り、必要な場合には担当教員に伝えるようにしている。

## 第4章

### 資料集

(質問項目別基礎データクロス表)

Q1 私のこの授業への出席率は

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		出席率 90%以上	出席率 89～80%	出席率 79～70%	出席率 69～50%	出席率 49%以下					
計セ	講義	2,875 82.69%	413 11.88%	156 4.49%	25 0.72%	8 0.23%	3,477 100.00%	4.76	0.585	4.71	0.229
外セ	語学	7,000 70.39%	1,956 19.67%	851 8.56%	118 1.19%	19 0.19%	9,944 100.00%	4.59	0.712	4.56	0.271
スホ健	演習	919 61.06%	355 23.59%	183 12.16%	45 2.99%	3 0.20%	1,505 100.00%	4.42	0.831	4.41	0.334
基礎教養	講義	3,959 67.57%	1,146 19.56%	564 9.63%	131 2.24%	59 1.01%	5,859 100.00%	4.50	0.835	4.47	0.262
	演習	22 73.33%	5 16.67%	2 6.67%	1 3.33%	0 0.00%	30 100.00%	4.60	0.770	4.60	-
	計	3,981 67.60%	1,151 19.54%	566 9.61%	132 2.24%	59 1.00%	5,889 100.00%	4.51	0.835	4.47	0.261
法学部	講義	6,353 68.56%	1,616 17.44%	795 8.58%	278 3.00%	225 2.43%	9,267 100.00%	4.47	0.944	4.42	0.307
	演習	1,465 82.12%	219 12.28%	78 4.37%	16 0.90%	6 0.34%	1,784 100.00%	4.75	0.608	4.70	0.281
	計	7,818 70.74%	1,835 16.60%	873 7.90%	294 2.66%	231 2.09%	11,051 100.00%	4.51	0.905	4.53	0.328
経済学部	講義	5,491 68.36%	1,398 17.40%	722 8.99%	237 2.95%	185 2.30%	8,033 100.00%	4.47	0.939	4.43	0.332
	演習	1,357 89.45%	114 7.51%	38 2.50%	6 0.40%	2 0.13%	1,517 100.00%	4.86	0.460	4.82	0.231
	計	6,848 71.71%	1,512 15.83%	760 7.96%	243 2.54%	187 1.96%	9,550 100.00%	4.53	0.892	4.59	0.352
文学部	講義	5,884 69.49%	1,688 19.93%	716 8.46%	136 1.61%	44 0.52%	8,468 100.00%	4.56	0.758	4.54	0.296
	演習	4,937 70.20%	1,500 21.33%	495 7.04%	85 1.21%	16 0.23%	7,033 100.00%	4.60	0.693	4.59	0.289
	計	10,821 69.81%	3,188 20.57%	1,211 7.81%	221 1.43%	60 0.39%	15,501 100.00%	4.58	0.729	4.57	0.292
理学部	講義	3,785 84.45%	467 10.42%	158 3.53%	41 0.91%	31 0.69%	4,482 100.00%	4.77	0.621	4.72	0.228
	演習	1,507 90.67%	100 6.02%	39 2.35%	10 0.60%	6 0.36%	1,662 100.00%	4.86	0.497	4.81	0.206
	計	5,292 86.13%	567 9.23%	197 3.21%	51 0.83%	37 0.60%	6,144 100.00%	4.79	0.591	4.74	0.226
教職課程	講義	1,121 79.79%	199 14.16%	61 4.34%	15 1.07%	9 0.64%	1,405 100.00%	4.71	0.658	4.70	0.163
	演習	1,241 79.55%	232 14.87%	70 4.49%	13 0.83%	4 0.26%	1,560 100.00%	4.73	0.608	4.73	0.179
	計	2,362 79.66%	431 14.54%	131 4.42%	28 0.94%	13 0.44%	2,965 100.00%	4.72	0.632	4.72	0.172
学芸員	講義	508 69.30%	167 22.78%	49 6.68%	9 1.23%	0 0.00%	733 100.00%	4.60	0.669	4.52	0.220
	演習	33 62.26%	13 24.53%	4 7.55%	2 3.77%	1 1.89%	53 100.00%	4.42	0.929	4.43	0.452
	計	541 68.83%	180 22.90%	53 6.74%	11 1.40%	1 0.13%	786 100.00%	4.59	0.690	4.50	0.290
合計	48,457 72.53%	11,588 17.34%	4,981 7.46%	1,168 1.75%	618 0.92%	66,812 100.00%	4.59	0.779	4.58	0.299	

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				部門別 平均	部門別 標準偏差
	出席率 90%以上	出席率 89～80%	出席率 79～70%	出席率 69～50%	出席率 49%以下					
講義	29,976 71.84%	7,094 17.00%	3,221 7.72%	872 2.09%	561 1.34%	41,724 100.00%	4.56	0.829	4.54	0.303
演習	11,481 75.81%	2,538 16.76%	909 6.00%	178 1.18%	38 0.25%	15,144 100.00%	4.67	0.665	4.63	0.304
語学	7,000 70.39%	1,956 19.67%	851 8.56%	118 1.19%	19 0.19%	9,944 100.00%	4.59	0.712	4.56	0.271
合計	48,457 72.53%	11,588 17.34%	4,981 7.46%	1,168 1.75%	618 0.92%	66,812 100.00%	4.59	0.779	4.58	0.299

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	出席率 90%以上	出席率 89～80%	出席率 79～70%	出席率 69～50%	出席率 49%以下			
学部1年	22,174 79.47%	3,754 13.45%	1,476 5.29%	339 1.21%	159 0.57%	27,902 100.00%	4.70	0.676
学部2年	13,010 71.05%	3,414 18.65%	1,428 7.80%	291 1.59%	167 0.91%	18,310 100.00%	4.57	0.778
学部3年	8,289 67.60%	2,494 20.34%	1,081 8.82%	249 2.03%	149 1.22%	12,262 100.00%	4.51	0.833
学部4年	2,022 50.40%	1,117 27.84%	596 14.86%	191 4.76%	86 2.14%	4,012 100.00%	4.20	0.999

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	出席率 90%以上	出席率 89～80%	出席率 79～70%	出席率 69～50%	出席率 49%以下					
25名以下	8,402 72.97%	2,109 18.32%	805 6.99%	162 1.41%	36 0.31%	11,514 100.00%	4.62	0.705	4.60	0.321
26～50名	11,630 71.71%	3,087 19.03%	1,249 7.70%	207 1.28%	45 0.28%	16,218 100.00%	4.61	0.709	4.58	0.268
51～100名	11,862 77.31%	2,322 15.13%	870 5.67%	193 1.26%	97 0.63%	15,344 100.00%	4.67	0.696	4.63	0.284
101～200名	7,098 71.14%	1,732 17.36%	827 8.29%	201 2.01%	120 1.20%	9,978 100.00%	4.55	0.824	4.48	0.280
201名以上	9,465 68.80%	2,338 16.99%	1,230 8.94%	405 2.94%	320 2.33%	13,758 100.00%	4.47	0.940	4.41	0.278
合計	48,457 72.53%	11,588 17.34%	4,981 7.46%	1,168 1.75%	618 0.92%	66,812 100.00%	4.59	0.779	4.58	0.299

Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,267 36.60%	1,238 35.76%	724 20.91%	142 4.10%	91 2.63%	3,462 100.00%	4.00	0.988	3.99	0.346
外セ	語学	3,644 36.80%	4,199 42.40%	1,679 16.95%	304 3.07%	77 0.78%	9,903 100.00%	4.11	0.847	4.12	0.309
スポ健	演習	880 58.63%	443 29.51%	148 9.86%	21 1.40%	9 0.60%	1,501 100.00%	4.44	0.775	4.52	0.314
基礎教養	講義	1,492 25.55%	2,152 36.86%	1,655 28.34%	404 6.92%	136 2.33%	5,839 100.00%	3.76	0.985	3.76	0.368
	演習	9 30.00%	13 43.33%	6 20.00%	1 3.33%	1 3.33%	30 100.00%	3.93	0.980	3.93	-
	計	1,501 25.58%	2,165 36.89%	1,661 28.30%	405 6.90%	137 2.33%	5,869 100.00%	3.76	0.985	3.76	0.366
法学部	講義	2,029 21.97%	3,316 35.90%	2,762 29.90%	772 8.36%	357 3.87%	9,236 100.00%	3.64	1.034	3.69	0.358
	演習	879 49.41%	633 35.58%	224 12.59%	31 1.74%	12 0.67%	1,779 100.00%	4.31	0.808	4.37	0.288
	計	2,908 26.40%	3,949 35.85%	2,986 27.11%	803 7.29%	369 3.35%	11,015 100.00%	3.75	1.032	3.96	0.472
経済学部	講義	2,122 26.53%	2,759 34.49%	2,267 28.34%	588 7.35%	264 3.30%	8,000 100.00%	3.74	1.034	3.80	0.431
	演習	930 61.51%	436 28.84%	127 8.40%	17 1.12%	2 0.13%	1,512 100.00%	4.50	0.708	4.50	0.328
	計	3,052 32.09%	3,195 33.58%	2,394 25.17%	605 6.36%	286 2.80%	9,512 100.00%	3.86	1.029	4.09	0.520
文学部	講義	2,104 24.91%	3,405 40.32%	2,340 27.71%	469 5.55%	127 1.50%	8,445 100.00%	3.82	0.922	3.88	0.397
	演習	3,092 44.06%	2,910 41.46%	873 12.44%	117 1.67%	26 0.37%	7,018 100.00%	4.27	0.769	4.29	0.301
	計	5,196 33.60%	6,315 40.84%	3,213 20.78%	586 3.79%	153 0.99%	15,463 100.00%	4.02	0.885	4.14	0.394
理学部	講義	1,326 29.62%	1,604 35.83%	1,183 26.42%	273 6.10%	91 2.03%	4,477 100.00%	3.85	0.982	3.85	0.405
	演習	839 50.54%	548 33.01%	223 13.43%	36 2.17%	14 0.84%	1,660 100.00%	4.30	0.843	4.22	0.335
	計	2,165 35.28%	2,152 35.07%	1,406 22.91%	309 5.04%	105 1.71%	6,137 100.00%	3.97	0.968	3.95	0.420
教職課程	講義	352 25.12%	537 38.33%	389 27.77%	76 5.42%	47 3.35%	1,401 100.00%	3.76	0.997	3.80	0.298
	演習	600 38.51%	618 39.67%	270 17.33%	45 2.89%	25 1.60%	1,558 100.00%	4.11	0.899	4.21	0.347
	計	952 32.17%	1,155 39.03%	659 22.27%	121 4.09%	72 2.43%	2,959 100.00%	3.94	0.961	4.04	0.385
学芸員	講義	122 16.67%	351 47.95%	214 29.23%	36 4.92%	9 1.23%	732 100.00%	3.74	0.836	3.80	0.263
	演習	21 39.62%	23 43.40%	9 16.98%	0 0.00%	0 0.00%	53 100.00%	4.23	0.724	4.21	0.153
	計	143 18.22%	374 47.64%	223 28.41%	36 4.59%	9 1.15%	785 100.00%	3.77	0.838	3.91	0.299
合計	21,708 32.59%	25,185 37.81%	15,093 22.66%	3,332 5.00%	1,288 1.93%	66,606 100.00%	3.94	0.961	4.08	0.419	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義		10,814 26.00%	15,362 36.93%	11,534 27.73%	2,760 6.64%	1,122 2.70%	41,592 100.00%	3.77	0.996	3.82	0.392
演習		7,250 47.98%	5,624 37.22%	1,880 12.44%	268 1.77%	89 0.59%	15,111 100.00%	4.30	0.798	4.35	0.324
語学		3,644 36.80%	4,199 42.40%	1,679 16.95%	304 3.07%	77 0.78%	9,903 100.00%	4.11	0.847	4.12	0.309
合計		21,708 32.59%	25,185 37.81%	15,093 22.66%	3,332 5.00%	1,288 1.93%	66,606 100.00%	3.94	0.961	4.08	0.419

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	9,169 32.99%	10,392 37.39%	6,330 22.78%	1,357 4.88%	545 1.96%	27,793 100.00%	3.95	0.963
学部2年	5,361 29.36%	7,134 39.08%	4,396 24.08%	1,013 5.55%	353 1.93%	18,257 100.00%	3.88	0.958
学部3年	4,229 34.55%	4,590 37.50%	2,631 21.49%	549 4.48%	242 1.98%	12,241 100.00%	3.98	0.958
学部4年	1,490 37.22%	1,509 37.70%	770 19.24%	187 4.67%	47 1.17%	4,003 100.00%	4.05	0.925

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	5,457 47.49%	4,357 37.92%	1,392 12.11%	233 2.03%	51 0.44%	11,490 100.00%	4.30	0.792	4.29	0.384
26～50名	6,009 37.18%	6,657 41.19%	2,871 17.77%	476 2.95%	147 0.91%	16,160 100.00%	4.11	0.859	4.10	0.325
51～100名	4,695 30.68%	5,716 37.35%	3,798 24.82%	778 5.08%	317 2.07%	15,304 100.00%	3.89	0.966	3.87	0.382
101～200名	2,370 23.81%	3,713 37.31%	2,913 29.27%	693 6.96%	263 2.64%	9,952 100.00%	3.73	0.986	3.69	0.287
201名以上	3,177 23.19%	4,742 34.61%	4,119 30.07%	1,152 8.41%	510 3.72%	13,700 100.00%	3.65	1.040	3.60	0.286
合計	21,708 32.59%	25,185 37.81%	15,093 22.66%	3,332 5.00%	1,288 1.93%	66,606 100.00%	3.94	0.961	4.08	0.419

Q3 この授業のレベルは適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,082 31.66%	1,147 33.56%	725 21.21%	291 8.51%	173 5.06%	3,418 100.00%	3.78	1.130	3.74	0.561
外セ	語学	4,144 42.25%	3,782 38.56%	1,438 14.66%	343 3.50%	101 1.03%	9,808 100.00%	4.18	0.878	4.18	0.373
スボ健	演習	919 61.72%	417 28.01%	119 7.99%	24 1.61%	10 0.67%	1,489 100.00%	4.48	0.766	4.54	0.292
基礎教養	講義	2,327 40.25%	2,312 39.99%	935 16.17%	165 2.85%	43 0.74%	5,782 100.00%	4.16	0.848	4.13	0.343
	演習	9 30.00%	14 46.67%	4 13.33%	1 3.33%	2 6.67%	30 100.00%	3.90	1.094	3.90	-
計	講義	2,336 40.19%	2,326 40.02%	939 16.16%	166 2.86%	45 0.77%	5,812 100.00%	4.16	0.850	4.13	0.342
	演習	833 47.20%	579 32.80%	248 14.05%	81 4.59%	24 1.36%	1,765 100.00%	4.20	0.938	4.31	0.411
法学部	計	3,434 31.55%	4,291 39.43%	2,447 22.48%	551 5.06%	160 1.47%	10,883 100.00%	3.95	0.934	4.08	0.426
経済学部	講義	2,601 32.94%	2,841 35.98%	1,724 21.83%	468 5.93%	263 3.33%	7,897 100.00%	3.89	1.036	3.97	0.473
	演習	869 57.89%	469 31.25%	129 8.59%	29 1.93%	5 0.33%	1,501 100.00%	4.44	0.758	4.45	0.378
計	講義	3,470 36.92%	3,310 35.22%	1,853 19.72%	497 5.29%	268 2.85%	9,398 100.00%	3.98	1.017	4.17	0.495
文学部	講義	2,979 35.73%	3,446 41.33%	1,502 18.01%	344 4.13%	67 0.80%	8,338 100.00%	4.07	0.877	4.13	0.376
	演習	3,234 46.59%	2,695 38.82%	789 11.37%	175 2.52%	49 0.71%	6,942 100.00%	4.28	0.816	4.30	0.369
計	講義	6,213 40.66%	6,141 40.19%	2,291 14.99%	519 3.40%	116 0.76%	15,280 100.00%	4.17	0.856	4.24	0.380
理学部	講義	1,261 28.39%	1,489 33.53%	1,118 25.17%	433 9.75%	140 3.15%	4,441 100.00%	3.74	1.069	3.74	0.484
	演習	646 39.29%	616 37.47%	279 16.97%	77 4.68%	26 1.58%	1,644 100.00%	4.08	0.941	4.00	0.357
計	講義	1,907 31.34%	2,105 34.59%	1,397 22.96%	510 8.38%	166 2.73%	6,085 100.00%	3.83	1.047	3.80	0.468
教職課程	講義	505 36.44%	549 39.61%	303 21.86%	19 1.37%	10 0.72%	1,386 100.00%	4.10	0.833	4.13	0.292
	演習	738 47.98%	552 35.89%	198 12.87%	35 2.28%	15 0.98%	1,538 100.00%	4.28	0.844	4.35	0.341
計	講義	1,243 42.51%	1,101 37.65%	501 17.13%	54 1.85%	25 0.85%	2,924 100.00%	4.19	0.843	4.26	0.338
学芸員	講義	253 34.94%	372 51.38%	88 12.15%	10 1.38%	1 0.14%	724 100.00%	4.20	0.708	4.18	0.186
	演習	34 64.15%	16 30.19%	3 5.66%	0 0.00%	0 0.00%	53 100.00%	4.58	0.602	4.60	0.214
計	講義	287 36.94%	388 49.94%	91 11.71%	10 1.29%	1 0.13%	777 100.00%	4.22	0.708	4.29	0.266
合計	講義	25,035 38.00%	25,008 37.96%	11,801 17.91%	2,965 4.50%	1,065 1.62%	65,874 100.00%	4.06	0.939	4.15	0.438

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義	13,609 33.11%	15,868 38.60%	8,594 20.91%	2,200 5.35%	833 2.03%	41,104 100.00%	3.95	0.967	3.97	0.446
演習	7,282 48.67%	5,358 35.81%	1,769 11.82%	422 2.82%	131 0.88%	14,962 100.00%	4.29	0.846	4.34	0.382
語学	4,144 42.25%	3,782 38.56%	1,438 14.66%	343 3.50%	101 1.03%	9,808 100.00%	4.18	0.878	4.18	0.373
合計	25,035 38.00%	25,008 37.96%	11,801 17.91%	2,965 4.50%	1,065 1.62%	65,874 100.00%	4.06	0.939	4.15	0.438

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	9,898 36.03%	10,128 36.86%	5,370 19.55%	1,455 5.30%	623 2.27%	27,474 100.00%	3.99	0.986
学部2年	6,245 34.56%	7,378 40.83%	3,421 18.93%	778 4.31%	250 1.38%	18,072 100.00%	4.03	0.911
学部3年	5,226 43.20%	4,485 37.08%	1,873 15.48%	402 3.32%	111 0.92%	12,097 100.00%	4.18	0.877
学部4年	1,940 48.93%	1,464 36.92%	421 10.62%	118 2.98%	22 0.55%	3,965 100.00%	4.31	0.819

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	5,739 50.40%	3,959 34.77%	1,283 11.27%	339 2.98%	66 0.58%	11,386 100.00%	4.31	0.830	4.32	0.406
26～50名	6,763 42.28%	6,193 38.72%	2,299 14.37%	570 3.56%	170 1.06%	15,995 100.00%	4.18	0.880	4.16	0.393
51～100名	5,052 33.40%	5,785 38.25%	3,048 20.15%	881 5.82%	359 2.37%	15,125 100.00%	3.94	0.990	3.92	0.458
101～200名	3,152 31.99%	3,810 38.67%	2,114 21.46%	578 5.87%	199 2.02%	9,853 100.00%	3.93	0.972	3.93	0.403
201名以上	4,329 32.03%	5,261 38.93%	3,057 22.62%	597 4.42%	271 2.01%	13,515 100.00%	3.95	0.949	3.92	0.349
合計	25,035 38.00%	25,008 37.96%	11,801 17.91%	2,965 4.50%	1,065 1.62%	65,874 100.00%	4.06	0.939	4.15	0.438

Q4 この授業を進める速さは適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,004	1,146	801	351	145	3,447	3.73	1.112	3.73	0.530
		29.13%	33.25%	23.24%	10.18%	4.21%	100.00%				
外セ	語学	4,458	3,701	1,324	309	94	9,886	4.23	0.863	4.24	0.377
		45.09%	37.44%	13.39%	3.13%	0.95%	100.00%				
スボ健	演習	979	390	106	17	7	1,499	4.55	0.717	4.60	0.263
		65.31%	26.02%	7.07%	1.13%	0.47%	100.00%				
基礎教養	講義	2,400	2,445	837	112	29	5,823	4.22	0.795	4.20	0.257
	演習	9	15	3	1	0	28	4.14	0.756	4.14	-
	計	2,409	2,460	840	113	29	5,851	4.21	0.794	4.20	0.256
法学部	講義	2,820	3,881	2,006	371	103	9,181	3.97	0.888	4.03	0.328
	演習	938	535	220	60	14	1,767	4.31	0.874	4.43	0.358
	計	3,758	4,416	2,226	431	117	10,948	4.03	0.894	4.19	0.392
経済学部	講義	2,780	2,915	1,623	432	205	7,955	3.96	1.001	4.06	0.425
	演習	918	418	134	21	4	1,495	4.49	0.739	4.50	0.349
	計	3,698	3,333	1,757	453	209	9,450	4.04	0.983	4.24	0.450
文学部	講義	3,120	3,480	1,442	318	56	8,416	4.10	0.862	4.16	0.382
	演習	3,518	2,553	724	134	42	6,971	4.34	0.788	4.38	0.341
	計	6,638	6,033	2,166	452	98	15,387	4.21	0.838	4.30	0.372
理学部	講義	1,328	1,627	1,046	326	137	4,464	3.83	1.034	3.83	0.443
	演習	704	613	285	34	21	1,657	4.17	0.874	4.12	0.316
	計	2,032	2,240	1,331	360	158	6,121	3.92	1.005	3.91	0.433
教職課程	講義	531	584	251	19	10	1,395	4.15	0.811	4.19	0.278
	演習	749	535	219	28	13	1,544	4.28	0.834	4.35	0.354
	計	1,280	1,119	470	47	23	2,939	4.22	0.826	4.28	0.332
学芸員	講義	254	386	79	8	1	728	4.21	0.684	4.21	0.183
	演習	31	21	1	0	0	53	4.57	0.537	4.56	0.179
	計	285	407	80	8	1	781	4.24	0.681	4.30	0.237
合計	講義	26,541	25,245	11,101	2,541	881	66,309	4.12	0.909	4.22	0.418
	演習	40.03%	38.07%	16.74%	3.83%	1.33%	100.00%				

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義	14,237	16,464	8,085	1,937	686	41,409	4.01	0.936	4.04	0.417
	34.38%	39.76%	19.52%	4.68%	1.66%	100.00%				
演習	7,846	5,080	1,692	295	101	15,014	4.35	0.807	4.41	0.349
	52.26%	33.84%	11.27%	1.96%	0.67%	100.00%				
語学	4,458	3,701	1,324	309	94	9,886	4.23	0.863	4.24	0.377
	45.09%	37.44%	13.39%	3.13%	0.95%	100.00%				
合計	26,541	25,245	11,101	2,541	881	66,309	4.12	0.909	4.22	0.418
	40.03%	38.07%	16.74%	3.83%	1.33%	100.00%				

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	10,289	10,468	5,162	1,333	516	27,768	4.03	0.956
学部2年	6,692	7,402	3,198	669	208	18,169	4.08	0.887
学部3年	5,666	4,405	1,696	302	88	12,157	4.26	0.840
学部4年	2,069	1,399	381	80	19	3,948	4.37	0.779
	52.41%	35.44%	9.65%	2.03%	0.48%	100.00%		

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	6,193	3,733	1,171	236	66	11,399	4.38	0.797	4.39	0.383
26～50名	7,211	6,107	2,182	482	130	16,112	4.23	0.850	4.22	0.368
51～100名	5,211	5,921	2,973	821	324	15,250	3.98	0.971	3.97	0.425
101～200名	3,362	3,945	1,980	469	152	9,908	4.00	0.931	4.00	0.378
201名以上	4,564	5,539	2,795	533	209	13,640	4.01	0.913	4.00	0.321
合計	26,541	25,245	11,101	2,541	881	66,309	4.12	0.909	4.22	0.418
	40.03%	38.07%	16.74%	3.83%	1.33%	100.00%				

Q5 教員は熱意を持って授業を行っている

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,251 36.10%	1,222 35.27%	744 21.47%	145 4.18%	103 2.97%	3,465 100.00%	3.97	1.005	4.01	0.487
外セ	語学	5,829 58.75%	3,171 31.96%	780 7.86%	98 0.99%	44 0.44%	9,922 100.00%	4.48	0.721	4.49	0.316
スボ健	演習	1,146 76.30%	297 19.77%	53 3.53%	3 0.20%	3 0.20%	1,502 100.00%	4.72	0.556	4.74	0.199
基礎教養	講義	3,288 56.29%	1,953 33.44%	500 8.56%	61 1.04%	39 0.67%	5,841 100.00%	4.44	0.748	4.43	0.315
	演習	15 50.00%	12 40.00%	2 6.67%	1 3.33%	0 0.00%	30 100.00%	4.37	0.765	4.37	-
	計	3,303 56.26%	1,965 33.47%	502 8.55%	62 1.06%	39 0.66%	5,871 100.00%	4.44	0.748	4.43	0.313
法学部	講義	4,189 45.28%	3,531 38.17%	1,276 13.79%	160 1.73%	95 1.03%	9,251 100.00%	4.25	0.831	4.31	0.304
	演習	1,201 67.47%	417 23.43%	125 7.02%	26 1.46%	11 0.62%	1,780 100.00%	4.56	0.741	4.65	0.297
	計	5,390 48.86%	3,948 35.79%	1,401 12.70%	186 1.69%	106 0.96%	11,031 100.00%	4.30	0.825	4.45	0.342
経済学部	講義	3,970 49.56%	2,741 34.22%	1,050 13.11%	151 1.89%	98 1.22%	8,010 100.00%	4.29	0.853	4.35	0.375
	演習	1,129 74.52%	308 20.33%	72 4.75%	5 0.33%	1 0.07%	1,515 100.00%	4.69	0.581	4.70	0.284
	計	5,099 53.53%	3,049 32.01%	1,122 11.78%	156 1.64%	99 1.04%	9,525 100.00%	4.35	0.829	4.49	0.381
文学部	講義	4,585 54.27%	3,007 35.59%	733 8.68%	90 1.07%	34 0.40%	8,449 100.00%	4.42	0.728	4.47	0.293
	演習	4,591 65.39%	1,983 28.24%	397 5.65%	36 0.51%	14 0.20%	7,021 100.00%	4.58	0.641	4.60	0.276
	計	9,176 59.31%	4,990 32.26%	1,130 7.30%	126 0.81%	48 0.31%	15,470 100.00%	4.49	0.694	4.56	0.289
理学部	講義	2,142 47.87%	1,591 35.55%	611 13.65%	93 2.08%	38 0.85%	4,475 100.00%	4.28	0.836	4.28	0.355
	演習	882 53.20%	564 34.02%	181 10.92%	19 1.15%	12 0.72%	1,658 100.00%	4.38	0.781	4.33	0.282
	計	3,024 49.31%	2,155 35.14%	792 12.91%	112 1.83%	50 0.82%	6,133 100.00%	4.30	0.823	4.29	0.338
教職課程	講義	656 46.86%	545 38.93%	166 11.86%	22 1.57%	11 0.79%	1,400 100.00%	4.30	0.796	4.38	0.228
	演習	915 58.73%	439 28.18%	154 9.88%	28 1.80%	22 1.41%	1,558 100.00%	4.41	0.847	4.47	0.387
	計	1,571 53.11%	984 33.27%	320 10.82%	50 1.69%	33 1.12%	2,958 100.00%	4.36	0.825	4.43	0.332
学芸員	講義	408 55.74%	276 37.70%	42 5.74%	4 0.55%	2 0.27%	732 100.00%	4.48	0.656	4.49	0.205
	演習	35 66.04%	16 30.19%	2 3.77%	0 0.00%	0 0.00%	53 100.00%	4.62	0.562	4.62	0.135
	計	443 56.43%	292 37.20%	44 5.61%	4 0.51%	2 0.25%	785 100.00%	4.49	0.651	4.53	0.195
合計	36,232 54.35%	22,073 33.11%	6,888 10.33%	942 1.41%	527 0.79%	66,662 100.00%	4.39	0.790	4.48	0.350	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義		20,489 49.23%	14,866 35.72%	5,122 12.31%	726 1.74%	420 1.01%	41,623 100.00%	4.30	0.827	4.34	0.362
演習		9,914 65.58%	4,036 26.70%	986 6.52%	118 0.78%	63 0.42%	15,117 100.00%	4.56	0.688	4.62	0.294
語学		5,829 58.75%	3,171 31.96%	780 7.86%	98 0.99%	44 0.44%	9,922 100.00%	4.48	0.721	4.49	0.316
合計		36,232 54.35%	22,073 33.11%	6,888 10.33%	942 1.41%	527 0.79%	66,662 100.00%	4.39	0.790	4.48	0.350

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		14,270 51.26%	9,433 33.89%	3,367 12.09%	479 1.72%	289 1.04%	27,838 100.00%	4.33	0.830
学部2年		9,365 51.25%	6,640 36.34%	1,917 10.49%	230 1.26%	121 0.66%	18,273 100.00%	4.36	0.772
学部3年		7,396 60.41%	3,670 29.98%	968 7.91%	138 1.13%	70 0.57%	12,242 100.00%	4.49	0.738
学部4年		2,709 67.67%	1,032 25.78%	225 5.62%	22 0.55%	15 0.37%	4,003 100.00%	4.60	0.656

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		7,875 68.48%	2,934 25.52%	604 5.25%	60 0.52%	26 0.23%	11,499 100.00%	4.62	0.633	4.62	0.297
26～50名		9,585 59.27%	5,056 31.26%	1,284 7.94%	169 1.05%	78 0.48%	16,172 100.00%	4.48	0.727	4.48	0.318
51～100名		7,292 47.63%	5,494 35.89%	2,016 13.17%	312 2.04%	195 1.27%	15,309 100.00%	4.27	0.857	4.27	0.369
101～200名		4,986 50.09%	3,573 35.90%	1,147 11.52%	151 1.52%	97 0.97%	9,954 100.00%	4.33	0.811	4.31	0.324
201名以上		6,494 47.30%	5,016 36.54%	1,837 13.38%	250 1.82%	131 0.95%	13,728 100.00%	4.27	0.831	4.25	0.301
合計		36,232 54.35%	22,073 33.11%	6,888 10.33%	942 1.41%	527 0.79%	66,662 100.00%	4.39	0.790	4.48	0.350

Q6 教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,240 35.85%	1,262 36.48%	702 20.29%	158 4.57%	97 2.80%	3,459 100.00%	3.98	0.998	4.03	0.434
外セ	語学	5,129 51.94%	3,465 35.09%	1,054 10.67%	163 1.65%	63 0.64%	9,874 100.00%	4.36	0.787	4.38	0.328
スポ健	演習	1,084 72.41%	330 22.04%	73 4.88%	2 0.13%	8 0.53%	1,497 100.00%	4.66	0.629	4.70	0.239
基礎教養	講義	2,625 45.15%	2,170 37.32%	809 13.91%	155 2.67%	55 0.95%	5,814 100.00%	4.23	0.854	4.24	0.321
	演習	9 30.00%	16 53.33%	4 13.33%	0 0.00%	1 3.33%	30 100.00%	4.07	0.868	4.07	-
	計	2,634 45.07%	2,186 37.41%	813 13.91%	155 2.65%	56 0.96%	5,844 100.00%	4.23	0.854	4.24	0.320
法学部	講義	3,606 39.21%	3,505 38.11%	1,618 17.59%	304 3.31%	163 1.77%	9,196 100.00%	4.10	0.922	4.20	0.318
	演習	1,091 61.46%	459 25.86%	143 8.06%	46 2.59%	36 2.03%	1,775 100.00%	4.42	0.897	4.57	0.355
	計	4,697 42.81%	3,964 36.13%	1,761 16.05%	350 3.19%	199 1.81%	10,971 100.00%	4.15	0.926	4.35	0.379
経済学部	講義	3,486 43.67%	2,735 34.26%	1,346 16.86%	276 3.46%	139 1.74%	7,982 100.00%	4.15	0.938	4.26	0.384
	演習	1,050 69.81%	339 22.54%	95 6.32%	15 1.00%	5 0.33%	1,504 100.00%	4.61	0.682	4.62	0.346
	計	4,536 47.82%	3,074 32.41%	1,441 15.19%	291 3.07%	144 1.52%	9,486 100.00%	4.22	0.917	4.41	0.409
文学部	講義	3,594 42.66%	3,267 38.78%	1,275 15.14%	219 2.60%	69 0.82%	8,424 100.00%	4.20	0.846	4.26	0.361
	演習	4,074 58.42%	2,267 32.51%	530 7.60%	71 1.02%	32 0.46%	6,974 100.00%	4.47	0.719	4.51	0.315
	計	7,668 49.80%	5,534 35.94%	1,805 11.72%	290 1.88%	101 0.66%	15,398 100.00%	4.32	0.803	4.42	0.355
理学部	講義	1,825 41.03%	1,665 37.43%	754 16.95%	146 3.28%	58 1.30%	4,448 100.00%	4.14	0.900	4.15	0.329
	演習	813 49.27%	569 34.48%	214 12.97%	39 2.36%	15 0.91%	1,650 100.00%	4.29	0.846	4.22	0.342
	計	2,638 43.26%	2,234 36.63%	968 15.87%	185 3.03%	73 1.20%	6,098 100.00%	4.18	0.888	4.17	0.332
教職課程	講義	523 37.49%	554 39.71%	252 18.06%	49 3.51%	17 1.22%	1,395 100.00%	4.09	0.894	4.16	0.242
	演習	786 50.81%	486 31.42%	203 13.12%	44 2.84%	28 1.81%	1,547 100.00%	4.27	0.920	4.37	0.403
	計	1,309 44.49%	1,040 35.35%	455 15.47%	93 3.16%	45 1.53%	2,942 100.00%	4.18	0.912	4.28	0.360
学芸員	講義	307 42.11%	316 43.35%	86 11.80%	15 2.06%	5 0.69%	729 100.00%	4.24	0.791	4.22	0.193
	演習	34 64.15%	18 33.96%	1 1.89%	0 0.00%	0 0.00%	53 100.00%	4.62	0.527	4.63	0.185
	計	341 43.61%	334 42.71%	87 11.13%	15 1.92%	5 0.64%	782 100.00%	4.27	0.782	4.33	0.261
合計	31,276 47.14%	23,423 35.30%	9,159 13.80%	1,702 2.57%	791 1.19%	66,351 100.00%	4.25	0.871	4.36	0.373	

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義	17,206 41.51%	15,474 37.33%	6,842 16.51%	1,322 3.19%	603 1.45%	41,447 100.00%	4.14	0.905	4.20	0.356
演習	8,941 59.49%	4,484 29.83%	1,263 8.40%	217 1.44%	125 0.83%	15,030 100.00%	4.46	0.776	4.53	0.341
語学	5,129 51.94%	3,465 35.09%	1,054 10.67%	163 1.65%	63 0.64%	9,874 100.00%	4.36	0.787	4.38	0.328
合計	31,276 47.14%	23,423 35.30%	9,159 13.80%	1,702 2.57%	791 1.19%	66,351 100.00%	4.25	0.871	4.36	0.373

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	12,062 43.52%	10,030 36.19%	4,356 15.72%	856 3.09%	410 1.48%	27,714 100.00%	4.17	0.905
学部2年	8,068 44.33%	6,928 38.06%	2,590 14.23%	407 2.24%	208 1.14%	18,201 100.00%	4.22	0.854
学部3年	6,536 53.64%	3,914 32.12%	1,384 11.36%	252 2.07%	100 0.82%	12,186 100.00%	4.36	0.824
学部4年	2,432 61.09%	1,157 29.06%	296 7.44%	72 1.81%	24 0.60%	3,981 100.00%	4.48	0.761

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	7,195 63.02%	3,242 28.40%	804 7.04%	129 1.13%	47 0.41%	11,417 100.00%	4.52	0.712	4.54	0.333
26～50名	8,315 51.57%	5,679 35.22%	1,766 10.95%	263 1.63%	102 0.63%	16,125 100.00%	4.35	0.788	4.36	0.326
51～100名	6,267 41.10%	5,765 37.80%	2,488 16.31%	483 3.17%	247 1.62%	15,250 100.00%	4.14	0.910	4.13	0.349
101～200名	4,007 40.43%	3,706 37.40%	1,700 17.15%	339 3.42%	158 1.59%	9,910 100.00%	4.12	0.918	4.13	0.326
201名以上	5,492 40.24%	5,031 36.86%	2,401 17.59%	488 3.58%	237 1.74%	13,649 100.00%	4.10	0.931	4.10	0.316
合計	31,276 47.14%	23,423 35.30%	9,159 13.80%	1,702 2.57%	791 1.19%	66,351 100.00%	4.25	0.871	4.36	0.373

Q7 教員は理解しやすい授業を行っている

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,171 33.78%	1,152 33.23%	694 20.02%	282 8.13%	168 4.85%	3,467 100.00%	3.83	1.127	3.83	0.610
外セ	語学	5,027 50.65%	3,390 34.16%	1,127 11.36%	255 2.57%	126 1.27%	9,925 100.00%	4.30	0.863	4.32	0.423
スポ健	演習	1,069 71.12%	332 22.09%	82 5.46%	12 0.80%	8 0.53%	1,503 100.00%	4.62	0.675	4.67	0.282
基礎教養	講義	2,710 46.39%	2,159 36.96%	730 12.50%	173 2.96%	70 1.20%	5,842 100.00%	4.24	0.869	4.25	0.386
	演習	11 36.67%	14 46.67%	4 13.33%	0 0.00%	1 3.33%	30 100.00%	4.13	0.900	4.13	-
計		2,721 46.34%	2,173 37.01%	734 12.50%	173 2.95%	71 1.21%	5,872 100.00%	4.24	0.870	4.24	0.384
	法学部	3,263 35.35%	3,525 38.19%	1,752 18.98%	462 5.01%	228 2.47%	9,230 100.00%	3.99	0.983	4.05	0.428
	演習	1,092 61.52%	451 25.41%	142 8.00%	58 3.27%	32 1.80%	1,775 100.00%	4.42	0.903	4.56	0.370
計		4,355 39.57%	3,976 36.13%	1,894 17.21%	520 4.73%	260 2.36%	11,005 100.00%	4.06	0.983	4.26	0.475
	経済学部	3,213 40.21%	2,653 33.20%	1,446 18.10%	433 5.42%	245 3.07%	7,990 100.00%	4.02	1.037	4.12	0.517
	演習	1,052 69.44%	320 21.12%	116 7.66%	18 1.19%	9 0.59%	1,515 100.00%	4.58	0.735	4.58	0.424
計		4,265 44.87%	2,973 31.28%	1,562 16.43%	451 4.74%	254 2.67%	9,505 100.00%	4.11	1.016	4.31	0.532
	文学部	3,551 42.06%	3,199 37.89%	1,226 14.52%	342 4.05%	125 1.48%	8,443 100.00%	4.15	0.916	4.21	0.442
	演習	4,049 57.80%	2,163 30.88%	615 8.78%	124 1.77%	54 0.77%	7,005 100.00%	4.43	0.787	4.47	0.405
計		7,600 49.20%	5,362 34.71%	1,841 11.92%	466 3.02%	179 1.16%	15,448 100.00%	4.28	0.871	4.37	0.437
	理学部	1,518 34.05%	1,580 35.44%	908 20.37%	297 6.66%	155 3.48%	4,458 100.00%	3.90	1.055	3.90	0.486
	演習	739 44.60%	604 36.45%	254 15.33%	44 2.66%	16 0.97%	1,657 100.00%	4.21	0.865	4.16	0.340
計		2,257 36.91%	2,184 35.72%	1,162 19.00%	341 5.58%	171 2.80%	6,115 100.00%	3.98	1.017	3.96	0.467
	教職課程	508 36.39%	542 38.83%	257 18.41%	62 4.44%	27 1.93%	1,396 100.00%	4.03	0.948	4.14	0.343
	演習	757 48.71%	490 31.53%	209 13.45%	60 3.86%	38 2.45%	1,554 100.00%	4.20	0.978	4.28	0.466
計		1,265 42.88%	1,032 34.98%	466 15.80%	122 4.14%	65 2.20%	2,950 100.00%	4.12	0.967	4.22	0.423
	学芸員	288 39.40%	346 47.33%	82 11.22%	11 1.50%	4 0.55%	731 100.00%	4.24	0.749	4.23	0.218
	演習	36 67.92%	15 28.30%	2 3.77%	0 0.00%	0 0.00%	53 100.00%	4.64	0.558	4.63	0.256
計		324 41.33%	361 46.05%	84 10.71%	11 1.40%	4 0.51%	784 100.00%	4.26	0.744	4.34	0.286
	合計	30,054 45.14%	22,935 34.45%	9,646 14.49%	2,633 3.95%	1,306 1.96%	66,574 100.00%	4.17	0.950	4.29	0.478

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義		16,222 39.04%	15,156 36.47%	7,095 17.07%	2,062 4.96%	1,022 2.46%	41,557 100.00%	4.05	0.989	4.09	0.484
演習		8,805 58.34%	4,389 29.08%	1,424 9.44%	316 2.09%	158 1.05%	15,092 100.00%	4.42	0.826	4.49	0.407
語学		5,027 50.65%	3,390 34.16%	1,127 11.36%	255 2.57%	126 1.27%	9,925 100.00%	4.30	0.863	4.32	0.423
合計		30,054 45.14%	22,935 34.45%	9,646 14.49%	2,633 3.95%	1,306 1.96%	66,574 100.00%	4.17	0.950	4.29	0.478

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		11,571 41.59%	9,730 34.97%	4,503 16.18%	1,328 4.77%	691 2.48%	27,823 100.00%	4.08	0.993
学部2年		7,608 41.72%	6,740 36.96%	2,799 15.35%	742 4.07%	347 1.90%	18,236 100.00%	4.13	0.943
学部3年		6,340 51.88%	3,946 32.29%	1,437 11.76%	340 2.78%	158 1.29%	12,221 100.00%	4.31	0.877
学部4年		2,425 60.67%	1,152 28.82%	311 7.78%	75 1.88%	34 0.85%	3,997 100.00%	4.47	0.787

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		7,038 61.31%	3,209 27.95%	941 8.20%	202 1.76%	90 0.78%	11,480 100.00%	4.47	0.783	4.48	0.414
26～50名		8,127 50.26%	5,530 34.20%	1,878 11.61%	426 2.63%	208 1.29%	16,169 100.00%	4.30	0.868	4.29	0.438
51～100名		5,877 38.45%	5,532 36.19%	2,645 17.31%	811 5.31%	419 2.74%	15,284 100.00%	4.02	1.008	4.01	0.488
101～200名		3,809 38.32%	3,654 36.76%	1,692 17.02%	536 5.39%	250 2.51%	9,941 100.00%	4.03	0.997	4.03	0.467
201名以上		5,203 37.98%	5,010 36.57%	2,490 18.18%	658 4.80%	339 2.47%	13,700 100.00%	4.03	0.988	4.01	0.409
合計		30,054 45.14%	22,935 34.45%	9,646 14.49%	2,633 3.95%	1,306 1.96%	66,574 100.00%	4.17	0.950	4.29	0.478

Q8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,247 36.19%	1,162 33.72%	703 20.40%	229 6.65%	105 3.05%	3,446 100.00%	3.93	1.050	3.96	0.488
外セ	語学	5,115 51.91%	3,360 34.10%	1,042 10.58%	240 2.44%	96 0.97%	9,853 100.00%	4.34	0.835	4.36	0.380
スポ健	演習	1,106 73.98%	314 21.00%	63 4.21%	6 0.40%	6 0.40%	1,495 100.00%	4.68	0.613	4.72	0.235
基礎教養	講義	2,753 47.52%	2,171 37.48%	671 11.58%	146 2.52%	52 0.90%	5,793 100.00%	4.28	0.833	4.29	0.344
	演習	12 40.00%	12 40.00%	5 16.67%	1 3.33%	0 0.00%	30 100.00%	4.17	0.834	4.17	-
計	2,765 47.48%	2,183 37.49%	676 11.61%	147 2.52%	52 0.89%	5,823 100.00%	4.28	0.833	4.29	0.343	
	法学部	講義	3,350 36.50%	3,521 38.36%	1,574 17.15%	497 5.41%	237 2.58%	9,179 100.00%	4.01	0.993	4.08
計	演習	1,109 62.73%	438 24.77%	151 8.54%	53 3.00%	17 0.96%	1,768 100.00%	4.45	0.845	4.59	0.355
	4,459 40.73%	3,959 36.17%	1,725 15.76%	550 5.02%	254 2.32%	10,947 100.00%	4.08	0.984	4.29	0.481	
経済学部	講義	3,400 42.86%	2,735 34.48%	1,274 16.06%	339 4.27%	185 2.33%	7,933 100.00%	4.11	0.978	4.21	0.451
	演習	1,089 72.31%	323 21.45%	76 5.05%	15 1.00%	3 0.20%	1,506 100.00%	4.65	0.643	4.65	0.339
計	4,489 47.56%	3,058 32.40%	1,350 14.30%	354 3.75%	188 1.99%	9,439 100.00%	4.20	0.953	4.39	0.463	
	文学部	講義	3,695 44.05%	3,184 37.96%	1,099 13.10%	333 3.97%	77 0.92%	8,388 100.00%	4.20	0.879	4.26
計	演習	4,107 59.01%	2,189 31.45%	518 7.44%	115 1.65%	31 0.45%	6,960 100.00%	4.47	0.742	4.50	0.354
	7,802 50.83%	5,373 35.01%	1,617 10.54%	448 2.92%	108 0.70%	15,348 100.00%	4.32	0.830	4.41	0.395	
理学部	講義	1,589 35.78%	1,609 36.23%	862 19.41%	273 6.15%	108 2.43%	4,441 100.00%	3.97	1.008	3.97	0.448
	演習	752 45.58%	599 36.30%	254 15.39%	30 1.82%	15 0.91%	1,650 100.00%	4.24	0.841	4.21	0.332
計	2,341 38.43%	2,208 36.25%	1,116 18.32%	303 4.97%	123 2.02%	6,091 100.00%	4.04	0.973	4.03	0.433	
	教職課程	講義	526 37.76%	529 37.98%	240 17.23%	64 4.59%	34 2.44%	1,393 100.00%	4.04	0.976	4.13
計	演習	807 52.10%	458 29.57%	201 12.98%	65 4.20%	18 1.16%	1,549 100.00%	4.27	0.922	4.39	0.438
	1,333 45.31%	987 33.55%	441 14.99%	129 4.38%	52 1.77%	2,942 100.00%	4.16	0.955	4.28	0.423	
学芸員	講義	310 42.41%	335 45.83%	69 9.44%	14 1.92%	3 0.41%	731 100.00%	4.28	0.745	4.30	0.206
	演習	41 77.36%	11 20.75%	1 1.89%	0 0.00%	0 0.00%	53 100.00%	4.75	0.477	4.76	0.205
計	351 44.77%	346 44.13%	70 8.93%	14 1.79%	3 0.38%	784 100.00%	4.31	0.739	4.42	0.290	
	合計	31,008 46.86%	22,950 34.68%	8,803 13.30%	2,420 3.66%	987 1.49%	66,168 100.00%	4.22	0.914	4.34	0.436

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義	16,870 40.84%	15,246 36.91%	6,492 15.72%	1,895 4.59%	801 1.94%	41,304 100.00%	4.10	0.956	4.15	0.443	
演習	9,023 60.11%	4,344 28.94%	1,269 8.45%	285 1.90%	90 0.60%	15,011 100.00%	4.46	0.777	4.54	0.363	
語学	5,115 51.91%	3,360 34.10%	1,042 10.58%	240 2.44%	96 0.97%	9,853 100.00%	4.34	0.835	4.36	0.380	
合計	31,008 46.86%	22,950 34.68%	8,803 13.30%	2,420 3.66%	987 1.49%	66,168 100.00%	4.22	0.914	4.34	0.436	

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	11,921 43.13%	9,851 35.64%	4,162 15.06%	1,194 4.32%	509 1.84%	27,637 100.00%	4.14	0.949	
学部2年	7,840 43.20%	6,728 37.07%	2,605 14.35%	703 3.87%	272 1.50%	18,148 100.00%	4.17	0.915	
学部3年	6,645 54.75%	3,836 31.60%	1,238 10.20%	300 2.47%	119 0.98%	12,138 100.00%	4.37	0.838	
学部4年	2,452 61.65%	1,168 29.37%	260 6.54%	71 1.79%	26 0.65%	3,977 100.00%	4.50	0.753	

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	7,216 63.22%	3,193 27.97%	777 6.81%	169 1.48%	59 0.52%	11,414 100.00%	4.52	0.733	4.53	0.367	
26～50名	8,390 52.23%	5,420 33.74%	1,738 10.82%	394 2.45%	123 0.77%	16,065 100.00%	4.34	0.825	4.34	0.383	
51～100名	6,055 39.80%	5,538 36.40%	2,505 16.47%	799 5.25%	316 2.08%	15,213 100.00%	4.07	0.977	4.06	0.442	
101～200名	3,963 40.14%	3,683 37.31%	1,587 16.08%	458 4.64%	181 1.83%	9,872 100.00%	4.09	0.951	4.09	0.426	
201名以上	5,384 39.58%	5,116 37.61%	2,196 16.14%	600 4.41%	308 2.26%	13,604 100.00%	4.08	0.965	4.06	0.404	
合計	31,008 46.86%	22,950 34.68%	8,803 13.30%	2,420 3.66%	987 1.49%	66,168 100.00%	4.22	0.914	4.34	0.436	

Q9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計セ	講義	878 25.40%	1,083 31.33%	1,064 30.78%	233 6.74%	199 5.76%	3,457 100.00%	3.64	1.104	3.71	0.459
外セ	語学	3,806 38.46%	3,625 36.63%	1,950 19.70%	356 3.60%	160 1.62%	9,897 100.00%	4.07	0.931	4.10	0.402
スポーツ健	演習	848 56.57%	394 26.22%	210 14.01%	28 1.87%	19 1.27%	1,499 100.00%	4.35	0.879	4.45	0.385
基礎教養	講義	2,715 46.52%	2,093 35.86%	803 13.76%	155 2.66%	70 1.20%	5,836 100.00%	4.24	0.872	4.23	0.319
	演習	15 50.00%	11 36.67%	3 10.00%	1 3.33%	0 0.00%	30 100.00%	4.33	0.802	4.33	-
法学部	計	2,730 46.54%	2,104 35.87%	806 13.74%	156 2.66%	70 1.19%	5,866 100.00%	4.24	0.872	4.23	0.317
	講義	2,979 32.34%	3,414 37.06%	2,115 22.92%	480 5.21%	223 2.42%	9,211 100.00%	3.92	0.986	4.03	0.369
経済学部	演習	1,077 60.78%	461 26.02%	163 9.20%	45 2.54%	26 1.47%	1,772 100.00%	4.42	0.870	4.56	0.333
	計	4,056 36.93%	3,875 35.28%	2,278 20.74%	525 4.78%	249 2.27%	10,983 100.00%	4.00	0.986	4.24	0.438
文学部	講義	2,728 34.20%	2,669 33.46%	1,861 23.33%	431 5.40%	288 3.61%	7,977 100.00%	3.89	1.051	4.03	0.499
	演習	1,000 66.49%	371 24.67%	102 6.78%	21 1.40%	10 0.66%	1,504 100.00%	4.55	0.740	4.58	0.392
理学部	計	3,728 39.32%	3,040 32.06%	1,963 20.70%	452 4.77%	298 3.14%	9,481 100.00%	4.00	1.036	4.25	0.532
	講義	3,633 43.11%	3,082 36.57%	1,342 15.92%	278 3.30%	93 1.10%	8,428 100.00%	4.17	0.890	4.26	0.403
文学部	演習	3,886 55.58%	2,245 32.11%	684 9.78%	125 1.79%	52 0.74%	6,992 100.00%	4.40	0.795	4.44	0.361
	計	7,519 48.76%	5,327 34.55%	2,026 13.14%	403 2.61%	145 0.94%	15,420 100.00%	4.28	0.856	4.37	0.387
理学部	講義	1,483 33.30%	1,513 33.97%	1,110 24.92%	236 5.30%	112 2.51%	4,454 100.00%	3.90	1.006	3.94	0.427
	演習	753 45.53%	586 35.43%	236 14.27%	52 3.14%	27 1.63%	1,654 100.00%	4.20	0.912	4.12	0.348
教職課程	計	2,236 36.61%	2,099 34.36%	1,346 22.04%	288 4.72%	139 2.28%	6,108 100.00%	3.98	0.990	3.99	0.416
	講義	532 38.00%	499 35.64%	276 19.71%	54 3.86%	39 2.79%	1,400 100.00%	4.02	0.991	4.12	0.333
学芸員	演習	787 50.74%	514 33.14%	180 11.61%	40 2.58%	30 1.93%	1,551 100.00%	4.28	0.907	4.32	0.347
	計	1,319 44.70%	1,013 34.33%	456 15.45%	94 3.19%	69 2.34%	2,951 100.00%	4.16	0.956	4.24	0.354
学芸員	講義	336 45.90%	316 43.17%	67 9.15%	11 1.50%	2 0.27%	732 100.00%	4.33	0.726	4.38	0.142
	演習	40 75.47%	11 20.75%	2 3.77%	0 0.00%	0 0.00%	53 100.00%	4.72	0.533	4.73	0.249
合計	計	376 47.90%	327 41.66%	69 8.79%	11 1.40%	2 0.25%	785 100.00%	4.36	0.721	4.47	0.232
	合計	27,496 41.38%	22,887 34.44%	12,168 18.31%	2,546 3.83%	1,350 2.03%	66,447 100.00%	4.09	0.961	4.21	0.446

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				部門別 平均	部門別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義	15,284 36.83%	14,669 35.35%	8,638 20.82%	1,878 4.53%	1,026 2.47%	41,495 100.00%	4.00	0.990	4.08	0.443
演習	8,406 55.84%	4,593 30.51%	1,580 10.49%	312 2.07%	164 1.09%	15,055 100.00%	4.38	0.837	4.45	0.376
語学	3,806 38.46%	3,625 36.63%	1,950 19.70%	356 3.60%	160 1.62%	9,897 100.00%	4.07	0.931	4.10	0.402
合計	27,496 41.38%	22,887 34.44%	12,168 18.31%	2,546 3.83%	1,350 2.03%	66,447 100.00%	4.09	0.961	4.21	0.446

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	10,062 36.21%	9,674 34.81%	6,037 21.72%	1,297 4.67%	719 2.59%	27,789 100.00%	3.97	0.999
学部2年	7,020 38.52%	6,732 36.94%	3,424 18.79%	703 3.86%	346 1.90%	18,225 100.00%	4.06	0.946
学部3年	6,128 50.35%	3,929 32.28%	1,628 13.38%	320 2.63%	165 1.36%	12,170 100.00%	4.28	0.888
学部4年	2,318 58.43%	1,170 29.49%	379 9.55%	61 1.54%	39 0.98%	3,967 100.00%	4.43	0.804

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	6,429 56.16%	3,467 30.28%	1,263 11.03%	197 1.72%	92 0.80%	11,448 100.00%	4.39	0.812	4.42	0.407
26～50名	7,141 44.25%	5,667 35.12%	2,588 16.04%	511 3.17%	230 1.43%	16,137 100.00%	4.18	0.909	4.17	0.400
51～100名	5,585 36.62%	5,331 34.95%	3,232 21.19%	688 4.51%	416 2.73%	15,252 100.00%	3.98	1.002	3.99	0.427
101～200名	3,714 37.40%	3,561 35.86%	1,954 19.68%	460 4.63%	241 2.43%	9,930 100.00%	4.01	0.987	4.00	0.403
201名以上	4,627 33.82%	4,861 35.53%	3,131 22.89%	690 5.04%	371 2.71%	13,680 100.00%	3.93	1.004	3.90	0.357
合計	27,496 41.38%	22,887 34.44%	12,168 18.31%	2,546 3.83%	1,350 2.03%	66,447 100.00%	4.09	0.961	4.21	0.446

Q10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している

【部門別・形態別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1	0				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	読まなかった					
計セ	講義	730	724	376	27	24	1,469	3,350	4.12	0.864	4.13	0.353
		21.79%	21.61%	11.22%	0.81%	0.72%	43.85%	100.00%				
外セ	語学	2,607	1,985	645	62	41	4,097	9,437	4.32	0.788	4.31	0.357
		27.63%	21.03%	6.83%	0.66%	0.43%	43.41%	100.00%				
スポ健	演習	509	186	60	3	4	649	1,411	4.57	0.700	4.62	0.327
		36.07%	13.18%	4.25%	0.21%	0.28%	46.00%	100.00%				
基礎教養	講義	1,484	1,431	489	44	37	2,059	5,544	4.23	0.813	4.22	0.278
		26.77%	25.81%	8.82%	0.79%	0.67%	37.14%	100.00%				
	演習	8	5	5	1	0	8	27	4.05	0.970	4.05	-
		29.63%	18.52%	18.52%	3.70%	0.00%	29.63%	100.00%				
	計	1,492	1,436	494	45	37	2,067	5,571	4.23	0.813	4.22	0.277
		26.78%	25.78%	8.87%	0.81%	0.66%	37.10%	100.00%				
法学部	講義	1,993	2,457	1,275	154	55	2,761	8,695	4.04	0.858	4.09	0.286
		22.92%	28.26%	14.66%	1.77%	0.63%	31.75%	100.00%				
	演習	687	362	144	28	8	427	1,656	4.38	0.827	4.46	0.343
		41.49%	21.86%	8.70%	1.69%	0.48%	25.79%	100.00%				
	計	2,680	2,819	1,419	182	63	3,188	10,351	4.10	0.862	4.24	0.357
		25.89%	27.23%	13.71%	1.76%	0.61%	30.80%	100.00%				
経済学部	講義	2,318	1,977	886	81	50	2,199	7,511	4.21	0.839	4.25	0.309
		30.86%	26.32%	11.80%	1.08%	0.67%	29.28%	100.00%				
	演習	722	255	72	11	5	332	1,397	4.58	0.706	4.59	0.344
		51.68%	18.25%	5.15%	0.79%	0.36%	23.77%	100.00%				
	計	3,040	2,232	958	92	55	2,531	8,908	4.27	0.830	4.39	0.366
		34.13%	25.06%	10.75%	1.03%	0.62%	28.41%	100.00%				
文学部	講義	2,041	2,163	740	77	40	2,965	8,026	4.20	0.800	4.23	0.335
		25.43%	26.95%	9.22%	0.96%	0.50%	36.94%	100.00%				
	演習	2,287	1,419	380	36	12	2,453	6,587	4.44	0.719	4.43	0.300
		34.72%	21.54%	5.77%	0.55%	0.18%	37.24%	100.00%				
	計	4,328	3,582	1,120	113	52	5,418	14,613	4.31	0.773	4.36	0.328
		29.62%	24.51%	7.66%	0.77%	0.36%	37.08%	100.00%				
理学部	講義	775	792	458	41	28	2,239	4,333	4.07	0.885	4.06	0.356
		17.89%	18.28%	10.57%	0.95%	0.65%	51.67%	100.00%				
	演習	457	249	116	10	10	735	1,577	4.35	0.846	4.29	0.302
		28.98%	15.79%	7.36%	0.63%	0.63%	46.61%	100.00%				
	計	1,232	1,041	574	51	38	2,974	5,910	4.15	0.882	4.12	0.357
		20.85%	17.61%	9.71%	0.86%	0.64%	50.32%	100.00%				
教職課程	講義	285	310	143	17	6	570	1,331	4.12	0.842	4.15	0.200
		21.41%	23.29%	10.74%	1.28%	0.45%	42.82%	100.00%				
	演習	386	293	124	17	17	619	1,456	4.21	0.911	4.29	0.381
		26.51%	20.12%	8.52%	1.17%	1.17%	42.51%	100.00%				
	計	671	603	267	34	23	1,189	2,787	4.17	0.880	4.23	0.324
		24.08%	21.64%	9.58%	1.22%	0.83%	42.66%	100.00%				
学芸員	講義	142	283	72	8	0	190	695	4.11	0.690	4.12	0.194
		20.43%	40.72%	10.36%	1.15%	0.00%	27.34%	100.00%				
	演習	19	14	5	1	0	10	49	4.31	0.800	4.32	0.377
		38.78%	28.57%	10.20%	2.04%	0.00%	20.41%	100.00%				
	計	161	297	77	9	0	200	744	4.12	0.700	4.17	0.262
		21.64%	39.92%	10.35%	1.21%	0.00%	26.88%	100.00%				
合計		17,450	14,905	5,990	618	337	23,782	63,082	4.23	0.826	4.31	0.359
		27.66%	23.63%	9.50%	0.98%	0.53%	37.70%	100.00%				

【形態別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1	0				部門別 平均	部門別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	読まなかった					
講義		9,768	10,137	4,439	449	240	14,452	39,485	4.15	0.839	4.17	0.322
		24.74%	25.67%	11.24%	1.14%	0.61%	36.60%	100.00%				
演習		5,075	2,783	906	107	56	5,233	14,160	4.42	0.771	4.46	0.336
		35.84%	19.65%	6.40%	0.76%	0.40%	36.96%	100.00%				
語学		2,607	1,985	645	62	41	4,097	9,437	4.32	0.788	4.31	0.357
		27.63%	21.03%	6.83%	0.66%	0.43%	43.41%	100.00%				
合計		17,450	14,905	5,990	618	337	23,782	63,082	4.23	0.826	4.31	0.359
		27.66%	23.63%	9.50%	0.98%	0.53%	37.70%	100.00%				

【学部生・学年別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1	0			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	読まなかった			
学部1年		6,588	5,842	2,484	273	162	11,324	26,673	4.20	0.847
		24.70%	21.90%	9.31%	1.02%	0.61%	42.45%	100.00%		
学部2年		4,244	4,357	1,761	184	94	6,589	17,229	4.17	0.827
		24.63%	25.29%	10.22%	1.07%	0.55%	38.24%	100.00%		
学部3年		3,848	2,810	1,085	100	38	3,535	11,416	4.31	0.790
		33.71%	24.61%	9.50%	0.88%	0.33%	30.97%	100.00%		
学部4年		1,517	910	262	27	22	1,008	3,746	4.41	0.768
		40.50%	24.29%	6.99%	0.72%	0.59%	26.91%	100.00%		

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1	0				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	読まなかった					
25名以下		4,103	2,256	635	73	32	3,674	10,773	4.45	0.737	4.44	0.369
		38.09%	20.94%	5.89%	0.68%	0.30%	34.10%	100.00%				
26～50名		4,254	3,335	1,129	101	58	6,443	15,320	4.31	0.784	4.29	0.323
		27.77%	21.77%	7.37%	0.66%	0.38%	42.06%	100.00%				
51～100名		3,477	3,357	1,512	151	116	6,003	14,616	4.15	0.865	4.14	0.324
		23.79%	22.97%	10.34%	1.03%	0.79%	41.07%	100.00%				
101～200名		2,281	2,491	1,110	123	52	3,375	9,432	4.13	0.838	4.12	0.271
		24.18%	26.41%	11.77%	1.30%	0.55%	35.78%	100.00%				
201名以上		3,335	3,466	1,604	170	79	4,287	12,941	4.13	0.845	4.12	0.256
		25.77%	26.78%	12.39%	1.31%	0.61%	33.13%	100.00%				
合計		17,450	14,905	5,990	618	337	23,782	63,082	4.23	0.826	4.31	0.359
		27.66%	23.63%	9.50%	0.98%	0.53%	37.70%	100.00%				

Q11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,078 31.13%	1,277 36.88%	781 22.55%	189 5.46%	138 3.98%	3,463 100.00%	3.86	1.046	3.89	0.545
外セ	語学	4,959 49.99%	3,511 35.39%	1,102 11.11%	235 2.37%	113 1.14%	9,920 100.00%	4.31	0.845	4.33	0.412
スポ健	演習	1,071 71.40%	324 21.60%	83 5.53%	13 0.87%	9 0.60%	1,500 100.00%	4.62	0.685	4.68	0.306
基礎教養	講義	2,700 46.33%	2,235 38.35%	692 11.87%	130 2.23%	71 1.22%	5,828 100.00%	4.26	0.844	4.26	0.351
	演習	14 46.67%	13 43.33%	2 6.67%	1 3.33%	0 0.00%	30 100.00%	4.33	0.758	4.33	-
	計	2,714 46.33%	2,248 38.37%	694 11.85%	131 2.24%	71 1.21%	5,858 100.00%	4.26	0.843	4.26	0.349
法学部	講義	3,371 36.58%	3,630 39.39%	1,668 18.10%	380 4.12%	167 1.81%	9,216 100.00%	4.05	0.934	4.14	0.364
	演習	1,154 64.90%	411 23.12%	130 7.31%	54 3.04%	29 1.63%	1,778 100.00%	4.47	0.879	4.61	0.359
	計	4,525 41.16%	4,041 36.76%	1,798 16.35%	434 3.95%	196 1.78%	10,994 100.00%	4.12	0.938	4.33	0.430
経済学部	講義	3,212 40.30%	2,881 36.14%	1,397 17.53%	290 3.64%	191 2.40%	7,971 100.00%	4.08	0.966	4.19	0.481
	演習	1,077 71.37%	330 21.87%	83 5.50%	16 1.06%	3 0.20%	1,509 100.00%	4.63	0.656	4.65	0.363
	計	4,289 45.24%	3,211 33.87%	1,480 15.61%	306 3.23%	194 2.05%	9,480 100.00%	4.17	0.945	4.38	0.492
文学部	講義	3,729 44.17%	3,267 38.70%	1,123 13.30%	236 2.80%	87 1.03%	8,442 100.00%	4.22	0.855	4.29	0.409
	演習	4,102 58.64%	2,180 31.17%	570 8.15%	98 1.40%	45 0.64%	6,995 100.00%	4.46	0.757	4.50	0.365
	計	7,831 50.73%	5,447 35.29%	1,693 10.97%	334 2.16%	132 0.86%	15,437 100.00%	4.33	0.820	4.42	0.395
理学部	講義	1,553 34.85%	1,694 38.02%	917 20.58%	191 4.29%	101 2.27%	4,456 100.00%	3.99	0.964	3.99	0.441
	演習	793 47.89%	598 36.11%	218 13.16%	29 1.75%	18 1.09%	1,656 100.00%	4.28	0.837	4.22	0.327
	計	2,346 38.38%	2,292 37.50%	1,135 18.57%	220 3.60%	119 1.95%	6,112 100.00%	4.07	0.940	4.05	0.426
教職課程	講義	504 36.05%	552 39.48%	268 19.17%	44 3.15%	30 2.15%	1,398 100.00%	4.04	0.933	4.15	0.352
	演習	785 50.71%	489 31.59%	193 12.47%	43 2.78%	38 2.45%	1,548 100.00%	4.25	0.949	4.34	0.425
	計	1,289 43.75%	1,041 35.34%	461 15.65%	87 2.95%	68 2.31%	2,946 100.00%	4.15	0.947	4.26	0.405
学芸員	講義	308 42.19%	337 46.16%	71 9.73%	12 1.64%	2 0.27%	730 100.00%	4.28	0.728	4.29	0.180
	演習	38 71.70%	14 26.42%	1 1.89%	0 0.00%	0 0.00%	53 100.00%	4.70	0.503	4.71	0.211
	計	346 44.19%	351 44.83%	72 9.20%	12 1.53%	2 0.26%	783 100.00%	4.31	0.722	4.40	0.263
合計	30,448 45.79%	23,743 35.71%	9,299 13.98%	1,961 2.95%	1,042 1.57%	66,493 100.00%	4.21	0.901	4.33	0.443	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義		16,455 39.65%	15,873 38.24%	6,917 16.67%	1,472 3.55%	787 1.90%	41,504 100.00%	4.10	0.930	4.16	0.441
演習		9,034 59.95%	4,359 28.93%	1,280 8.49%	254 1.69%	142 0.94%	15,069 100.00%	4.45	0.795	4.53	0.377
語学		4,959 49.99%	3,511 35.39%	1,102 11.11%	235 2.37%	113 1.14%	9,920 100.00%	4.31	0.845	4.33	0.412
合計		30,448 45.79%	23,743 35.71%	9,299 13.98%	1,961 2.95%	1,042 1.57%	66,493 100.00%	4.21	0.901	4.33	0.443

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		11,543 41.54%	10,209 36.74%	4,490 16.16%	981 3.53%	565 2.03%	27,788 100.00%	4.12	0.941
学部2年		7,866 43.13%	6,854 37.58%	2,713 14.88%	559 3.07%	244 1.34%	18,236 100.00%	4.18	0.889
学部3年		6,461 52.94%	4,099 33.58%	1,268 10.39%	243 1.99%	134 1.10%	12,205 100.00%	4.35	0.829
学部4年		2,453 61.65%	1,169 29.38%	277 6.96%	54 1.36%	26 0.65%	3,979 100.00%	4.50	0.741

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		7,206 62.90%	3,226 28.16%	789 6.89%	158 1.38%	78 0.68%	11,457 100.00%	4.51	0.743	4.53	0.386
26～50名		8,173 50.58%	5,652 34.98%	1,827 11.31%	351 2.17%	156 0.97%	16,159 100.00%	4.32	0.831	4.32	0.401
51～100名		5,897 38.62%	5,818 38.10%	2,660 17.42%	562 3.68%	333 2.18%	15,270 100.00%	4.07	0.948	4.07	0.444
101～200名		3,874 39.01%	3,812 38.38%	1,661 16.72%	366 3.69%	219 2.20%	9,932 100.00%	4.08	0.947	4.08	0.420
201名以上		5,298 38.74%	5,235 38.28%	2,362 17.27%	524 3.83%	256 1.87%	13,675 100.00%	4.08	0.936	4.06	0.370
合計		30,448 45.79%	23,743 35.71%	9,299 13.98%	1,961 2.95%	1,042 1.57%	66,493 100.00%	4.21	0.901	4.33	0.443

## Q12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である

### 【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,232 37.77%	1,176 36.05%	642 19.68%	142 4.35%	70 2.15%	3,262 100.00%	4.03	0.970	4.01	0.473
外セ	語学	4,346 45.06%	3,570 37.01%	1,427 14.80%	220 2.28%	82 0.85%	9,645 100.00%	4.23	0.844	4.25	0.376
基礎教養	講義	2,376 42.87%	2,086 37.64%	825 14.89%	189 3.41%	66 1.19%	5,542 100.00%	4.18	0.889	4.18	0.386
法学部	講義	2,722 31.49%	3,134 36.25%	1,922 22.23%	611 7.07%	256 2.96%	8,645 100.00%	3.86	1.033	3.93	0.429
経済学部	講義	3,196 42.80%	2,526 33.83%	1,141 15.28%	401 5.37%	203 2.72%	7,467 100.00%	4.09	1.016	4.17	0.481
文学部	講義	3,047 37.43%	3,126 38.40%	1,454 17.86%	408 5.01%	105 1.29%	8,140 100.00%	4.06	0.931	4.10	0.411
理学部	講義	1,508 35.43%	1,541 36.21%	780 18.33%	294 6.91%	133 3.13%	4,256 100.00%	3.94	1.045	3.93	0.506
教職課程	講義	476 34.92%	477 35.00%	277 20.32%	96 7.04%	37 2.71%	1,363 100.00%	3.92	1.036	4.02	0.478
学芸員	講義	253 35.29%	337 47.00%	99 13.81%	23 3.21%	5 0.70%	717 100.00%	4.13	0.816	4.14	0.242
合計		19,156 39.06%	17,973 36.65%	8,567 17.47%	2,384 4.86%	957 1.95%	49,037 100.00%	4.06	0.965	4.13	0.437

### 【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
講義	14,810 37.60%	14,403 36.56%	7,140 18.13%	2,164 5.49%	875 2.22%	39,392 100.00%	4.02	0.988	4.06	0.454
語学	4,346 45.06%	3,570 37.01%	1,427 14.80%	220 2.28%	82 0.85%	9,645 100.00%	4.23	0.844	4.25	0.376
合計	19,156 39.06%	17,973 36.65%	8,567 17.47%	2,384 4.86%	957 1.95%	49,037 100.00%	4.06	0.965	4.13	0.437

### 【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	8,854 38.73%	8,319 36.39%	4,157 18.18%	1,041 4.55%	492 2.15%	22,863 100.00%	4.05	0.971
学部2年	4,799 35.39%	5,223 38.51%	2,527 18.63%	744 5.49%	268 1.98%	13,561 100.00%	4.00	0.968
学部3年	3,271 43.10%	2,636 34.73%	1,182 15.57%	384 5.06%	117 1.54%	7,590 100.00%	4.13	0.955
学部4年	989 47.57%	755 36.32%	239 11.50%	70 3.37%	26 1.25%	2,079 100.00%	4.26	0.879

### 【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	2,301 48.07%	1,730 36.14%	611 12.76%	113 2.36%	32 0.67%	4,787 100.00%	4.29	0.825	4.29	0.413
26～50名	4,288 42.38%	3,774 37.30%	1,619 16.00%	323 3.19%	114 1.13%	10,118 100.00%	4.17	0.886	4.16	0.387
51～100名	4,509 37.22%	4,493 37.09%	2,168 17.90%	670 5.53%	273 2.25%	12,113 100.00%	4.02	0.988	4.00	0.450
101～200名	3,254 35.59%	3,395 37.14%	1,798 19.67%	502 5.49%	193 2.11%	9,142 100.00%	3.99	0.981	3.98	0.436
201名以上	4,804 37.31%	4,581 35.58%	2,371 18.41%	776 6.03%	345 2.68%	12,877 100.00%	3.99	1.019	3.96	0.432
合計	19,156 39.06%	17,973 36.65%	8,567 17.47%	2,384 4.86%	957 1.95%	49,037 100.00%	4.06	0.965	4.13	0.437

Q13 教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,253 38.66%	1,197 36.93%	620 19.13%	97 2.99%	74 2.28%	3,241 100.00%	4.07	0.948	4.05	0.433
外セ	語学	4,722 49.15%	3,538 36.82%	1,081 11.25%	190 1.98%	77 0.80%	9,608 100.00%	4.32	0.810	4.33	0.352
基礎教養	講義	2,440 44.35%	2,121 38.55%	769 13.98%	114 2.07%	58 1.05%	5,502 100.00%	4.23	0.841	4.24	0.351
法学部	講義	2,964 34.41%	3,338 38.75%	1,770 20.55%	364 4.23%	178 2.07%	8,614 100.00%	3.99	0.951	4.06	0.358
経済学部	講義	3,098 41.76%	2,553 34.41%	1,298 17.50%	282 3.80%	188 2.53%	7,419 100.00%	4.09	0.982	4.18	0.430
文学部	講義	3,369 41.70%	3,173 39.27%	1,245 15.41%	218 2.70%	74 0.92%	8,079 100.00%	4.18	0.854	4.22	0.382
理学部	講義	1,534 36.25%	1,511 35.70%	922 21.79%	167 3.95%	98 2.32%	4,232 100.00%	4.00	0.973	4.00	0.433
教職課程	講義	526 38.79%	519 38.27%	264 19.47%	28 2.06%	19 1.40%	1,356 100.00%	4.11	0.883	4.19	0.306
学芸員	講義	257 36.10%	336 47.19%	98 13.76%	17 2.39%	4 0.56%	712 100.00%	4.16	0.788	4.19	0.224
合計		20,163 41.35%	18,286 37.50%	8,067 16.54%	1,477 3.03%	770 1.58%	48,763 100.00%	4.14	0.907	4.21	0.394

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
講義		15,441 39.44%	14,748 37.67%	6,986 17.84%	1,287 3.29%	693 1.77%	39,155 100.00%	4.10	0.924	4.14	0.399
語学		4,722 49.15%	3,538 36.82%	1,081 11.25%	190 1.98%	77 0.80%	9,608 100.00%	4.32	0.810	4.33	0.352
合計		20,163 41.35%	18,286 37.50%	8,067 16.54%	1,477 3.03%	770 1.58%	48,763 100.00%	4.14	0.907	4.21	0.394

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		9,362 41.16%	8,422 37.03%	3,933 17.29%	633 2.78%	393 1.73%	22,743 100.00%	4.13	0.913
学部2年		5,126 37.96%	5,424 40.17%	2,272 16.82%	458 3.39%	224 1.66%	13,504 100.00%	4.09	0.908
学部3年		3,378 44.82%	2,683 35.60%	1,147 15.22%	238 3.16%	90 1.19%	7,536 100.00%	4.20	0.892
学部4年		1,011 48.98%	733 35.51%	249 12.06%	51 2.47%	20 0.97%	2,064 100.00%	4.29	0.844

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		2,484 52.12%	1,661 34.85%	490 10.28%	99 2.08%	32 0.67%	4,766 100.00%	4.36	0.800	4.36	0.396
26～50名		4,639 46.06%	3,822 37.95%	1,309 13.00%	219 2.17%	82 0.81%	10,071 100.00%	4.26	0.826	4.26	0.332
51～100名		4,683 38.86%	4,521 37.52%	2,217 18.40%	384 3.19%	245 2.03%	12,050 100.00%	4.08	0.936	4.07	0.408
101～200名		3,474 38.26%	3,499 38.54%	1,664 18.33%	298 3.28%	144 1.59%	9,079 100.00%	4.09	0.912	4.07	0.369
201名以上		4,883 38.16%	4,783 37.38%	2,387 18.65%	477 3.73%	267 2.09%	12,797 100.00%	4.06	0.950	4.05	0.354
合計		20,163 41.35%	18,286 37.50%	8,067 16.54%	1,477 3.03%	770 1.58%	48,763 100.00%	4.14	0.907	4.21	0.394

Q14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
外セ	語学	4,706 49.87%	3,149 33.37%	1,263 13.38%	224 2.37%	95 1.01%	9,437 100.00%	4.29	0.858	4.32	0.411
スポ健	演習	529 52.64%	273 27.16%	174 17.31%	17 1.69%	12 1.19%	1,005 100.00%	4.28	0.892	4.39	0.432
基礎教養	演習	5 18.52%	11 40.74%	9 33.33%	1 3.70%	1 3.70%	27 100.00%	3.67	0.961	3.67	-
法学部	演習	994 61.21%	425 26.17%	141 8.68%	44 2.71%	20 1.23%	1,624 100.00%	4.43	0.854	4.54	0.357
経済学部	演習	942 67.53%	330 23.66%	105 7.53%	12 0.86%	6 0.43%	1,395 100.00%	4.57	0.707	4.58	0.387
文学部	演習	3,888 57.88%	2,113 31.46%	592 8.81%	84 1.25%	40 0.60%	6,717 100.00%	4.45	0.755	4.50	0.352
理学部	演習	682 43.80%	544 34.94%	284 18.24%	30 1.93%	17 1.09%	1,557 100.00%	4.18	0.873	4.17	0.304
教職課程	演習	667 48.47%	465 33.79%	180 13.08%	36 2.62%	28 2.03%	1,376 100.00%	4.24	0.920	4.31	0.398
学芸員	演習	32 64.00%	15 30.00%	3 6.00%	0 0.00%	0 0.00%	50 100.00%	4.58	0.609	4.59	0.288
合計		12,445 53.67%	7,325 31.59%	2,751 11.86%	448 1.93%	219 0.94%	23,188 100.00%	4.35	0.833	4.41	0.401

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
演習	7,739 56.28%	4,176 30.37%	1,488 10.82%	224 1.63%	124 0.90%	13,751 100.00%	4.39	0.813	4.47	0.382
語学	4,706 49.87%	3,149 33.37%	1,263 13.38%	224 2.37%	95 1.01%	9,437 100.00%	4.29	0.858	4.32	0.411
合計	12,445 53.67%	7,325 31.59%	2,751 11.86%	448 1.93%	219 0.94%	23,188 100.00%	4.35	0.833	4.41	0.401

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	4,324 49.00%	2,911 32.99%	1,290 14.62%	204 2.31%	96 1.09%	8,825 100.00%	4.26	0.870
学部2年	3,438 51.03%	2,297 34.10%	804 11.93%	134 1.99%	64 0.95%	6,737 100.00%	4.32	0.831
学部3年	2,664 61.41%	1,213 27.96%	366 8.44%	60 1.38%	35 0.81%	4,338 100.00%	4.48	0.773
学部4年	1,218 67.74%	435 24.19%	118 6.56%	20 1.11%	7 0.39%	1,798 100.00%	4.58	0.699

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	5,744 62.14%	2,578 27.89%	750 8.11%	116 1.25%	56 0.61%	9,244 100.00%	4.50	0.749	4.51	0.380
26～50名	5,532 49.73%	3,776 33.94%	1,481 13.31%	238 2.14%	98 0.88%	11,125 100.00%	4.29	0.842	4.29	0.382
51～100名	1,061 42.94%	863 34.93%	448 18.13%	58 2.35%	41 1.66%	2,471 100.00%	4.15	0.912	4.14	0.346
101～200名	108 31.03%	108 31.03%	72 20.69%	36 10.34%	24 6.90%	348 100.00%	3.69	1.208	3.66	0.512
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	12,445 53.67%	7,325 31.59%	2,751 11.86%	448 1.93%	219 0.94%	23,188 100.00%	4.35	0.833	4.41	0.401

Q15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
外セ	語学	4,638 49.28%	3,264 34.68%	1,200 12.75%	214 2.27%	96 1.02%	9,412 100.00%	4.29	0.848	4.32	0.401
スポ健	演習	609 60.66%	258 25.70%	121 12.05%	9 0.90%	7 0.70%	1,004 100.00%	4.45	0.791	4.53	0.372
基礎教養	演習	9 33.33%	11 40.74%	7 25.93%	0 0.00%	0 0.00%	27 100.00%	4.07	0.781	4.07	-
法学部	演習	922 57.05%	458 28.34%	172 10.64%	31 1.92%	33 2.04%	1,616 100.00%	4.36	0.897	4.49	0.373
経済学部	演習	943 67.84%	312 22.45%	116 8.35%	15 1.08%	4 0.29%	1,390 100.00%	4.56	0.716	4.57	0.405
文学部	演習	3,898 58.23%	2,057 30.73%	599 8.95%	107 1.60%	33 0.49%	6,694 100.00%	4.45	0.762	4.49	0.340
理学部	演習	815 52.41%	517 33.25%	187 12.03%	18 1.16%	18 1.16%	1,555 100.00%	4.35	0.822	4.31	0.295
教職課程	演習	593 43.16%	437 31.80%	242 17.61%	63 4.59%	39 2.84%	1,374 100.00%	4.08	1.020	4.19	0.512
学芸員	演習	32 64.00%	15 30.00%	3 6.00%	0 0.00%	0 0.00%	50 100.00%	4.58	0.609	4.59	0.177
合計		12,459 53.88%	7,329 31.70%	2,647 11.45%	457 1.98%	230 0.99%	23,122 100.00%	4.35	0.834	4.41	0.395

【形態別】

	回答者ベース					科目ベース				
	5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
演習	7,821 57.05%	4,065 29.65%	1,447 10.55%	243 1.77%	134 0.98%	13,710 100.00%	4.40	0.821	4.48	0.378
語学	4,638 49.28%	3,264 34.68%	1,200 12.75%	214 2.27%	96 1.02%	9,412 100.00%	4.29	0.848	4.32	0.401
合計	12,459 53.88%	7,329 31.70%	2,647 11.45%	457 1.98%	230 0.99%	23,122 100.00%	4.35	0.834	4.41	0.395

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない				
学部1年	4,296 48.80%	2,999 34.06%	1,214 13.79%	189 2.15%	106 1.20%	8,804 100.00%	4.27	0.864
学部2年	3,419 50.83%	2,277 33.85%	797 11.85%	168 2.50%	66 0.98%	6,727 100.00%	4.31	0.848
学部3年	2,701 62.54%	1,170 27.09%	359 8.31%	55 1.27%	34 0.79%	4,319 100.00%	4.49	0.766
学部4年	1,226 68.53%	423 23.64%	108 6.04%	24 1.34%	8 0.45%	1,789 100.00%	4.58	0.706

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					科目ベース				
	5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下	5,669 61.52%	2,603 28.25%	769 8.35%	124 1.35%	50 0.54%	9,215 100.00%	4.49	0.750	4.51	0.374
26～50名	5,537 49.91%	3,820 34.43%	1,404 12.66%	236 2.13%	97 0.87%	11,094 100.00%	4.30	0.835	4.30	0.369
51～100名	1,151 46.66%	808 32.75%	390 15.81%	68 2.76%	50 2.03%	2,467 100.00%	4.19	0.938	4.20	0.437
101～200名	102 29.48%	98 28.32%	84 24.28%	29 8.38%	33 9.54%	346 100.00%	3.60	1.255	3.51	0.687
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	12,459 53.88%	7,329 31.70%	2,647 11.45%	457 1.98%	230 0.99%	23,122 100.00%	4.35	0.834	4.41	0.395

Q16 1回1回の授業のねらいが明確である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
外セ	語学	4,283 45.77%	3,324 35.52%	1,387 14.82%	268 2.86%	95 1.02%	9,357 100.00%	4.22	0.873	4.25	0.397
合計		4,283 45.77%	3,324 35.52%	1,387 14.82%	268 2.86%	95 1.02%	9,357 100.00%	4.22	0.873	4.25	0.397

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	2,306 44.86%	1,817 35.35%	813 15.82%	149 2.90%	55 1.07%	5,140 100.00%	4.20	0.883
学部2年	1,289 44.25%	1,086 37.28%	413 14.18%	95 3.26%	30 1.03%	2,913 100.00%	4.20	0.875
学部3年	308 56.93%	166 30.68%	54 9.98%	10 1.85%	3 0.55%	541 100.00%	4.42	0.788
学部4年	126 56.76%	76 34.23%	17 7.66%	0 0.00%	3 1.35%	222 100.00%	4.45	0.752

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					科目ベース				
	5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	1,673 51.15%	1,114 34.06%	381 11.65%	77 2.35%	26 0.79%	3,271 100.00%	4.32	0.830	4.35	0.389
26～50名	2,565 42.97%	2,170 36.35%	977 16.37%	190 3.18%	67 1.12%	5,969 100.00%	4.17	0.891	4.16	0.386
51～100名	45 38.46%	40 34.19%	29 24.79%	1 0.85%	2 1.71%	117 100.00%	4.07	0.907	4.07	0.126
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	4,283 45.77%	3,324 35.52%	1,387 14.82%	268 2.86%	95 1.02%	9,357 100.00%	4.22	0.873	4.25	0.397

## Q17 教員は授業時間を有効に活用している

### 【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース					
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差	
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
外セ	語学	4,637 49.69%	3,253 34.86%	1,112 11.92%	239 2.56%	91 0.98%	9,332 100.00%	4.30	0.847	4.32	0.383	
合計		4,637 49.69%	3,253 34.86%	1,112 11.92%	239 2.56%	91 0.98%	9,332 100.00%	4.30	0.847	4.32	0.383	

### 【学部生・学年別】

		回答者ベース					科目ベース		
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		2,491 48.62%	1,818 35.49%	640 12.49%	132 2.58%	42 0.82%	5,123 100.00%	4.29	0.841
学部2年		1,428 49.09%	1,017 34.96%	348 11.96%	80 2.75%	36 1.24%	2,909 100.00%	4.28	0.868
学部3年		313 57.96%	171 31.67%	42 7.78%	10 1.85%	4 0.74%	540 100.00%	4.44	0.777
学部4年		135 60.81%	68 30.63%	16 7.21%	1 0.45%	2 0.90%	222 100.00%	4.50	0.729

### 【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		1,767 54.14%	1,077 33.00%	332 10.17%	64 1.96%	24 0.74%	3,264 100.00%	4.38	0.803	4.39	0.374
26～50名		2,817 47.32%	2,134 35.85%	762 12.80%	174 2.92%	66 1.11%	5,953 100.00%	4.25	0.868	4.24	0.381
51～100名		53 46.09%	42 36.52%	18 15.65%	1 0.87%	1 0.87%	115 100.00%	4.26	0.817	4.27	0.192
101～200名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計		4,637 49.69%	3,253 34.86%	1,112 11.92%	239 2.56%	91 0.98%	9,332 100.00%	4.30	0.847	4.32	0.383

## Q18 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった

### 【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
基礎教養	講義	1,941 51.07%	1,391 36.60%	361 9.50%	69 1.82%	39 1.03%	3,801 100.00%	4.35	0.806	4.30	0.415
	演習	0 0.00%	0 0.00%	1 100.00%	0 0.00%	0 0.00%	1 100.00%	3.00	-	3.00	-
合計		1,941 51.05%	1,391 36.59%	362 9.52%	69 1.81%	39 1.03%	3,802 100.00%	4.35	0.806	4.29	0.434

### 【学部生・学年別】

		回答者ベース					科目ベース	
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均
強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない				
学部1年	1,229 48.93%	961 38.26%	250 9.95%	43 1.71%	29 1.15%	2,512 100.00%	4.32	0.811
学部2年	318 54.27%	201 34.30%	55 9.39%	9 1.54%	3 0.51%	586 100.00%	4.40	0.763
学部3年	218 60.89%	95 26.54%	27 7.54%	15 4.19%	3 0.84%	358 100.00%	4.42	0.866
学部4年	82 58.57%	46 32.86%	11 7.86%	1 0.71%	0 0.00%	140 100.00%	4.49	0.673

### 【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					科目ベース				
	5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下	56 65.12%	27 31.40%	1 1.16%	2 2.33%	0 0.00%	86 100.00%	4.59	0.639	4.55	0.326
26～50名	100 54.95%	65 35.71%	12 6.59%	4 2.20%	1 0.55%	182 100.00%	4.42	0.760	4.32	0.375
51～100名	377 40.06%	370 39.32%	138 14.67%	33 3.51%	23 2.44%	941 100.00%	4.11	0.947	4.12	0.545
101～200名	518 51.49%	368 36.58%	100 9.94%	15 1.49%	5 0.50%	1,006 100.00%	4.37	0.763	4.35	0.317
201名以上	890 56.08%	561 35.35%	111 6.99%	15 0.95%	10 0.63%	1,587 100.00%	4.45	0.721	4.41	0.184
合計	1,941 51.05%	1,391 36.59%	362 9.52%	69 1.81%	39 1.03%	3,802 100.00%	4.35	0.806	4.29	0.434

## Q19 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった

### 【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
基礎教養	講義	896 46.16%	728 37.51%	256 13.19%	40 2.06%	21 1.08%	1,941 100.00%	4.26	0.842	4.25	0.519
	演習	0 0.00%	0 0.00%	1 100.00%	0 0.00%	0 0.00%	1 100.00%	3.00	-	3.00	-
合計		896 46.14%	728 37.49%	257 13.23%	40 2.06%	21 1.08%	1,942 100.00%	4.26	0.842	4.24	0.533

### 【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	581 44.52%	505 38.70%	183 14.02%	24 1.84%	12 0.92%	1,305 100.00%	4.24	0.827
学部2年	139 48.26%	108 37.50%	30 10.42%	7 2.43%	4 1.39%	288 100.00%	4.29	0.854
学部3年	101 58.05%	46 26.44%	20 11.49%	5 2.87%	2 1.15%	174 100.00%	4.37	0.882
学部4年	35 47.95%	32 43.84%	6 8.22%	0 0.00%	0 0.00%	73 100.00%	4.40	0.640

### 【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	18 64.29%	9 32.14%	0 0.00%	1 3.57%	0 0.00%	28 100.00%	4.57	0.690	4.28	1.018
26～50名	30 60.00%	16 32.00%	4 8.00%	0 0.00%	0 0.00%	50 100.00%	4.52	0.647	4.44	0.375
51～100名	204 41.05%	190 38.23%	75 15.09%	19 3.82%	9 1.81%	497 100.00%	4.13	0.929	4.12	0.606
101～200名	244 42.73%	217 38.00%	96 16.81%	8 1.40%	6 1.05%	571 100.00%	4.20	0.841	4.25	0.362
201名以上	400 50.25%	296 37.19%	82 10.30%	12 1.51%	6 0.75%	796 100.00%	4.35	0.784	4.34	0.237
合計	896 46.14%	728 37.49%	257 13.23%	40 2.06%	21 1.08%	1,942 100.00%	4.26	0.842	4.24	0.533

## Q20 私は授業に遅刻したことがない

### 【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
経済学部	講義	2,152 40.05%	1,193 22.20%	834 15.52%	604 11.24%	590 10.98%	5,373 100.00%	3.69	1.378	3.63	0.482
	演習	550 60.91%	127 14.06%	98 10.85%	60 6.64%	68 7.53%	903 100.00%	4.14	1.282	4.03	0.723
合計		2,702 43.05%	1,320 21.03%	932 14.85%	664 10.58%	658 10.48%	6,276 100.00%	3.76	1.374	3.80	0.625

### 【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	1,159 52.11%	407 18.30%	262 11.78%	176 7.91%	220 9.89%	2,224 100.00%	3.95	1.358
学部2年	574 39.78%	311 21.55%	224 15.52%	177 12.27%	157 10.88%	1,443 100.00%	3.67	1.384
学部3年	669 37.61%	407 22.88%	322 18.10%	213 11.97%	168 9.44%	1,779 100.00%	3.67	1.334
学部4年	183 35.60%	121 23.54%	76 14.79%	70 13.62%	64 12.45%	514 100.00%	3.56	1.408

### 【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	549 57.85%	139 14.65%	107 11.28%	74 7.80%	80 8.43%	949 100.00%	4.06	1.327	3.94	0.734
26～50名	201 51.41%	73 18.67%	58 14.83%	37 9.46%	22 5.63%	391 100.00%	4.01	1.245	3.98	0.601
51～100名	202 35.94%	141 25.09%	89 15.84%	66 11.74%	64 11.39%	562 100.00%	3.62	1.369	3.60	0.543
101～200名	345 37.18%	210 22.63%	164 17.67%	108 11.64%	101 10.88%	928 100.00%	3.64	1.365	3.56	0.307
201名以上	1,405 40.77%	757 21.97%	514 14.92%	379 11.00%	391 11.35%	3,446 100.00%	3.70	1.388	3.59	0.401
合計	2,702 43.05%	1,320 21.03%	932 14.85%	664 10.58%	658 10.48%	6,276 100.00%	3.76	1.374	3.80	0.625

## Q21 高校で履修した数学科目

### 【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲを履修した	数Ⅰ・数Ⅱ のみ履修した	数Ⅰのみ 履修した	いずれにも該当しな い(例:留学生)						
経済学部	講義	-	663 12.44%	3,912 73.42%	501 9.40%	252 4.73%	5,328 100.00%	-	-	-	-
	演習	-	104 11.86%	654 74.57%	81 9.24%	38 4.33%	877 100.00%	-	-	-	-
合計		-	767 12.36%	4,566 73.59%	582 9.38%	290 4.67%	6,205 100.00%	-	-	-	-

### 【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲを履修した	数Ⅰ・数Ⅱ のみ履修した	数Ⅰのみ 履修した	いずれにも該当しな い(例:留学生)				
学部1年	-	255 11.56%	1,666 75.52%	212 9.61%	73 3.31%	2,206 100.00%	-	-	
学部2年	-	185 12.90%	1,118 77.96%	96 6.69%	35 2.44%	1,434 100.00%	-	-	
学部3年	-	208 11.83%	1,265 71.96%	160 9.10%	125 7.11%	1,758 100.00%	-	-	
学部4年	-	66 12.92%	333 65.17%	81 15.85%	31 6.07%	511 100.00%	-	-	

### 【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					科目ベース			
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均
		数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲを履修した	数Ⅰ・数Ⅱ のみ履修した	数Ⅰのみ 履修した	いずれにも該当しな い(例:留学生)					
25名以下	-	104 11.29%	677 73.51%	83 9.01%	57 6.19%	921 100.00%	-	-	-	-
26～50名	-	55 14.51%	250 65.96%	53 13.98%	21 5.54%	379 100.00%	-	-	-	-
51～100名	-	67 12.27%	405 74.18%	40 7.33%	34 6.23%	546 100.00%	-	-	-	-
101～200名	-	117 12.57%	670 71.97%	100 10.74%	44 4.73%	931 100.00%	-	-	-	-
201名以上	-	424 12.37%	2,564 74.80%	306 8.93%	134 3.91%	3,428 100.00%	-	-	-	-
合計	-	767 12.36%	4,566 73.59%	582 9.38%	290 4.67%	6,205 100.00%	-	-	-	-

## Q22 運動量は

### 【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	十分であった	おおむね 十分であった	どちらとも 言えない	やや不足 していた	不十分で あった						
スポ健	演習	863 62.40%	412 29.79%	70 5.06%	32 2.31%	6 0.43%	1,383 100.00%	4.51	0.736	4.56	0.266
合計		863 62.40%	412 29.79%	70 5.06%	32 2.31%	6 0.43%	1,383 100.00%	4.51	0.736	4.56	0.266

### 【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
	十分であった	おおむね 十分であった	どちらとも 言えない	やや不足 していた	不十分で あった				
学部1年	406 56.55%	248 34.54%	45 6.27%	15 2.09%	4 0.56%	718 100.00%	4.44	0.752	
学部2年	190 67.86%	68 24.29%	12 4.29%	9 3.21%	1 0.36%	280 100.00%	4.56	0.755	
学部3年	122 68.93%	48 27.12%	3 1.69%	4 2.26%	0 0.00%	177 100.00%	4.63	0.637	
学部4年	68 77.27%	15 17.05%	2 2.27%	3 3.41%	0 0.00%	88 100.00%	4.68	0.687	

### 【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	十分であった	おおむね 十分であった	どちらとも 言えない	やや不足 していた	不十分で あった					
25名以下	452 70.51%	161 25.12%	18 2.81%	9 1.40%	1 0.16%	641 100.00%	4.64	0.624	4.65	0.226
26～50名	411 55.39%	251 33.83%	52 7.01%	23 3.10%	5 0.67%	742 100.00%	4.40	0.805	4.42	0.268
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	863 62.40%	412 29.79%	70 5.06%	32 2.31%	6 0.43%	1,383 100.00%	4.51	0.736	4.56	0.266

## Q23 体力・健康状態が改善された

### 【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	653 47.11%	448 32.32%	237 17.10%	33 2.38%	15 1.08%	1,386 100.00%	4.22	0.887	4.31	0.422
合計		653 47.11%	448 32.32%	237 17.10%	33 2.38%	15 1.08%	1,386 100.00%	4.22	0.887	4.31	0.422

### 【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	265 36.86%	267 37.13%	167 23.23%	16 2.23%	4 0.56%	719 100.00%	4.08	0.858
学部2年	146 51.77%	81 28.72%	34 12.06%	13 4.61%	8 2.84%	282 100.00%	4.22	1.017
学部3年	115 64.97%	45 25.42%	14 7.91%	2 1.13%	1 0.56%	177 100.00%	4.53	0.739
学部4年	65 73.86%	17 19.32%	5 5.68%	1 1.14%	0 0.00%	88 100.00%	4.66	0.641

### 【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					科目ベース				
	5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	377 58.81%	188 29.33%	64 9.98%	8 1.25%	4 0.62%	641 100.00%	4.44	0.773	4.47	0.374
26～50名	276 37.05%	260 34.90%	173 23.22%	25 3.36%	11 1.48%	745 100.00%	4.03	0.933	4.05	0.364
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	653 47.11%	448 32.32%	237 17.10%	33 2.38%	15 1.08%	1,386 100.00%	4.22	0.887	4.31	0.422

## Q24 運動技術が向上した

### 【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
スポ健	演習	685	438	221	28	15	1,387	4.26	0.874	4.36	0.406
		49.39%	31.58%	15.93%	2.02%	1.08%	100.00%				
合計		685	438	221	28	15	1,387	4.26	0.874	4.36	0.406
		49.39%	31.58%	15.93%	2.02%	1.08%	100.00%				

### 【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		292	260	144	17	8	721	4.12	0.886
		40.50%	36.06%	19.97%	2.36%	1.11%	100.00%		
学部2年		146	87	35	8	5	281	4.28	0.917
		51.96%	30.96%	12.46%	2.85%	1.78%	100.00%		
学部3年		112	40	23	1	1	177	4.47	0.784
		63.28%	22.60%	12.99%	0.56%	0.56%	100.00%		
学部4年		70	10	7	1	0	88	4.69	0.667
		79.55%	11.36%	7.95%	1.14%	0.00%	100.00%		

### 【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		389	168	73	7	4	641	4.45	0.785	4.50	0.365
		60.69%	26.21%	11.39%	1.09%	0.62%	100.00%				
26～50名		296	270	148	21	11	746	4.10	0.912	4.12	0.362
		39.68%	36.19%	19.84%	2.82%	1.47%	100.00%				
51～100名		0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
		0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%				
101～200名		0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
		0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%				
201名以上		0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
		0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%				
合計		685	438	221	28	15	1,387	4.26	0.874	4.36	0.406
		49.39%	31.58%	15.93%	2.02%	1.08%	100.00%				

## Q25 履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた

### 【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
スポ健	演習	801 57.71%	423 30.48%	132 9.51%	16 1.15%	16 1.15%	1,388 100.00%	4.42	0.802	4.47	0.325
合計		801 57.71%	423 30.48%	132 9.51%	16 1.15%	16 1.15%	1,388 100.00%	4.42	0.802	4.47	0.325

### 【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
学部1年	375 52.01%	255 35.37%	73 10.12%	10 1.39%	8 1.11%	721 100.00%	4.36	0.806	
学部2年	171 60.64%	82 29.08%	23 8.16%	2 0.71%	4 1.42%	282 100.00%	4.47	0.792	
学部3年	116 65.54%	42 23.73%	15 8.47%	2 1.13%	2 1.13%	177 100.00%	4.51	0.791	
学部4年	70 79.55%	11 12.50%	7 7.95%	0 0.00%	0 0.00%	88 100.00%	4.72	0.606	

### 【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
25名以下	418 65.11%	159 24.77%	54 8.41%	5 0.78%	6 0.93%	642 100.00%	4.52	0.760	4.53	0.327	
26～50名	383 51.34%	264 35.39%	78 10.46%	11 1.47%	10 1.34%	746 100.00%	4.34	0.827	4.36	0.297	
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-	
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-	
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-	
合計	801 57.71%	423 30.48%	132 9.51%	16 1.15%	16 1.15%	1,388 100.00%	4.42	0.802	4.47	0.325	

## Q26 身体や運動に対する関心が高まった

### 【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	739 53.28%	400 28.84%	205 14.78%	26 1.87%	17 1.23%	1,387 100.00%	4.31	0.877	4.40	0.398
合計		739 53.28%	400 28.84%	205 14.78%	26 1.87%	17 1.23%	1,387 100.00%	4.31	0.877	4.40	0.398

### 【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	329 45.69%	234 32.50%	132 18.33%	17 2.36%	8 1.11%	720 100.00%	4.19	0.894
学部2年	154 54.61%	79 28.01%	35 12.41%	6 2.13%	8 2.84%	282 100.00%	4.29	0.963
学部3年	124 70.06%	38 21.47%	14 7.91%	1 0.56%	0 0.00%	177 100.00%	4.61	0.658
学部4年	70 79.55%	10 11.36%	7 7.95%	1 1.14%	0 0.00%	88 100.00%	4.69	0.667

### 【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					科目ベース				
	5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	414 64.49%	154 23.99%	59 9.19%	12 1.87%	3 0.47%	642 100.00%	4.50	0.777	4.54	0.340
26～50名	325 43.62%	246 33.02%	146 19.60%	14 1.88%	14 1.88%	745 100.00%	4.15	0.925	4.17	0.386
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	739 53.28%	400 28.84%	205 14.78%	26 1.87%	17 1.23%	1,387 100.00%	4.31	0.877	4.40	0.398

## Q27 自分の身体の健康、体力の再確認ができた

### 【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース					
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差	
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	825 59.48%	419 30.21%	117 8.44%	18 1.30%	8 0.58%	1,387 100.00%	4.47	0.752	4.53	0.320	
合計		825 59.48%	419 30.21%	117 8.44%	18 1.30%	8 0.58%	1,387 100.00%	4.47	0.752	4.53	0.320	

### 【学部生・学年別】

		回答者ベース					科目ベース		
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		373 51.73%	261 36.20%	75 10.40%	7 0.97%	5 0.69%	721 100.00%	4.37	0.764
学部2年		175 62.28%	76 27.05%	20 7.12%	7 2.49%	3 1.07%	281 100.00%	4.47	0.819
学部3年		135 76.27%	32 18.08%	10 5.65%	0 0.00%	0 0.00%	177 100.00%	4.71	0.568
学部4年		70 79.55%	15 17.05%	3 3.41%	0 0.00%	0 0.00%	88 100.00%	4.76	0.503

### 【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		451 70.25%	149 23.21%	34 5.30%	5 0.78%	3 0.47%	642 100.00%	4.62	0.667	4.64	0.274
26～50名		374 50.20%	270 36.24%	83 11.14%	13 1.74%	5 0.67%	745 100.00%	4.34	0.795	4.36	0.322
51～100名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計		825 59.48%	419 30.21%	117 8.44%	18 1.30%	8 0.58%	1,387 100.00%	4.47	0.752	4.53	0.320

## Q28 自分の生活習慣を見直す機会となった

### 【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	714 51.52%	420 30.30%	202 14.57%	34 2.45%	16 1.15%	1,386 100.00%	4.29	0.884	4.37	0.403
合計		714 51.52%	420 30.30%	202 14.57%	34 2.45%	16 1.15%	1,386 100.00%	4.29	0.884	4.37	0.403

### 【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	313 43.41%	264 36.62%	121 16.78%	18 2.50%	5 0.69%	721 100.00%	4.20	0.853
学部2年	145 51.60%	76 27.05%	40 14.23%	12 4.27%	8 2.85%	281 100.00%	4.20	1.024
学部3年	122 69.32%	32 18.18%	20 11.36%	1 0.57%	1 0.57%	176 100.00%	4.55	0.762
学部4年	68 77.27%	14 15.91%	5 5.68%	1 1.14%	0 0.00%	88 100.00%	4.69	0.632

### 【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					科目ベース				
	5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	398 62.09%	163 25.43%	66 10.30%	8 1.25%	6 0.94%	641 100.00%	4.46	0.802	4.49	0.373
26～50名	316 42.42%	257 34.50%	136 18.26%	26 3.49%	10 1.34%	745 100.00%	4.13	0.922	4.16	0.372
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	714 51.52%	420 30.30%	202 14.57%	34 2.45%	16 1.15%	1,386 100.00%	4.29	0.884	4.37	0.403

## Q29 施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた

### 【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	946 68.20%	354 25.52%	70 5.05%	10 0.72%	7 0.50%	1,387 100.00%	4.60	0.667	4.66	0.256
合計		946 68.20%	354 25.52%	70 5.05%	10 0.72%	7 0.50%	1,387 100.00%	4.60	0.667	4.66	0.256

### 【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	452 62.69%	211 29.26%	52 7.21%	2 0.28%	4 0.55%	721 100.00%	4.53	0.691
学部2年	197 70.11%	67 23.84%	11 3.91%	3 1.07%	3 1.07%	281 100.00%	4.61	0.714
学部3年	140 79.10%	35 19.77%	0 0.00%	2 1.13%	0 0.00%	177 100.00%	4.77	0.497
学部4年	76 86.36%	11 12.50%	1 1.14%	0 0.00%	0 0.00%	88 100.00%	4.85	0.388

### 【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	492 76.64%	128 19.94%	16 2.49%	5 0.78%	1 0.16%	642 100.00%	4.72	0.563	4.75	0.209
26～50名	454 60.94%	226 30.34%	54 7.25%	5 0.67%	6 0.81%	745 100.00%	4.50	0.730	4.52	0.270
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	946 68.20%	354 25.52%	70 5.05%	10 0.72%	7 0.50%	1,387 100.00%	4.60	0.667	4.66	0.256

## ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員一覧

		平成 27 年度	平成 28 年度
委員長	副 学 長	眞 野 泰	眞 野 泰
委 員	学生センター所長	常 岡 孝 好	小 島 修 一
委 員	学 長 室 部 長	佐 藤 吉 孝	佐 藤 吉 孝
委 員	法 学 部	庄 司 香	津 村 政 孝
委 員	経 済 学 部	D.リテイシエフ	三 井 清
委 員	文 学 部	今 井 久 登	今 井 久 登
委 員	理 学 部	持 田 邦 夫	中 野 伸
委 員	法 務 研 究 科	長谷部 由起子	長谷部 由起子
委 員	スポーツ・健康科学センター	高 丸 功	高 丸 功
委 員	計 算 機 セ ン タ ー	横 山 悦 郎	横 山 悦 郎
委 員	外国語教育研究センター	高 柳 信 夫	堀 内 ゆかり
委 員	教 職 課 程	宮 盛 邦 友	宮 盛 邦 友
委 員	学芸員課程委員会	島 尾 新	島 尾 新
委 員	国際社会科学部（平成 28 年度新設）		牧 田 り え

学習院大学

平成27（2015）年度「授業評価アンケート」報告書

平成28（2016）年7月19日発行

編集 学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会

発行 学習院大学

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL 03(5992)1003

お問合せ先：学長室経営企画課